

豊橋市子ども・子育て支援に関する
ニーズ調査

調査結果報告書

平成26年3月

豊橋市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象・調査方法	1
3	調査実施期間	1
4	回収状況	1
5	調査結果の見方	1
II	調査の結果	2
1	ご家庭の環境について	2
(1)	お子さんと家族の状況	2
(2)	子どもの育ちをめぐる環境	7
(3)	保護者の就労状況	10
2	乳幼児期の教育や保育について	30
(1)	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	30
(2)	土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望	56
(3)	病気の際の対応	60
(4)	不定期の教育・保育事業等の利用	72
(5)	小学校就学後の放課後の過ごし方	86
3	学校以外の子どもの居場所について	106
4	育児休業制度について	106
5	出産や子育てについて	117
(1)	出産や子育ての考え方	117
(2)	子育てに関する悩みや不安感	129
(3)	地域とのかかわり	137
6	豊橋市の子育て環境・子育て支援サービスについて	141
(1)	子育て環境や子育て支援サービス全般について	141
(2)	個別の子育て支援施策に関することについて	152
III	自由意見	171
IV	総括	178
1	家庭環境	178
2	乳幼児期の教育・保育	179
3	学校以外の子どもの居場所	179
4	仕事と子育ての両立	179
5	出産や子育てについて	179
6	豊橋市の子育て環境・子育て支援サービス	179
V	調査票	180

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」という。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画の策定にあたっての基礎資料として、市民の子育て支援に関する生活実態や要望、意見等を幅広く把握することを目的としています。

2 調査対象・調査方法

本調査は、0～11 歳の子どものいる世帯を対象に実施しました。

平成 25 年 9 月 1 日現在の住民基本台帳をもとに、子どもの年齢ごと 12,000 人を無作為に抽出し、その保護者を調査対象としました。

<内訳>

- ・各学年概ね 980 人×12 学年＝11,800 人
- ・4 才・5 才児で幼稚園・保育園共に通っていない児童、4 才・5 才児それぞれ 50 人 計 100 人
- ・ひとり親家庭の児童・・・未就学児 50 人、就学児 50 人、計 100 人

調査方法は、郵送による配布、回収で行いました。

3 調査実施期間

調査期間は、平成 25 年 10 月 17 日から平成 25 年 11 月 7 日まで

4 回収状況

配布数 12,000 票に対して、有効回収数は 5,204 票（未就学児 2,603 票、就学児 2,601 票）、有効回収率は 43.4%となっています。

5 調査結果の見方

比率はすべて百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。そのため、百分率の合計が 100.0%にならないことがあります。

基数となる実数は N として掲載し、各表の比率は N を母数とした割合を示しています。

一部のグラフについて、クロス集計をする上で「無回答」を省略しているものがあります。

1 人の回答者が複数回答する設問では、その比率の合計が 100.0%を上回ることがあります。

II 調査の結果

1 ご家庭の環境について

(1) お子さんをご家族の状況

問 お住まいの小学校区を記入してください。分からない場合は、お住まいの町名を記入してください。(就学前児童：問1、就学児童：問1)

小学校区

【就学前児童】 N = 2624

【就学児童】 N = 2580

単位：左段は実数(件)、右段は割合(%)

	就学前児童		就学児童			就学前児童		就学児童			就学前児童		就学児童	
西郷	16	0.6	12	0.5	松葉	30	1.1	48	1.9	幸	58	2.2	66	2.6
賀茂	5	0.2	7	0.3	八町	19	0.7	21	0.8	天伯	20	0.8	22	0.9
玉川	36	1.4	33	1.3	花田	49	1.9	51	2.0	二川	108	4.1	112	4.3
嵩山	6	0.2	10	0.4	羽根井	62	2.4	60	2.3	二川南	134	5.1	109	4.2
石巻	23	0.9	24	0.9	岩田	71	2.7	66	2.6	谷川	22	0.8	8	0.3
下条	4	0.2	15	0.6	豊	31	1.2	38	1.5	大崎	24	0.9	29	1.1
牛川	66	2.5	73	2.8	多米	46	1.8	51	2.0	植田	50	1.9	40	1.6
東田	60	2.3	57	2.2	飯村	55	2.1	56	2.2	大清水	61	2.3	76	2.9
旭	14	0.5	26	1.0	岩西	37	1.4	34	1.3	野依	73	2.8	79	3.1
鷹丘	103	3.9	112	4.3	吉田方	163	6.2	132	5.1	杉山	63	2.4	66	2.6
大村	55	2.1	53	2.1	牟呂	87	3.3	92	3.6	老津	34	1.3	26	1.0
下地	66	2.5	73	2.8	汐田	62	2.4	68	2.6	小沢	23	0.9	32	1.2
津田	59	2.2	45	1.7	福岡	55	2.1	47	1.8	細谷	23	0.9	25	1.0
前芝	46	1.8	56	2.2	栄	54	2.1	61	2.4	高根	31	1.2	30	1.2
松山	34	1.3	39	1.5	磯辺	42	1.6	40	1.6	豊南	23	0.9	32	1.2
新川	36	1.4	33	1.3	中野	38	1.4	31	1.2	富士見	131	5	103	4.0
向山	49	1.9	35	1.4	高師	58	2.2	37	1.4	その他	-	-	-	-
つつじが丘	54	2.1	47	1.8	芦原	33	1.3	34	1.3	無回答	22	0.8	8	0.3

中学校区

【就学前児童】 N = 2624

【就学児童】 N = 2580

単位：左段は実数（件）、右段は割合（％）

	就学前児童		就学児童			就学前児童		就学児童	
	実数	割合	実数	割合		実数	割合	実数	割合
石巻	86	3.3	86	3.3	牟呂	149	5.7	160	6.2
青陵	144	5.5	171	6.6	南部	109	4.2	108	4.2
東陵	103	3.9	112	4.3	南陽	80	3.0	71	2.8
北部	180	6.9	171	6.6	本郷	91	3.5	71	2.8
前芝	46	1.8	56	2.2	高師台	78	3.0	88	3.4
中部	173	6.6	154	6.0	二川	264	10.1	229	8.9
豊城	49	1.9	69	2.7	南稜	208	7.9	224	8.7
羽田	111	4.2	111	4.3	章南	97	3.7	92	3.6
豊岡	102	3.9	104	4.0	五並	46	1.8	57	2.2
東陽	46	1.8	51	2.0	高豊	185	7.1	165	6.4
東部	92	3.5	90	3.5	その他	-	-	-	-
吉田方	163	6.2	132	5.1	無回答	22	0.8	8.0	0.3

問 あて名のお子さんの生年月を記入してください。（〔 〕内に数字で記入してください。）（就学前児童：問2、就学児童：問2）

お子さんの年齢

【就学前児童】 N = 2624

【就学児童】 N = 2580

単位：左段は実数（件）、右段は割合（％）

	就学前児童			就学児童	
	実数	割合		実数	割合
0歳	457	17.4	6歳(1年生)	421	16.3
1歳	431	16.4	7歳(2年生)	455	17.6
2歳	433	16.5	8歳(3年生)	428	16.6
3歳	413	15.7	9歳(4年生)	397	15.4
4歳	448	17.1	10歳(5年生)	391	15.2
5歳	420	16.0	11歳(6年生)	437	16.9
無回答	22	0.8	無回答	51	2.0

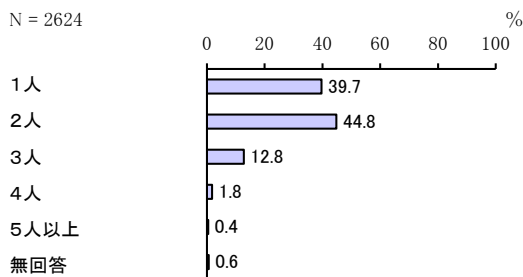
問 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。〔 〕内に数字で記入してください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、あて名のお子さんが何番目のお子さんか、また、最も年下の子の生年月も記入してください。(就学前児童：問3、就学児童：問3)

きょうだい数

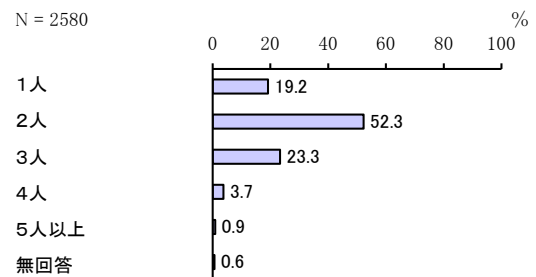
就学前児童では、「2人」の割合が44.8%と最も高く、次いで「1人」の割合が39.7%、「3人」の割合が12.8%となっています。

就学児童では、「2人」の割合が52.3%と最も高く、次いで「3人」の割合が23.3%、「1人」の割合が19.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

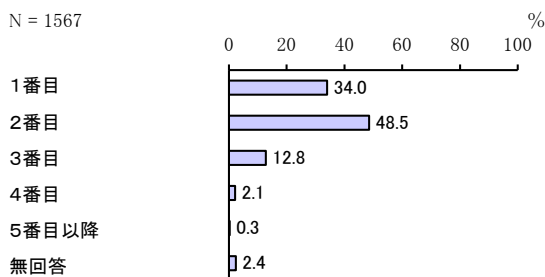


(2人きょうだい以上の場合) 何番目の子どもか

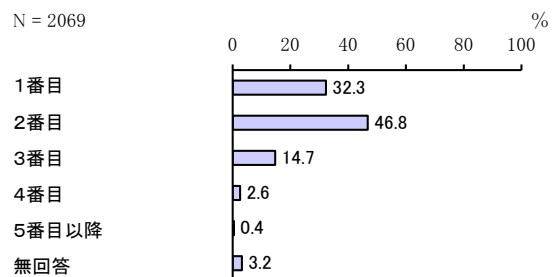
就学前児童では、「2番目」の割合が48.5%と最も高く、次いで「1番目」の割合が34.0%、「3番目」の割合が12.8%となっています。

就学児童では、「2番目」の割合が46.8%と最も高く、次いで「1番目」の割合が32.3%、「3番目」の割合が14.7%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

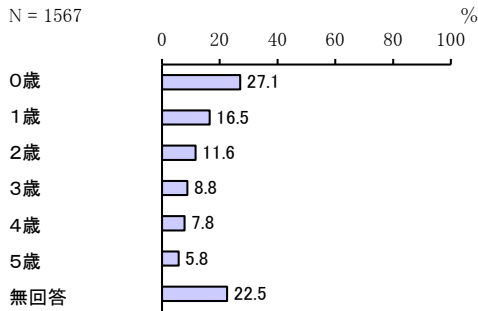


(2人きょうだい以上の場合) 末子の年齢

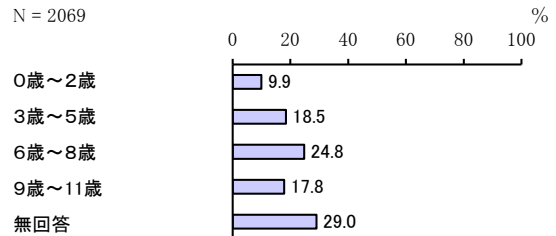
就学前児童では、「0歳」の割合が27.1%と最も高く、次いで「1歳」の割合が16.5%、「2歳」の割合が11.6%となっています。

就学児童では、「6歳～8歳」の割合が24.8%と最も高く、次いで「3歳～5歳」の割合が18.5%、「9歳～11歳」の割合が17.8%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

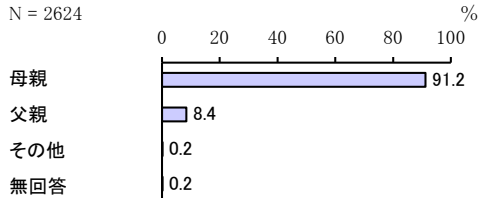


問 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。(就学前児童：問4、就学児童：問4)

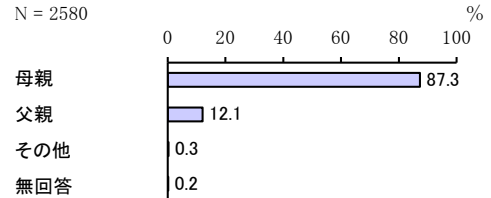
就学前児童では、「母親」の割合が91.2%、「父親」の割合が8.4%となっています。

就学児童では、「母親」の割合が87.3%、「父親」の割合が12.1%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

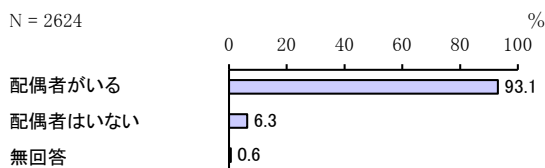


問 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。(就学前児童：問5、就学児童：問5)

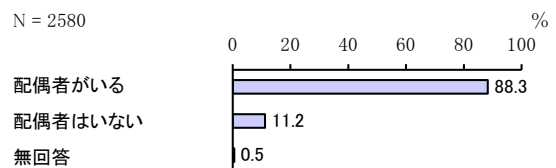
就学前児童では、「配偶者がいる」の割合が93.1%、「配偶者がいない」の割合が6.3%となっています。

就学児童では、「配偶者がいる」の割合が88.3%、「配偶者がいない」の割合が11.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

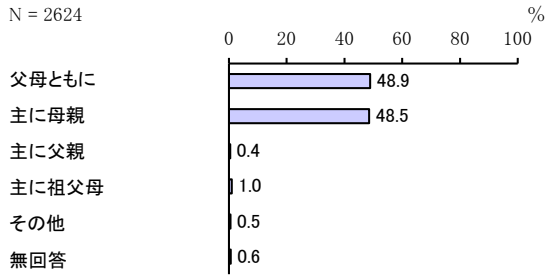


問 6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。
 （就学前児童：問6、就学児童：問6）

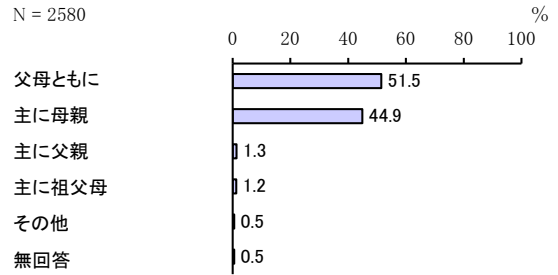
就学前児童では、「父母ともに」の割合が48.9%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が48.5%となっています。

就学児童では、「父母ともに」の割合が51.5%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が44.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



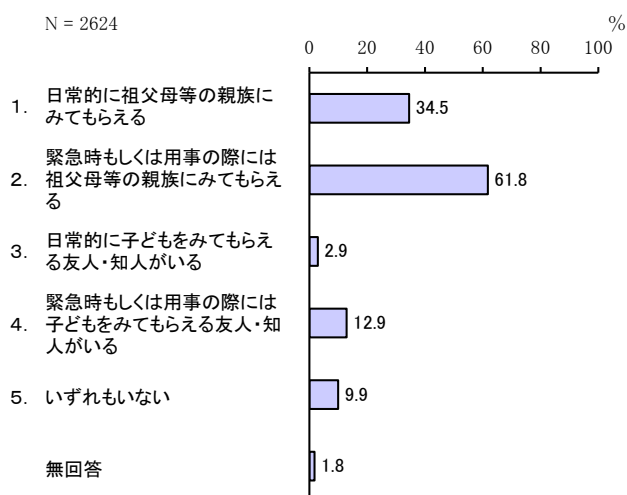
(2) 子どもの育ちをめぐる環境

問 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問7、就学児童：問7)

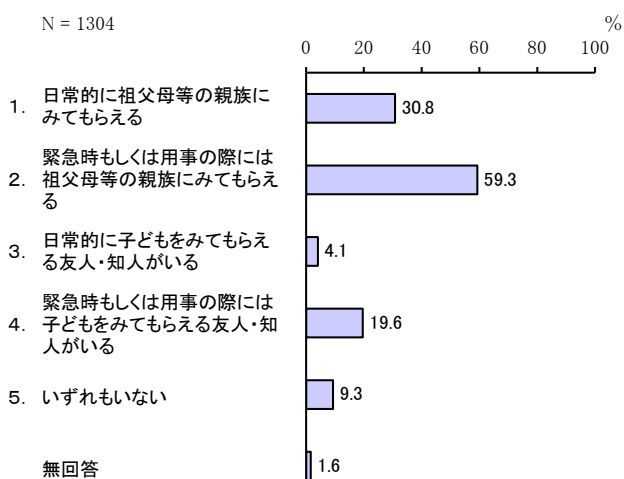
就学前児童では、「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が61.8%と最も高く、次いで「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が34.5%、「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が12.9%となっています。

就学児童では、「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が59.3%と最も高く、次いで「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が30.8%、「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が19.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



問 P. 7（就学前児童：問7、就学児童：問7）で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる～4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族や友人・知人にお子さんをみってもらう時の心配や不安について、それぞれ当てはまる番号すべてに○を記入してください。
（就学前児童：問7-1、就学児童：問7-1）

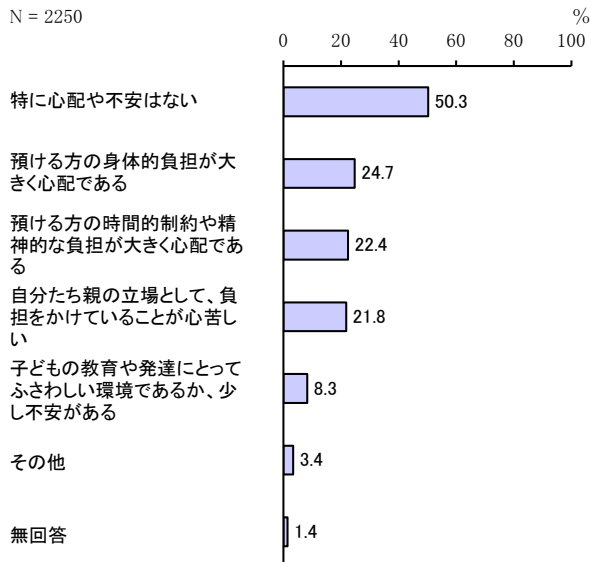
祖父母等の親族にみてもらおうと答えた方

就学前児童では、「特に心配や不安はない」の割合が 50.3%と最も高く、次いで「預ける方の身体的負担が大きく心配である」の割合が 24.7%、「預ける方の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が 22.4%となっています。

就学児童では、「特に心配や不安はない」の割合が 54.4%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 23.5%、「預ける方の身体的負担が大きく心配である」の割合が 20.5%となっています。

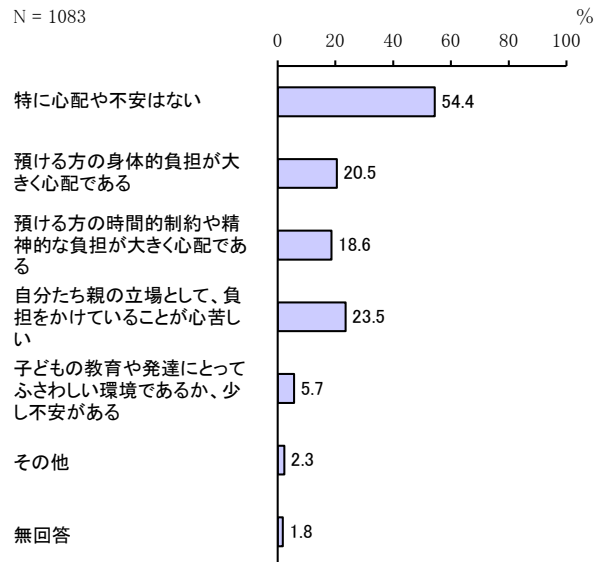
【就学前児童】

N = 2250



【就学児童】

N = 1083

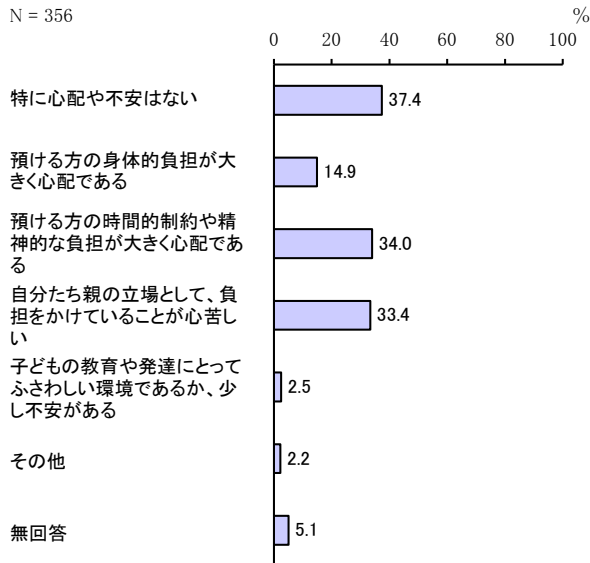


友人・知人にみてもらうと答えた方

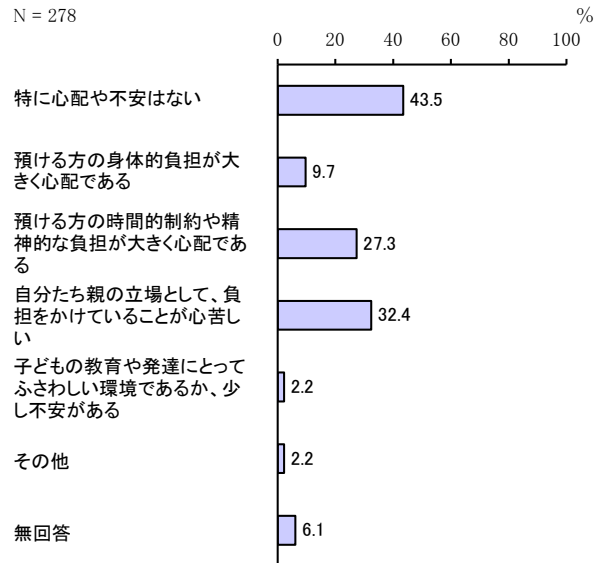
就学前児童では、「特に心配や不安はない」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「預ける方の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が 34.0%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 33.4%となっています。

就学児童では、「特に心配や不安はない」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 32.4%、「預ける方の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が 27.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



(3) 保護者の就労状況

問 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。「1.」～「6.」のうち当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、⇒の設問がある場合には、それについてもお答えください。〔 〕内には、平均的な労働日数や時間を数字で記入してください。※短時間勤務制度を利用されている方は、制度取得前の勤務時間でお答えください。（就学前児童：問8、就学児童：問8）

母親

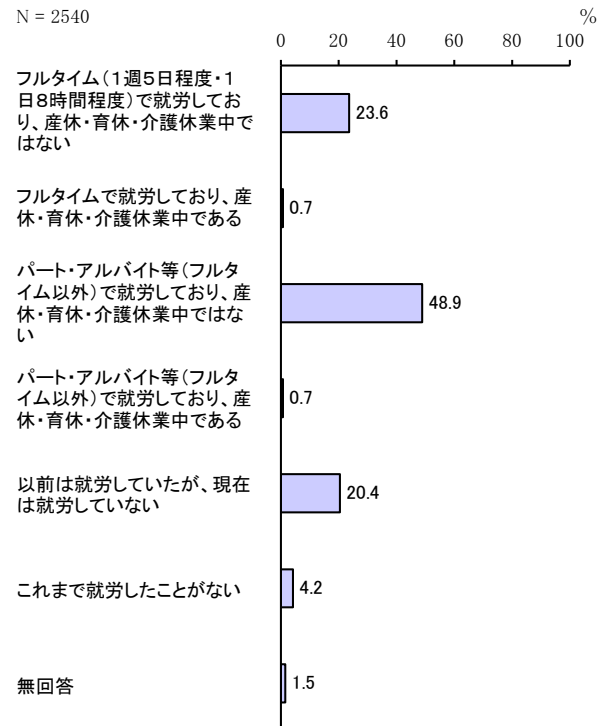
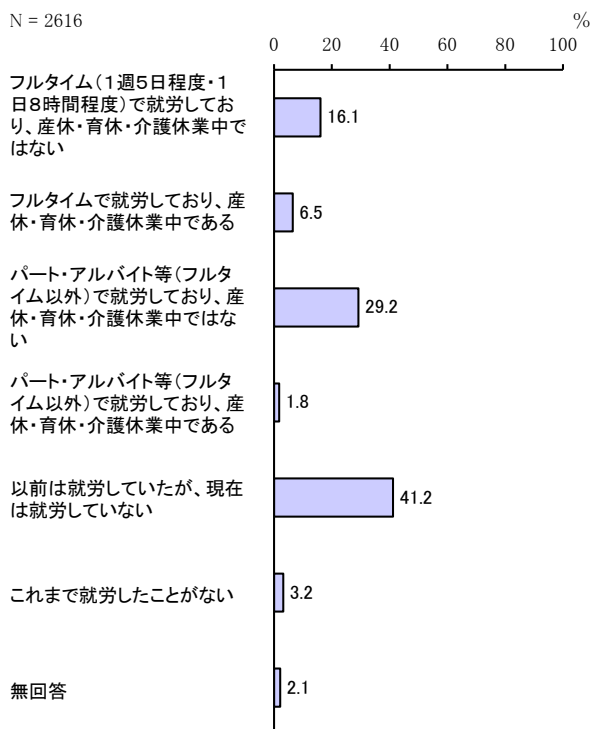
① 就労状況

就学前児童では、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が41.2%と最も高く、次いで「3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が29.2%、「1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が16.1%となっています。

就学児童では、「3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が48.9%と最も高く、次いで「1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が23.6%、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が20.4%となっています。

【就学前児童】

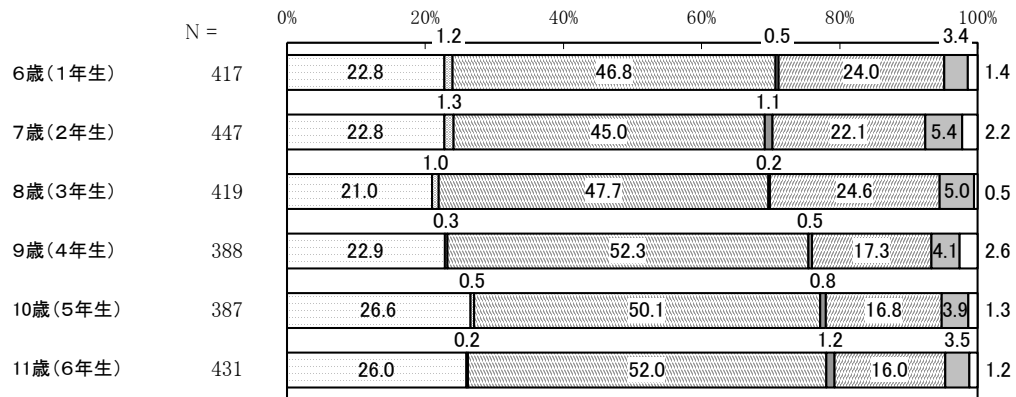
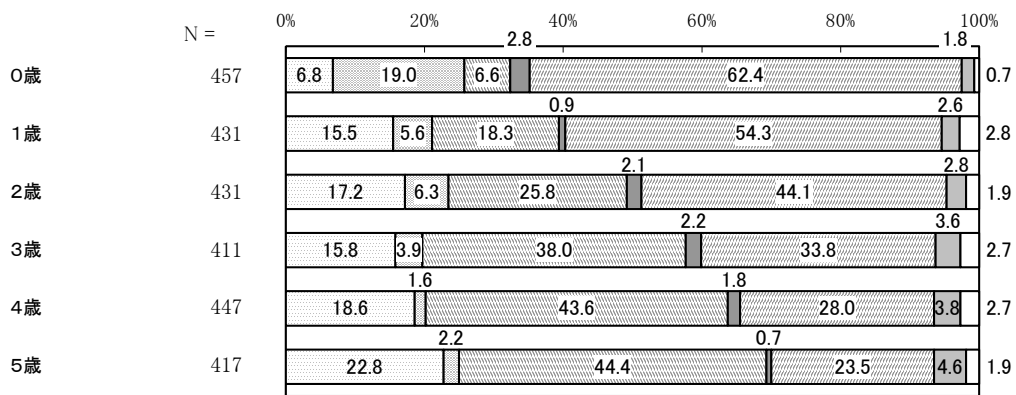
【就学児童】



【年齢別】

年齢別でみると、就学前児童では2歳以上において年齢が上がるにつれ「3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなる傾向がみられます。就学児童においては、1～3年生に比べ、4～6年生で「3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなっています。

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▣ フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である
- ▤ パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中である
- ▨ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

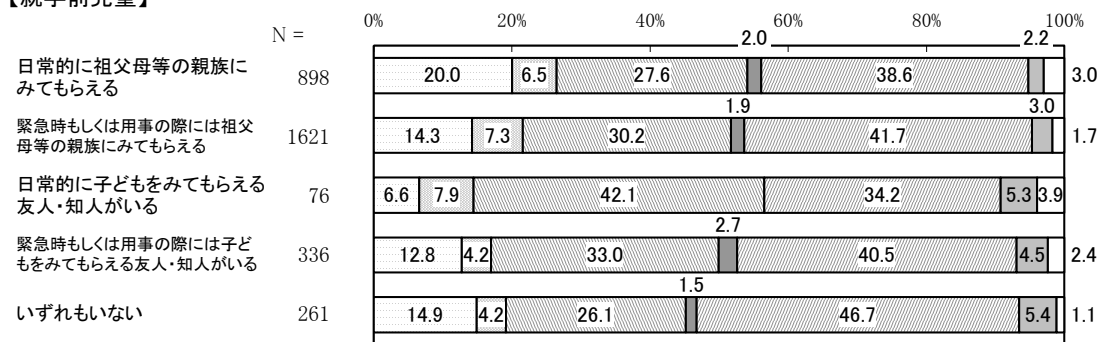


【支援状況別】

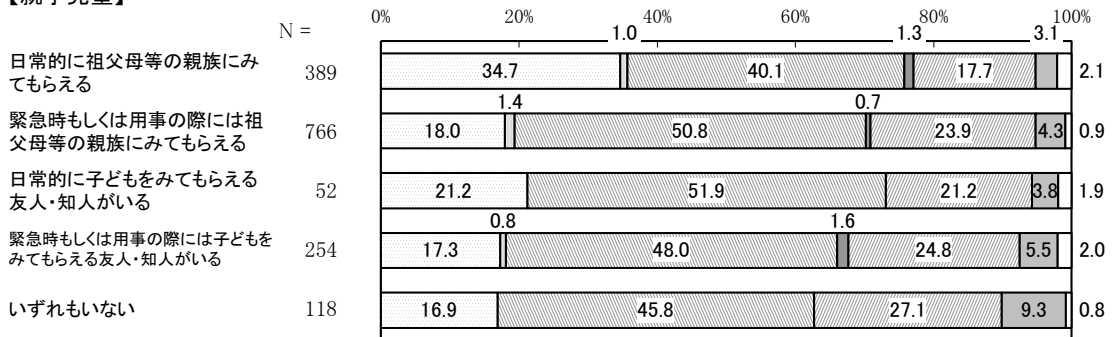
支援状況別でみると、就学前児童、就学児童ともに日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる人で「1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなっています。

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

【就学前児童】



【就学児童】



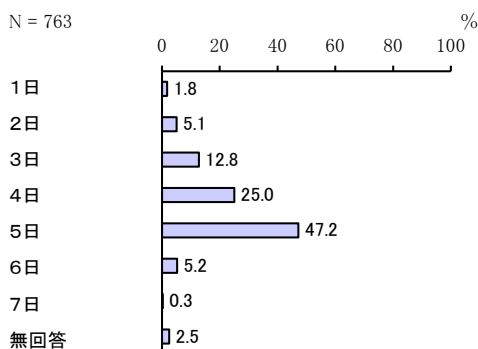
② P.10 母親 ①就労状況で「3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と回答した人への質問

ア 1週あたりの就労日数

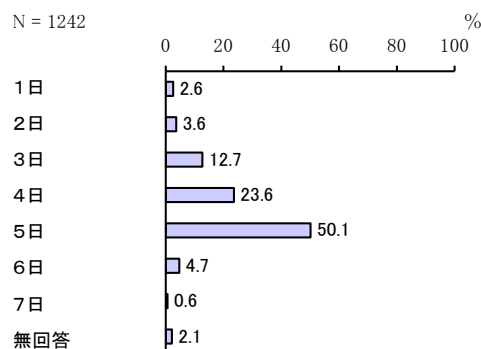
就学前児童では、「5日」の割合が47.2%と最も高く、次いで「4日」の割合が25.0%、「3日」の割合が12.8%となっています。

就学児童では、「5日」の割合が50.1%と最も高く、次いで「4日」の割合が23.6%、「3日」の割合が12.7%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

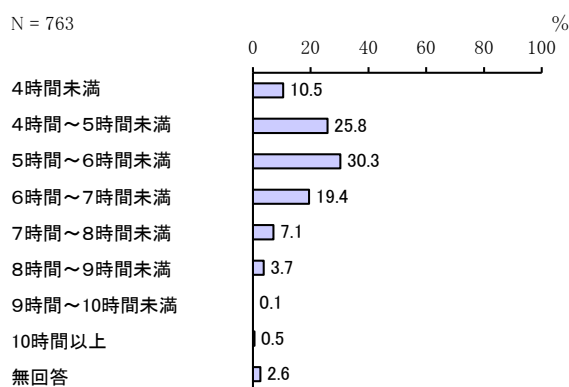


イ 1日あたりの就労時間

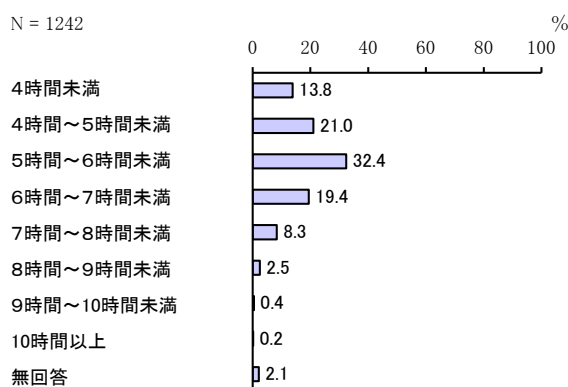
就学前児童では、「5時間～6時間未満」の割合が30.3%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が25.8%、「6時間～7時間未満」の割合が19.4%となっています。

就学児童では、「5時間～6時間未満」の割合が32.4%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が21.0%、「6時間～7時間未満」の割合が19.4%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

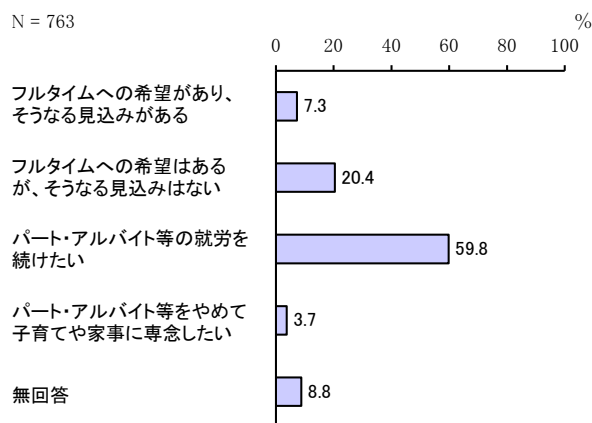


ウ フルタイムへの就労希望

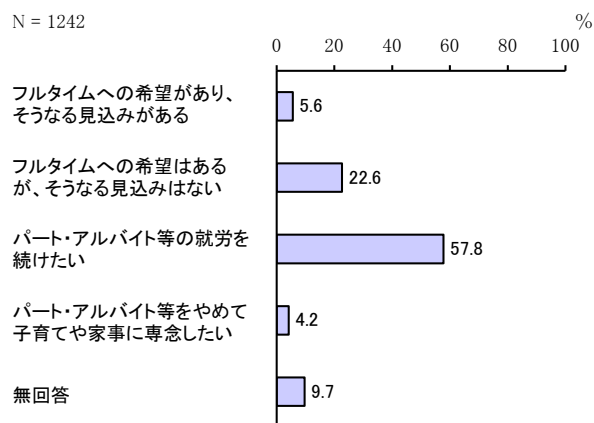
就学前児童では、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が59.8%と最も高く、次いで「フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない」の割合が20.4%となっています。

就学児童では、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が57.8%と最も高く、次いで「フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない」の割合が22.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



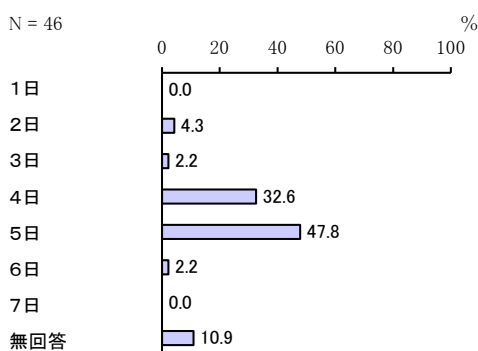
③ P.10 母親 ①就労状況で「4. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」と回答した人への質問

ア 1週あたりの就労日数（休業前）

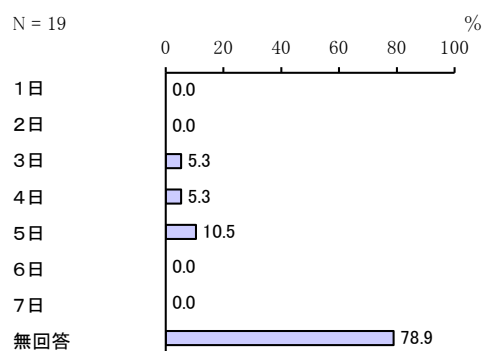
就学前児童では、「5日」の割合が47.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が32.6%となっています。

就学児童では、「5日」の割合が10.5%と最も高くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】

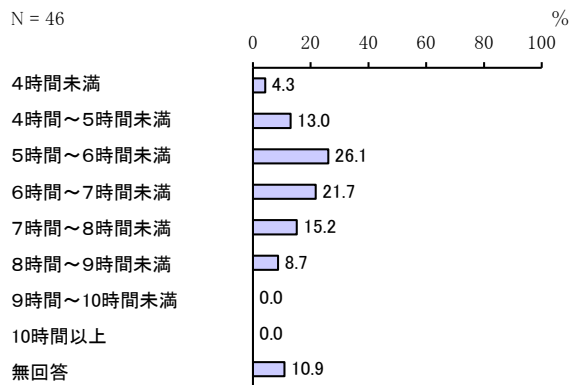


イ 1日あたりの就労時間（休業前）

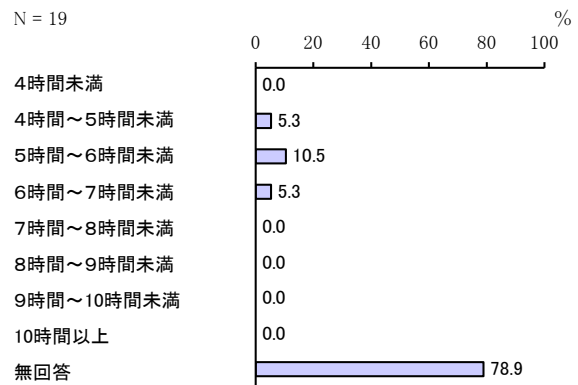
就学前児童では、「5時間～6時間未満」の割合が26.1%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が21.7%、「7時間～8時間未満」の割合が15.2%となっています。

就学児童では、「5時間～6時間未満」の割合が10.5%と最も高くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】

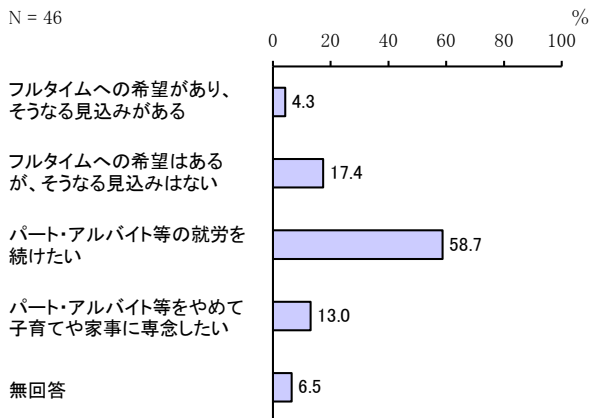


ウ フルタイムへの就労希望

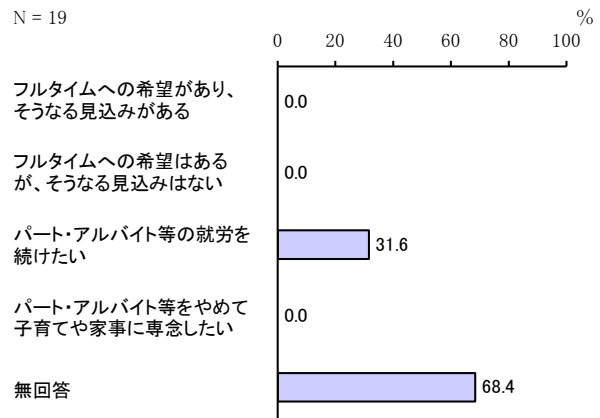
就学前児童では、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が58.7%と最も高く、次いで「フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない」の割合が17.4%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」の割合が13.0%となっています。

就学児童では、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が31.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



父親

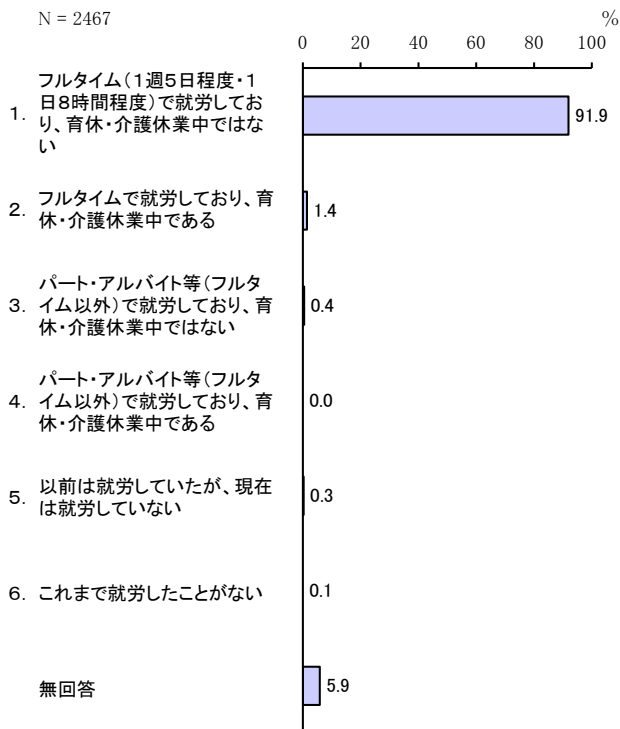
① 就労状況

就学前児童では、「1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が91.9%と最も高くなっています。

就学児童では、「1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が90.5%と最も高くなっています。

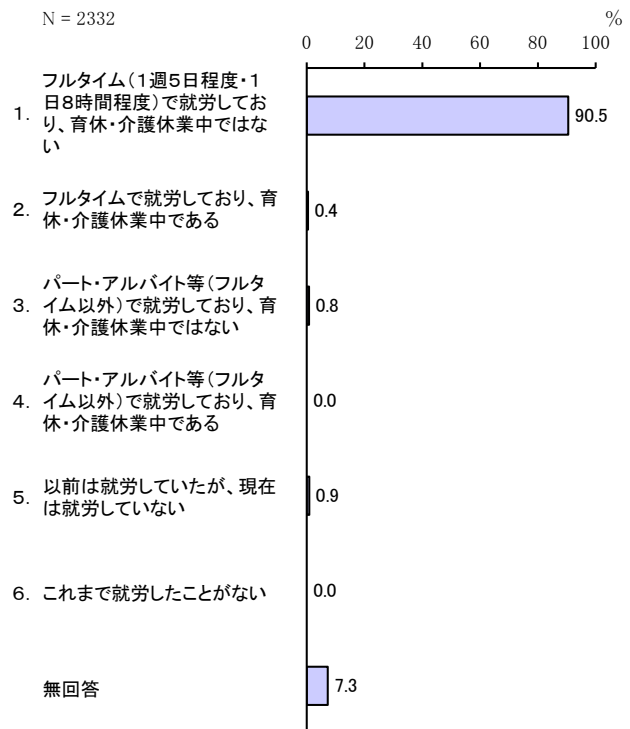
【就学前児童】

N = 2467



【就学児童】

N = 2332



【年齢別】

年齢別でみると、大きな差異はみられません。

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しており、育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



【支援状況別】

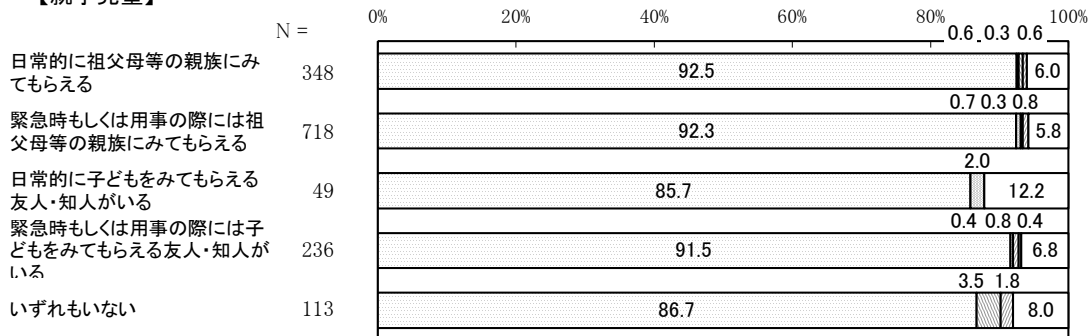
支援状況別でみると、大きな差異はみられません。

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しており、育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

【就学前児童】



【就学児童】



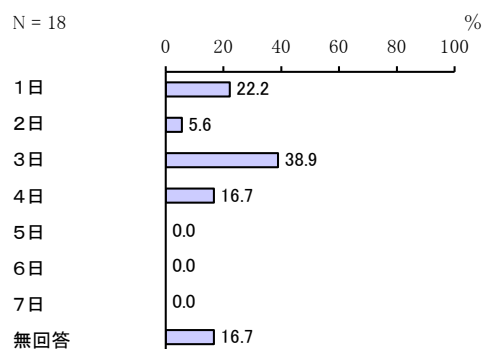
② P. 16 父親 ①就労状況で「3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」と回答した人への質問

ア 週あたりの就労日数

就学前児童では、「5日」が4件、「1日」、「6日」が2件となっています。

就学児童では、「3日」の割合が38.9%と最も高く、次いで「1日」の割合が22.2%、「4日」の割合が16.7%となっています。

【就学児童】

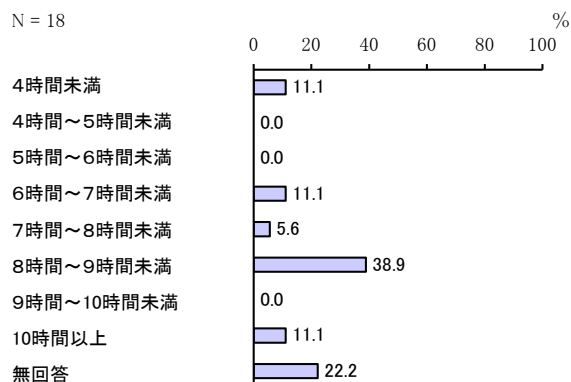


イ 1日あたりの就労時間

就学前児童では、「8時間～9時間未満」が4件、「6時間～7時間未満」が2件、「5時間～6時間未満」、「7時間～8時間未満」が1件となっています。

就学児童では、「8時間～9時間未満」の割合が38.9%と最も高く、次いで「4時間未満」、「6時間～7時間未満」、「10時間以上」の割合が11.1%となっています。

【就学児童】

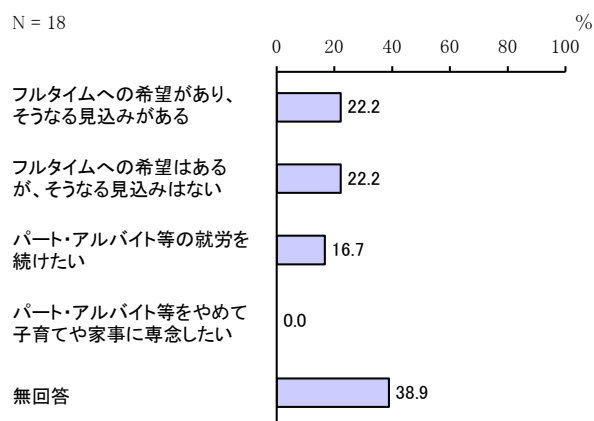


ウ フルタイムへの就労希望

就学前児童では、「フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない」、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が2件となっています。

就学児童では、「フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある」、「フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない」の割合が22.2%と最も高く、次いで、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が16.7%となっています。

【就学児童】



③ P.16 父親 ①就労状況で「4. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中である」と回答した人への質問

ア 1週あたりの就労日数（休業前）

就学前児童では、「4日」が1件となっています。

就学児童では、有効回答はありません。

イ 1日あたりの就労時間（休業前）

就学前児童では、「4時間～5時間未満」が1件となっています。

就学児童では、有効回答はありません。

ウ フルタイムへの就労希望

就学前児童では、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が1件となっています。

就学児童では、有効回答はありません。

P. 10、P. 16（就学前児童：問8、就学児童：問8）で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」と答えた方にうかがいます。

問 就労したいという希望はありますか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。〔 〕内には数字を記入してください。

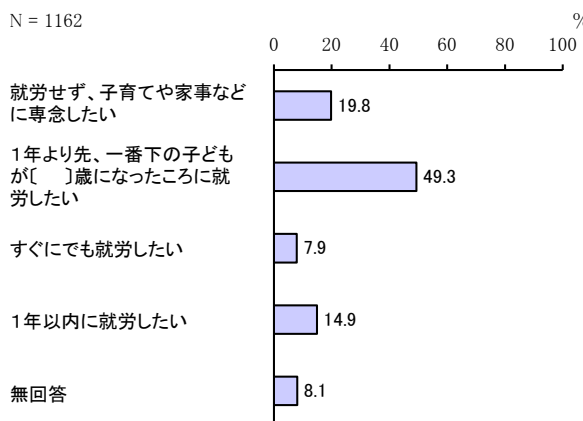
（就学前児童：問9、就学児童：問9）

母親

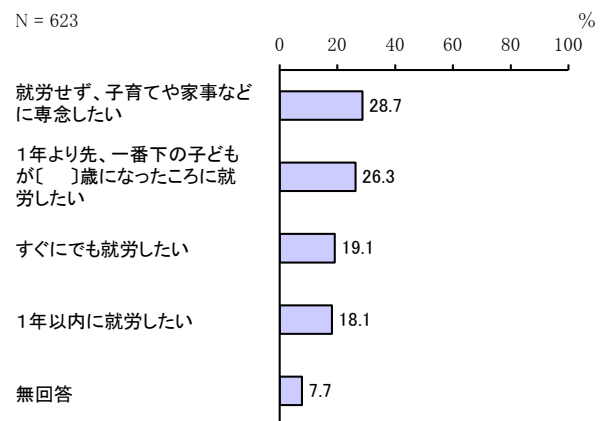
就学前児童では、「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」の割合が49.3%と最も高く、次いで「就労せず、子育てや家事などに専念したい」の割合が19.8%、「1年以内に就労したい」の割合が14.9%となっています。

就学児童では、「就労せず、子育てや家事などに専念したい」の割合が28.7%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」の割合が26.3%、「すぐにも就労したい」の割合が19.1%となっています。

【就学前児童】

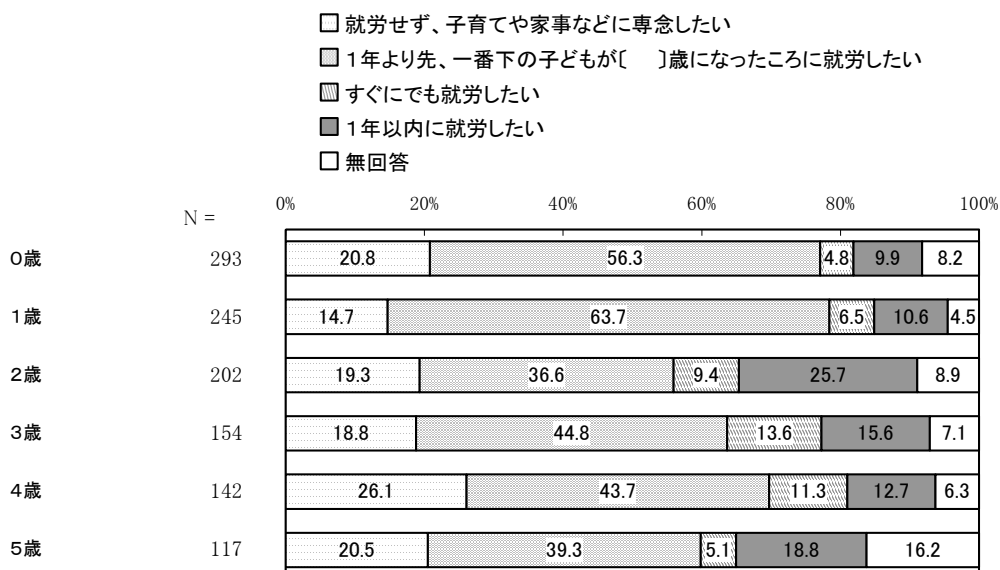


【就学児童】

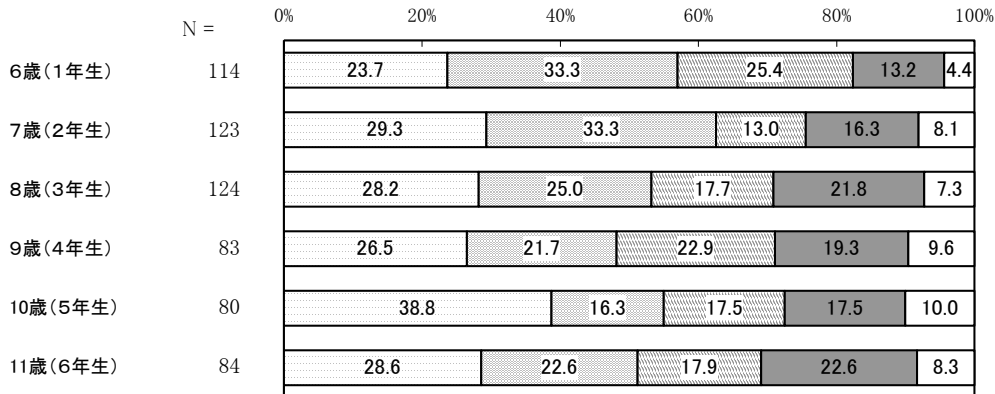


【年齢別】

年齢別でみると、就学前児童では1歳で「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」の割合が高くなっています。就学児童では年齢が低いほど「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」の割合が高くなる傾向がみられます。



- 就労せず、子育てや家事などに専念したい
- 1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったころに就労したい
- すぐにでも就労したい
- 1年以内に就労したい
- 無回答

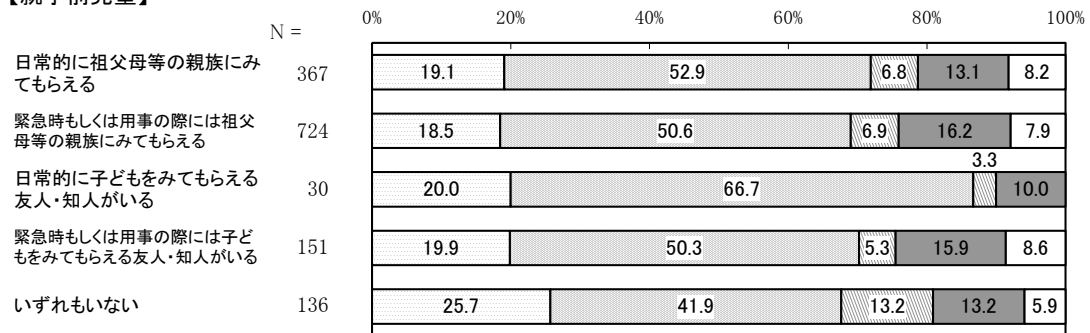


【支援状況別】

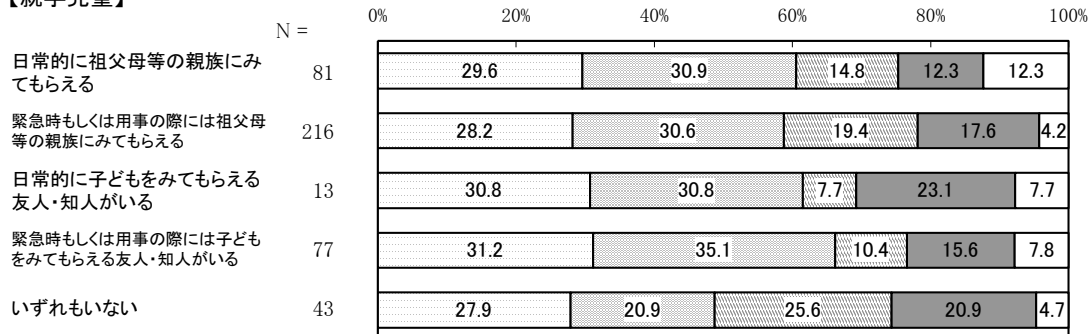
家族の支援別でみると、就学前児童では、日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいるを除き、大きな差異はみられません。就学児童では、子どもをみてもらえる人がいずれもないで「すぐにでも就労したい」の割合が高くなっています。

- 就労せず、子育てや家事などに専念したい
- 1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったころに就労したい
- すぐにでも就労したい
- 1年以内に就労したい
- 無回答

【就学前児童】



【就学児童】

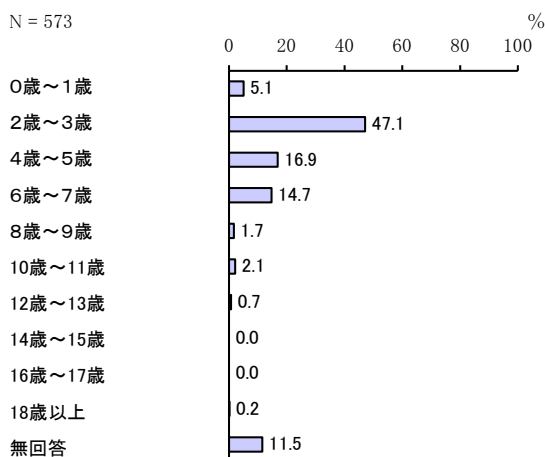


① 「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」子どもの年齢

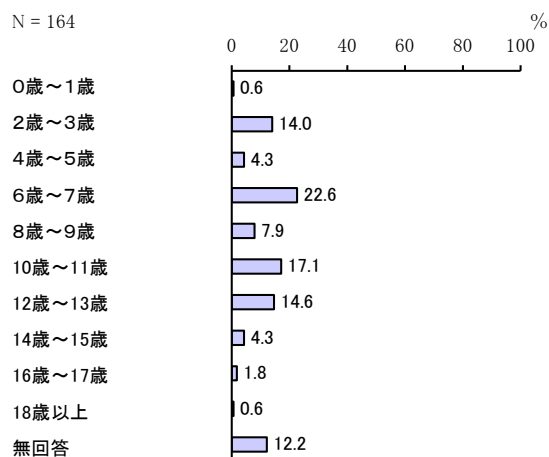
就学前児童では、「2歳～3歳」の割合が47.1%と最も高く、次いで「4歳～5歳」の割合が16.9%、「6歳～7歳」の割合が14.7%となっています。

就学児童では、「6歳～7歳」の割合が22.6%と最も高く、次いで「10歳～11歳」の割合が17.1%、「12歳～13歳」の割合が14.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

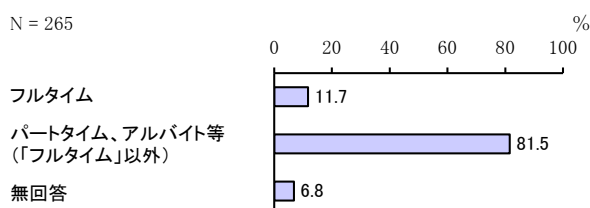


② 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」人の就労希望

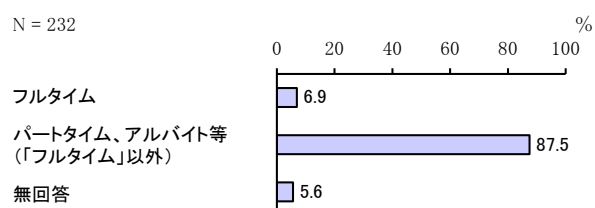
就学前児童では、「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」の割合が81.5%、「フルタイム」の割合が11.7%となっています。

就学児童では、「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」の割合が87.5%、「フルタイム」の割合が6.9%となっています。

【就学前児童】

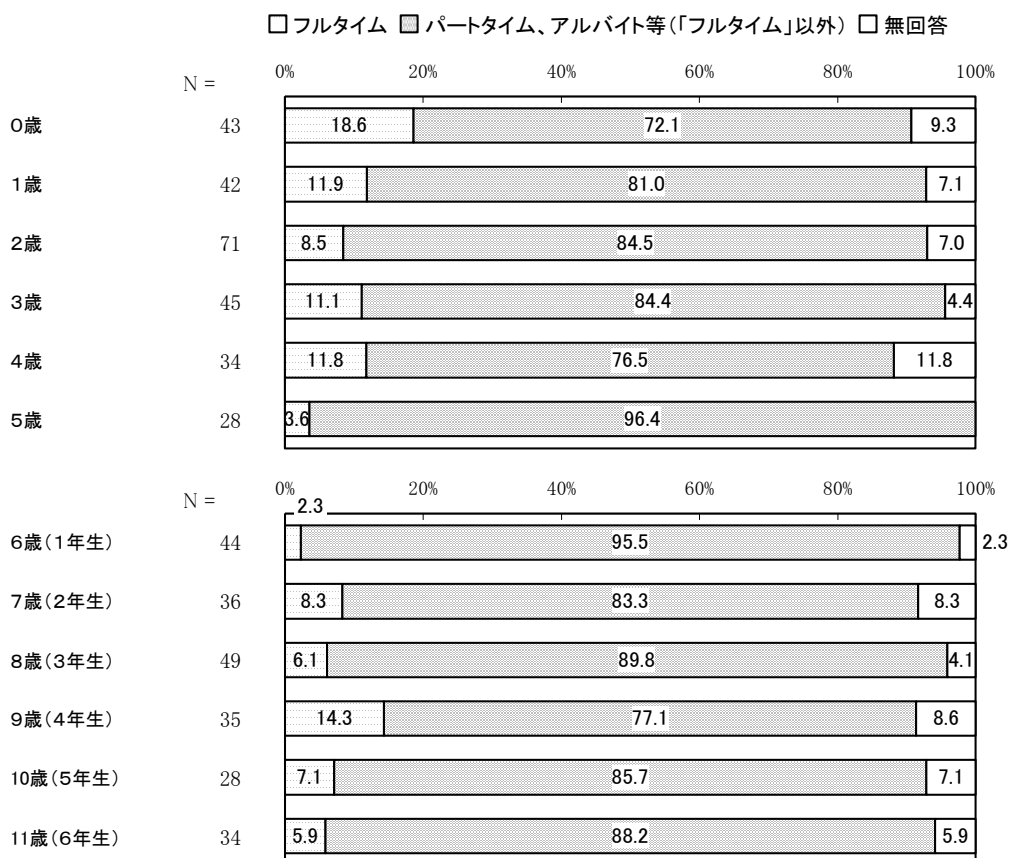


【就学児童】



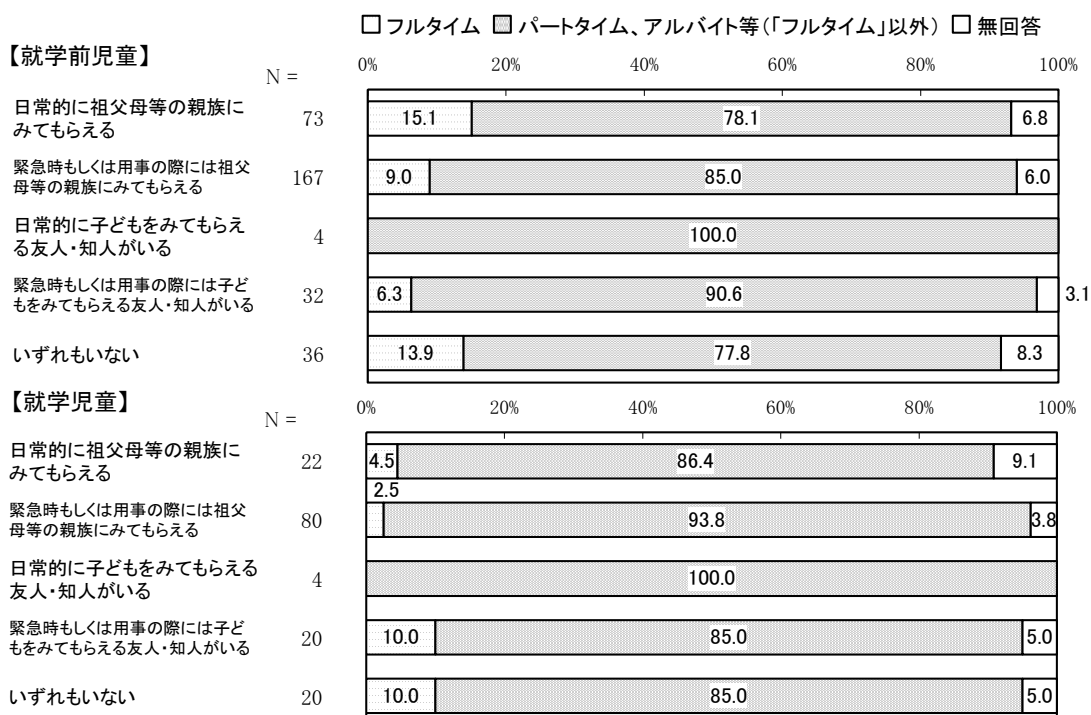
【年齢別】

年齢別でみると、就学前児童では0歳で「フルタイム」の割合が約2割となっています。就学児童では9歳で「フルタイム」の割合が1割以上となっています。



【支援状況別】

家族の支援別でみると、就学前児童では、日常的に祖父母等の親族にみてもらえる人で「フルタイム」の割合が1割半ばとなっています。就学児童では、緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる、いずれもないで「フルタイム」の割合が高くなっています。

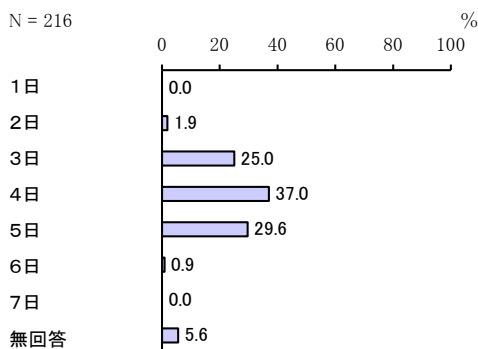


②-1 1年以内に就労したい人の1週当たりの就労日数

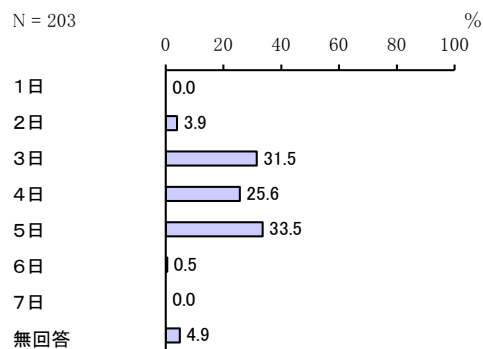
就学前児童では、「4日」の割合が37.0%と最も高く、次いで「5日」の割合が29.6%、「3日」の割合が25.0%となっています。

就学児童では、「5日」の割合が33.5%と最も高く、次いで「3日」の割合が31.5%、「4日」の割合が25.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

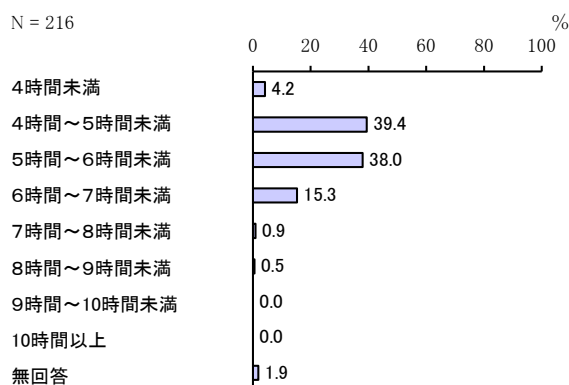


②-2 1年以内に就労したい人の1日当たりの就労時間

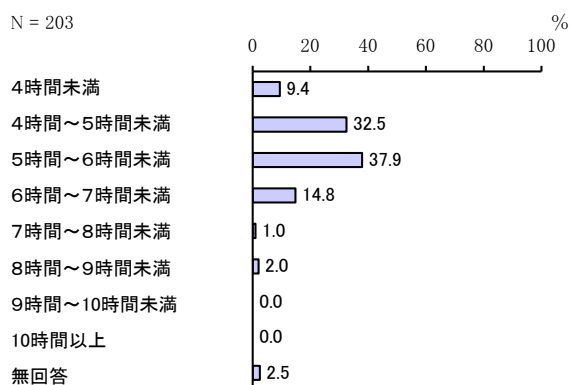
就学前児童では、「4時間～5時間未満」の割合が39.4%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が38.0%、「6時間～7時間未満」の割合が15.3%となっています。

就学児童では、「5時間～6時間未満」の割合が37.9%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が32.5%、「6時間～7時間未満」の割合が14.8%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

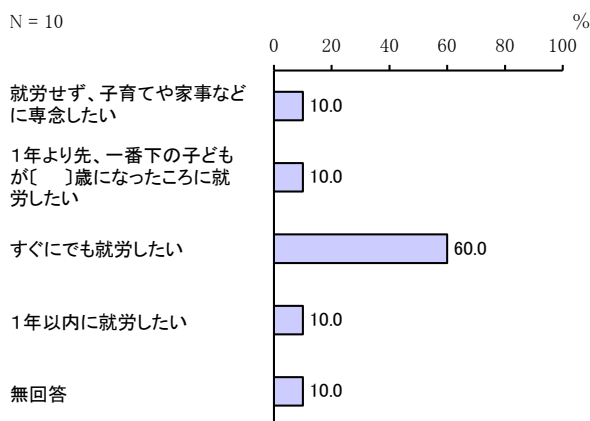


父親

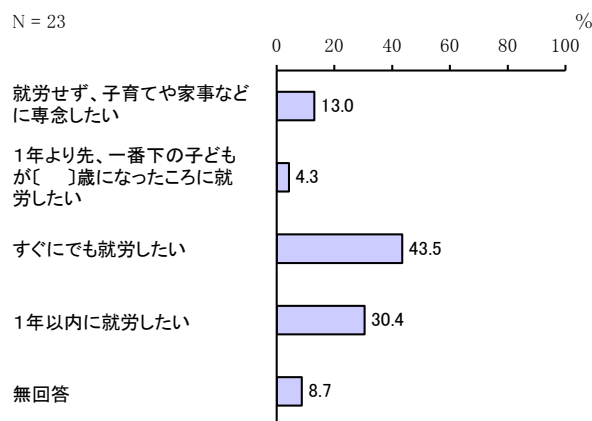
就学前児童では、「すぐにでも就労したい」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「就労せず、子育てや家事などに専念したい」、「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったころに就労したい」、「1年以内に就労したい」の割合が 10.0%となっています。

就学児童では、「すぐにでも就労したい」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「1年以内に就労したい」の割合が 30.4%、「就労せず、子育てや家事などに専念したい」の割合が 13.0%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



① 「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったころに就労したい」子どもの年齢

就学前児童では、「2歳～3歳」が1件となっています。

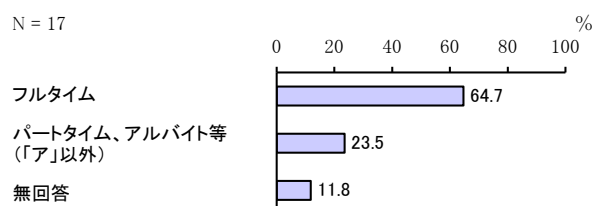
就学児童では、有効回答はありません。

② 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」人の就労希望

就学前児童では、「フルタイム」が6件となっています。

就学児童では、「フルタイム」の割合が 64.7%、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が 23.5%となっています。

【就学児童】



②-1 1年以内に就労したい人の1週当たりの就労日数

就学前児童では、有効回答はありません。

就学児童では、「5日」が2件、「3日」が1件となっています。

②-2 1年以内に就労したい人の1日当たりの就労時間

就学前児童では、有効回答はありません。

就学児童では、「8時間～9時間未満」が2件となっています。

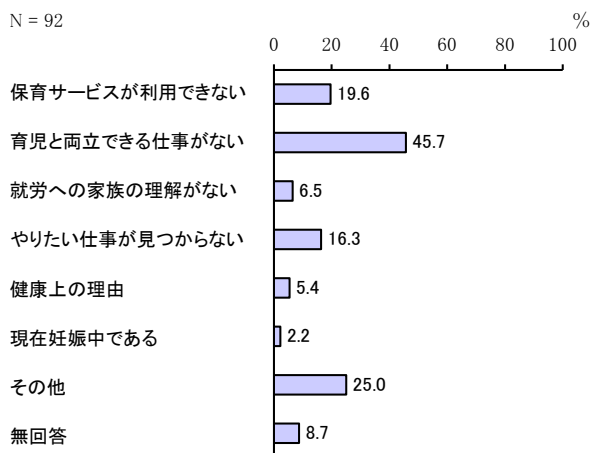
問 P.21(就学前児童：問9、就学児童：問9)で「すぐにでも就労したい」と回答した方にうかがいます。就労希望がありながら働いていない理由は何ですか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号すべてに○をつけてください。
(就学前児童：問9-1、就学児童：問9-1)

母親

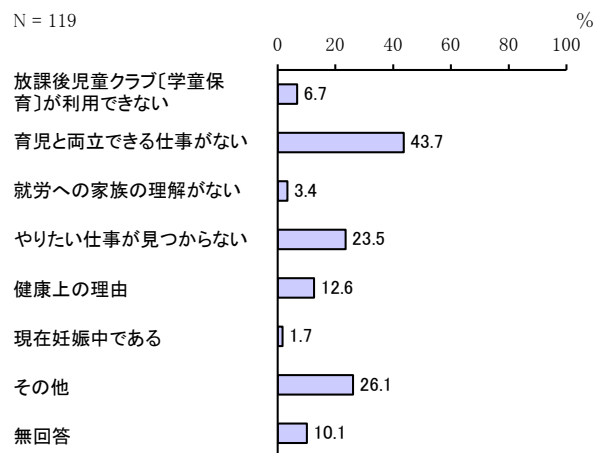
就学前児童では、「育児と両立できる仕事がない」の割合が45.7%と最も高く、次いで「保育サービスが利用できない」の割合が19.6%、「やりたい仕事が見つからない」の割合が16.3%となっています。

就学児童では、「育児と両立できる仕事がない」の割合が43.7%と最も高く、次いで「やりたい仕事が見つからない」の割合が23.5%、「健康上の理由」の割合が12.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



その他の主な回答

- ・現在就職活動中である
- ・保育料が高い
- ・子育てに専念したい、体力的に不安である、現在職業訓練中である

その他の主な回答

- ・現在就職活動中である
- ・子育てに専念したい
- ・子どもが病気の時に休めない、みてくれる人がいない

【年齢別】

年齢別でみると、就学前児童では3歳で「育児と両立できる仕事がない」の割合が約6割となっています。就学児童では6歳で「育児と両立できる仕事がない」の割合が約6割、6歳、7歳で「放課後児童クラブ〔学童保育〕が利用できない」の割合が約1割となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	保育サービスが利 用できない	育児と両立できる 仕事がない	就労への家族の理 解がない	やりたい仕事が見 つからない	健康上の理由	現在妊娠中である	その他	無回答
0歳	14	14.3	42.9	7.1	14.3	—	7.1	21.4	14.3
1歳	16	31.3	43.8	18.8	6.3	12.5	—	31.3	6.3
2歳	19	26.3	47.4	5.3	15.8	5.3	—	21.1	—
3歳	21	14.3	57.1	4.8	19.0	—	—	28.6	9.5
4歳	16	12.5	31.3	—	18.8	6.3	6.3	25.0	18.8
5歳	6	16.7	50.0	—	33.3	16.7	—	16.7	—

単位：％

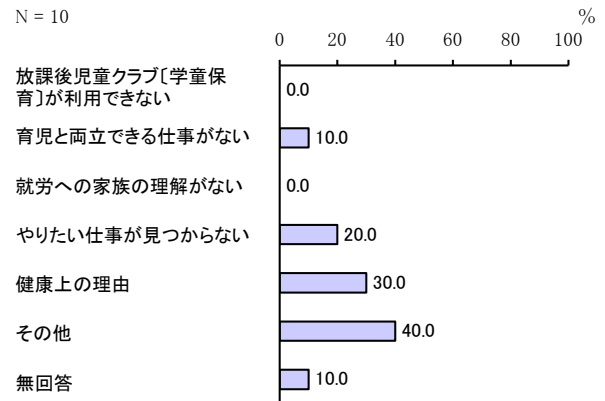
区分	有効回答数 (件)	放課後児童クラブ 〔学童保育〕が利用 できない	育児と両立できる 仕事がない	就労への家族の理 解がない	やりたい仕事が見 つからない	健康上の理由	現在妊娠中である	その他	無回答
6歳(1年生)	29	10.3	62.1	—	20.7	6.9	—	34.5	3.4
7歳(2年生)	16	12.5	56.3	6.3	12.5	12.5	—	31.3	18.8
8歳(3年生)	22	—	36.4	4.5	36.4	13.6	—	31.8	—
9歳(4年生)	19	5.3	42.1	5.3	15.8	10.5	5.3	21.1	10.5
10歳(5年生)	14	7.1	28.6	—	21.4	—	7.1	21.4	21.4
11歳(6年生)	15	—	26.7	6.7	26.7	33.3	—	6.7	20.0

父親

就学前児童では、「健康上の理由」が3件となっています。

就学児童では、「健康上の理由」の割合が30.0%と最も高く、次いで「やりたい仕事が見つからない」の割合が20.0%、「育児と両立できる仕事がない」の割合が10.0%となっています。

【就学児童】



その他の主な回答

- ・現在就職活動中である
- ・現在休職中、病気である

2 乳幼児期の教育や保育について

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問 現在、利用している、していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業について、お子さんの成長にあわせて年齢ごとに希望する事業を下の【A群：希望する教育・保育事業】から選んで枠内に番号を記入してください。（現在のお子さんの年齢から5歳までについてお答えください。）また、その事業を希望する上で重視する条件について、当てはまる条件を右ページの【B群：事業を希望する上で重視する条件】から3つまで選んで枠内に番号を記入してください。あわせて、1週あたりの利用希望日数、1日あたりの希望時間も記入してください。なお、事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。（就学前児童：問10）

【A群：希望する教育・保育事業】

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用 ※満3歳以上が対象）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ ※満3歳以上が対象）
3. 保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）
6. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
7. その他の認可外の保育施設
8. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
9. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
10. 児童発達支援事業所（障害児通所施設）
11. その他

【B群：事業を希望する上で重視する条件】

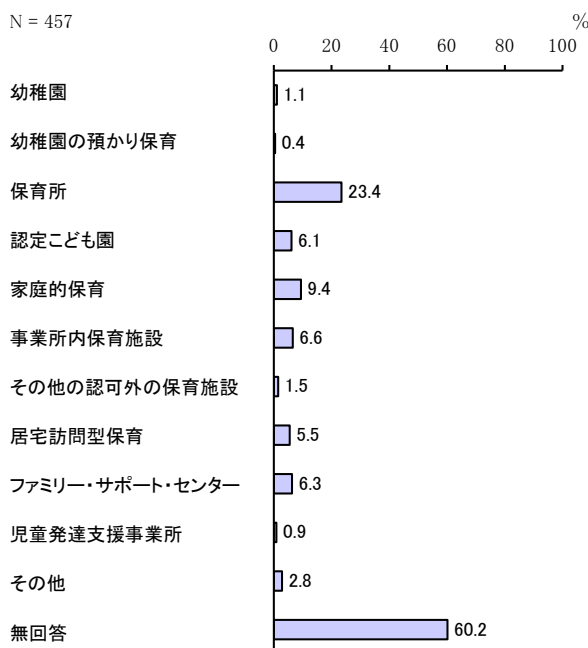
1. 教育・保育の内容や方針が希望にあう
2. 教員・保育士・保護者の質が高い
3. 施設や設備が充実している
4. 園庭がある
5. 利用可能時間帯が希望にあう
6. 認可されている施設である
7. 利用料が適正である
8. 親の負担の程度が軽い
9. 親が運営・行事などに関わる機会が多い
10. 自宅からの距離が近い
11. 利用する駅や職場からの距離が近い
12. その他

0歳

① 希望する教育・保育事業

就学前児童では、「保育所」の割合が23.4%と最も高くなっています。

【就学前児童】



【支援状況別】

支援状況別でみると、いずれもない人で「保育所」の割合が高く、3割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所	その他	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	155	—	0.6	20.0	7.7	12.3	4.5	0.6	3.2	3.9	1.3	1.9	67.1
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	294	1.7	0.3	24.1	5.4	7.5	6.5	1.4	5.4	5.1	0.7	3.1	60.5
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	6	—	—	16.7	16.7	16.7	—	—	16.7	—	—	—	83.3
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	43	—	—	20.9	2.3	9.3	2.3	—	4.7	4.7	—	2.3	65.1
いずれもない	50	—	—	30.0	8.0	10.0	14.0	4.0	10.0	22.0	2.0	2.0	48.0

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない人で「保育所」の割合が高く、約5割となっています。

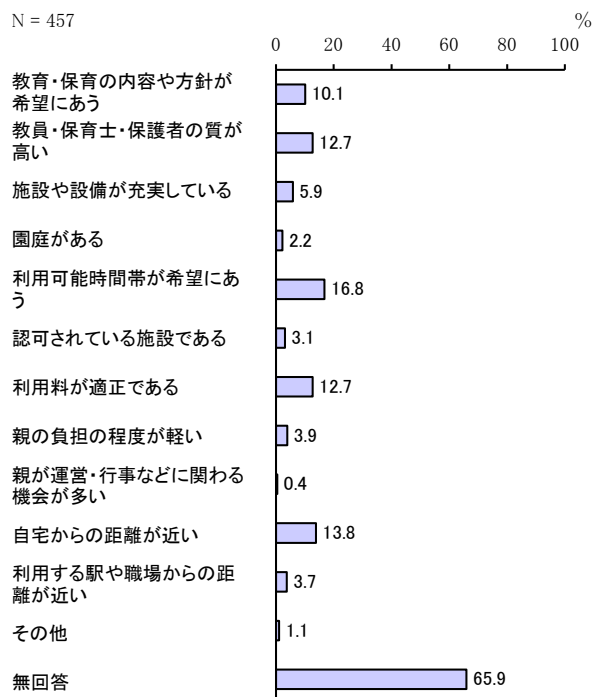
単位：%

区分	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	31	3.2	3.2	48.4	19.4	9.7	16.1	—	12.9	9.7	—	3.2	41.9
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	87	2.3	—	32.2	4.6	8.0	9.2	—	2.3	4.6	1.1	4.6	47.1
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	30	—	—	26.7	3.3	10.0	3.3	—	—	3.3	—	—	60.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	13	—	—	38.5	—	23.1	—	—	—	7.7	—	—	38.5
以前は就労していたが、現在は就労していない	285	0.7	0.4	16.8	6.0	9.5	5.6	2.1	6.3	7.0	1.1	2.8	67.4
これまで就労したことがない	8	—	—	25.0	—	—	—	12.5	12.5	—	—	—	50.0

② 事業を希望する上で重視する条件

就学前児童では、「利用可能時間帯が希望にあう」の割合が16.8%と最も高く、次いで「自宅からの距離が近い」の割合が13.8%、「教員・保育士・保護者の質が高い」、「利用料が適正である」の割合が12.7%となっています。

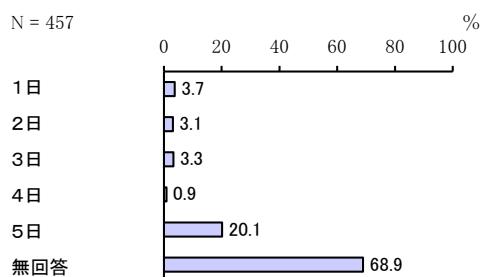
【就学前児童】



③ 1週あたり利用希望日数

就学前児童では、「5日」の割合が20.1%と最も高くなっています。

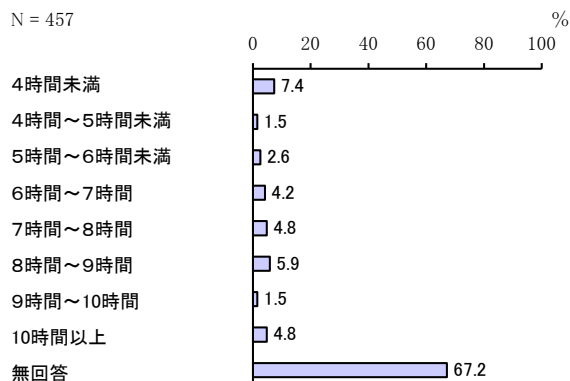
【就学前児童】



④ 1日あたり利用希望時間

就学前児童では、「4時間未満」の割合が7.4%と最も高くなっています。

【就学前児童】

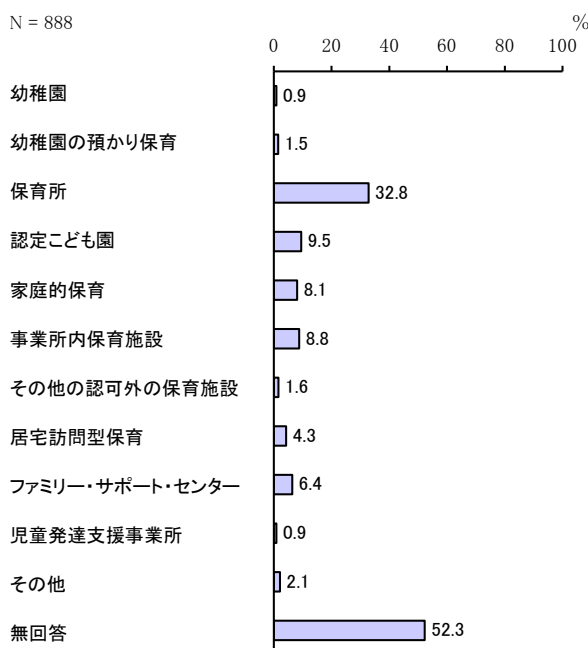


1歳

① 希望する教育・保育事業

就学前児童では、「保育所」の割合が32.8%と最も高くなっています。

【就学前児童】



【支援状況別】

支援状況別でみると、日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる人で「認定こども園」の割合が高く、約2割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	設 その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所	その他	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	317	1.3	1.9	32.2	9.8	8.8	8.5	1.3	3.5	3.5	0.9	1.6	55.5
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	562	1.1	1.2	35.1	9.1	7.7	8.7	1.2	3.6	6.0	1.1	2.5	51.2
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	18	5.6	5.6	38.9	22.2	16.7	5.6	—	11.1	5.6	—	5.6	38.9
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	98	2.0	2.0	35.7	9.2	8.2	8.2	—	4.1	6.1	—	2.0	50.0
いずれもない	87	—	1.1	29.9	8.0	4.6	11.5	4.6	6.9	12.6	1.1	1.1	51.7

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「保育所」の割合が高く、約6割となっています。

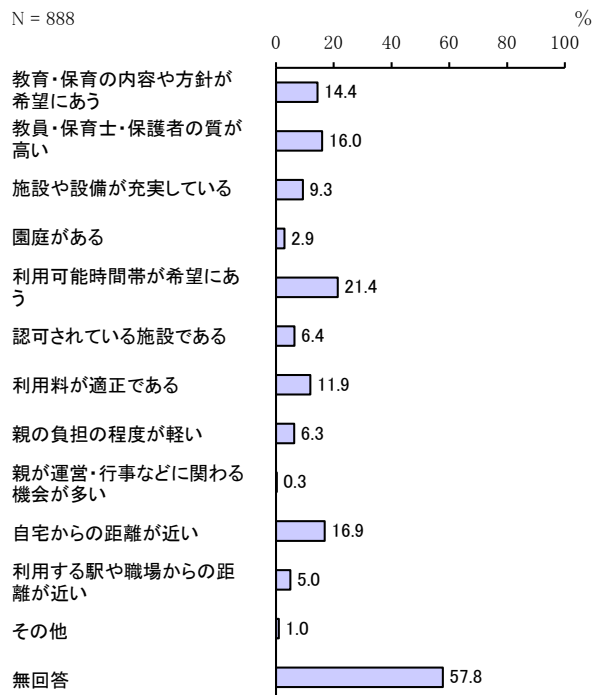
単位：％

区分	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	設 その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	98	1.0	2.0	58.2	14.3	12.2	19.4	1.0	4.1	8.2	—	3.1	24.5
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	111	0.9	1.8	53.2	11.7	8.1	11.7	1.8	1.8	5.4	1.8	1.8	32.4
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	109	—	0.9	42.2	12.8	6.4	12.8	1.8	2.8	4.6	2.8	—	42.2
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	17	—	—	52.9	—	17.6	5.9	—	11.8	11.8	—	—	29.4
以前は就労していたが、現在は就労していない	519	1.2	1.5	21.4	8.1	7.7	5.6	1.5	4.6	6.4	0.6	2.7	64.0
これまで就労したことがない	19	—	—	26.3	—	—	5.3	5.3	10.5	5.3	—	—	63.2

② 事業を希望する上で重視する条件

就学前児童では、「利用可能時間帯が希望にあう」の割合が 21.4%と最も高く、次いで「自宅からの距離が近い」の割合が 16.9%、「教員・保育士・保護者の質が高い」の割合が 16.0%となっています。

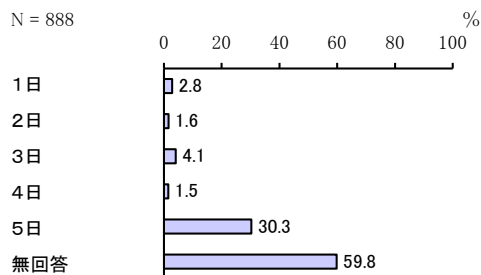
【就学前児童】



③ 1週あたり利用希望日数

就学前児童では、「5日」の割合が 30.3%と最も高くなっています。

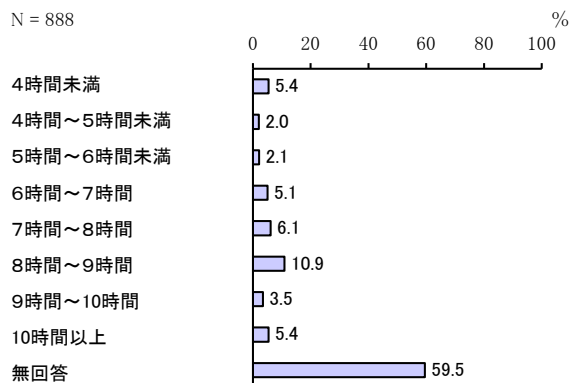
【就学前児童】



④ 1日あたり利用希望時間

就学前児童では、「8時間～9時間」の割合が10.9%と最も高くなっています。

【就学前児童】

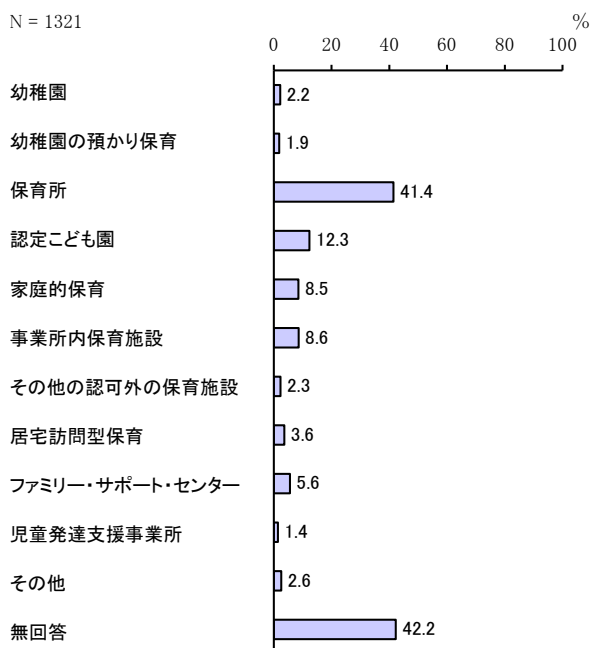


2歳

① 希望する教育・保育事業

就学前児童では、「保育所」の割合が41.4%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が12.3%となっています。

【就学前児童】



【支援状況別】

支援状況別でみると、日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる人で「保育所」、「家庭的保育」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所	その他	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	466	2.1	1.7	40.1	11.6	10.3	7.3	1.9	3.2	3.2	1.9	1.5	46.1
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	819	2.0	2.2	43.5	12.2	7.3	8.8	2.1	3.5	5.7	1.5	3.2	40.7
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	32	3.1	3.1	50.0	12.5	12.5	3.1	—	6.3	—	—	3.1	34.4
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	155	1.9	1.9	43.9	12.9	8.4	5.2	1.3	5.2	3.9	—	1.9	39.4
いずれもない	137	2.9	0.7	34.3	13.1	4.4	10.9	2.9	3.6	8.0	0.7	2.2	46.7

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である、パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中であるで「保育所」の割合が高く、6割を超えています。

単位：％

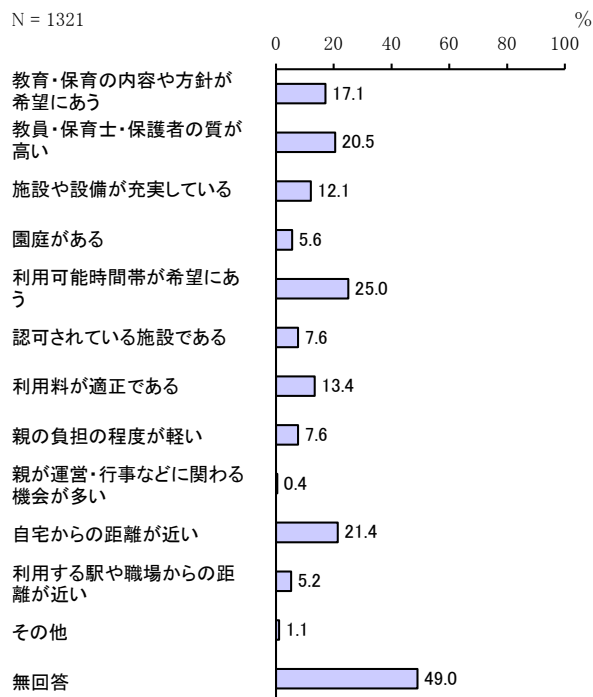
区分	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	172	1.2	1.7	63.4	16.3	11.0	16.3	1.7	3.5	8.1	1.7	2.3	22.1
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	138	1.4	2.2	63.8	16.7	8.7	13.8	4.3	2.9	5.8	4.3	1.4	19.6
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	220	1.4	1.8	51.8	12.7	5.5	11.8	0.9	2.3	5.0	1.4	0.9	35.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	26	3.8	3.8	65.4	7.7	11.5	7.7	—	7.7	11.5	3.8	—	19.2
以前は就労していたが、現在は就労していない	709	2.5	1.8	28.5	10.9	8.7	5.2	2.5	4.2	5.2	0.8	3.5	53.9
これまで就労したことがない	31	—	3.2	16.1	—	9.7	3.2	6.5	3.2	3.2	—	—	61.3

② 事業を希望する上で重視する条件

就学前児童では、「利用可能時間帯が希望にあう」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「自宅からの距離が近い」の割合が 21.4%、「教員・保育士・保護者の質が高い」の割合が 20.5%となっています。

【就学前児童】

N = 1321

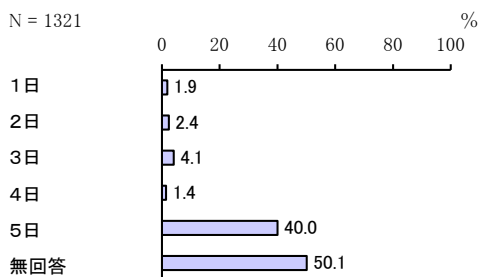


③ 1週あたり利用希望日数

就学前児童では、「5日」の割合が 40.0%と最も高くなっています。

【就学前児童】

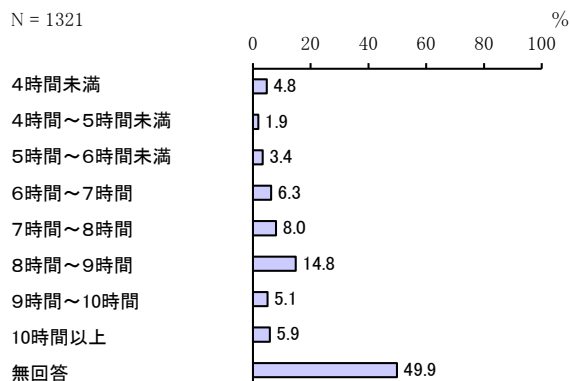
N = 1321



④ 1日あたり利用希望時間

就学前児童では、「8時間～9時間」の割合が14.8%と最も高くなっています。

【就学前児童】

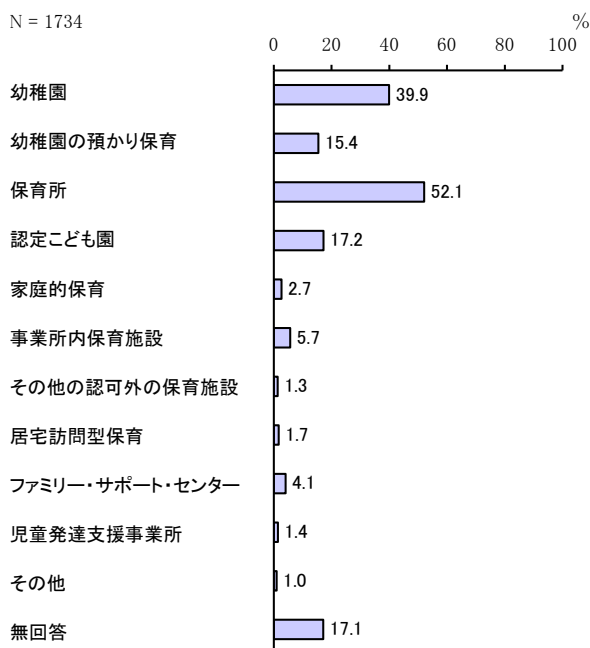


3歳

① 希望する教育・保育事業

就学前児童では、「保育所」の割合が52.1%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が39.9%、「認定こども園」の割合が17.2%となっています。

【就学前児童】



【支援状況別】

支援状況別でみると、日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる人で「幼稚園」の割合が高くなっています。また、いずれもない人で「幼稚園の預かり保育」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所	その他	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	611	40.6	13.3	54.2	17.0	3.1	4.1	1.6	1.5	2.1	1.3	0.7	17.8
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	1085	38.5	14.7	53.4	16.2	2.6	6.4	1.0	1.8	4.2	1.8	1.0	16.1
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	47	51.1	19.1	51.1	10.6	4.3	2.1	2.1	2.1	2.1	—	—	10.6
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	209	42.6	15.8	55.0	12.9	2.9	2.9	1.0	1.9	2.9	—	0.5	12.4
いずれもない	175	44.0	21.7	42.9	17.7	1.7	7.4	1.7	2.9	8.0	0.6	2.3	20.0

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、以前は就労していたが、現在は就労していない、これまで就労したことがないで「幼稚園」の割合が高く、約5割となっています。

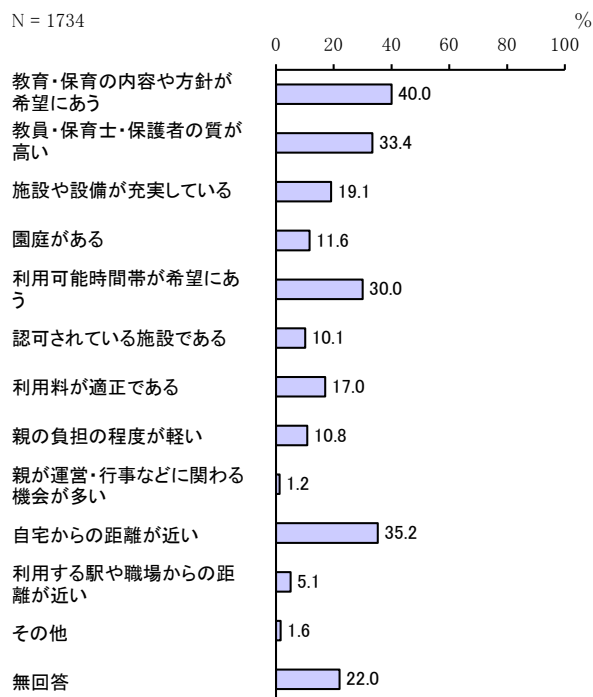
単位：％

区分	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	237	21.1	14.8	69.2	22.8	3.0	12.7	0.4	2.1	6.3	3.0	1.7	14.3
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	154	25.3	20.1	74.0	19.5	4.5	7.1	2.6	1.9	6.5	2.6	0.6	8.4
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	376	27.4	12.0	58.0	14.9	2.4	4.0	0.5	1.6	4.5	1.3	0.8	21.3
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	35	31.4	14.3	68.6	14.3	—	2.9	—	5.7	8.6	2.9	—	11.4
以前は就労していたが、現在は就労していない	848	52.8	16.0	41.5	16.9	2.5	4.5	1.5	1.7	3.1	0.8	1.1	17.9
これまで就労したことがない	46	52.2	19.6	28.3	8.7	4.3	2.2	—	—	—	—	—	19.6

② 事業を希望する上で重視する条件

就学前児童では、「教育・保育の内容や方針が希望にあう」の割合が40.0%と最も高く、次いで「自宅からの距離が近い」の割合が35.2%、「教員・保育士・保護者の質が高い」の割合が33.4%となっています。

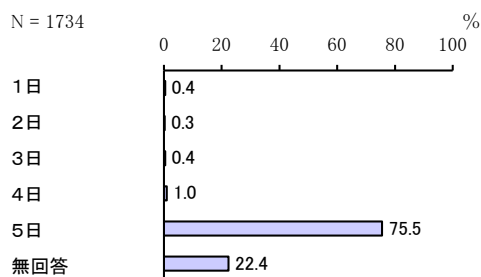
【就学前児童】



③ 1週あたり利用希望日数

就学前児童では、「5日」の割合が75.5%と最も高くなっています。

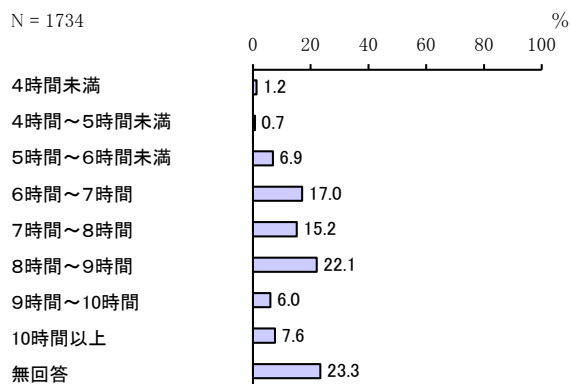
【就学前児童】



④ 1日あたり利用希望時間

就学前児童では、「8時間～9時間」の割合が22.1%と最も高く、次いで「6時間～7時間」の割合が17.0%、「7時間～8時間」の割合が15.2%となっています。

【就学前児童】

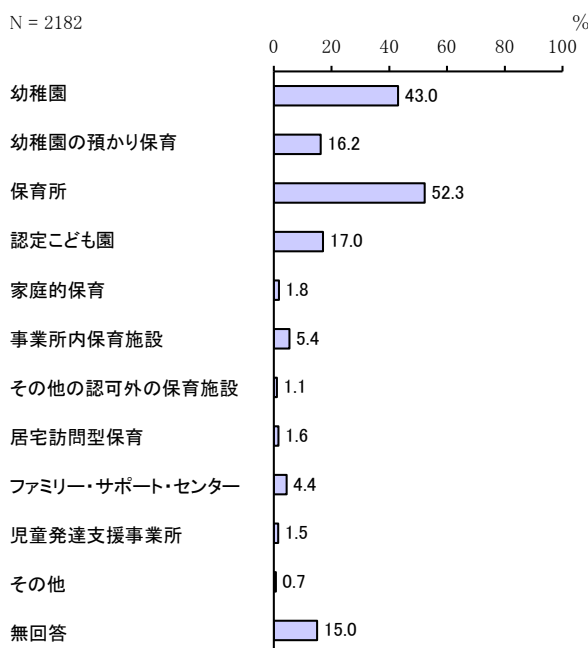


4 歳

① 希望する教育・保育事業

就学前児童では、「保育所」の割合が52.3%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が43.0%、「認定こども園」の割合が17.0%となっています。

【就学前児童】



【支援状況別】

支援状況別でみると、日常的に祖父母等の親族にみてもらえる人、緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる人で「保育所」の割合が高く、5割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所	その他	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	763	43.3	13.9	56.0	16.6	2.0	3.3	1.6	1.3	2.8	1.8	0.5	13.9
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	1348	41.4	15.5	53.5	16.5	1.9	5.8	0.9	1.6	4.6	1.6	0.6	14.3
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	65	38.5	13.8	44.6	10.8	3.1	1.5	1.5	1.5	3.1	—	—	26.2
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	269	41.6	15.2	48.7	13.4	2.2	3.0	0.7	1.9	2.6	—	0.4	20.1
いずれもない	212	49.5	24.5	43.4	18.9	1.4	9.4	1.4	3.3	9.0	0.9	1.9	18.4

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中であるで「保育所」の割合が高く、7割を超えています。

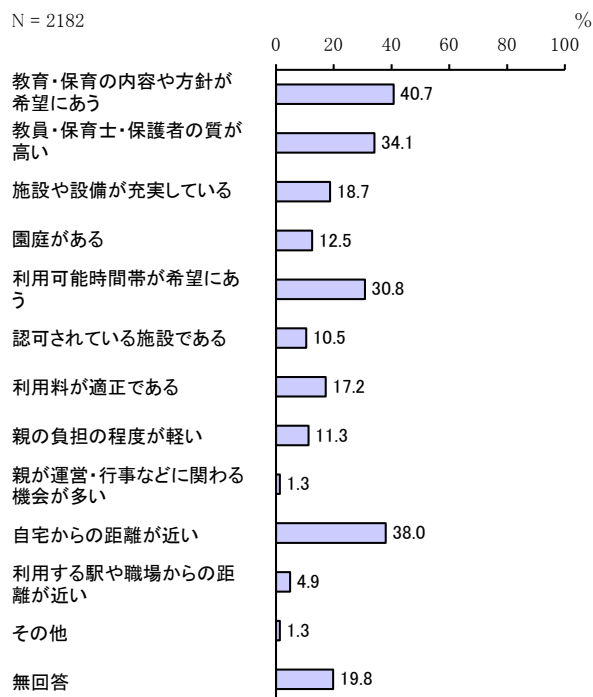
単位：％

区分	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	320	23.8	15.0	72.2	22.2	1.3	11.3	0.9	2.2	7.8	2.5	1.3	10.9
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	161	26.7	22.4	75.2	20.5	3.1	6.2	2.5	2.5	6.2	2.5	0.6	8.7
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	571	30.8	13.3	60.8	14.7	2.3	5.1	0.5	1.9	4.9	1.6	0.7	15.6
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	43	30.2	20.9	69.8	18.6	—	4.7	—	4.7	7.0	2.3	—	11.6
以前は就労していたが、現在は就労していない	973	59.0	16.9	38.5	16.5	1.5	3.7	1.3	1.2	3.0	1.0	0.5	16.0
これまで就労したことがない	63	55.6	19.0	20.6	9.5	3.2	1.6	—	—	—	—	—	27.0

② 事業を希望する上で重視する条件

就学前児童では、「教育・保育の内容や方針が希望にあう」の割合が40.7%と最も高く、次いで「自宅からの距離が近い」の割合が38.0%、「教員・保育士・保護者の質が高い」の割合が34.1%となっています。

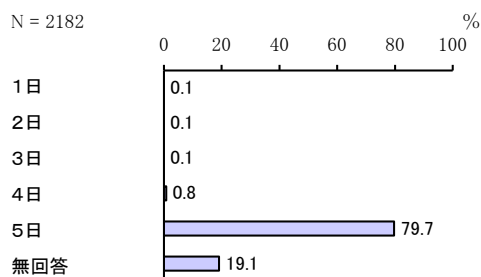
【就学前児童】



③ 1週あたり利用希望日数

就学前児童では、「5日」の割合が79.7%と最も高くなっています。

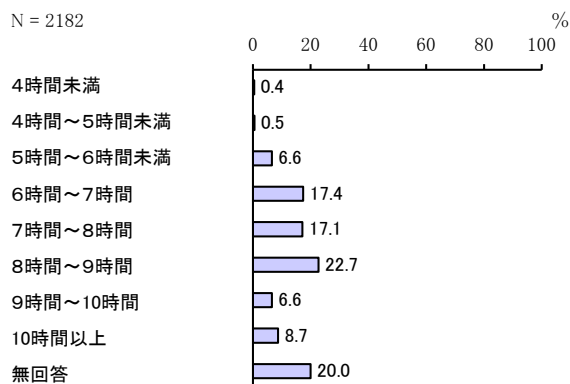
【就学前児童】



④ 1日あたり利用希望時間

就学前児童では、「8時間～9時間」の割合が22.7%と最も高く、次いで「6時間～7時間」の割合が17.4%、「7時間～8時間」の割合が17.1%となっています。

【就学前児童】

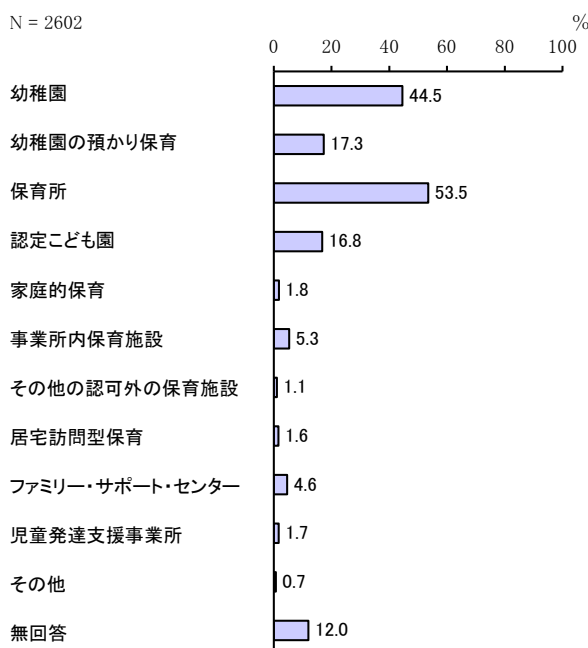


5歳

① 希望する教育・保育事業

就学前児童では、「保育所」の割合が53.5%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が44.5%、「幼稚園の預かり保育」の割合が17.3%となっています。

【就学前児童】



【支援状況別】

支援状況別でみると、いずれもない人で「幼稚園」の割合が高く、5割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所	その他	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	899	43.4	15.5	57.0	17.0	1.9	3.3	1.3	1.2	2.8	1.7	0.4	12.7
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	1610	43.7	17.0	54.5	16.3	1.8	5.7	0.9	1.6	4.8	1.9	0.8	10.6
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	76	39.5	15.8	48.7	13.2	2.6	1.3	1.3	1.3	3.9	—	—	18.4
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	336	46.1	18.2	50.0	14.3	2.4	3.6	0.6	1.5	3.6	—	0.9	13.7
いずれもない	258	50.4	23.3	41.9	18.2	1.2	8.9	1.9	2.7	8.1	1.2	1.2	17.4

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、以前は就労していたが、現在は就労していない、これまで就労したことがないで「幼稚園」の割合が高くなっています。

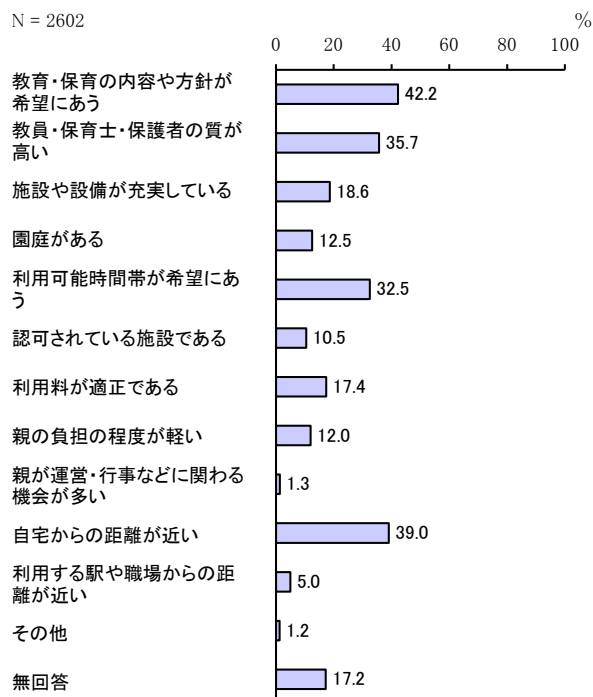
単位：％

区分	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	415	25.1	15.9	74.2	19.0	1.0	10.4	0.7	1.7	6.7	1.9	1.2	8.7
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	170	27.1	21.2	75.3	20.0	2.9	5.9	2.4	2.4	6.5	2.4	0.6	7.6
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	756	32.8	15.7	63.0	16.9	1.7	5.7	0.9	2.1	5.3	1.7	0.7	12.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	46	32.6	21.7	73.9	23.9	2.2	4.3	—	4.3	6.5	2.2	—	8.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	1071	61.8	17.8	37.3	15.8	2.0	3.4	1.2	1.2	3.3	1.6	0.7	13.3
これまで就労したことがない	82	73.2	23.2	19.5	9.8	3.7	1.2	—	—	—	—	—	13.4

② 事業を希望する上で重視する条件

就学前児童では、「教育・保育の内容や方針が希望にあう」の割合が42.2%と最も高く、次いで「自宅からの距離が近い」の割合が39.0%、「教員・保育士・保護者の質が高い」の割合が35.7%となっています。

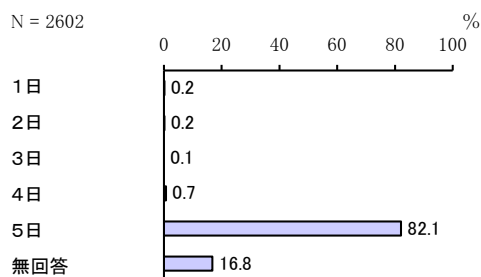
【就学前児童】



③ 1週あたり利用希望日数

就学前児童では、「5日」の割合が82.1%と最も高くなっています。

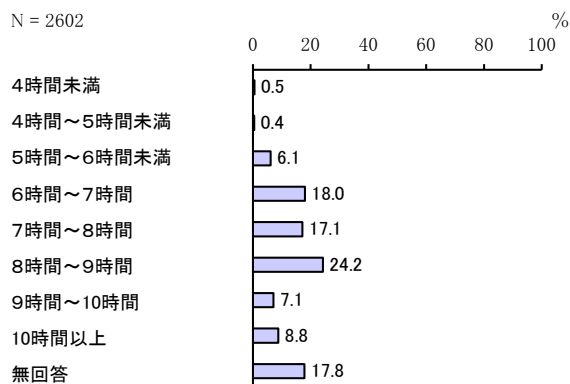
【就学前児童】



④ 1日あたり利用希望時間

就学前児童では、「8時間～9時間」の割合が24.2%と最も高く、次いで「6時間～7時間」の割合が18.0%、「7時間～8時間」の割合が17.1%となっています。

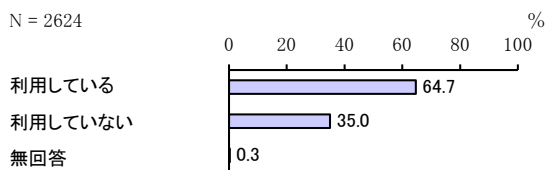
【就学前児童】



問 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。(就学前児童：問11)

就学前児童では、「利用している」の割合が64.7%、「利用していない」の割合が35.0%となっています。

【就学前児童】

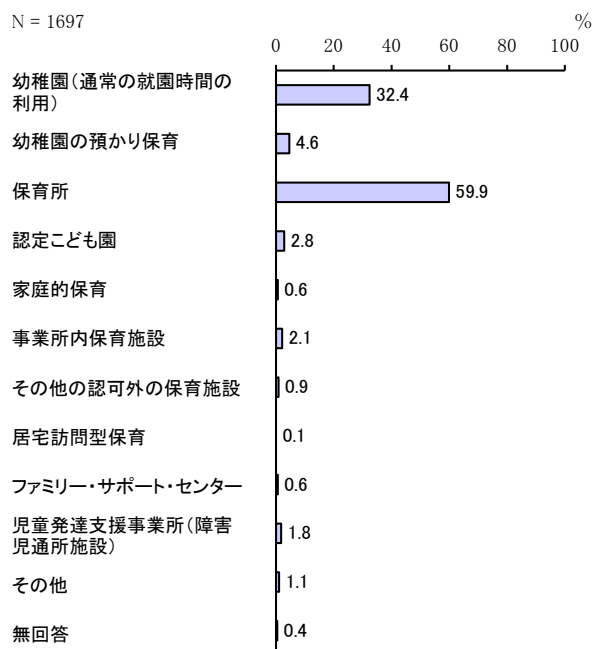


P. 48(就学前児童：問 11)で「利用している」と答えた方にかがいます。

問 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。
(就学前児童：問 11-1)

「保育所」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が 32.4%となっています。

【就学前児童】



選択肢	平成 20 年度調査	
	件数	割合
全 体	553	100.0
認可保育所	331	59.9
事業所内保育施設	14	2.5
その他の保育施設	24	4.3
幼稚園(通常の就園時間)	176	31.8
幼稚園(通常の就園時間を延長して行う預かりサービス)	14	2.5
ベビーシッター	2	0.4
ファミリー・サポート・センター	9	1.6
無回答	3	0.5

選択肢	平成 25 年度調査	
	件数	割合
全 体	1,697	100.0
幼稚園(通常の就園時間の利用)	549	32.4
幼稚園の預かり保育	78	4.6
保育所	1,017	59.9
認定こども園	47	2.8
家庭的保育	10	0.6
事業所内保育施設	36	2.1
その他の認可外の保育施設	15	0.9
居宅訪問型保育	1	0.1
ファミリー・サポート・センター	10	0.6
児童発達支援事業所(障害児通所施設)	31	1.8
その他	19	1.1
無回答	6	0.4

【年齢別】

年齢別でみると、3歳以上については「保育所」の割合が低く、「幼稚園（通常の就園時間）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所（障害児通所施設）	その他	無回答
0歳	53	—	3.8	84.9	—	1.9	11.3	1.9	—	—	1.9	—	—
1歳	135	0.7	1.5	85.2	0.7	0.7	8.9	0.7	—	2.2	1.5	3.7	—
2歳	239	11.3	1.3	74.1	3.8	1.3	4.2	2.1	0.4	0.4	5.4	2.1	—
3歳	408	39.0	2.7	54.4	3.4	0.2	0.2	0.7	—	0.2	1.7	1.0	0.7
4歳	440	43.2	5.9	50.9	2.7	—	0.7	0.9	—	0.2	1.4	0.7	0.5
5歳	408	40.9	8.3	55.1	2.7	1.0	1.0	0.2	—	1.0	0.5	0.5	0.2

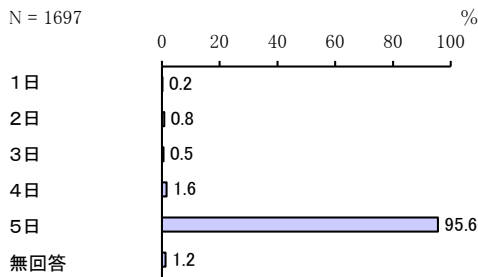
問 P. 48(就学前児童：問 11)で「利用している」と答えた方にうかがいます。平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを〔 〕内に具体的な数字で記入してください。（就学前児童：問 11-2）

現在の利用状況

① 1週当たり利用日数

就学前児童では、「5日」の割合が95.6%と最も高くなっています。

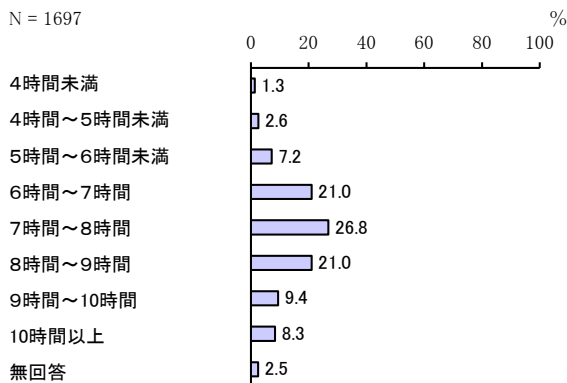
【就学前児童】



② 1日当たり利用時間

就学前児童では、「7時間～8時間」の割合が26.8%と最も高く、次いで「6時間～7時間」、「8時間～9時間」の割合が21.0%となっています。

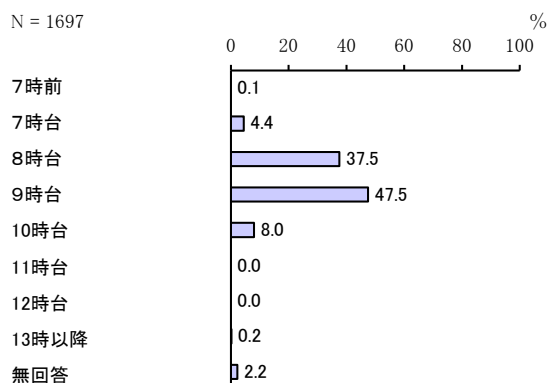
【就学前児童】



③ 開始時刻

就学前児童では、「9時台」の割合が47.5%と最も高く、次いで「8時台」の割合が37.5%となっています。

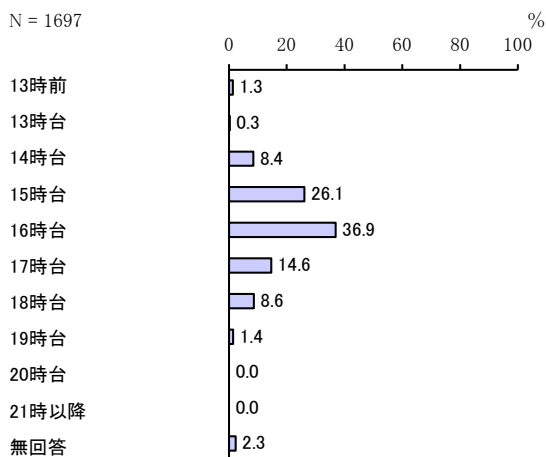
【就学前児童】



④ 終了時刻

就学前児童では、「16時台」の割合が36.9%と最も高く、次いで「15時台」の割合が26.1%、「17時台」の割合が14.6%となっています。

【就学前児童】

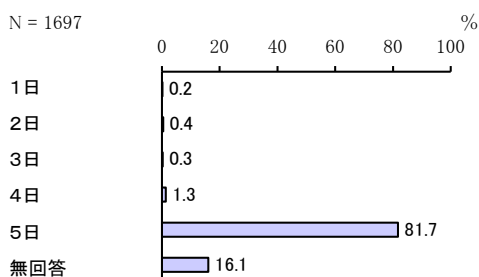


利用希望

① 1週当たり利用日数

就学前児童では、「5日」の割合が81.7%と最も高くなっています。

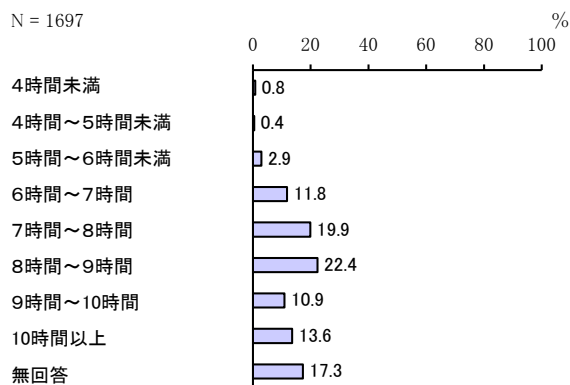
【就学前児童】



② 1日当たり利用時間

就学前児童では、「8時間～9時間」の割合が22.4%と最も高く、次いで「7時間～8時間」の割合が19.9%、「10時間以上」の割合が13.6%となっています。

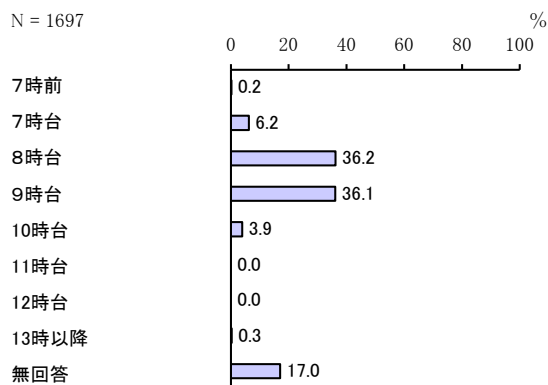
【就学前児童】



③ 開始時刻

就学前児童では、「8時台」の割合が36.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が36.1%となっています。

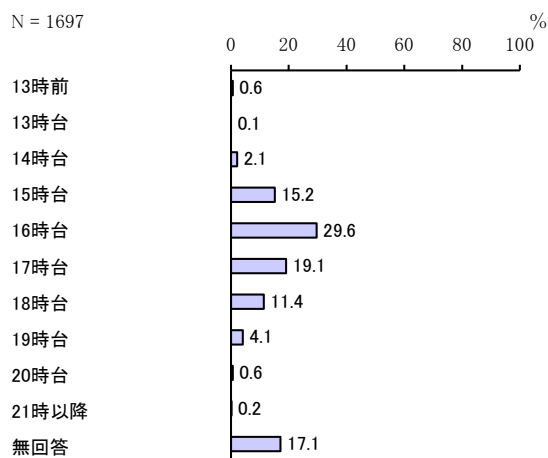
【就学前児童】



④ 終了時刻

就学前児童では、「16時台」の割合が29.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が19.1%、「15時台」の割合が15.2%となっています。

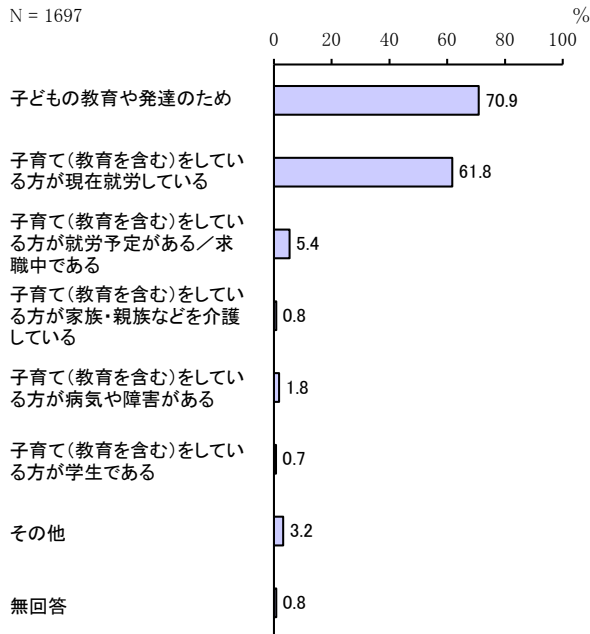
【就学前児童】



問 P. 48(就学前児童：問 11)で「利用している」と答えた方にうかがいます。平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 11-3)

就学前児童では、「子どもの教育や発達のため」の割合が 70.9%と最も高く、次いで「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」の割合が 61.8%となっています。

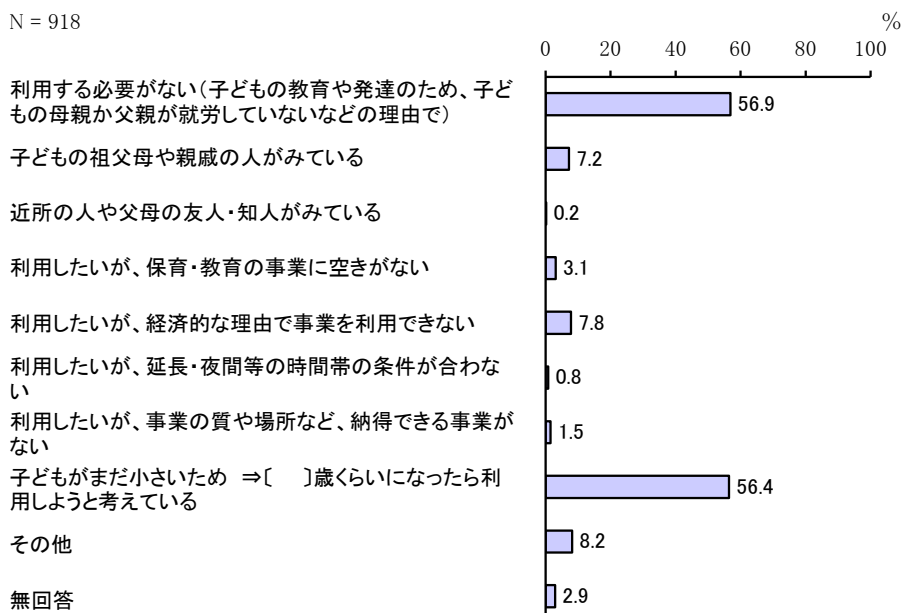
【就学前児童】



問 P. 48 学前児童：問 11)で「利用していない」と答えた方にうかがいます。平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。〔 〕内には数字を記入してください。(就学前児童：問 11-4)

就学前児童では、「利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため ⇒ 〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が 56.4%となっています。

【就学前児童】

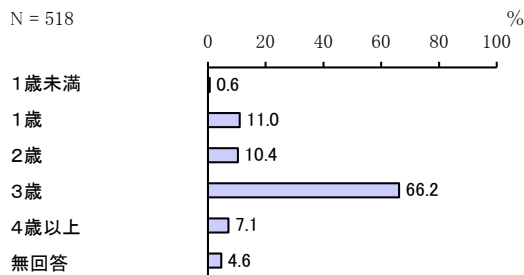


選択肢	平成 20 年度調査		平成 25 年度調査	
	件数	割合	件数	割合
全 体	531	100.0	918	100.0
利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)	266	50.1	522	56.9
子どもの祖父母や親戚の人がみている	63	11.9	66	7.2
近所の人や父母の友人・知人がみている	-	-	2	0.2
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	10	1.9	28	3.1
利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	25	4.7	72	7.8
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	1	0.2	7	0.8
利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	12	2.3	14	1.5
子どもがまだ小さいため	104	19.6	518	56.4
その他	21	4.0	75	8.2
無回答	29	5.5	27	2.9

「[] 歳くらいになったら利用しようと考えている」人の子どもの年齢

就学前児童では、「3歳」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「1歳」の割合が 11.0%、「2歳」の割合が 10.4%となっています。

【就学前児童】



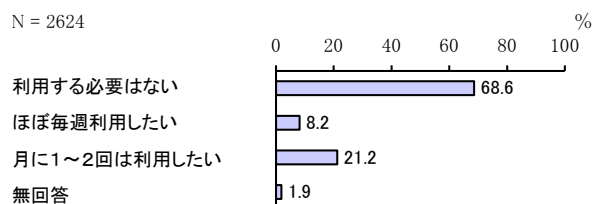
(2) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

問 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。（就学前児童：問12）

土曜日

就学前児童では、「利用する必要はない」の割合が68.6%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が21.2%となっています。

【就学前児童】

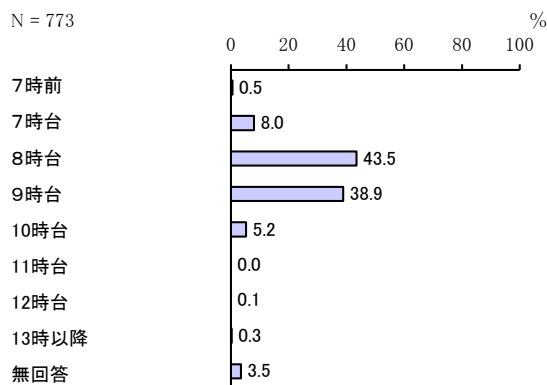


① 利用したい時間帯

ア 開始時刻

就学前児童では、「8時台」の割合が43.5%と最も高く、次いで「9時台」の割合が38.9%となっています。

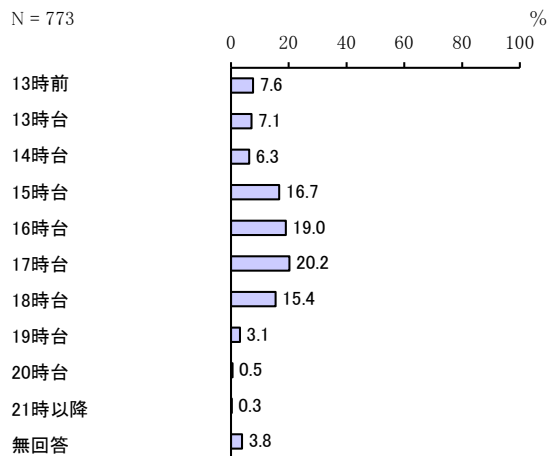
【就学前児童】



イ 終了時刻

就学前児童では、「17時台」の割合が20.2%と最も高く、次いで「16時台」の割合が19.0%、「15時台」の割合が16.7%となっています。

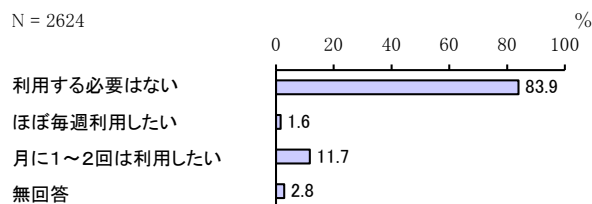
【就学前児童】



日曜日・祝日

就学前児童では、「利用する必要はない」の割合が83.9%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が11.7%となっています。

【就学前児童】

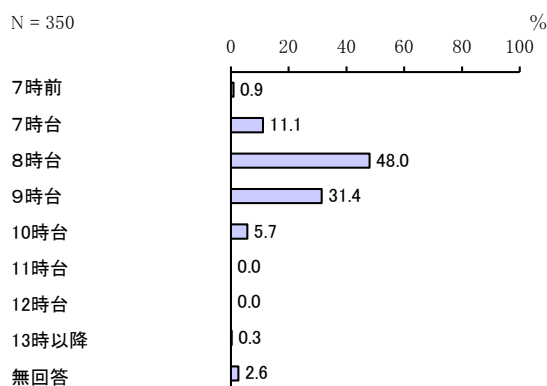


① 利用したい時間帯

ア 開始時刻

就学前児童では、「8時台」の割合が48.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が31.4%、「7時台」の割合が11.1%となっています。

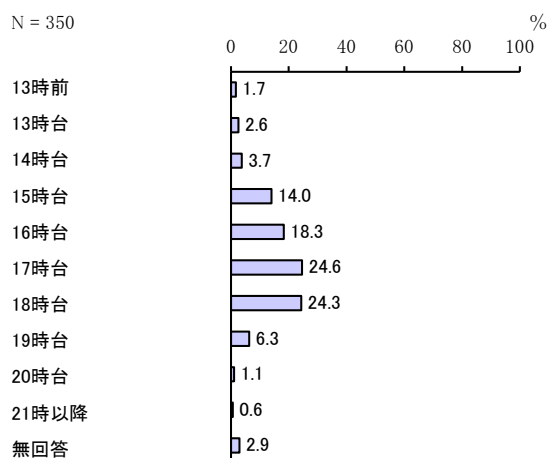
【就学前児童】



イ 終了時刻

就学前児童では、「17時台」の割合が24.6%と最も高く、次いで「18時台」の割合が24.3%、「16時台」の割合が18.3%となっています。

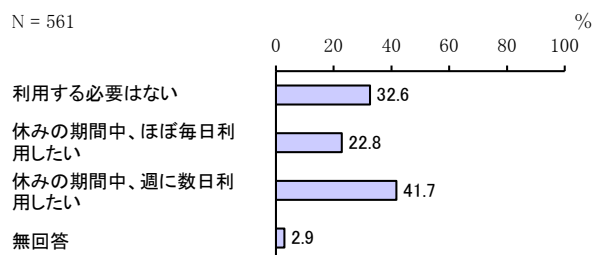
【就学前児童】



問 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。(就学前児童：問 13)

就学前児童では、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が41.7%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が32.6%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が22.8%となっています。

【就学前児童】

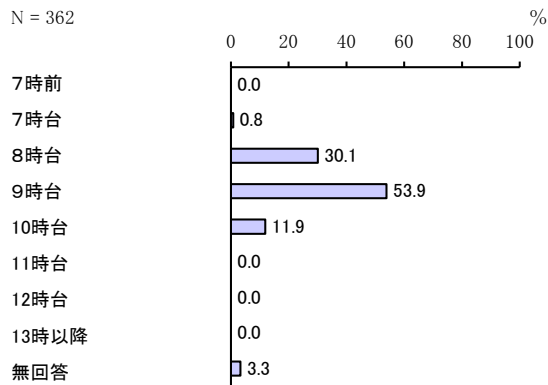


利用したい時間帯

① 開始時刻

就学前児童では、「9時台」の割合が53.9%と最も高く、次いで「8時台」の割合が30.1%、「10時台」の割合が11.9%となっています。

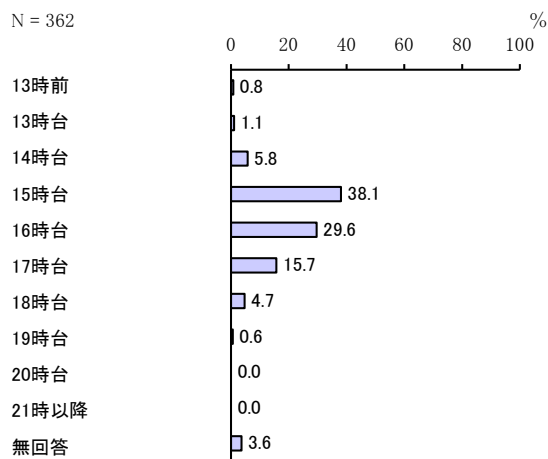
【就学前児童】



② 終了時刻

就学前児童では、「15時台」の割合が38.1%と最も高く、次いで「16時台」の割合が29.6%、「17時台」の割合が15.7%となっています。

【就学前児童】

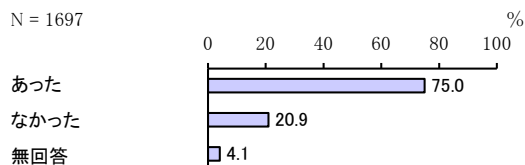


(3) 病気の際の対応

問 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた方にうかがいます。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)(就学前児童：問14)

就学前児童では、「あった」の割合が75.0%、「なかった」の割合が20.9%となっています。

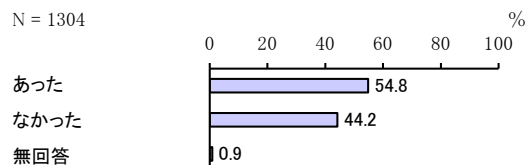
【就学前児童】



問 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校へ行けなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。(就学児童：問20)

就学児童では、「あった」の割合が54.8%、「なかった」の割合が44.2%となっています。

【就学児童】



問 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった（学校へ行けなかった）場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字で記入してください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。（就学前児童：問14-1、就学児童：問20-1）

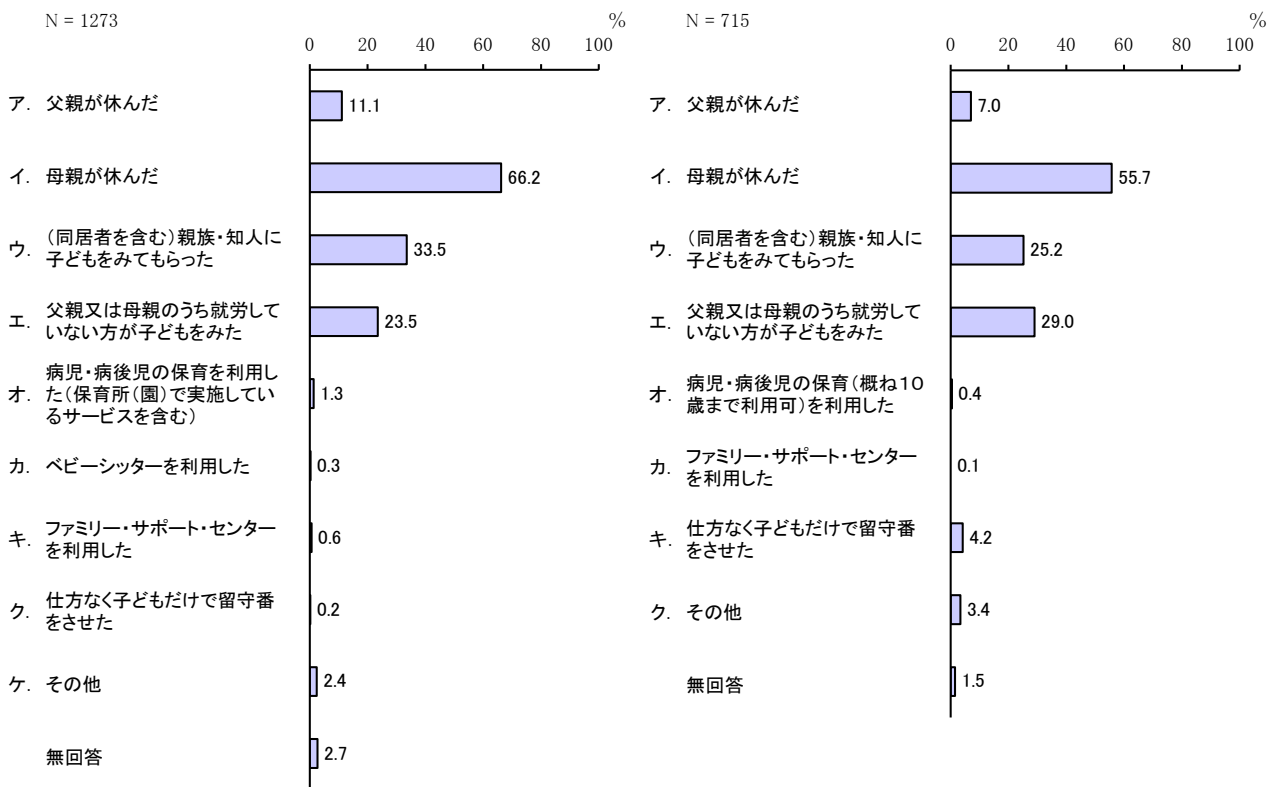
1年間の対処方法

就学前児童では、「イ. 母親が休んだ」の割合が66.2%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が33.5%、「エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が23.5%となっています。

就学児童では、「イ. 母親が休んだ」の割合が55.7%と最も高く、次いで「エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が29.0%、「ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が25.2%となっています。

【就学前児童】

【就学児童】



【年齢別】

年齢別でみると、就学前児童では0歳、1歳で「イ. 母親が休んだ」の割合が8割を超えています。3歳で「エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。就学児童では「イ. 母親が休んだ」の割合は5割を超えており、6歳では「エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が約3割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	た 人 に 子 ど も を み て も ら つ た (同居者を含む)親族・知	みた 父親又は母親のうち就労 していない方が子どもを	した 病児・病後児の保育を利用	た ベビーシッターを利用し	ンターを利用した ファミリー・サポート・セ	守番をさせた 仕方なく子どもだけで留	その他	無回答
0歳	39	20.5	89.7	41.0	2.6	—	—	—	—	—	2.6
1歳	111	16.2	81.1	47.7	9.0	1.8	0.9	1.8	0.9	1.8	5.4
2歳	180	14.4	75.0	38.9	14.4	1.7	0.6	0.6	—	3.9	2.8
3歳	311	10.6	61.1	29.6	32.2	1.6	—	0.3	—	2.3	2.9
4歳	331	8.8	61.9	34.1	26.9	0.6	0.6	—	—	1.8	1.8
5歳	289	9.0	62.6	27.0	23.5	1.0	—	1.4	0.3	3.1	2.8

単位：％

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	た 人 に 子 ど も を み て も ら つ た (同居者を含む)親族・知	みた 父親又は母親のうち就労 していない方が子どもを	した 病児・病後児の保育を利用	ンターを利用した ファミリー・サポート・セ	守番をさせた 仕方なく子どもだけで留	その他	無回答
6歳(1年生)	213	7.5	55.9	20.2	31.0	0.5	—	2.8	1.9	2.8
7歳(2年生)	260	7.3	55.8	28.1	28.1	0.8	0.4	3.1	3.8	1.5
8歳(3年生)	242	6.2	55.4	26.4	28.1	—	—	6.6	4.1	0.4

【支援状況別】

親族の支援別でみると、就学前児童では日常的に祖父母等の親族にみてもらえる人は「イ. 母親が休んだ」、「ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。

就学児童では日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる人で「イ. 母親が休んだ」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

単位：％

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	411	8.5	58.6	47.7	21.9	1.2	—	0.2	—	1.9	3.4
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	780	12.2	69.9	35.0	23.7	0.9	0.5	0.3	0.3	2.4	2.2
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	35	5.7	74.3	25.7	22.9	—	—	—	—	—	2.9
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	171	8.8	62.0	27.5	30.4	0.6	—	1.8	—	1.8	2.9
いずれもない	134	14.2	67.9	2.2	26.1	3.0	—	2.2	0.7	3.7	5.2

【就学児童】

単位：％

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	217	5.5	51.2	49.8	20.3	—	0.5	2.3	3.2	0.9
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	431	6.5	59.2	20.4	31.6	0.7	—	4.4	2.8	1.2
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	30	3.3	66.7	26.7	13.3	—	—	6.7	3.3	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	139	5.8	55.4	17.3	33.8	1.4	—	4.3	2.2	0.7
いずれもない	64	10.9	51.6	—	28.1	—	—	4.7	7.8	6.3

【母親の就労状況別】

家族類型別でみると、就学前児童ではフルタイム、パート・アルバイト等で就労している人で「イ。母親が休んだ」の割合が7割を超えています。就学児童ではフルタイム、パート・アルバイト等で就労している人で「イ。母親が休んだ」の割合が約7割となっています。

【就学前児童】

単位：％

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した(保育所(園)で実施しているサービスを含む)	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	322	25.2	79.5	58.1	3.4	2.5	0.6	1.2	—	2.8	3.1
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	46	15.2	50.0	37.0	32.6	—	—	2.2	2.2	2.2	6.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	549	6.7	86.0	33.7	7.8	0.7	0.2	0.5	0.2	2.2	1.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	24	4.2	79.2	20.8	8.3	—	4.2	—	—	—	8.3
以前は就労していたが、現在は就労していない	275	4.0	20.4	7.3	73.5	0.7	—	—	—	3.3	3.6
これまで就労したことがない	25	4.0	8.0	4.0	76.0	4.0	—	—	4.0	—	8.0

【就学児童】

単位：％

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	171	15.8	67.8	49.1	4.1	1.2	—	7.0	7.0	1.2
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	6	—	66.7	50.0	16.7	—	—	—	—	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	314	4.8	77.1	24.2	9.2	0.3	—	5.4	3.2	1.3
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	2	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	172	0.6	14.5	4.1	84.3	—	0.6	0.6	0.6	1.7
これまで就労したことがない	29	3.4	6.9	10.3	72.4	—	—	—	3.4	6.9

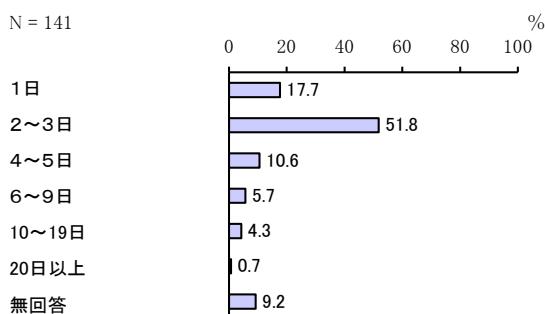
年間の対処方法別日数

① 父親が休んだ

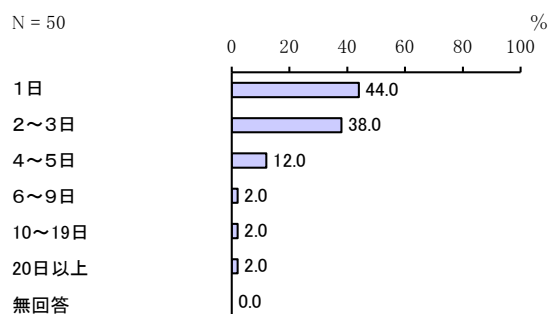
就学前児童では、「2～3日」の割合が51.8%と最も高く、次いで「1日」の割合が17.7%、「4～5日」の割合が10.6%となっています。

就学児童では、「1日」の割合が44.0%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が38.0%、「4～5日」の割合が12.0%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

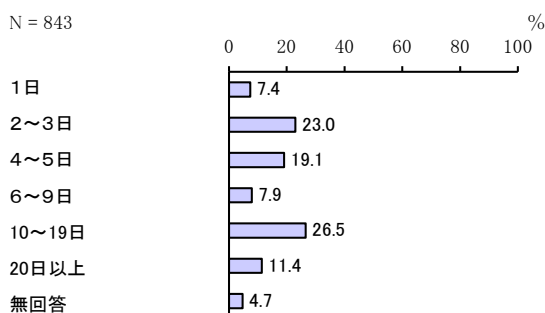


② 母親が休んだ

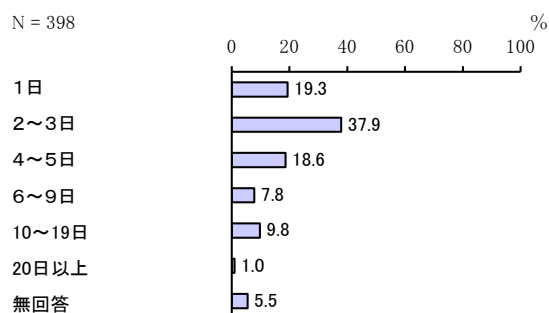
就学前児童では、「10～19日」の割合が26.5%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が23.0%、「4～5日」の割合が19.1%となっています。

就学児童では、「2～3日」の割合が37.9%と最も高く、次いで「1日」の割合が19.3%、「4～5日」の割合が18.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

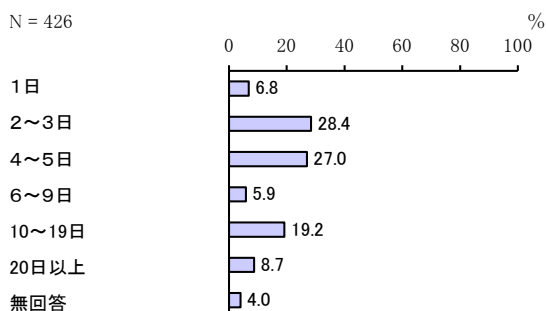


③ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった

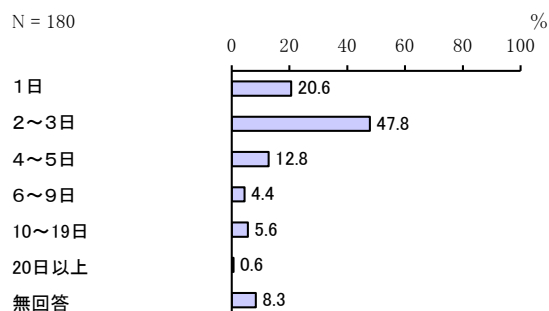
就学前児童では、「2～3日」の割合が28.4%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が27.0%、「10～19日」の割合が19.2%となっています。

就学児童では、「2～3日」の割合が47.8%と最も高く、次いで「1日」の割合が20.6%、「4～5日」の割合が12.8%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

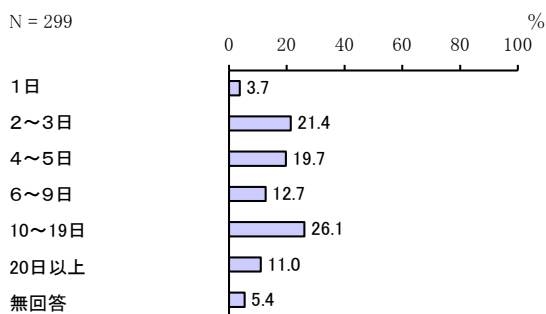


④ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた

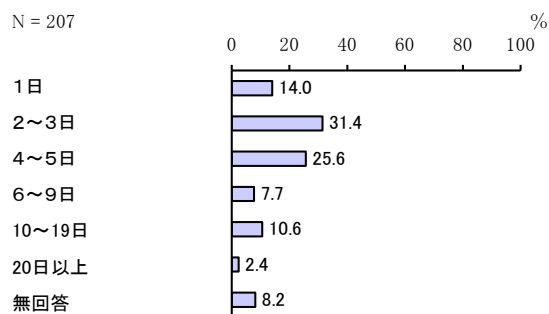
就学前児童では、「10～19日」の割合が26.1%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が21.4%、「4～5日」の割合が19.7%となっています。

就学児童では、「2～3日」の割合が31.4%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が25.6%、「1日」の割合が14.0%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

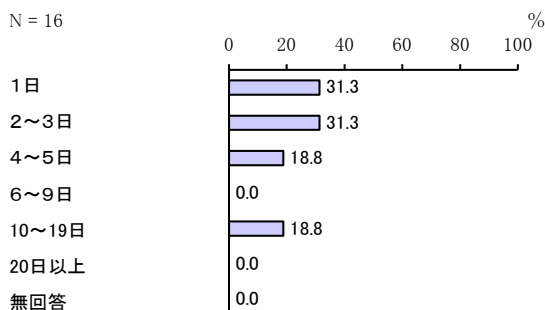


⑤ 病児・病後児の保育を利用した

就学前児童では、「1日」、「2～3日」の割合が31.3%と最も高く、次いで、「4～5日」、「10～19日」の割合が18.8%となっています。

就学児童では、「2～3日」が2件、「1日」が1件となっています。

【就学前児童】



⑥ ベビーシッターを利用した

就学前児童では、「2～3日」が2件、「4～5日」、「6～9日」が1件となっています。

⑦ ファミリー・サポート・センターを利用した

就学前児童では、「10～19日」が4件、「2～3日」が2件、「1日」、「4～5日」が1件となっています。

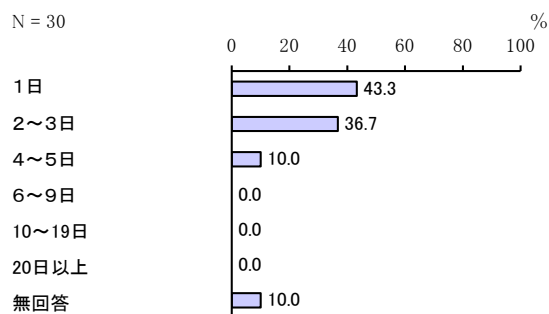
就学児童では、有効回答はありません。

⑧ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

就学前児童では、「2～3日」が2件となっています。

就学児童では、「1日」の割合が43.3%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が36.7%、「4～5日」の割合が10.0%となっています。

【就学児童】

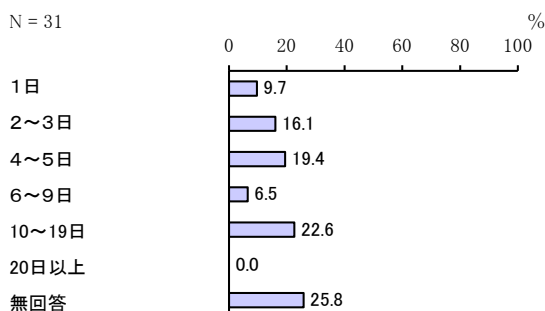


⑨ その他

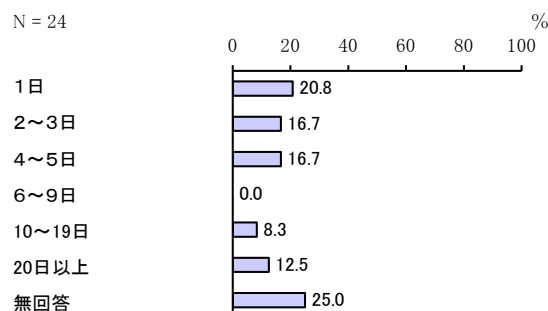
就学前児童では、「10～19日」の割合が22.6%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が19.4%、「2～3日」の割合が16.1%となっています。

就学児童では、「1日」の割合が20.8%と最も高く、次いで「2～3日」、「4～5日」の割合が16.7%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

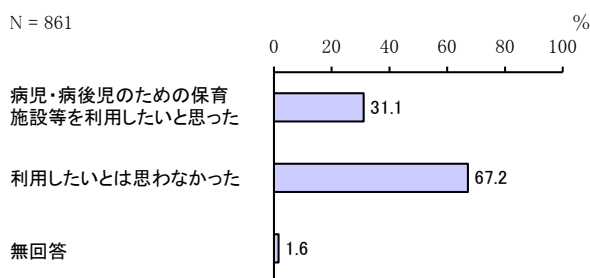


問 P. 61(就学前児童：問 14-1、就学児童：問 20-1)で「ア. 父親が休んだ」または「イ. 母親が休んだ」と答えた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。次に、⇒の設問についてもお答えください。〔 〕内には数字を記入してください。なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(就学前児童：問 14-2、就学児童：問 20-2)

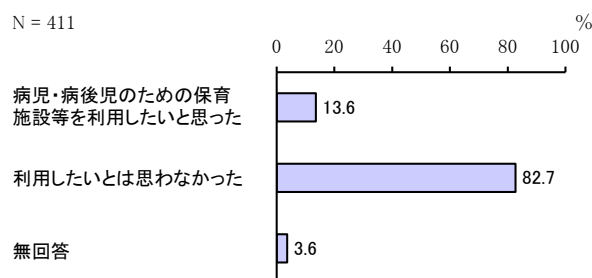
就学前児童では、「利用したいとは思わなかった」の割合が67.2%、「病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思った」の割合が31.1%となっています。

「利用したいとは思わなかった」の割合が82.7%、「病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思った」の割合が13.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



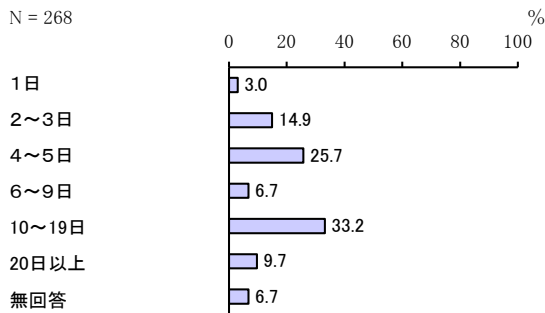
利用したいと思った

① 利用したい年間日数

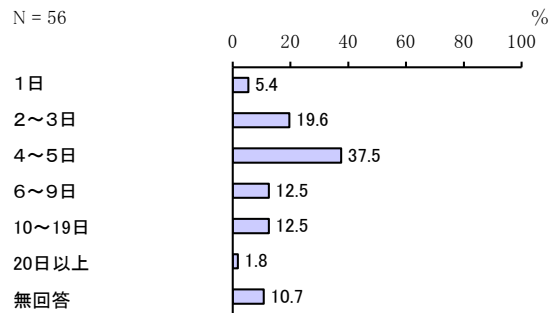
就学前児童では、「10～19日」の割合が33.2%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が25.7%、「2～3日」の割合が14.9%となっています。

就学児童では、「4～5日」の割合が37.5%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が19.6%、「6～9日」、「10～19日」の割合が12.5%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

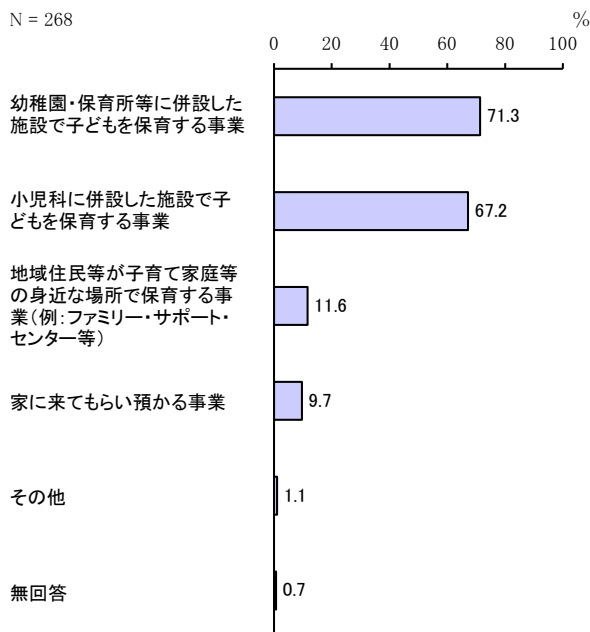


② 希望の事業形態

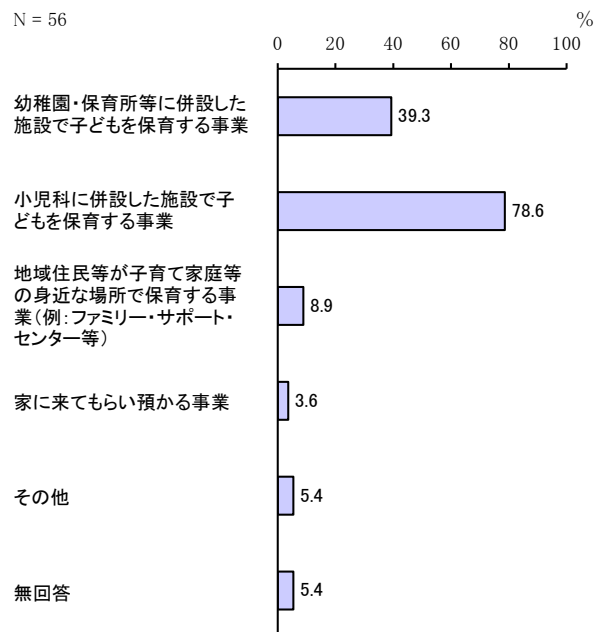
就学前児童では、「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が71.3%と最も高く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が67.2%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が11.6%となっています。

就学児童では、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が78.6%と最も高く、次いで「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が39.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



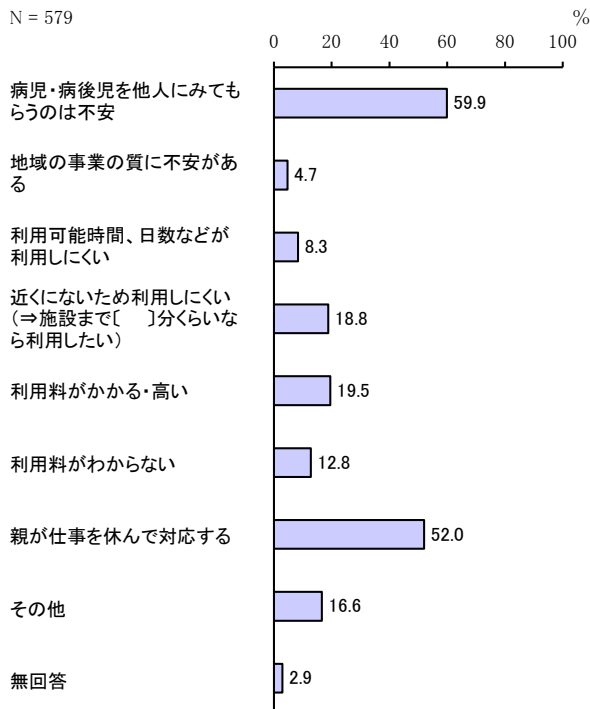
利用したいとは思わなかった

① 理由

就学前児童では、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」の割合が 52.0%、「利用料がかかる・高い」の割合が 19.5%となっています。

就学児童では、「親が仕事を休んで対応する」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が 51.5%、「利用料がかかる・高い」の割合が 18.5%となっています。

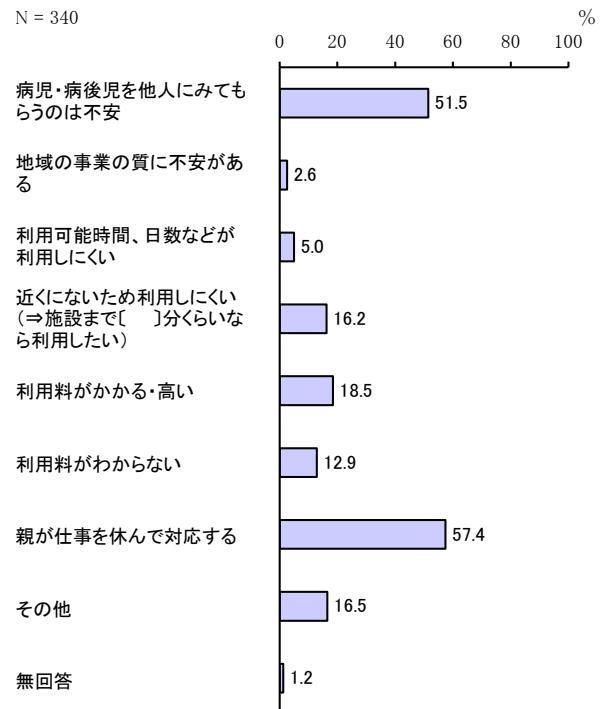
【就学前児童】



その他の主な回答

- ・自分で看病したい
- ・子どもが不安になる、嫌がる
- ・祖父母など看病してくれる人がいる

【就学児童】



その他の主な回答

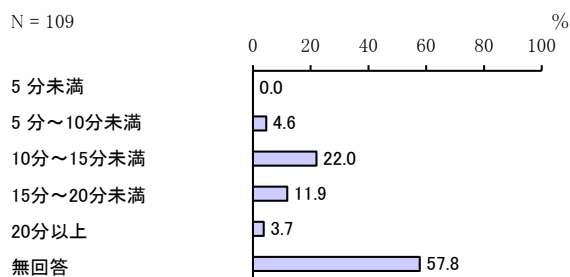
- ・施設の存在を知らなかった、子どもが不安になる・嫌がる
- ・自分で看病したい、場所や利用方法が分からない

② 施設までの希望所要時間

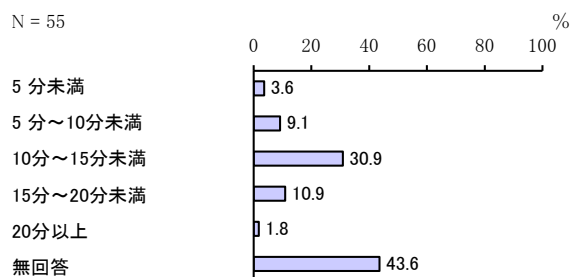
就学前児童では、「10分～15分未満」の割合が22.0%と最も高く、次いで「15分～20分未満」の割合が11.9%となっています。

就学児童では、「10分～15分未満」の割合が30.9%と最も高く、次いで「15分～20分未満」の割合が10.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



(4) 不定期の教育・保育事業等の利用

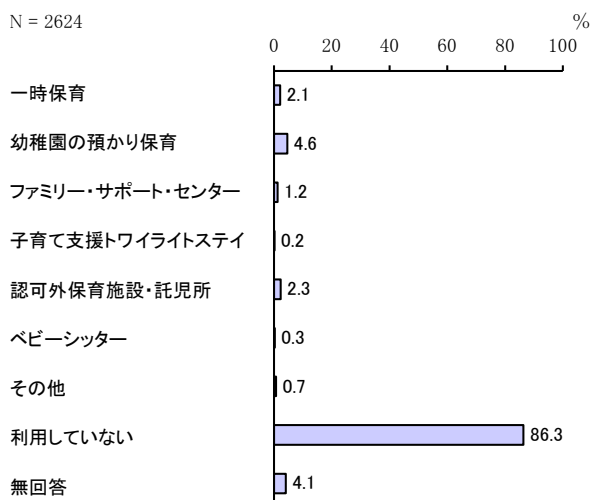
問 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も〔 〕内に数字で記入してください。（就学前児童：問 15、就学児童：問 21）

利用している事業

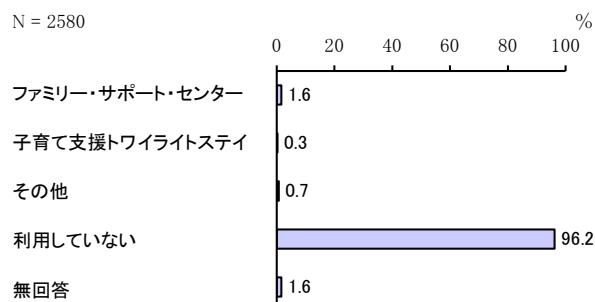
就学前児童では、「利用していない」の割合が86.3%と最も高くなっています。

就学児童では、「利用していない」の割合が96.2%と最も高くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】

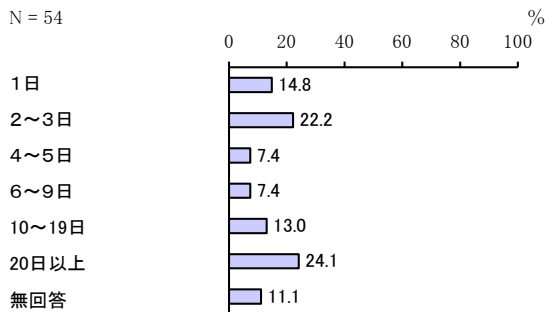


利用している事業別年間日数

① 一時保育

就学前児童では、「20日以上」の割合が24.1%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が22.2%、「1日」の割合が14.8%となっています。

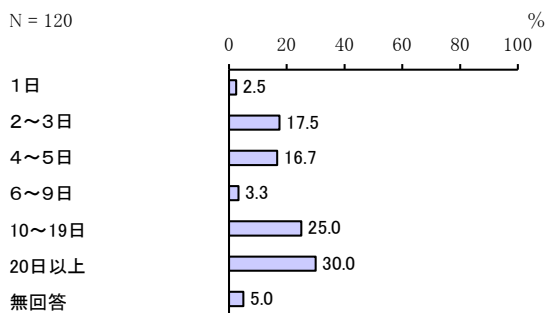
【就学前児童】



② 幼稚園の預かり保育

就学前児童では、「20日以上」の割合が30.0%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が25.0%、「2～3日」の割合が17.5%となっています。

【就学前児童】

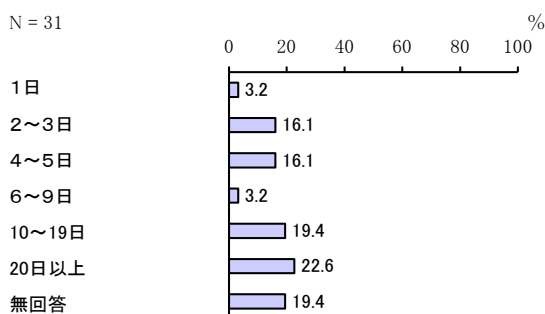


③ ファミリー・サポート・センター

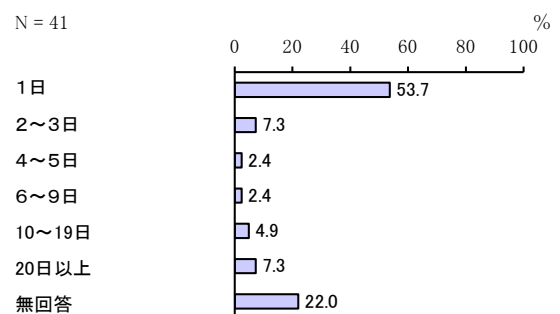
就学前児童では、「20日以上」の割合が22.6%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が19.4%、「2～3日」、「4～5日」の割合が16.1%となっています。

就学児童では、「1日」の割合が53.7%と最も高くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】



④ 子育て支援トワイライトステイ

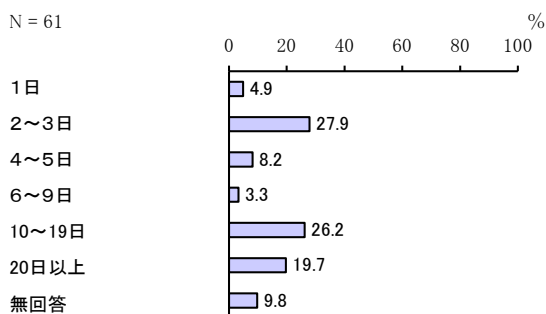
就学前児童では、「4～5日」が1件となっています。

就学児童では、「4～5日」が2件、「2～3日」、「20日以上」が1件となっています。

⑤ 認可外保育施設・託児所

就学前児童では、「2～3日」の割合が27.9%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が26.2%、「20日以上」の割合が19.7%となっています。

【就学前児童】



⑥ ベビーシッター

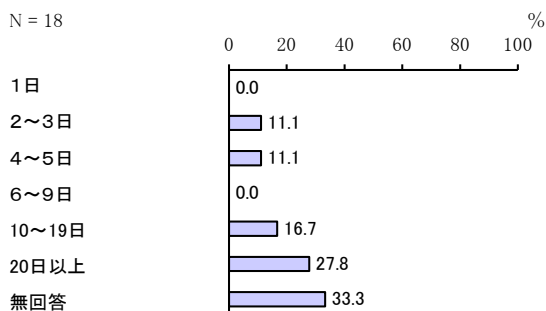
就学前児童では、「2～3日」が2件、「4～5日」、「20日以上」が1件となっています。

⑦ その他

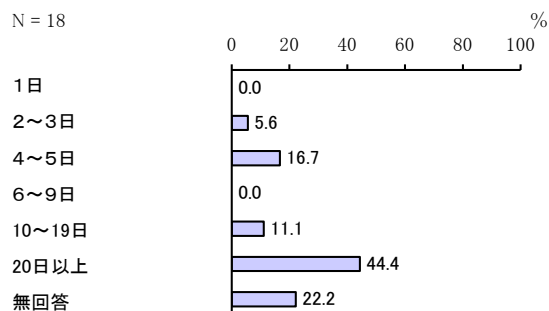
就学前児童では、「20日以上」の割合が27.8%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が16.7%、「2～3日」、「4～5日」の割合が11.1%となっています。

就学児童では、「20日以上」の割合が44.4%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が16.7%、「10～19日」の割合が11.1%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

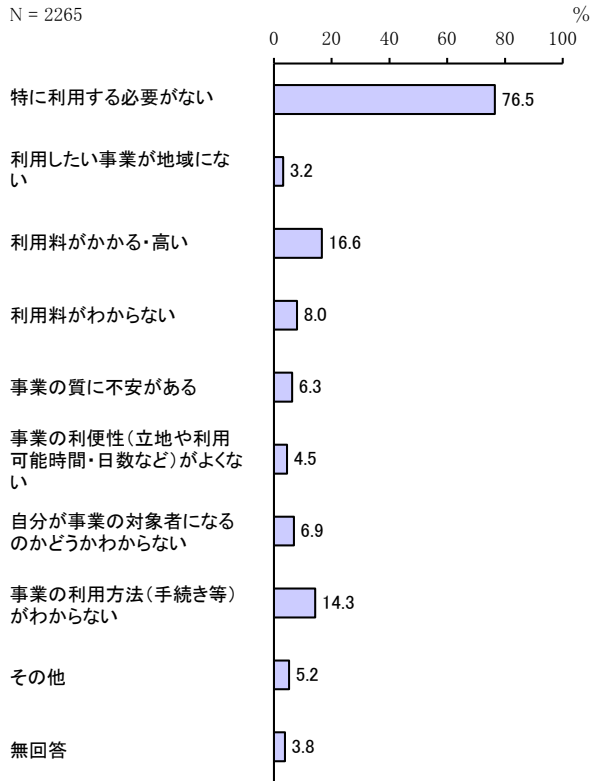


利用していない理由

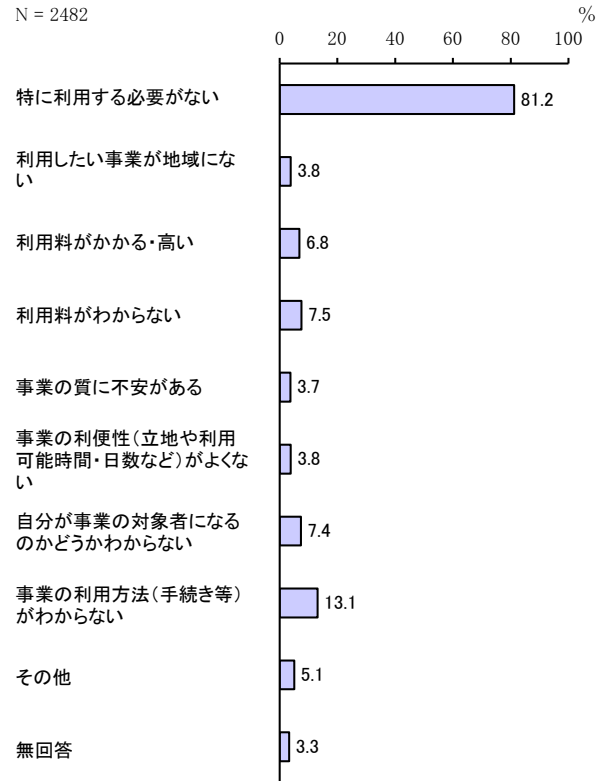
就学前児童では、「特に利用する必要がない」の割合が 76.5%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 16.6%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 14.3%となっています。

就学児童では、「特に利用する必要がない」の割合が 81.2%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 13.1%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

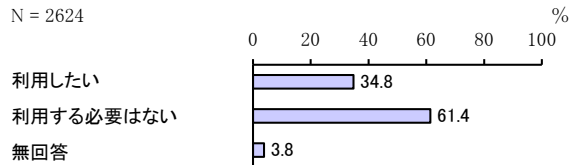


問 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を〔 〕内に数字で記入してください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を〔 〕内に数字で記入してください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（就学前児童：問 16、就学児童：問 22）

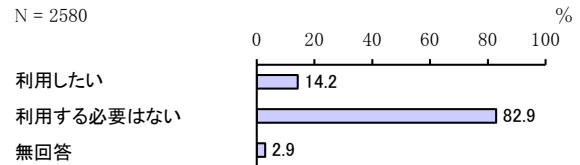
就学前児童では、「利用したい」の割合が 34.8%、「利用する必要はない」の割合が 61.4%となっています。

「利用したい」の割合が 14.2%、「利用する必要はない」の割合が 82.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

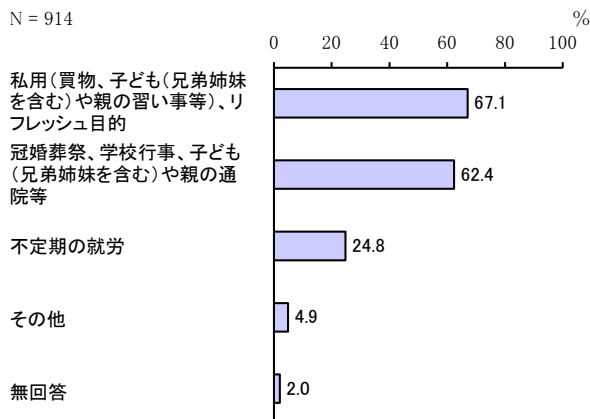


利用したい目的

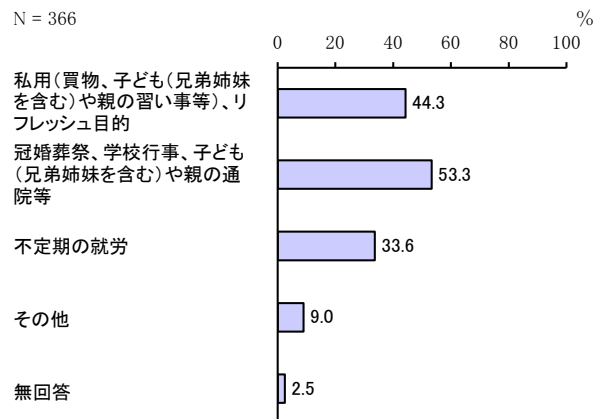
就学前児童では、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 62.4%、「不定期の就労」の割合が 24.8%となっています。

就学児童では、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 44.3%、「不定期の就労」の割合が 33.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

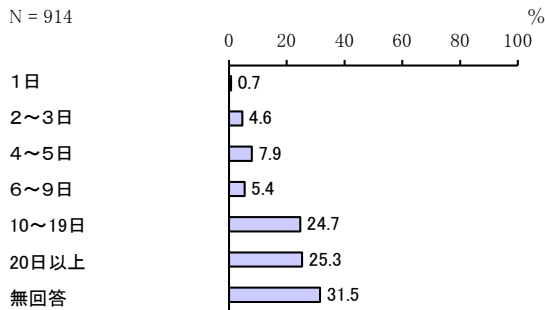


利用したい合計日数

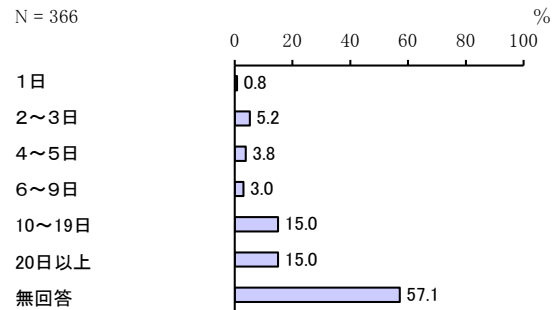
就学前児童では、「20日以上」の割合が25.3%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が24.7%となっています。

就学児童では、「10～19日」、「20日以上」の割合が15.0%と最も高くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】



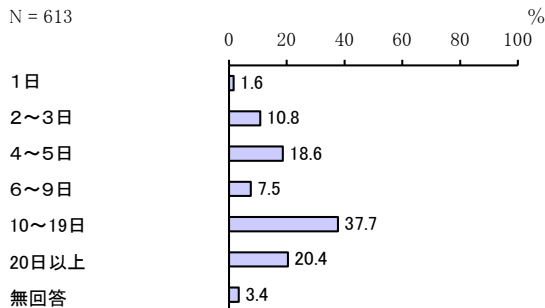
利用したい目的別合計日数

① 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

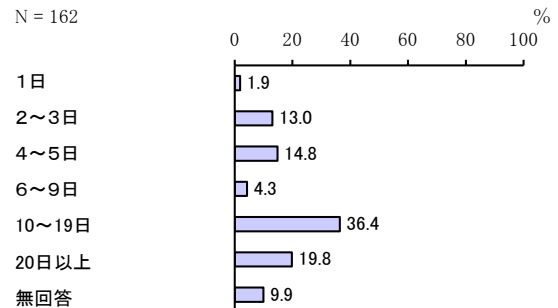
就学前児童では、「10～19日」の割合が37.7%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が20.4%、「4～5日」の割合が18.6%となっています。

就学児童では、「10～19日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が19.8%、「4～5日」の割合が14.8%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

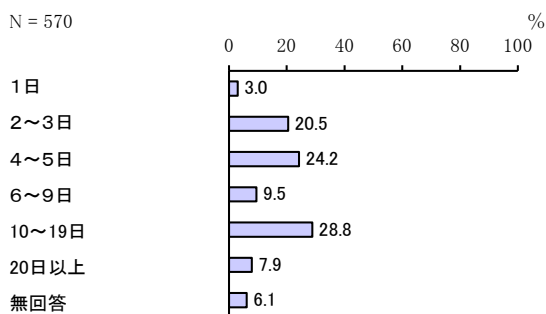


② 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

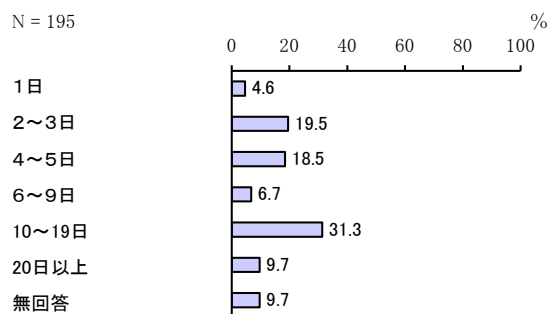
就学前児童では、「10～19日」の割合が28.8%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が24.2%、「2～3日」の割合が20.5%となっています。

就学児童では、「10～19日」の割合が31.3%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が19.5%、「4～5日」の割合が18.5%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

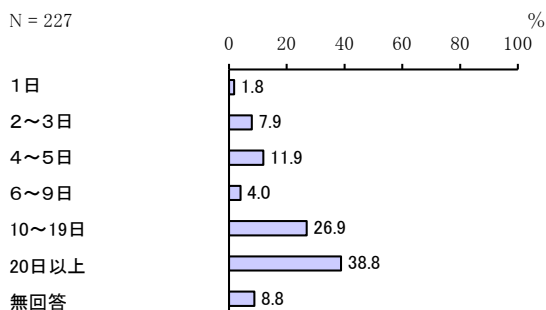


③ 不定期の就労

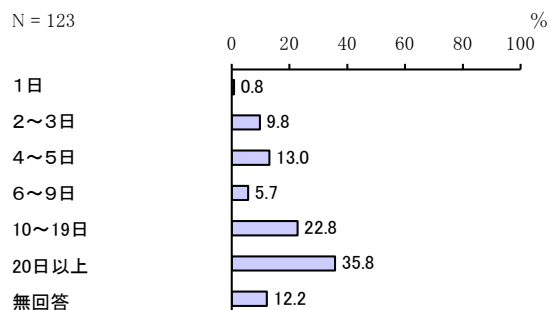
就学前児童では、「20日以上」の割合が38.8%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が26.9%、「4～5日」の割合が11.9%となっています。

就学児童では、「20日以上」の割合が35.8%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が22.8%、「4～5日」の割合が13.0%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

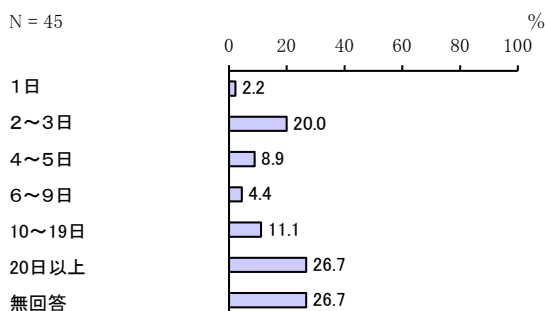


④ その他

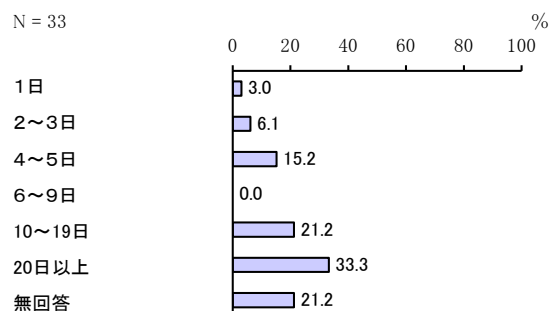
就学前児童では、「20日以上」の割合が26.7%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が20.0%、「10～19日」の割合が11.1%となっています。

就学児童では、「20日以上」の割合が33.3%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が21.2%、「4～5日」の割合が15.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

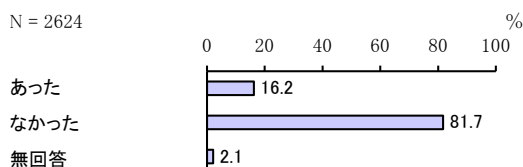


問 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字で記入してください。（就学前児童：問17、就学児童：問23）

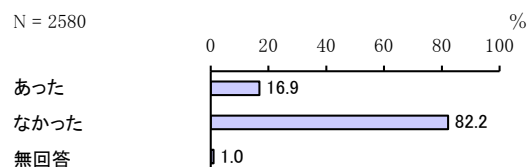
就学前児童では、「あった」の割合が16.2%、「なかった」の割合が81.7%となっています。

就学児童では、「あった」の割合が16.9%、「なかった」の割合が82.2%となっています。

【就学前児童】

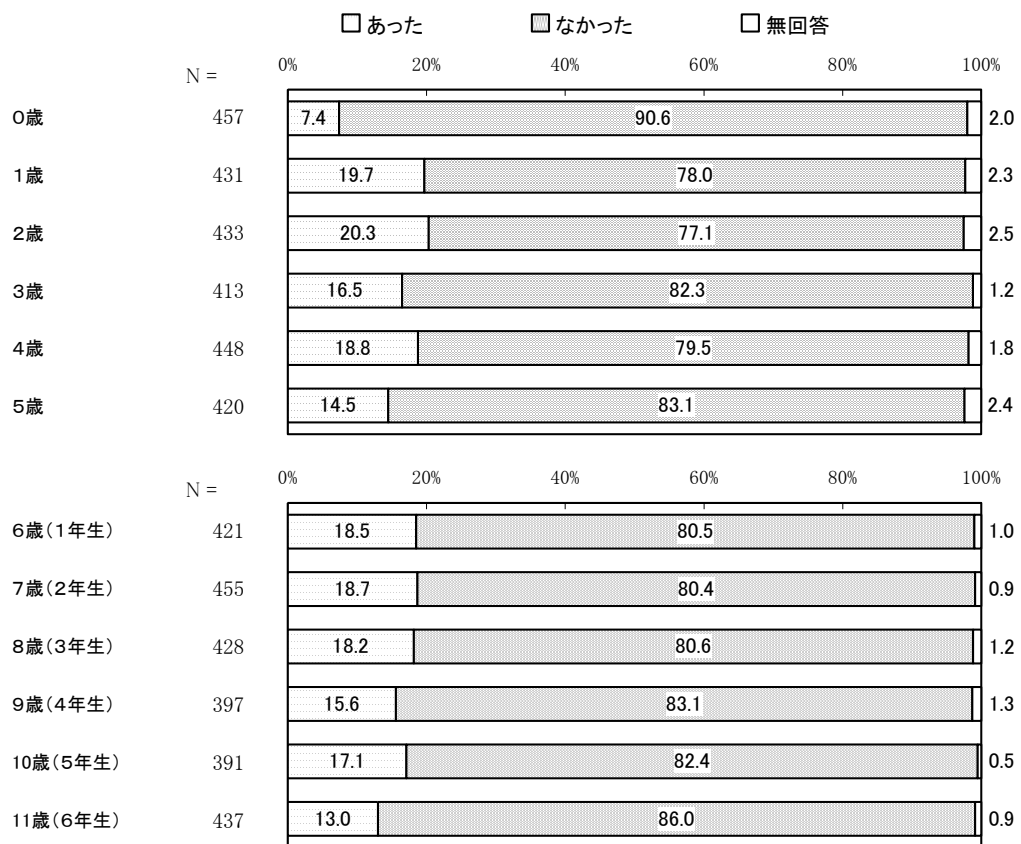


【就学児童】



【年齢別】

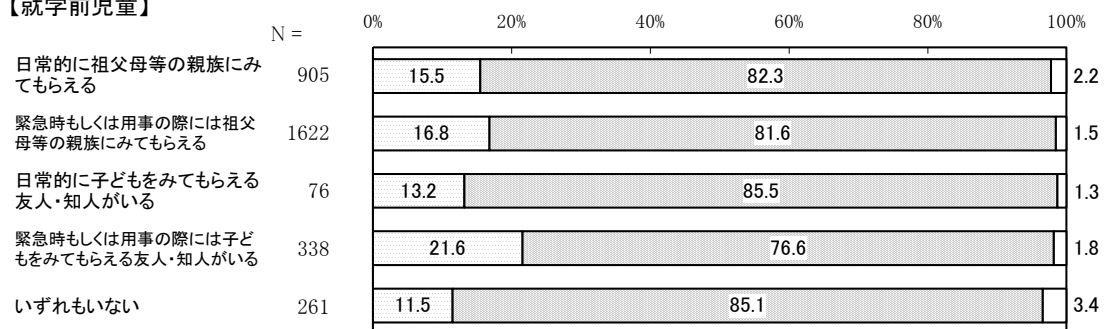
年齢別でみると、就学前児童では1～4歳で「あった（預け先が見つからなかった場合も含む）」の割合が約2割となっています。就学児童では大きな差異はみられません。



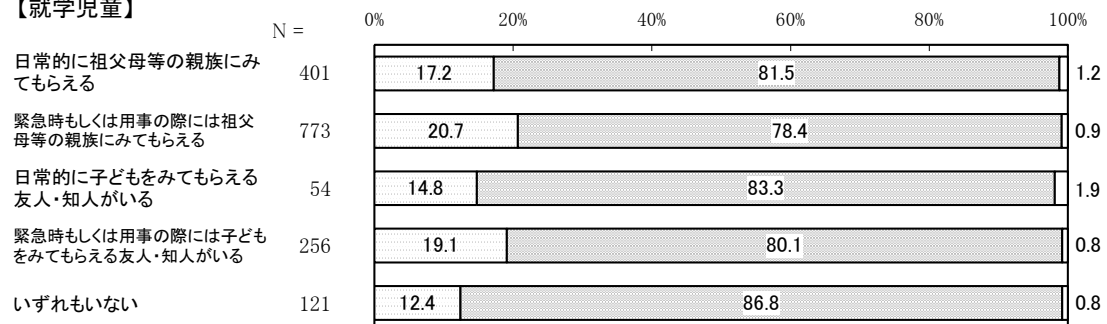
【支援状況別】

支援状況別でみると、就学前児童、就学児童ともに、いずれもいないで「あった」の割合が低くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】



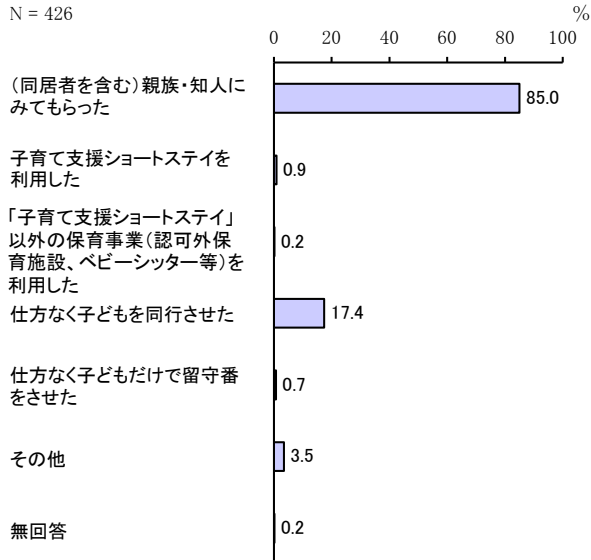
1年間の対処方法

就学前児童では、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が 85.0%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が 17.4%となっています。

就学児童では、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が 85.7%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が 11.7%となっています。

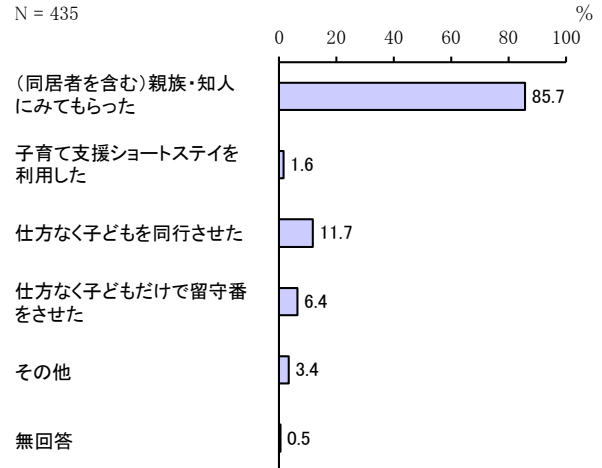
【就学前児童】

N = 426



【就学児童】

N = 435



【年齢別】

年齢別でみると、就学前児童では、3歳で「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」、「仕方なく子どもを同行させた」の割合が高くなっています。就学児童では、9歳以下で「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が高く、約9割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	子育て支援ショートステイを利用した	「子育て支援ショートステイ」以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
0歳	34	58.8	2.9	—	38.2	—	5.9	2.9
1歳	85	81.2	1.2	1.2	18.8	1.2	7.1	—
2歳	88	88.6	1.1	—	13.6	—	2.3	—
3歳	68	92.6	—	—	17.6	—	—	—
4歳	84	86.9	—	—	15.5	—	3.6	—
5歳	61	88.5	1.6	—	11.5	1.6	1.6	—

単位：%

区分	有効回答数(件)	(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	子育て支援ショートステイを利用した	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
6歳(1年生)	78	91.0	2.6	6.4	1.3	2.6	—
7歳(2年生)	85	91.8	2.4	12.9	2.4	3.5	—
8歳(3年生)	78	87.2	1.3	6.4	3.8	3.8	1.3
9歳(4年生)	62	91.9	—	9.7	9.7	4.8	—
10歳(5年生)	67	73.1	1.5	23.9	11.9	3.0	—
11歳(6年生)	57	75.4	1.8	12.3	12.3	3.5	1.8

【支援状況別】

支援状況別でみると、就学前児童、就学児童ともに、いずれもない人で「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が低く、「仕方なく子どもを同行させた」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

単位：％

区分	有効回答数(件)	も ら っ た (同居者を含む)親族・知人にみて	子 育 て 支 援 シ ョ ー ト ス テ イ を 利 用 し た	「子育て支援ショートステイ」以外の保育事業(認可外保育施設、ベビシッター等)を利用した	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	140	95.7	—	—	5.7	0.7	1.4	—
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	273	87.2	0.4	—	14.3	—	4.0	0.4
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	10	100.0	—	—	10.0	—	—	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	73	84.9	1.4	—	20.5	—	4.1	—
いずれもない	30	40.0	6.7	3.3	60.0	6.7	10.0	—

【就学児童】

単位：％

区分	有効回答数(件)	み て ら っ た (同居者を含む)親族・知人に	子 育 て 支 援 シ ョ ー ト ス テ イ を 利 用 し た	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	69	94.2	1.4	4.3	—	1.4	—
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	160	93.1	1.9	5.6	3.8	3.1	0.6
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	8	87.5	—	—	12.5	—	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	49	89.8	2.0	10.2	4.1	4.1	—
いずれもない	15	46.7	6.7	46.7	—	13.3	—

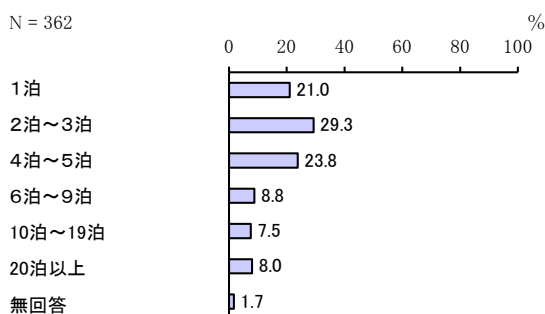
対処方法別年間日数

① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった

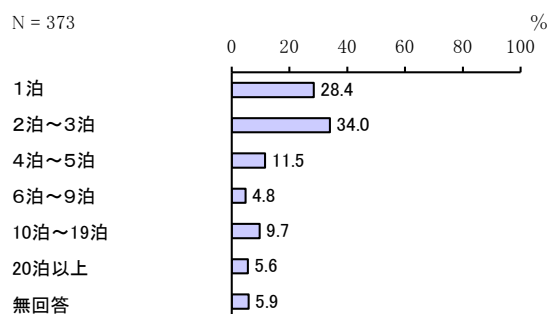
就学前児童では、「2泊～3泊」の割合が29.3%と最も高く、次いで「4泊～5泊」の割合が23.8%、「1泊」の割合が21.0%となっています。

就学児童では、「2泊～3泊」の割合が34.0%と最も高く、次いで「1泊」の割合が28.4%、「4泊～5泊」の割合が11.5%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



② 子育て支援ショートステイを利用した

就学前児童では、「20泊以上」が1件となっています。

就学児童では、「20泊以上」が1件となっています。

③ 「イ」以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した

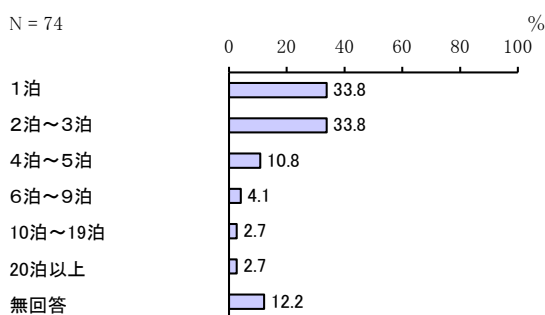
就学前児童では、「1泊」が1件となっています。

④ 仕方なく子どもを同行させた

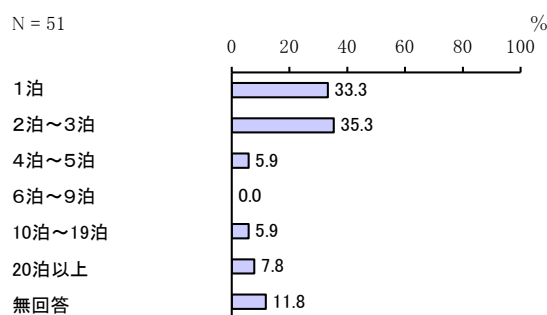
就学前児童では、「1泊」、「2泊～3泊」の割合が33.8%と最も高く、次いで、「4泊～5泊」の割合が10.8%となっています。

就学児童では、「2泊～3泊」の割合が35.3%と最も高く、次いで「1泊」の割合が33.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

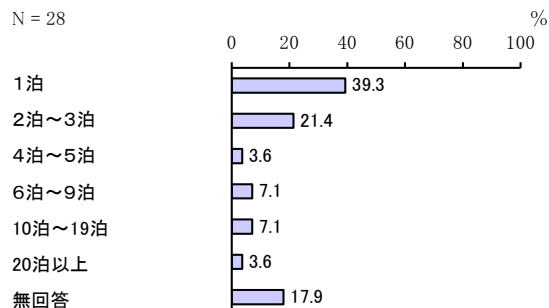


⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

就学前児童では、「1泊」、「20泊以上」が1件となっています。

就学児童では、「1泊」の割合が39.3%と最も高く、次いで「2泊～3泊」の割合が21.4%となっています。

【就学児童】

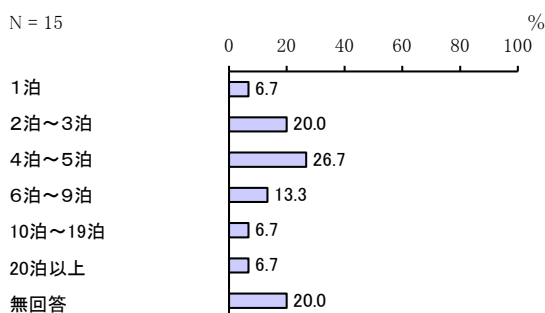


⑥ その他

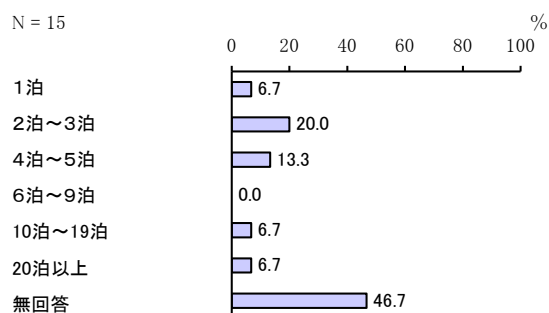
就学前児童では、「4泊～5泊」の割合が26.7%と最も高く、次いで「2泊～3泊」の割合が20.0%、「6泊～9泊」の割合が13.3%となっています。

就学児童では、「2泊～3泊」の割合が20.0%と最も高く、次いで「4泊～5泊」の割合が13.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



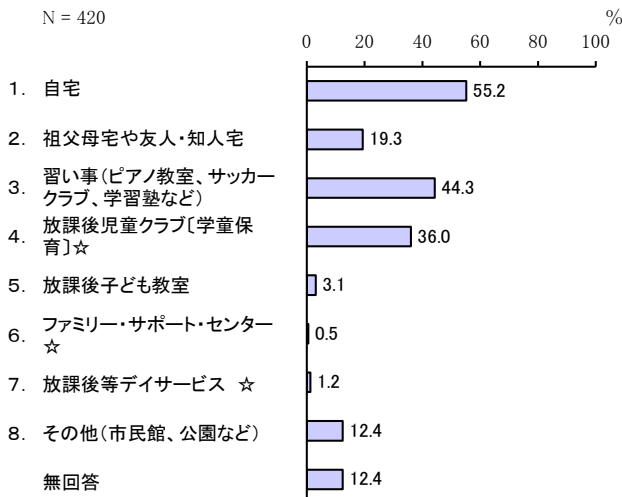
(5) 小学校就学後の放課後の過ごし方

問 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も〔 〕内に数字で記入してください。なお、☆印の事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
 (就学前児童：問 18、就学児童：問 10)

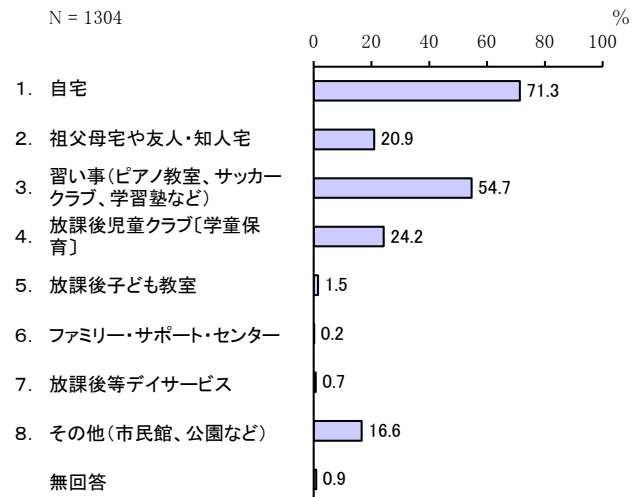
就学前児童では、「1. 自宅」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 44.3%、「4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕☆」の割合が 36.0%となっています。

就学児童では、「1. 自宅」の割合が 71.3%と最も高く、次いで「3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 54.7%、「4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が 24.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



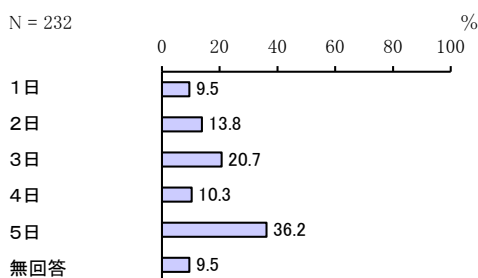
放課後の時間の過ごさせたい（過ごしている）場所別週あたり利用日数

① 自宅

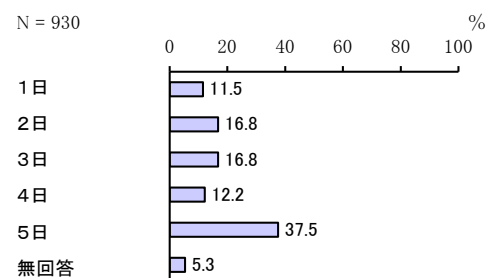
就学前児童では、「5日」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が 20.7%、「2日」の割合が 13.8%となっています。

就学児童では、「5日」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「2日」、「3日」の割合が 16.8%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

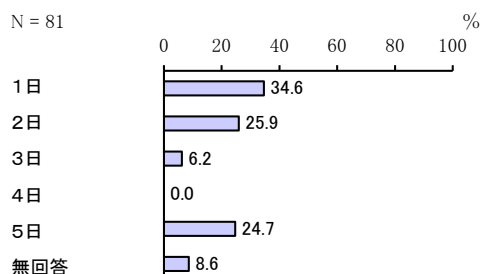


② 祖父母宅や友人・知人宅

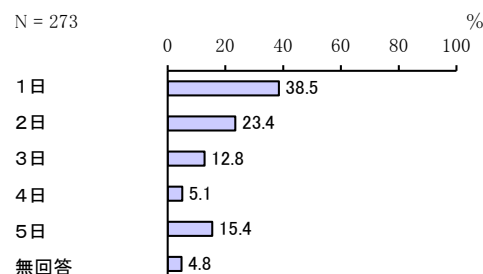
就学前児童では、「1日」の割合が34.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.9%、「5日」の割合が24.7%となっています。

就学児童では、「1日」の割合が38.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が23.4%、「5日」の割合が15.4%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

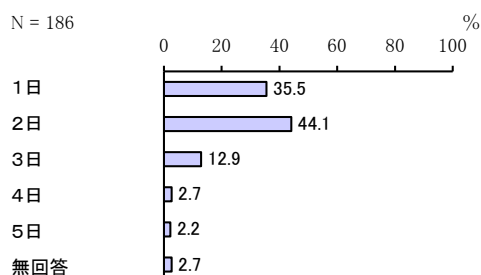


③ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

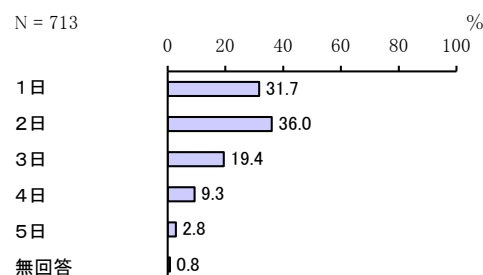
就学前児童では、「2日」の割合が44.1%と最も高く、次いで「1日」の割合が35.5%、「3日」の割合が12.9%となっています。

就学児童では、「2日」の割合が36.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が31.7%、「3日」の割合が19.4%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

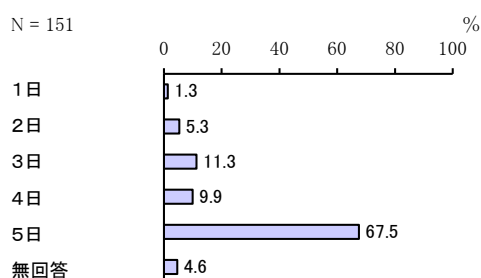


④ 放課後児童クラブ〔学童保育〕

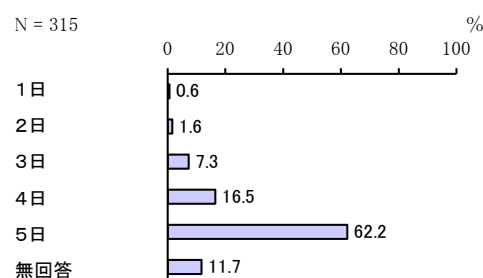
就学前児童では、「5日」の割合が67.5%と最も高く、次いで「3日」の割合が11.3%となっています。

就学児童では、「5日」の割合が62.2%と最も高く、次いで「4日」の割合が16.5%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

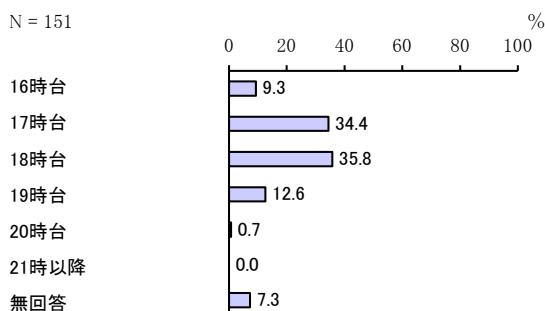


④-1 放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用終了時刻

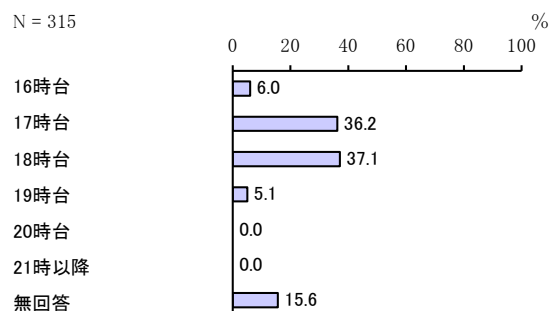
就学前児童では、「18時台」の割合が35.8%と最も高く、次いで「17時台」の割合が34.4%、「19時台」の割合が12.6%となっています。

就学児童では、「18時台」の割合が37.1%と最も高く、次いで「17時台」の割合が36.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

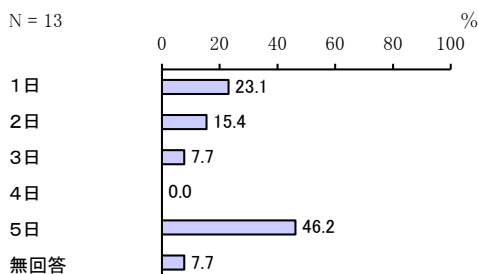


⑤ 放課後子ども教室

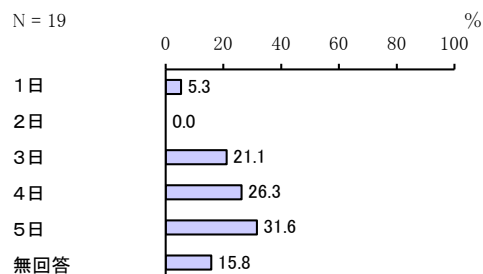
就学前児童では、「5日」の割合が46.2%と最も高く、次いで「1日」の割合が23.1%、「2日」の割合が15.4%となっています。

就学児童では、「5日」の割合が31.6%と最も高く、次いで「4日」の割合が26.3%、「3日」の割合が21.1%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



⑥ ファミリー・サポート・センター

就学前児童では、有効回答はありません。

就学児童では、「1日」、「2日」が1件となっています。

⑦ 放課後等デイサービス

就学前児童では、「1日」が2件となっています。

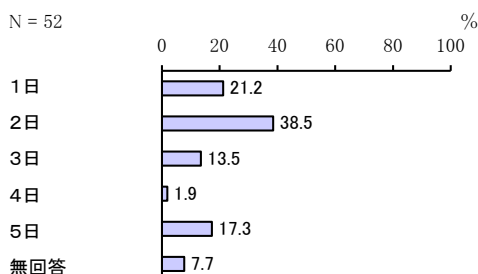
就学児童では、「1日」、「2日」、「3日」が2件となっています。

⑧ その他（市民館、公園など）

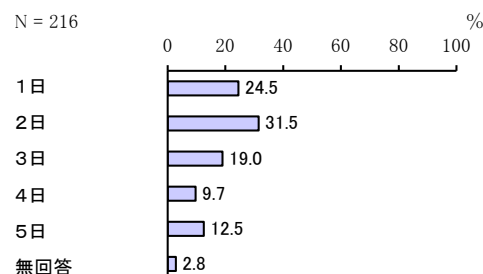
就学前児童では、「2日」の割合が38.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が21.2%、「5日」の割合が17.3%となっています。

就学児童では、「2日」の割合が31.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が24.5%、「3日」の割合が19.0%となっています。

【就学前児童】



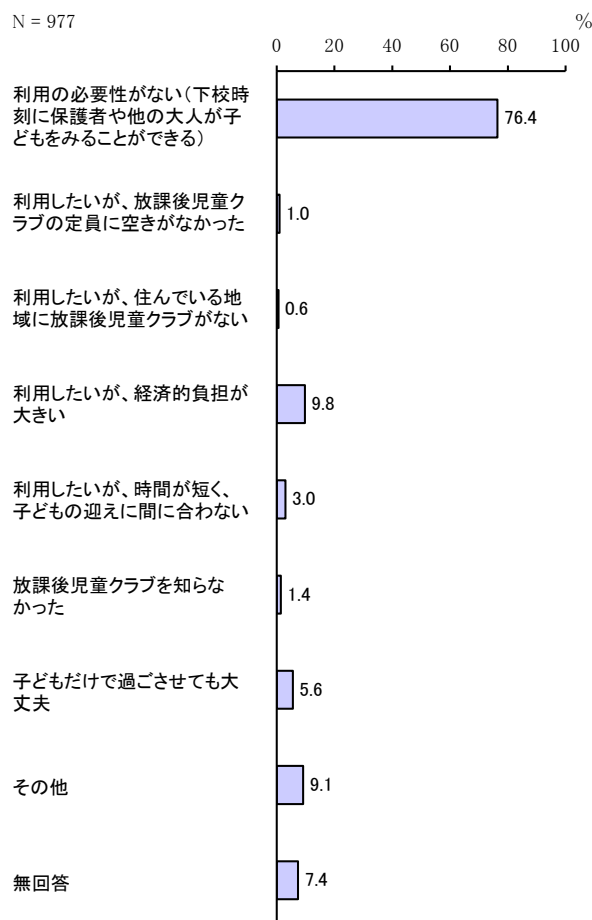
【就学児童】



問 P. 86(就学児童：問 10)で「4. 放課後児童クラブ」に○をつけなかった方にうかがいます。放課後児童クラブを利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、選択肢の2、3に○をつけた方は、週当たりの希望日数及び希望する時間も〔 〕内に数字で記入してください。(就学児童：問 11)

就学児童では、「利用の必要性がない（下校時刻に保護者や他の大人が子どもをみることができる）」の割合が76.4%と最も高くなっています。

【就学児童】

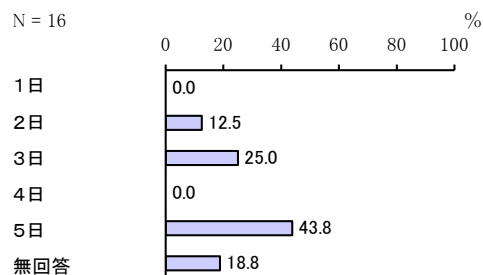


利用希望

① 1週当たり利用日数

就学児童では、「5日」の割合が43.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が25.0%、「2日」の割合が12.5%となっています。

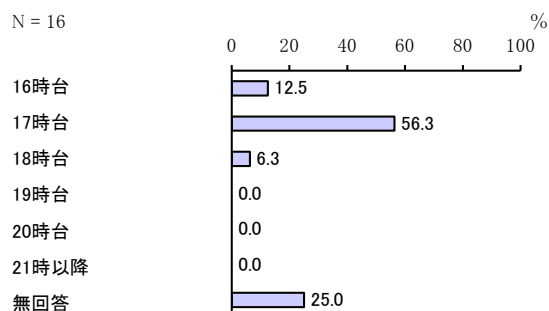
【就学児童】



② 終了時刻

就学児童では、「17時台」の割合が56.3%と最も高く、次いで「16時台」の割合が12.5%となっています。

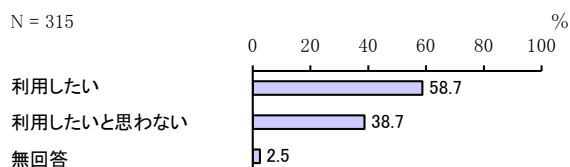
【就学児童】



問 P.86(就学児童：問10)で「4. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、4～6年生の間も「放課後児童クラブ」を利用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい場合は、利用を希望する学年と、週当たりの希望日数及び希望する時間も〔 〕内に数字で記入してください。
(就学児童：問12)

「利用したい」の割合が58.7%、「利用したいと思わない」の割合が38.7%となっています。

【就学児童】

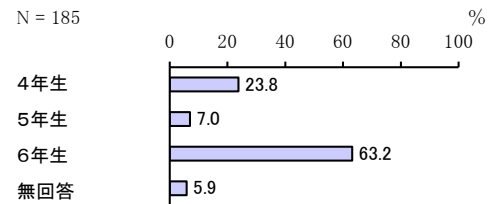


利用希望

① 利用したい学年

就学児童では、「6年生」の割合が63.2%と最も高く、次いで「4年生」の割合が23.8%となっています。

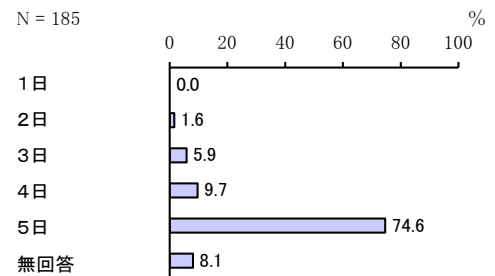
【就学児童】



② 1週当たり利用日数

就学児童では、「5日」の割合が74.6%と最も高くなっています。

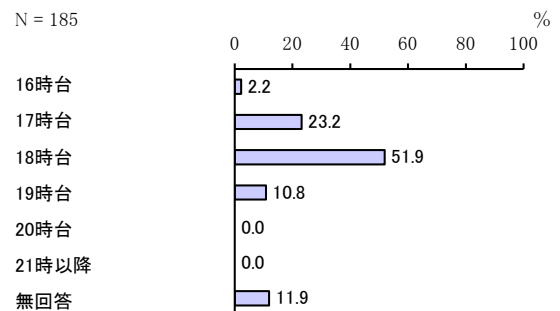
【就学児童】



③ 終了時刻

就学児童では、「18時台」の割合が51.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が23.2%、「19時台」の割合が10.8%となっています。

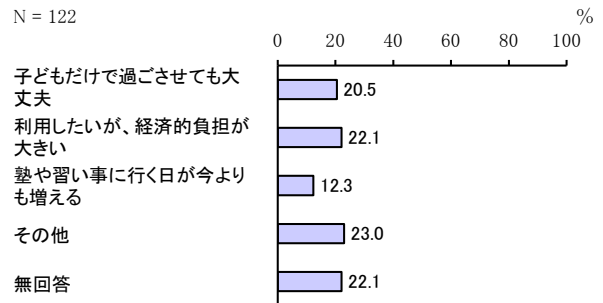
【就学児童】



問 P.90（就学児童：問 12）で「2. 利用したいと思わない」と答えた方にうかがいます。その理由は何ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。（就学児童：問 12-1）

就学児童では、「利用したいが、経済的負担が大きい」の割合が 22.1%と最も高く、次いで「子どもだけで過ごさせても大丈夫」の割合が 20.5%、「塾や習い事に行く日が今よりも増える」の割合が 12.3%となっています。

【就学児童】



その他の主な回答

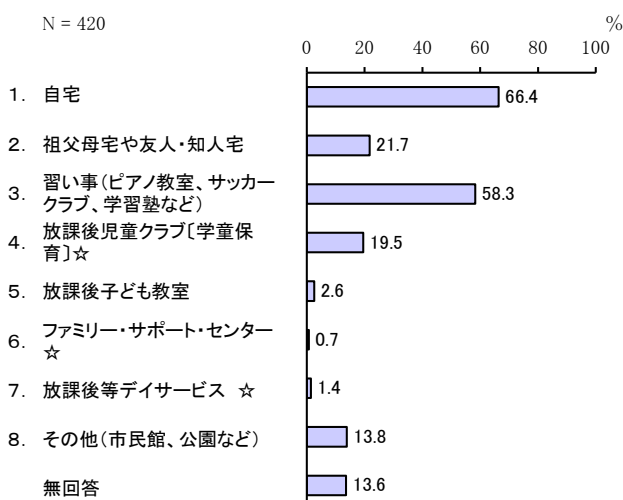
- ・部活動がある
- ・利用の必要性がない(下校時刻に保護者や他の大人が子どもを見ることができる)
- ・児童クラブに不満がある

問 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も〔 〕内に数字で記入してください。かなり先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。なお、☆印の事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
(就学前児童：問 19、就学児童：問 13)

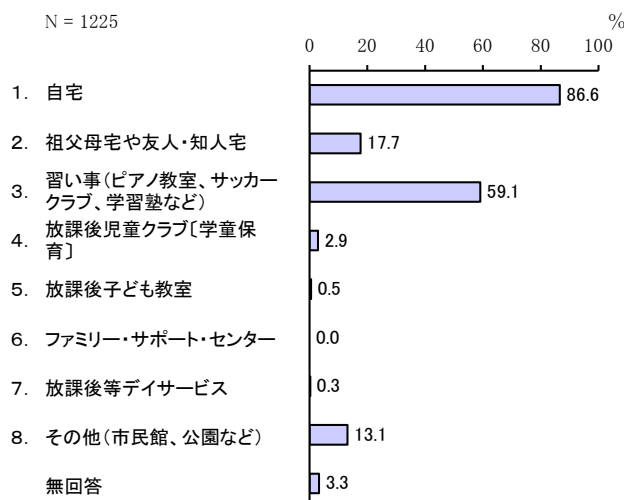
就学前児童では、「1. 自宅」の割合が 66.4%と最も高く、次いで「3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 58.3%、「2. 祖父母宅や友人・知人宅」の割合が 21.7%となっています。

就学児童では、「1. 自宅」の割合が 86.6%と最も高く、次いで「3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 59.1%、「2. 祖父母宅や友人・知人宅」の割合が 17.7%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



【支援状況別】

支援状況別でみると、就学前児童では日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる人で「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	放課後児童クラブ 〔学童保育〕	放課後子ども教室	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他(市民館、公園など)	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	136	67.6	37.5	59.6	17.6	1.5	0.7	1.5	17.6	14.0
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	262	65.3	21.0	60.7	19.5	2.7	0.8	1.9	12.6	14.1
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	11	90.9	54.5	90.9	9.1	—	—	—	27.3	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	67	73.1	26.9	58.2	10.4	—	—	—	17.9	13.4
いずれもない	46	76.1	8.7	56.5	23.9	6.5	—	2.2	17.4	6.5

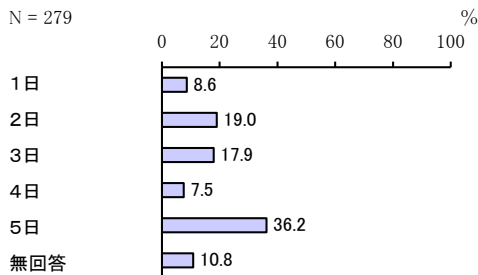
放課後の時間の過ごさせたい（過ごしている）場所別週あたり利用日数

① 自宅

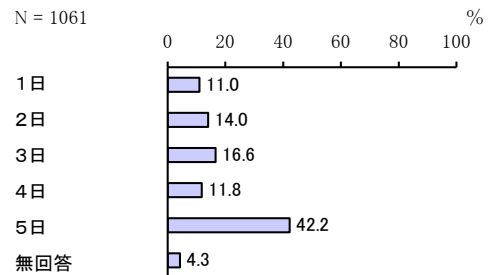
就学前児童では、「5日」の割合が36.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が19.0%、「3日」の割合が17.9%となっています。

就学児童では、「5日」の割合が42.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が16.6%、「2日」の割合が14.0%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

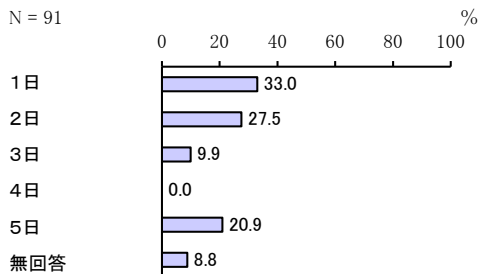


② 祖父母宅や友人・知人宅

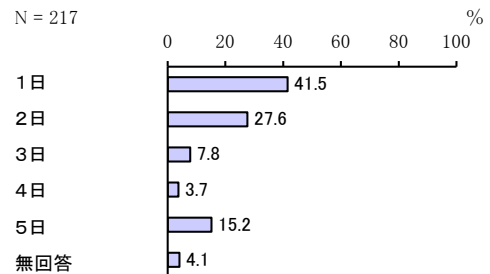
就学前児童では、「1日」の割合が33.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が27.5%、「5日」の割合が20.9%となっています。

就学児童では、「1日」の割合が41.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が27.6%、「5日」の割合が15.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

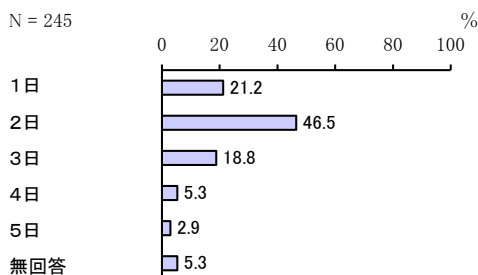


③ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

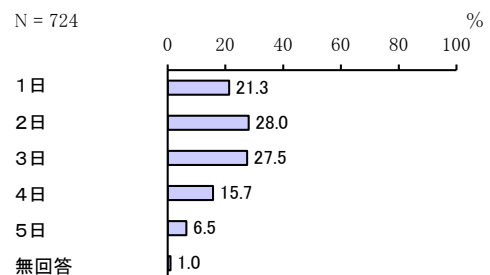
就学前児童では、「2日」の割合が46.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が21.2%、「3日」の割合が18.8%となっています。

就学児童では、「2日」の割合が28.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が27.5%、「1日」の割合が21.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

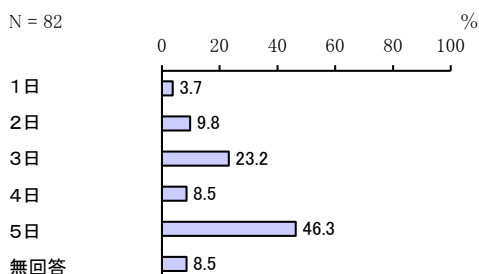


④ 放課後児童クラブ〔学童保育〕

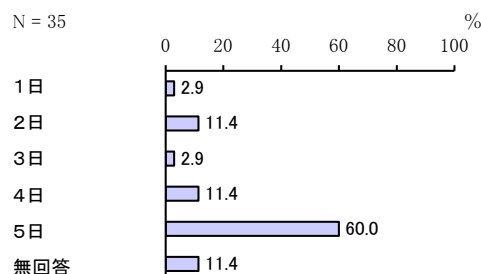
就学前児童では、「5日」の割合が46.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が23.2%となっています。

就学児童では、「5日」の割合が60.0%と最も高く、次いで「2日」、「4日」の割合が11.4%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

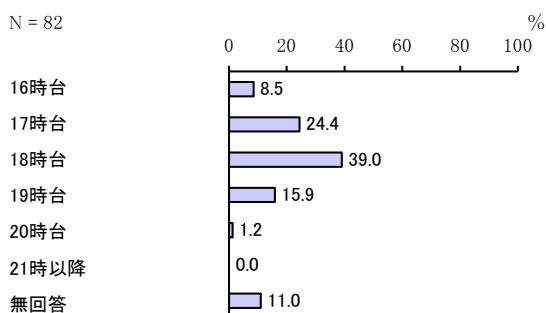


④-1 放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用終了時刻

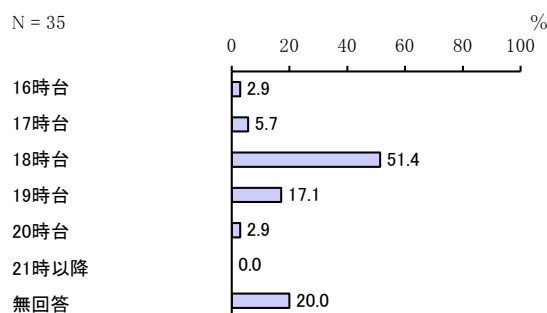
就学前児童では、「18時台」の割合が39.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が24.4%、「19時台」の割合が15.9%となっています。

就学児童では、「18時台」の割合が51.4%と最も高く、次いで「19時台」の割合が17.1%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

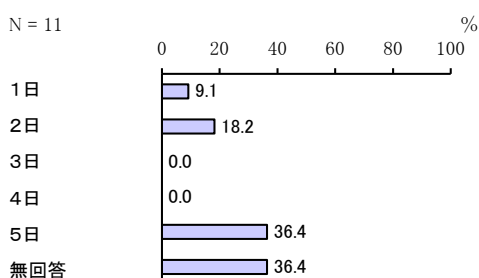


⑤ 放課後子ども教室

就学前児童では、「5日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が18.2%となっています。

就学児童では、「1日」、「4日」が2件、「2日」が1件となっています。

【就学前児童】



⑥ ファミリー・サポート・センター

就学前児童では、「1日」、「3日」が1件となっています。

就学児童では、有効回答はありません。

⑦ 放課後等デイサービス

就学前児童では、「1日」が2件、「2日」、「5日」が1件となっています。

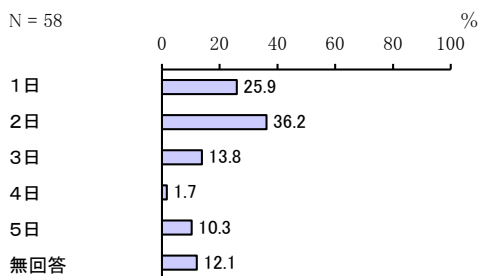
就学児童では、「5日」が2件、「2日」が1件となっています。

⑧ その他（市民館、公園など）

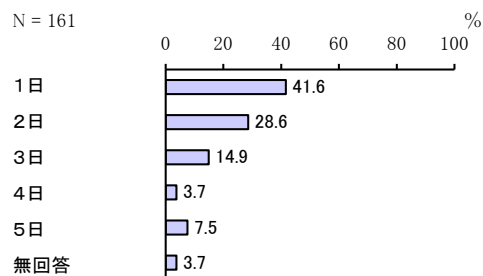
就学前児童では、「2日」の割合が36.2%と最も高く、次いで「1日」の割合が25.9%、「3日」の割合が13.8%となっています。

就学児童では、「1日」の割合が41.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が28.6%、「3日」の割合が14.9%となっています。

【就学前児童】



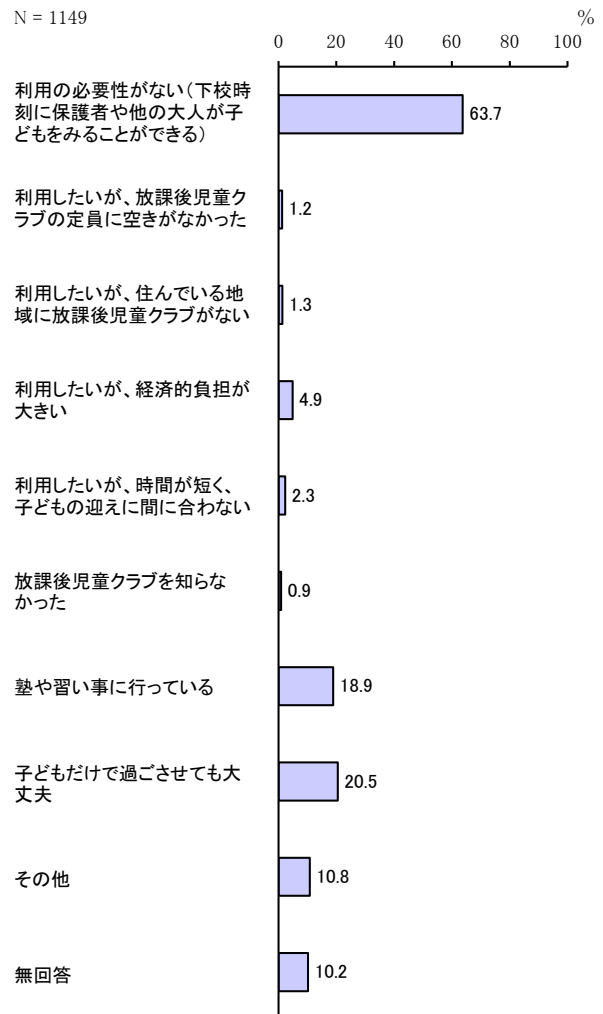
【就学児童】



問 P. 93(就学児童：問 13)で「4. 放課後児童クラブ」に○をつけなかった方にうかがいます。放課後児童クラブを利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、選択肢の2、3に○をつけた方は、週当たりの希望日数及び希望する時間も〔 〕内に数字で記入してください。(就学児童：問 14)

就学児童では、「1. 利用の必要性がない(下校時刻に保護者や他の大人が子どもをみることができる)」の割合が63.7%と最も高く、次いで「8. 子どもだけで過ごさせても大丈夫」の割合が20.5%、「7. 塾や習い事に行っている」の割合が18.9%となっています。

【就学児童】



その他の主な回答

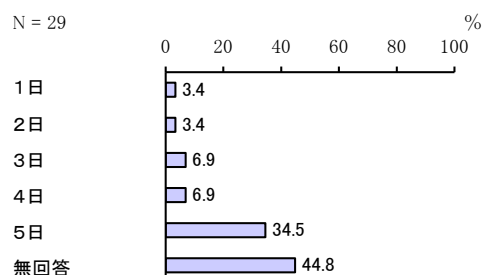
- ・4年生以上はクラブが受け入れていない
- ・子どもが利用したがらない
- ・児童クラブに不満がある、部活動がある

利用希望

① 1週当たり利用日数

就学児童では、「5日」の割合が34.5%と最も高くなっています。

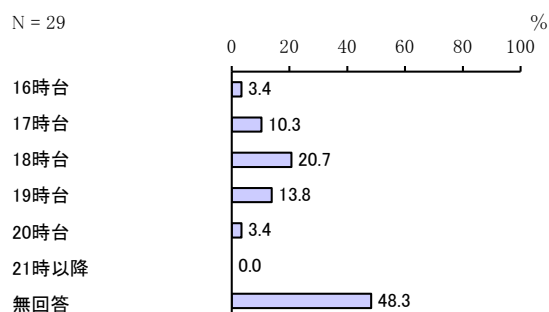
【就学児童】



② 終了時刻

就学児童では、「18時台」の割合が20.7%と最も高く、次いで「19時台」の割合が13.8%、「17時台」の割合が10.3%となっています。

【就学児童】



問 P. 86(就学前児童：問 18、就学児童：問 10)又は P. 93(就学前児童：問 19、就学児童：問 13)で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、**土曜日**と**日曜日・祝日**に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。土曜日と日曜日・祝日それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

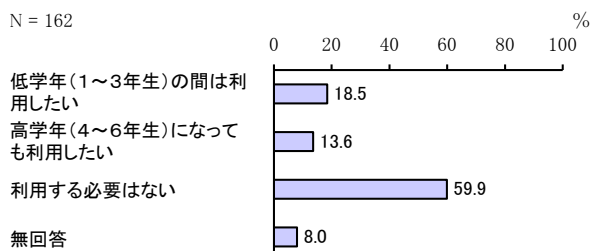
(就学前児童：問 20、就学児童：問 15)

土曜日

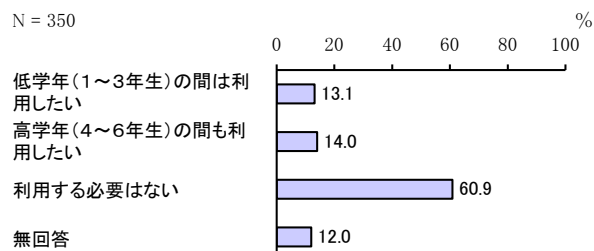
就学前児童では、「利用する必要はない」の割合が59.9%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が18.5%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が13.6%となっています。

就学児童では、「利用する必要はない」の割合が60.9%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）の間も利用したい」の割合が14.0%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が13.1%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



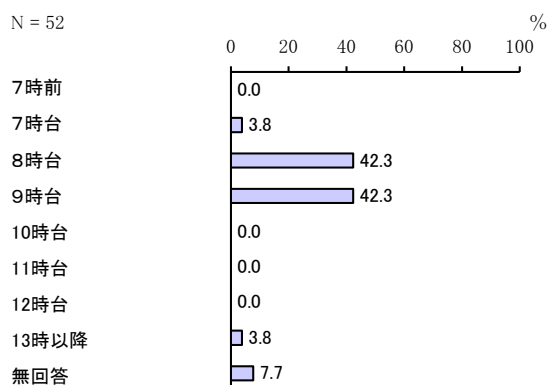
① 利用したい時間帯

ア 開始時刻

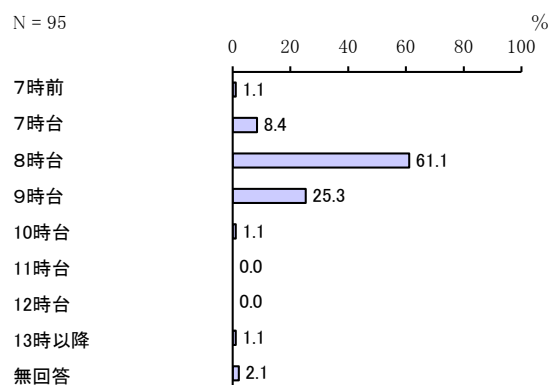
就学前児童では、「8時台」、「9時台」の割合が42.3%と最も高くなっています。

就学児童では、「8時台」の割合が61.1%と最も高く、次いで「9時台」の割合が25.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

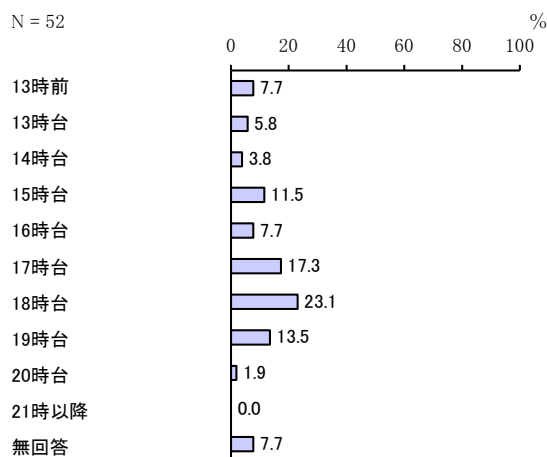


イ 終了時刻

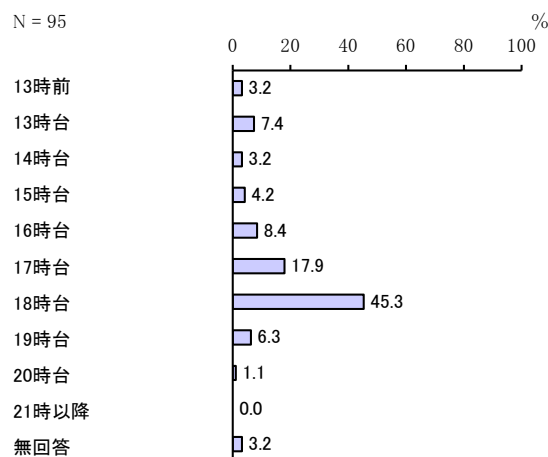
就学前児童では、「18時台」の割合が23.1%と最も高く、次いで「17時台」の割合が17.3%、「19時台」の割合が13.5%となっています。

就学児童では、「18時台」の割合が45.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が17.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

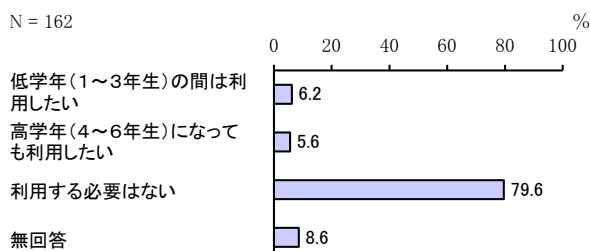


日曜日・祝日

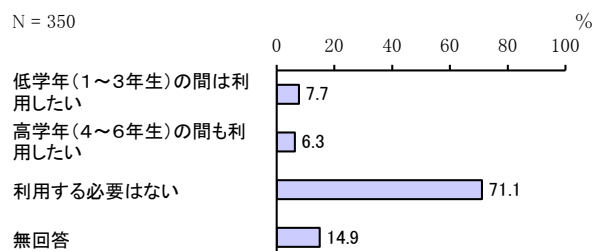
就学前児童では、「利用する必要はない」の割合が79.6%と最も高くなっています。

就学児童では、「利用する必要はない」の割合が71.1%と最も高くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】



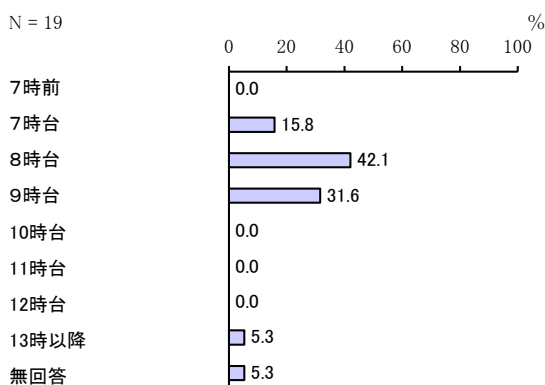
① 利用したい時間帯

ア 開始時刻

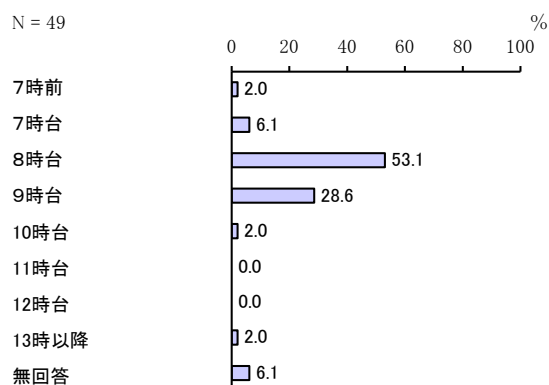
就学前児童では、「8時台」の割合が42.1%と最も高く、次いで「9時台」の割合が31.6%、「7時台」の割合が15.8%となっています。

就学児童では、「8時台」の割合が53.1%と最も高く、次いで「9時台」の割合が28.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

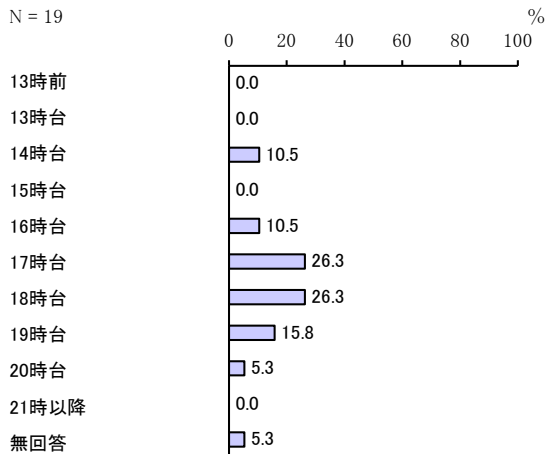


イ 終了時刻

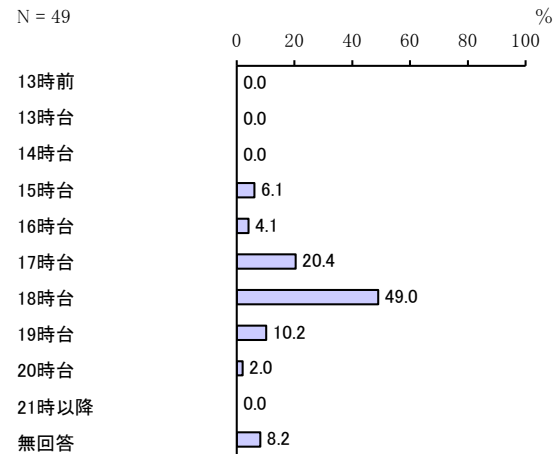
就学前児童では、「17時台」、「18時台」の割合が26.3%と最も高く、次いで、「19時台」の割合が15.8%となっています。

就学児童では、「18時台」の割合が49.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が20.4%、「19時台」の割合が10.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

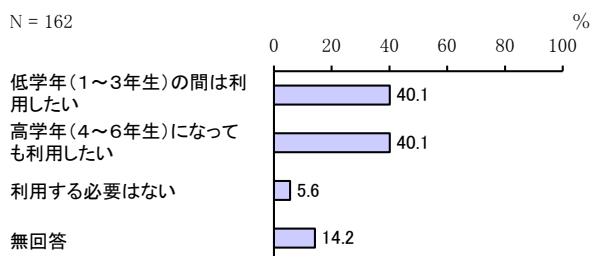


問 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。(就学前児童：問 21、就学児童：問 16)

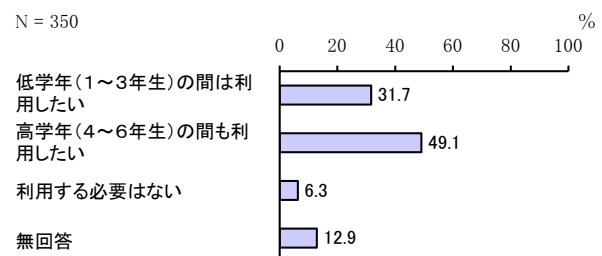
就学前児童では、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が40.1%と最も高くなっています。

就学児童では、「高学年（4～6年生）の間も利用したい」の割合が49.1%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が31.7%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



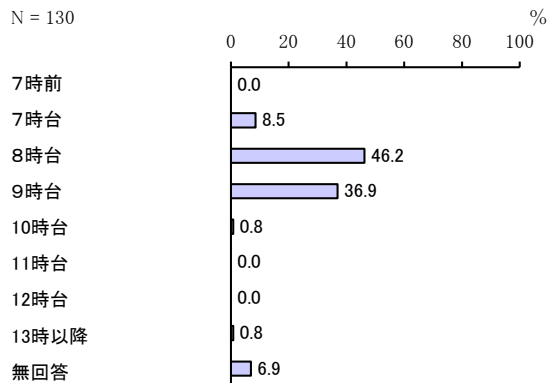
利用したい時間帯

① 開始時刻

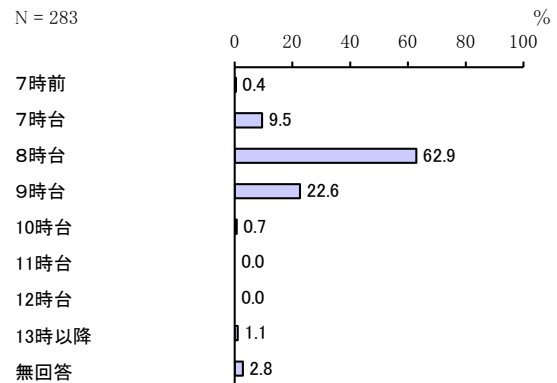
就学前児童では、「8時台」の割合が46.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が36.9%となっています。

就学児童では、「8時台」の割合が62.9%と最も高く、次いで「9時台」の割合が22.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

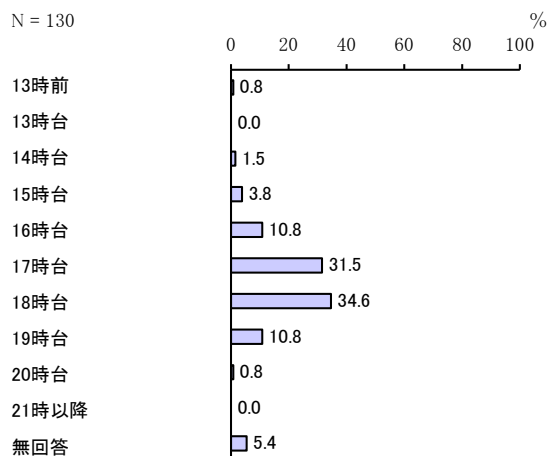


② 終了時刻

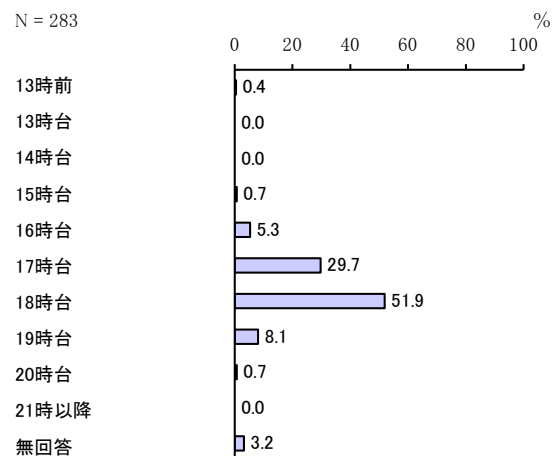
就学前児童では、「18時台」の割合が34.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が31.5%、「16時台」、「19時台」の割合が10.8%となっています。

就学児童では、「18時台」の割合が51.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が29.7%となっています。

【就学前児童】



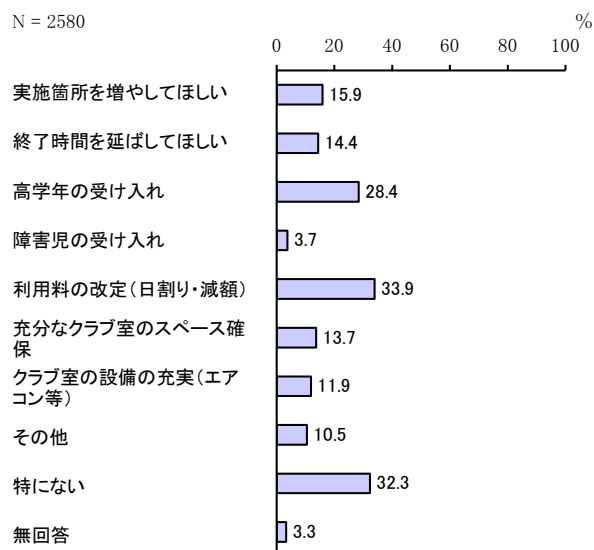
【就学児童】



問 放課後児童クラブについて、今後期待することは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学児童：問 17)

就学児童では、「利用料の改定（日割り・減額）」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「特にな
い」の割合が 32.3%、「高学年の受け入れ」の割合が 28.4%となっています。

【就学児童】



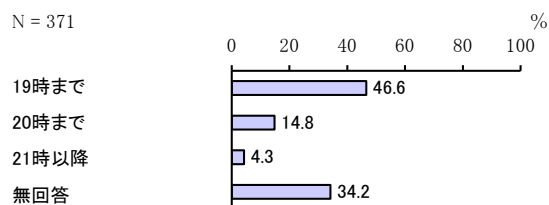
その他の主な回答

- ・長期休暇や希望日だけ利用できるようにしてほしい
- ・施設、活動内容、指導員を改善してほしい
- ・公営にほしい、公営と民営の差をなくしてほしい
- ・役員など保護者負担を軽減してほしい

希望終了時刻

就学児童では、「19時まで」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「20時まで」の割合が 14.8%となっています。

【就学児童】

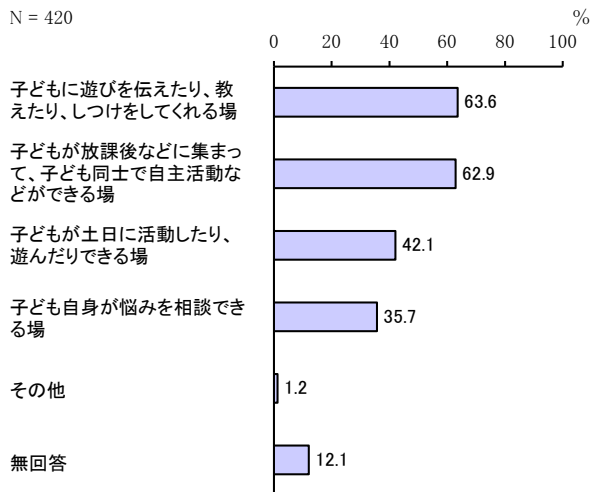


問 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことのできる場がある場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問22、就学児童：問18)

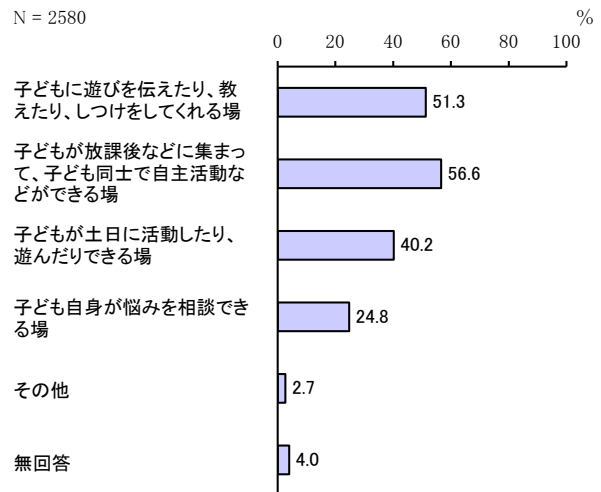
就学前児童では、「子どもに遊びを伝えたり、教えたり、しつけをしてくれる場」の割合が63.6%と最も高く、次いで「子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場」の割合が62.9%、「子どもが土日に活動したり、遊んだりできる場」の割合が42.1%となっています。

就学児童では、「子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場」の割合が56.6%と最も高く、次いで「子どもに遊びを伝えたり、教えたり、しつけをしてくれる場」の割合が51.3%、「子どもが土日に活動したり、遊んだりできる場」の割合が40.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

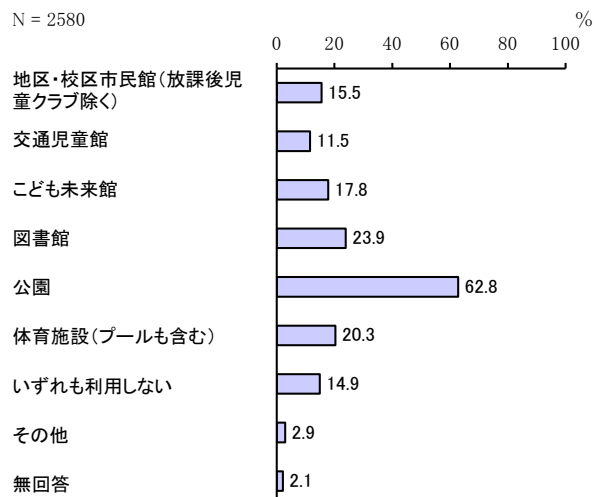


3 学校以外の子どもの居場所について

問 あて名のお子さんがよく利用する公共施設は何ですか。当てはまる番号すべてに○を付けてください。(就学児童：問 19)

就学児童では、「公園」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「図書館」の割合が 23.9%、「体育施設（プールも含む）」の割合が 20.3%となっています。

【就学児童】



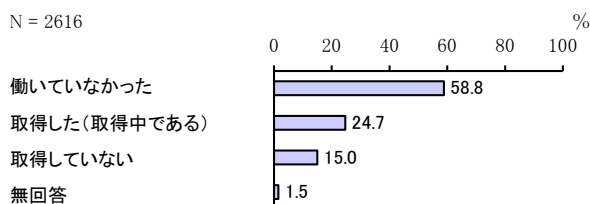
4 育児休業制度について

問 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。(就学前児童：問 23)

母親

就学前児童では、「働いていなかった」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が 24.7%、「取得していない」の割合が 15.0%となっています。

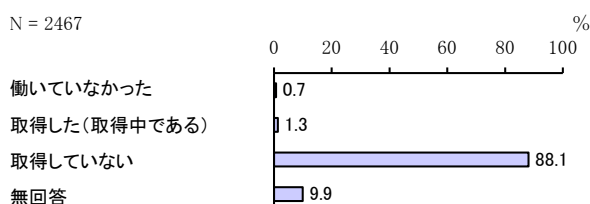
【就学前児童】



父親

就学前児童では、「取得していない」の割合が 88.1%と最も高くなっています。

【就学前児童】

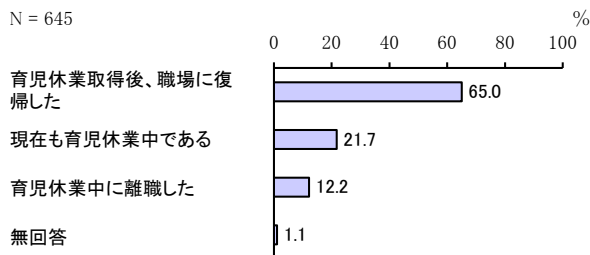


問 P.106 (就学前児童：問 23)で「取得した(取得中である)」と答えた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。また、職場復帰した方は、希望していた復帰時期と実際の復帰時期を〔 〕内に数字で記入してください。現在育児休業中の方は、現在予定している職場への復帰時期を記入してください。(就学前児童：問 23-1)

母親

就学前児童では、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が65.0%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が21.7%、「育児休業中に離職した」の割合が12.2%となっています。

【就学前児童】

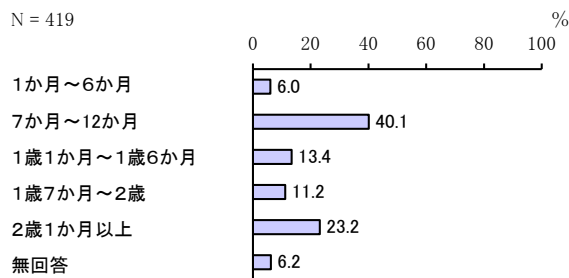


①育児休業取得後、職場に復帰した

ア 希望の復帰時期

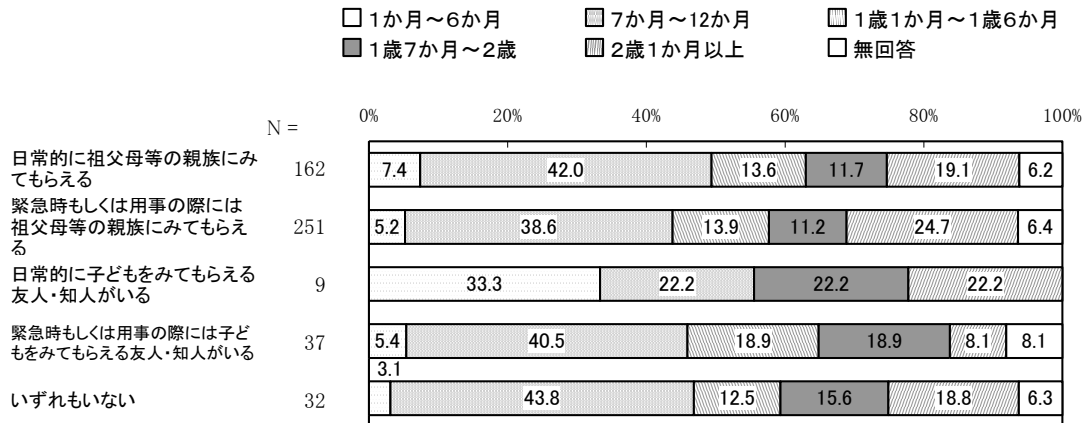
就学前児童では、「7か月～12か月」の割合が40.1%と最も高く、次いで「2歳1か月以上」の割合が23.2%、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が13.4%となっています。

【就学前児童】



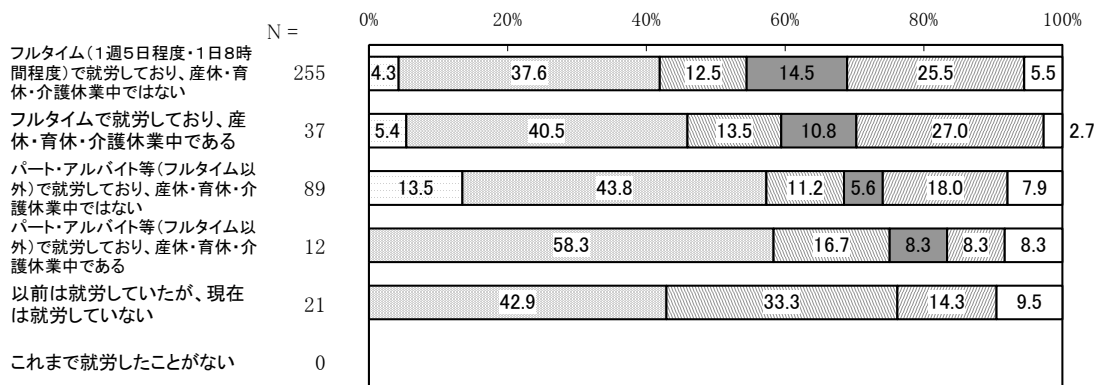
【支援状況別】

支援状況別でみると、就学前児童では緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいるで「2歳1か月以上」の割合が低くなっています。



【母親の就労状況別】

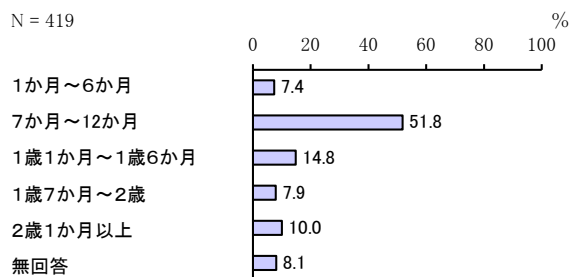
母親の就労状況別でみると、就学前児童ではフルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中であるで「2歳1か月以上」の割合が高くなっています。



イ 実際の復帰時期

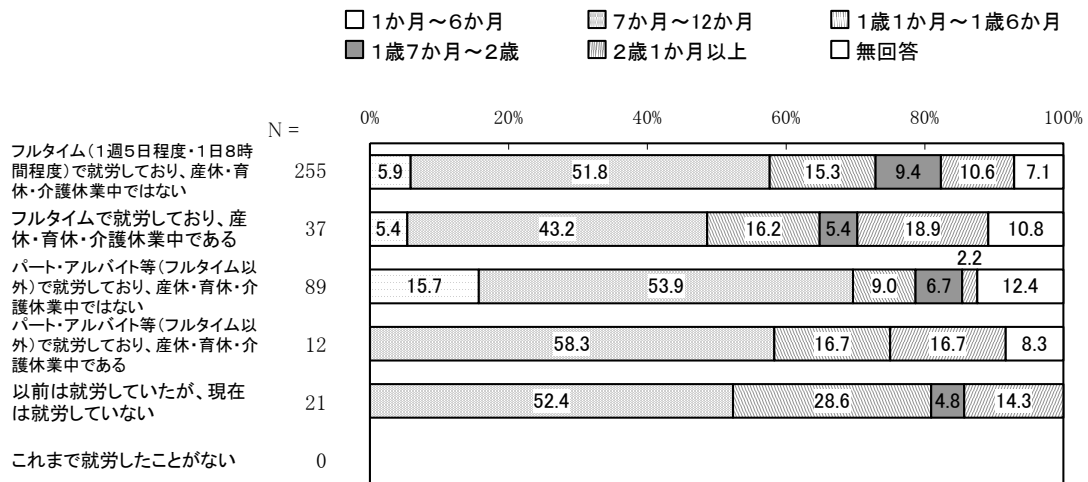
就学前児童では、「7か月～12か月」の割合が51.8%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が14.8%、「2歳1か月以上」の割合が10.0%となっています。

【就学前児童】



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、就学前児童では、パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「2歳1か月以上」の割合が低くなっています。

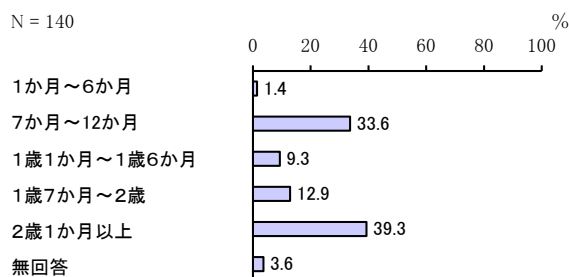


②現在も育児休業中である

ア 復帰予定時期

就学前児童では、「2歳1か月以上」の割合が39.3%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が33.6%、「1歳7か月～2歳」の割合が12.9%となっています。

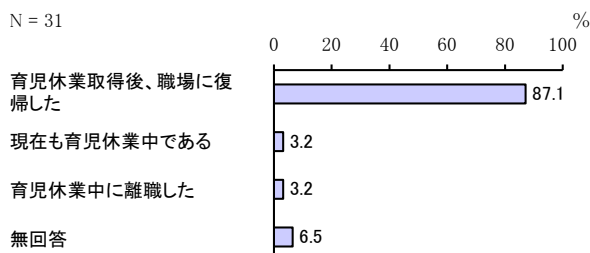
【就学前児童】



父親

就学前児童では、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が87.1%と最も高くなっています。

【就学前児童】

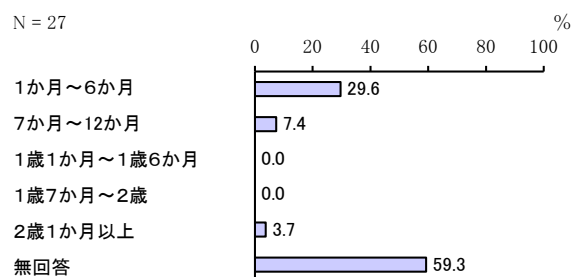


① 育児休業取得後、職場に復帰した

ア 希望の復帰時期

就学前児童では、「1か月～6か月」の割合が29.6%と最も高くなっています。

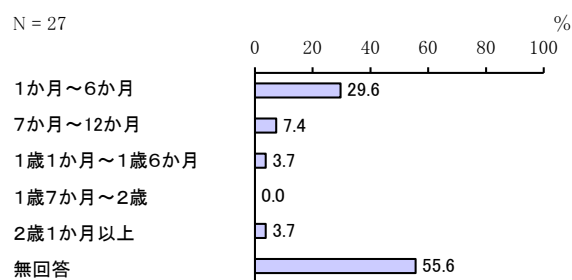
【就学前児童】



イ 実際の復帰時期

就学前児童では、「1か月～6か月」の割合が29.6%と最も高くなっています。

【就学前児童】



② 現在も育児休業中である

ア 復帰予定時期

就学前児童では、有効回答はありません。

問 P.107(就学前児童：問 23-1)で「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方のうち、育児休業の取得期間が希望と実際で異なる方にうかがいます。職場復帰の時期が希望と異なる理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 23-2)

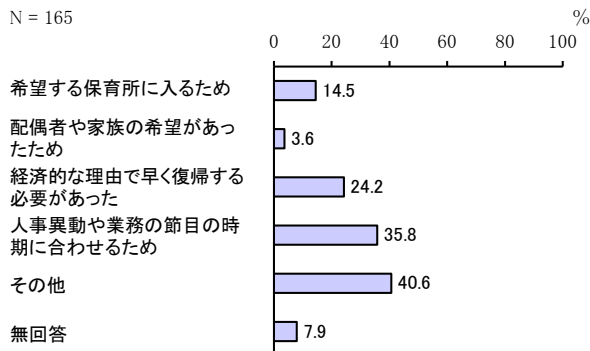
「希望」より早く復帰した方

① 母親

就学前児童では、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要がある」の割合が 24.2%、「希望する保育所に入るため」の割合が 14.5%となっています。

【就学前児童】

N = 165



その他意見の主な回答

- ・職場規定など会社都合
- ・自営業
- ・母親本人の希望

② 父親

就学前児童では、「経済的な理由で早く復帰する必要がある」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 1 件となっています。

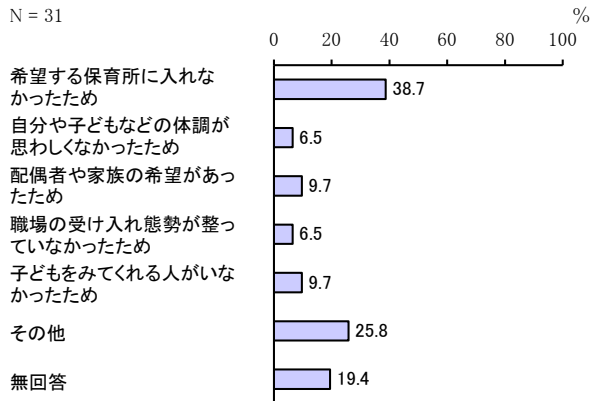
「希望」より遅く復帰した方

① 母親

就学前児童では、「希望する保育所に入れなかったため」の割合が38.7%と最も高くなっています。

【就学前児童】

N = 31



その他の主な回答

- ・職場規定など会社都合
- ・次の子どもの妊娠・出産
- ・子どもを慣れさせるため

② 父親

就学前児童では、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が1件となっています。

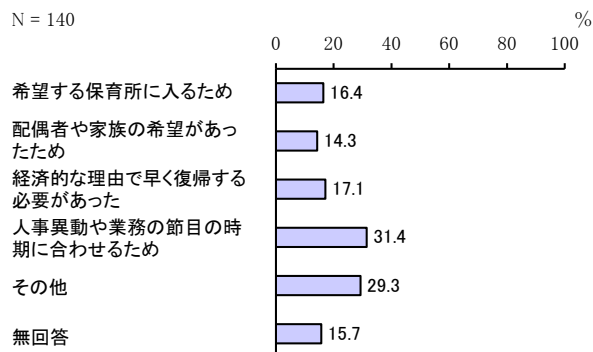
問 P. 107(就学前児童：問 23- 1)で「現在も育児休業中である」と答えた方にうかがいます。職場への復帰時期を決める理由として、母親、父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 23-3)

母親

就学前児童では、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 17.1%、「希望する保育所に入るため」の割合が 16.4%となっています。

【就学前児童】

N = 140



その他の主な回答

- ・職場規定など会社都合
- ・次の子どもの妊娠・出産
- ・入園時期を合わせるため

父親

就学前児童では、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 1 件となっています。

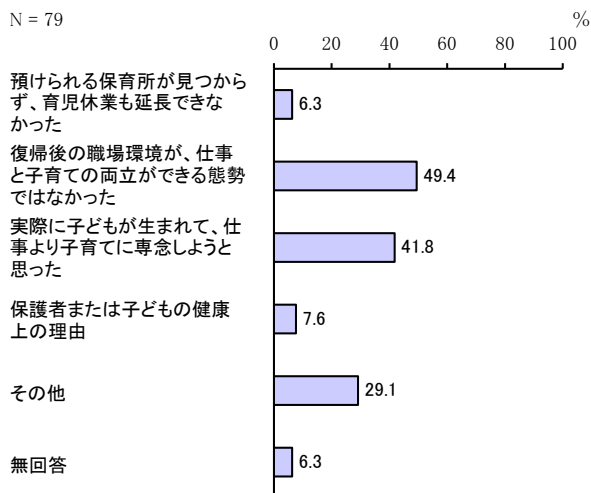
問 P.107(就学前児童：問 23-1)で「育児休業中に離職した」と答えた方にうかがいます。育児休業中に離職した理由について、母親、父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 23-4)

母親

就学前児童では、「復帰後の職場環境が、仕事と子育ての両立ができる態勢ではなかった」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「実際に子どもが生まれて、仕事より子育てに専念しようと思った」の割合が 41.8%となっています。

【就学前児童】

N = 79



その他の主な回答

- ・倒産や解雇など会社都合
- ・夫の転勤や単身赴任、引っ越し
- ・次の子どもの妊娠・出産

父親

就学前児童では、「実際に子どもが生まれて、仕事より子育てに専念しようと思った」が 1 件となっています。

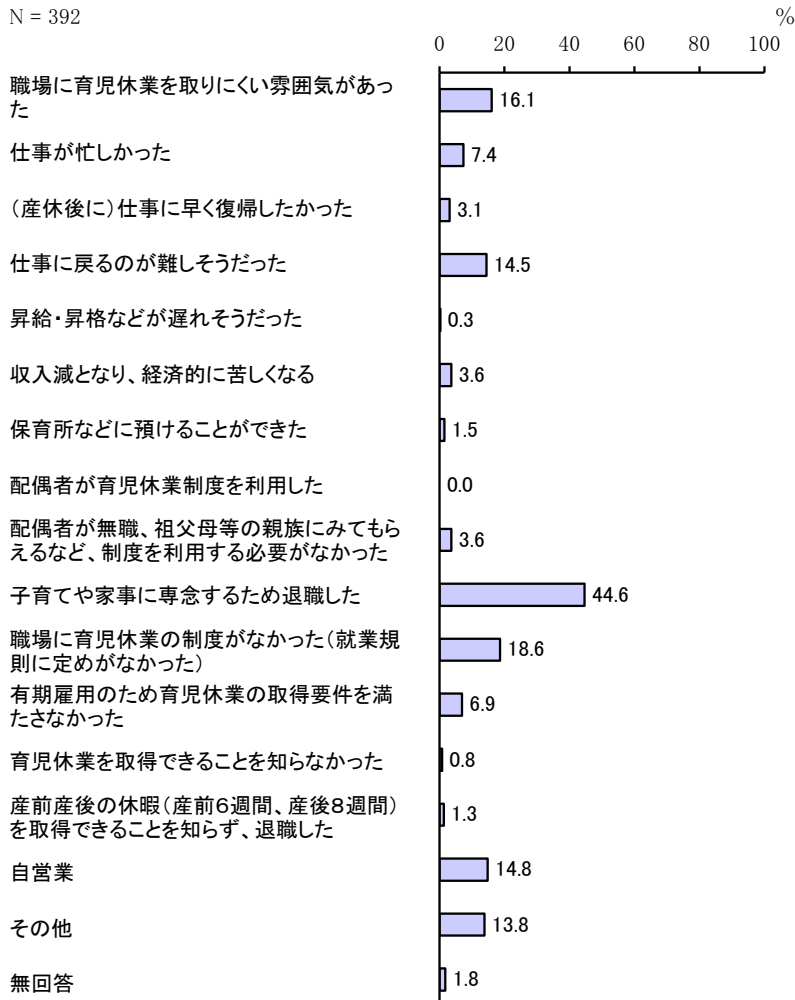
問 P. 106(就学前児童：問 23)で育児休業を取得していない理由として、母親、父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 23-5)

母親

就学前児童では、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」の割合が 18.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 16.1%となっています。

【就学前児童】

N = 392



その他の主な回答

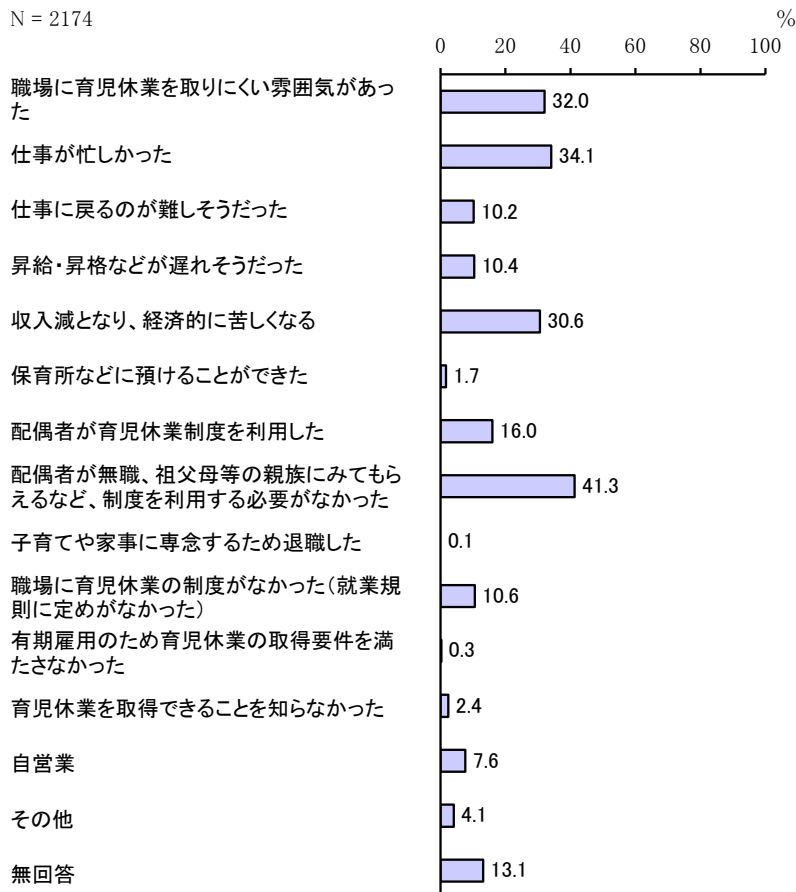
- ・退職した(体調不良、会社都合など)
- ・夫の転勤、引っ越し

父親

就学前児童では、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が41.3%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が34.1%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が32.0%となっています。

【就学前児童】

N = 2174



5 出産や子育てについて

(1) 出産や子育ての考え方

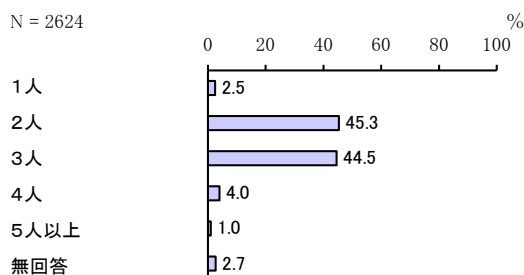
問 理想とする子どもの数と、実際にいる（予定している）子どもの数は何人ですか。（就学前児童：問 24、就学児童：問 24）

理想とする子どもの数

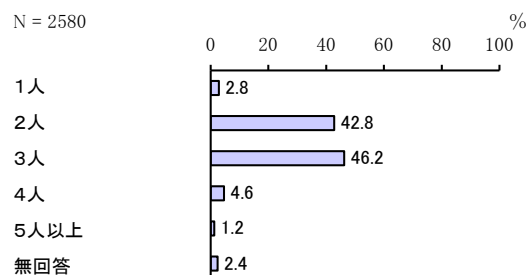
就学前児童では、「2人」の割合が45.3%と最も高く、次いで「3人」の割合が44.5%となっています。

就学児童では、「3人」の割合が46.2%と最も高く、次いで「2人」の割合が42.8%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

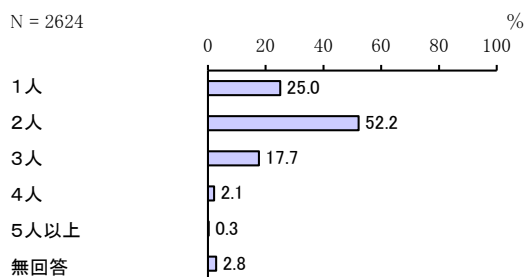


実際（予定）の子どもの数

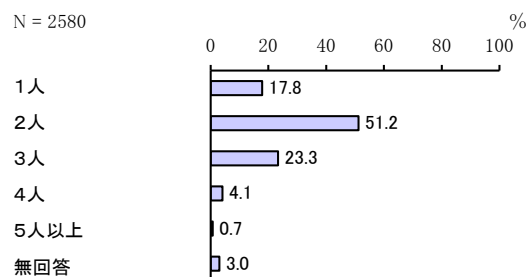
就学前児童では、「2人」の割合が52.2%と最も高く、次いで「1人」の割合が25.0%、「3人」の割合が17.7%となっています。

就学児童では、「2人」の割合が51.2%と最も高く、次いで「3人」の割合が23.3%、「1人」の割合が17.8%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

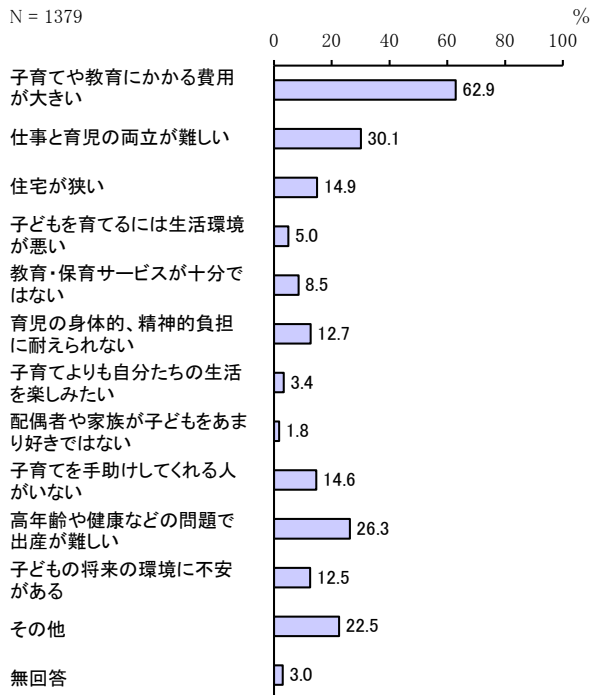


問 実際（予定）の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない方にうかがいます。子どもの数が理想より少ない主な理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（就学前児童：問24-1、就学児童：問24-1）

就学前児童では、「子育てや教育にかかる費用が大きい」の割合が62.9%と最も高く、次いで「仕事と育児の両立が難しい」の割合が30.1%、「高年齢や健康などの問題で出産が難しい」の割合が26.3%となっています。

就学児童では、「子育てや教育にかかる費用が大きい」の割合が63.8%と最も高く、次いで「高年齢や健康などの問題で出産が難しい」の割合が35.1%、「仕事と育児の両立が難しい」の割合が33.2%となっています。

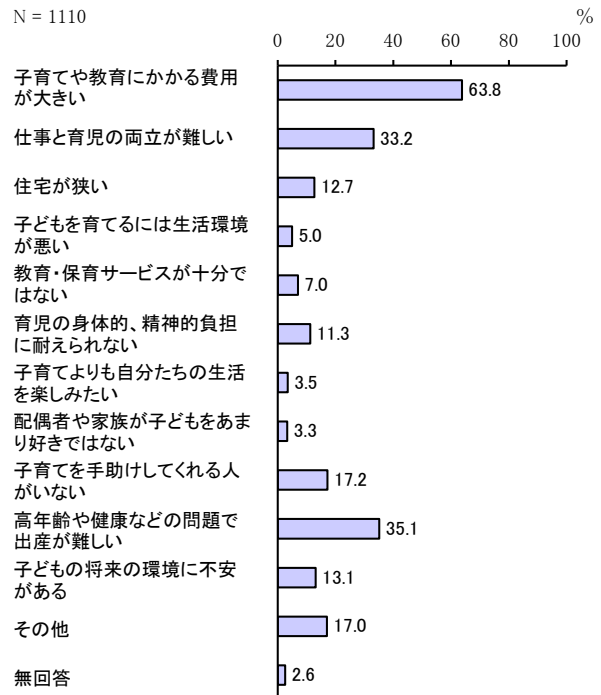
【就学前児童】



その他の主な回答

- ・子どもができない
- ・配偶者がいない(離婚、死別など)
- ・健康面や妊娠・出産に対する不安がある

【就学児童】



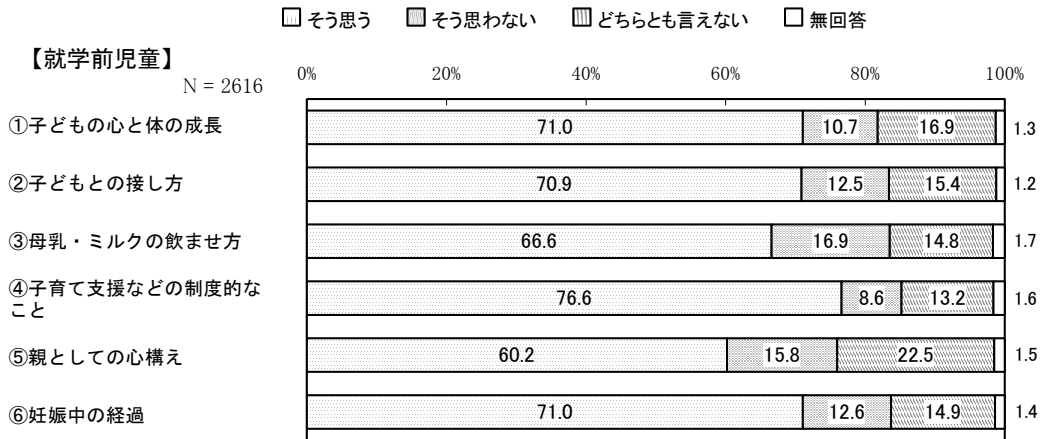
その他の主な回答

- ・子どもができない
- ・配偶者がいない(離婚、死別など)
- ・子育てに対する不安がある

問 お子さんが生まれる前に子育てに関して知っておきたかったことについて、母親と父親それぞれ①～⑥に1つずつ〇をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。(就学前児童：問 25)

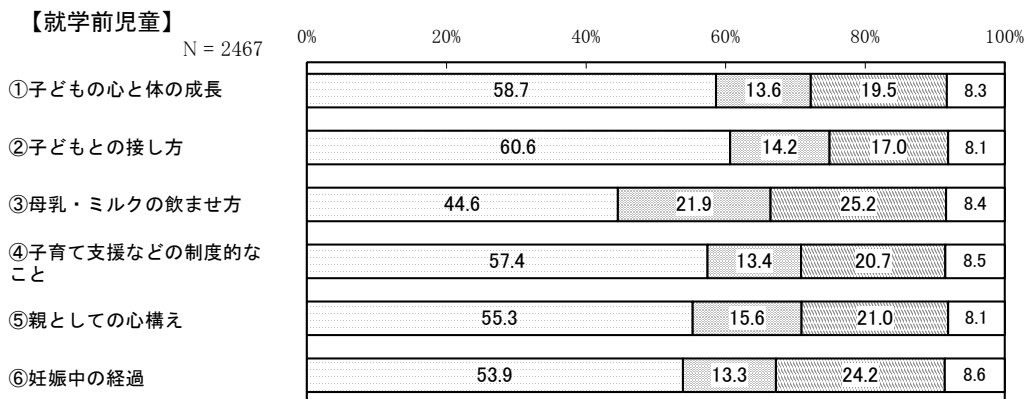
母親

就学前児童では、④子育て支援などの制度的なこと「そう思う」の割合が高くなっています。



父親

就学前児童では、③母乳・ミルクの飲ませ方で「そう思わない」の割合が高くなっています。



問 仕事と子育てに関する男女の生き方について、母親と父親それぞれにとっての現状と理想について、当てはまる番号1つに○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。(就学前児童：問26、就学児童：問25)

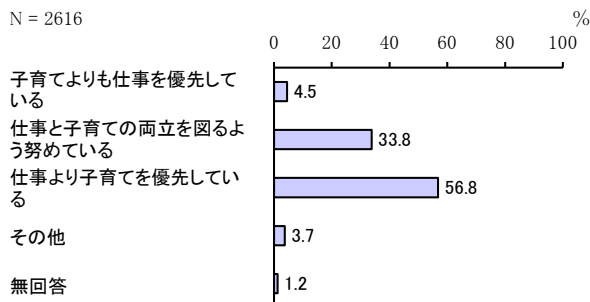
母親

① 現状

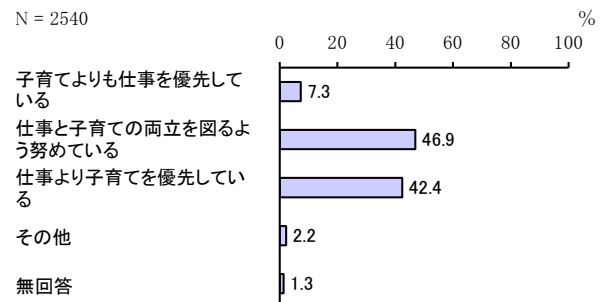
就学前児童では、「仕事より子育てを優先している」の割合が56.8%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立を図るよう努めている」の割合が33.8%となっています。

就学児童では、「仕事と子育ての両立を図るよう努めている」の割合が46.9%と最も高く、次いで「仕事より子育てを優先している」の割合が42.4%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

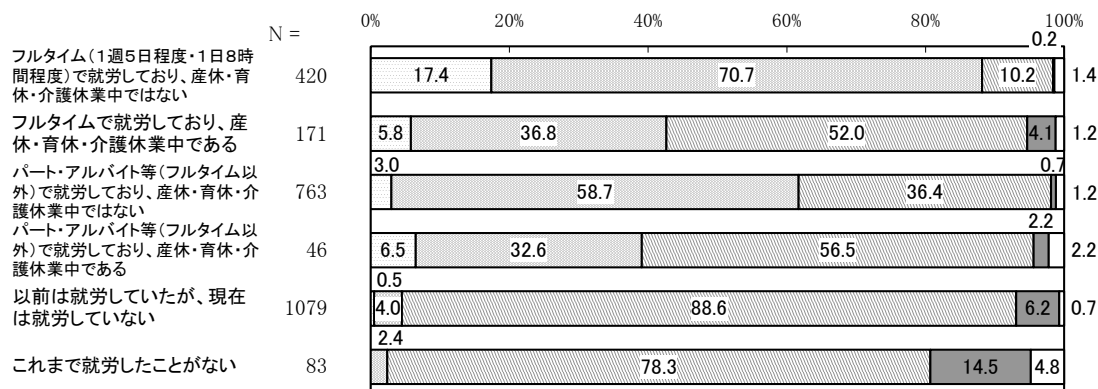


【母親の就労状況別】

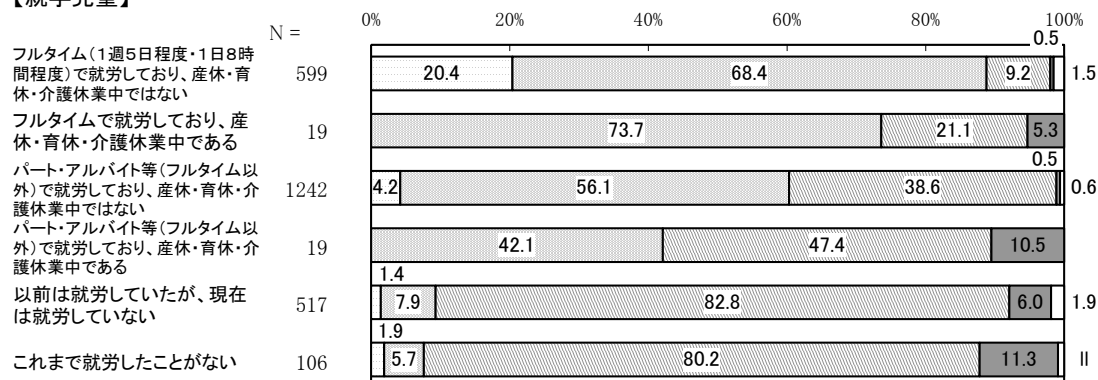
母親の就労状況別でみると、就学前児童、就学児童ともにフルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「子育てよりも仕事を優先している」「仕事と子育ての両立を図るよう努めている」の割合が高くなっています。

- 子育てよりも仕事を優先している
- ▨ 仕事と子育ての両立を図るよう努めている
- ▩ 仕事より子育てを優先している
- その他
- 無回答

【就学前児童】



【就学児童】

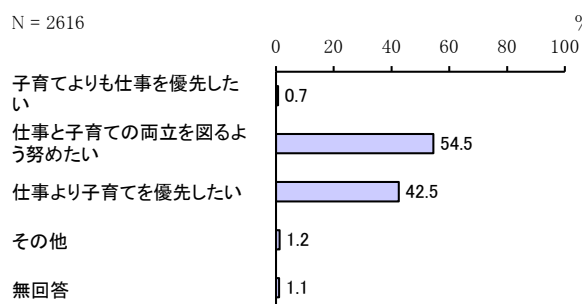


② 理想

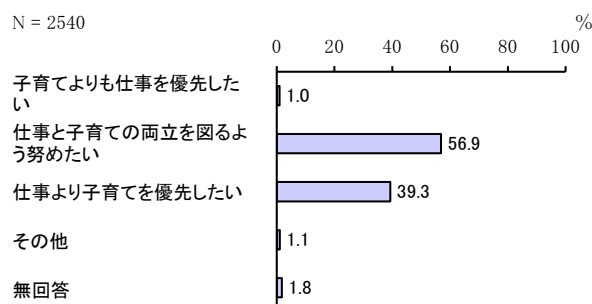
就学前児童では、「仕事と子育ての両立を図るよう努めたい」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「仕事より子育てを優先したい」の割合が 42.5%となっています。

就学児童では、「仕事と子育ての両立を図るよう努めたい」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「仕事より子育てを優先したい」の割合が 39.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

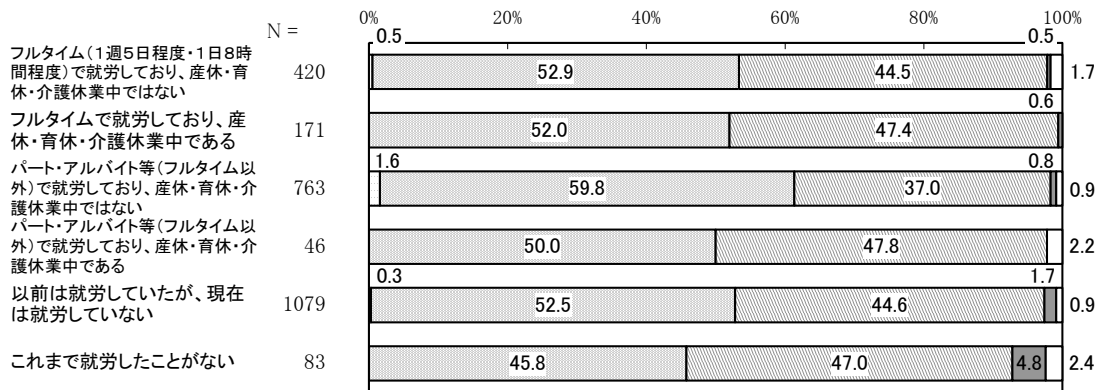


【母親の就労状況別】

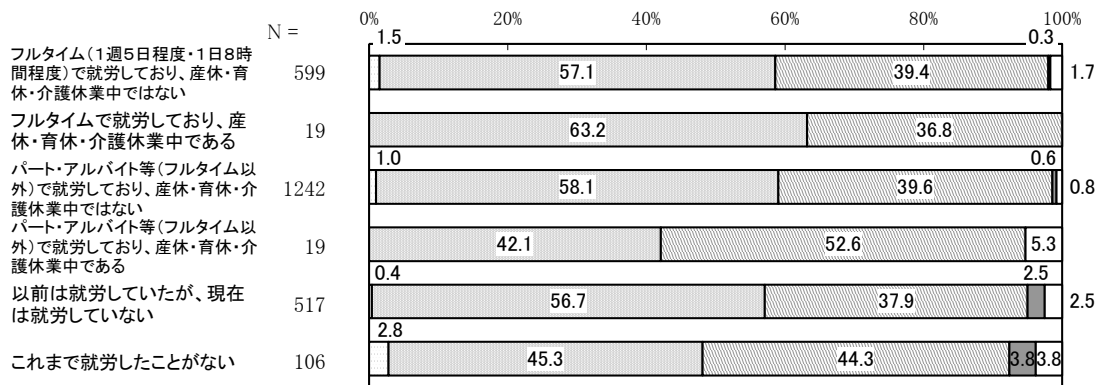
母親の就労状況別でみると、就学前児童では、パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「仕事と子育ての両立を図るよう努めたい」の割合が高くなっています。就学児童では、パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中であるで「仕事と子育ての両立を図るよう努めたい」の割合が低く、「仕事より子育てを優先したい」の割合が高くなっています。

- 子育てよりも仕事を優先している
- ▨ 仕事と子育ての両立を図るよう努めている
- ▩ 仕事より子育てを優先している
- その他
- 無回答

【就学前児童】



【就学児童】



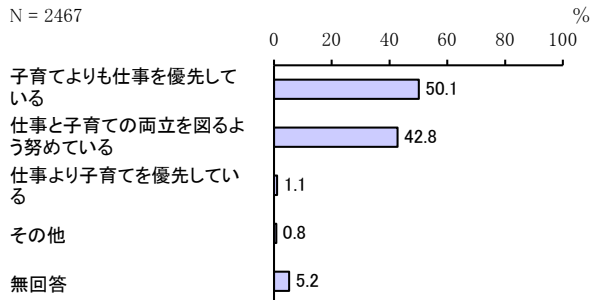
父親

① 現状

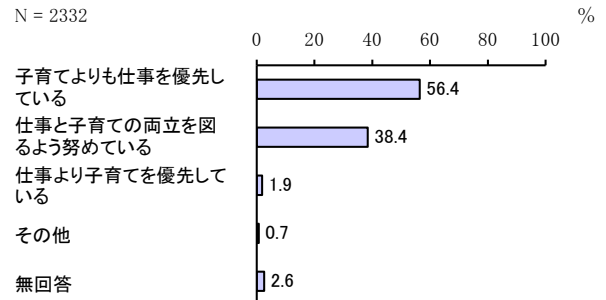
就学前児童では、「子育てよりも仕事を優先している」の割合が50.1%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立を図るよう努めている」の割合が42.8%となっています。

就学児童では、「子育てよりも仕事を優先している」の割合が56.4%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立を図るよう努めている」の割合が38.4%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

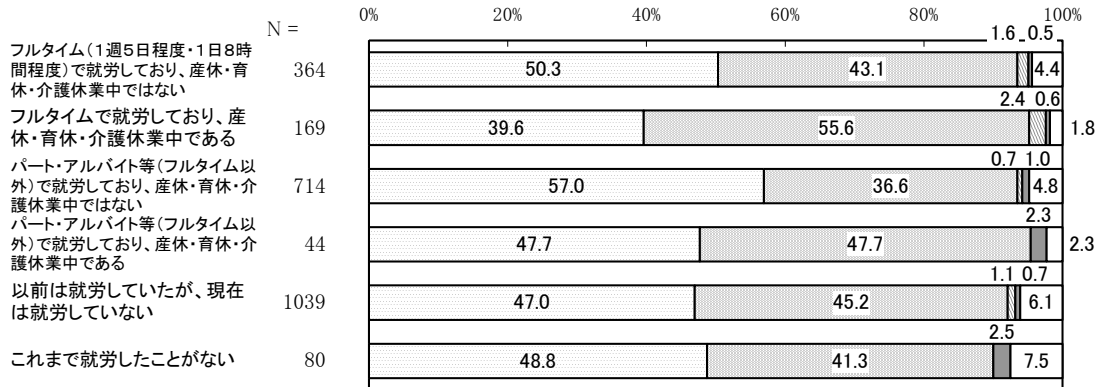


【母親の就労状況別】

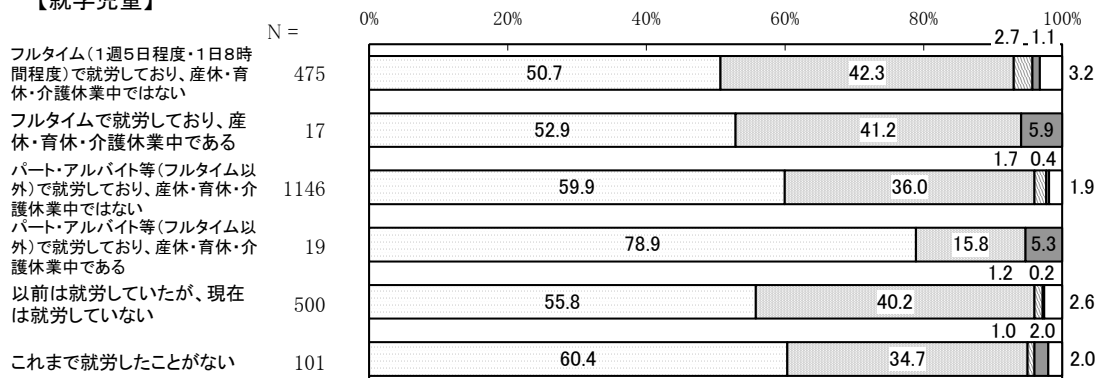
母親の就労状況別でみると、就学前児童では、パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「子育てよりも仕事を優先している」の割合が高くなっています。就学児童では、パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中であるで「子育てよりも仕事を優先している」の割合が高くなっています。

- 子育てよりも仕事を優先している
- ▨ 仕事と子育ての両立を図るよう努めている
- ▩ 仕事より子育てを優先している
- その他
- 無回答

【就学前児童】



【就学児童】



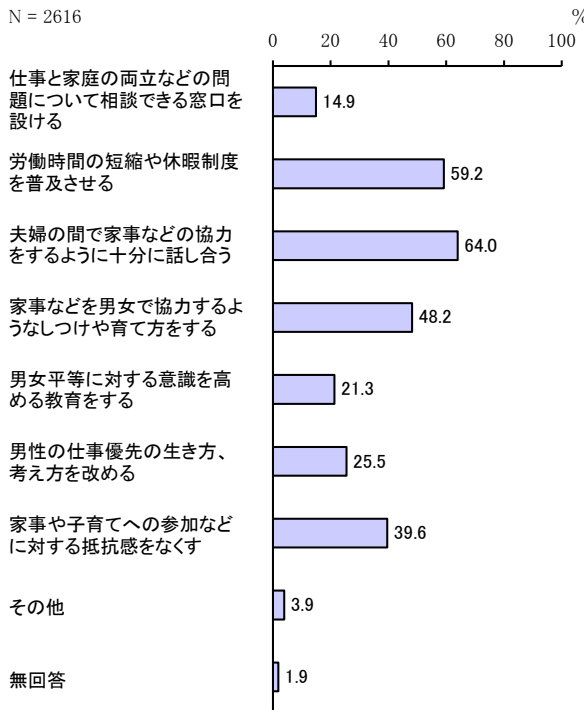
問 男性が女性とともに家事や子育て、教育に積極的に参加するためには何が必要だと思いますか。母親と父親それぞれの考えについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。
(就学前児童：問 27、就学児童：問 26)

母親

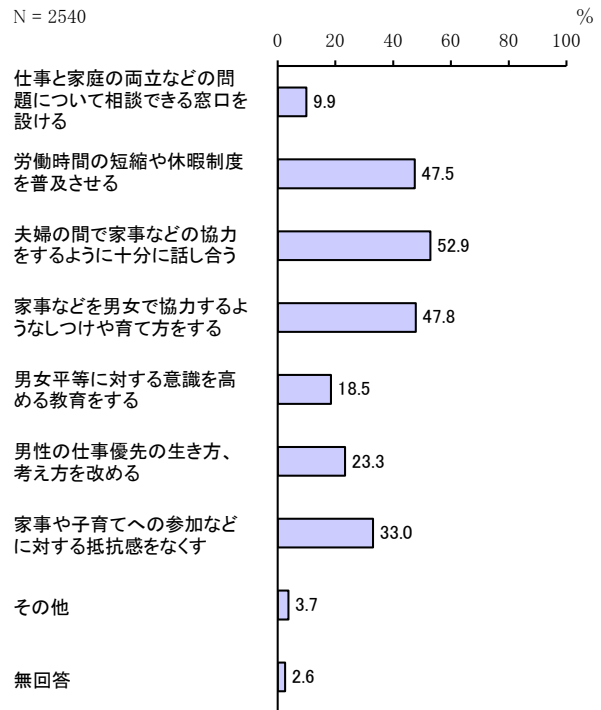
就学前児童では、「夫婦の間で家事などの協力をするように十分に話し合う」の割合が 64.0%と最も高く、次いで「労働時間の短縮や休暇制度を普及させる」の割合が 59.2%、「家事などを男女で協力するようなしつけや育て方をする」の割合が 48.2%となっています。

就学児童では、「夫婦の間で家事などの協力をするように十分に話し合う」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「家事などを男女で協力するようなしつけや育て方をする」の割合が 47.8%、「労働時間の短縮や休暇制度を普及させる」の割合が 47.5%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

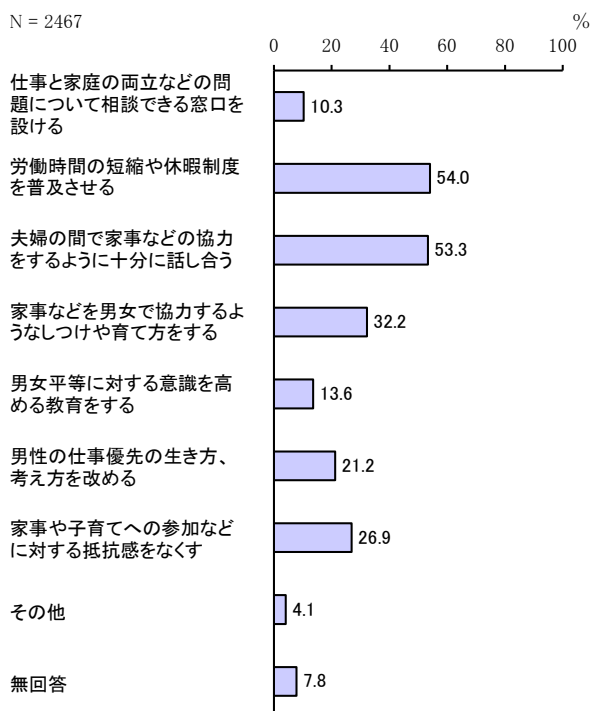


父親

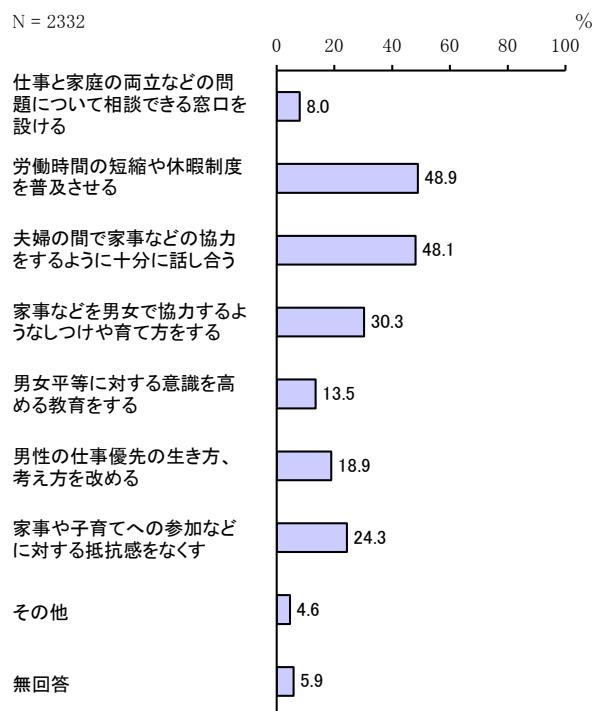
就学前児童では、「労働時間の短縮や休暇制度を普及させる」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「夫婦の間で家事などの協力をするように十分に話し合う」の割合が 53.3%、「家事などを男女で協力するようなしつけや育て方をする」の割合が 32.2%となっています。

就学児童では、「労働時間の短縮や休暇制度を普及させる」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「夫婦の間で家事などの協力をするように十分に話し合う」の割合が 48.1%、「家事などを男女で協力するようなしつけや育て方をする」の割合が 30.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



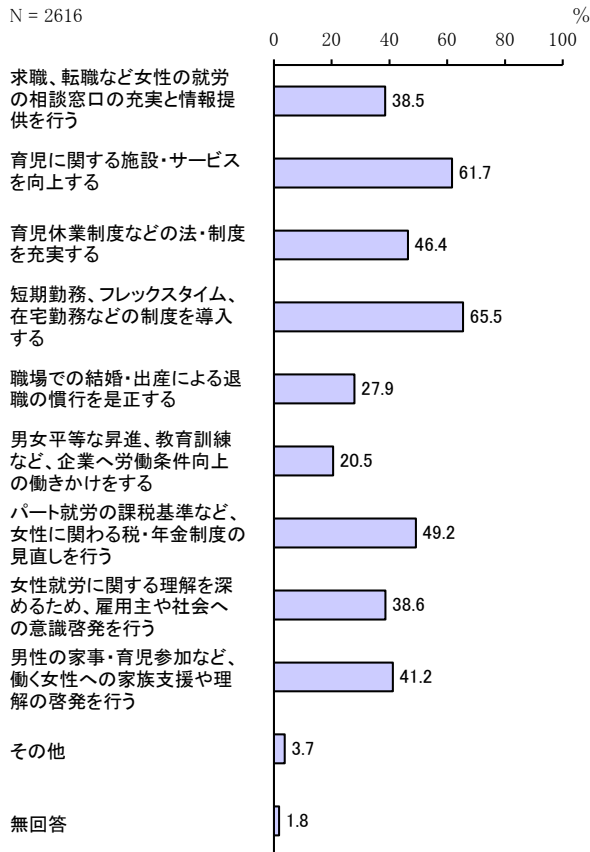
問 女性が育児をしながら働き続けるために、今の社会に何が必要だと思いますか。母親と父親それぞれの考えについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。
(就学前児童：問 28、就学児童：問 27)

母親

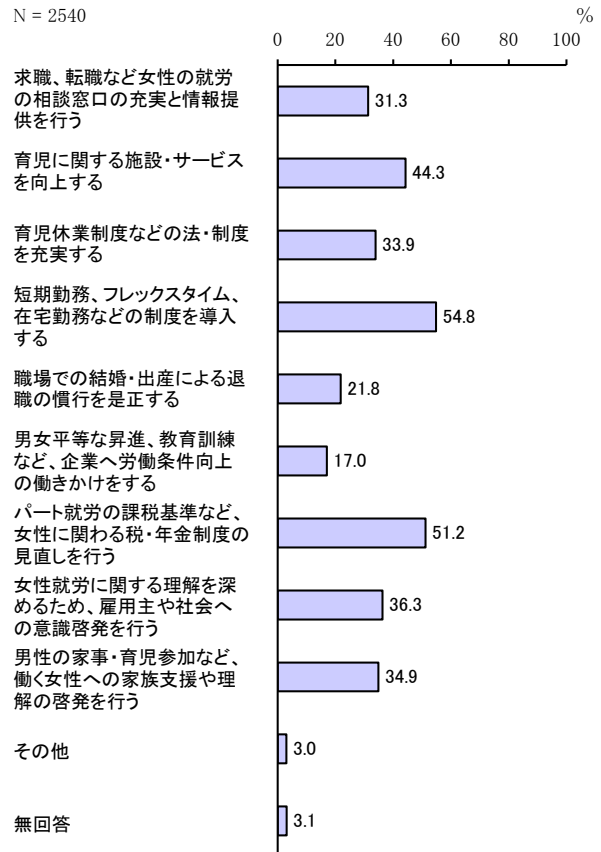
就学前児童では、「短期勤務、フレックスタイム、在宅勤務などの制度を導入する」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「育児に関する施設・サービスを向上する」の割合が 61.7%、「パート就労の課税基準など、女性に関わる税・年金制度の見直しを行う」の割合が 49.2%となっています。

就学児童では、「短期勤務、フレックスタイム、在宅勤務などの制度を導入する」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「パート就労の課税基準など、女性に関わる税・年金制度の見直しを行う」の割合が 51.2%、「育児に関する施設・サービスを向上する」の割合が 44.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

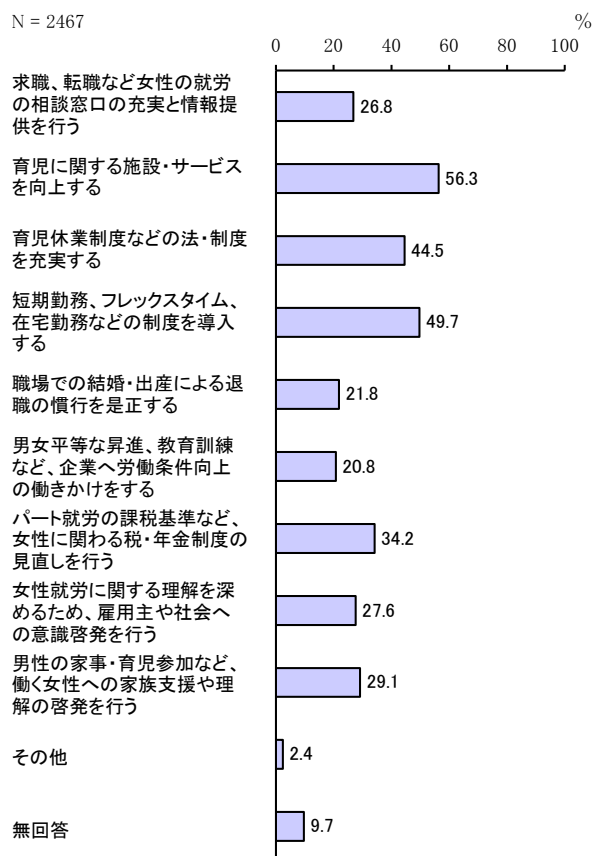


父親

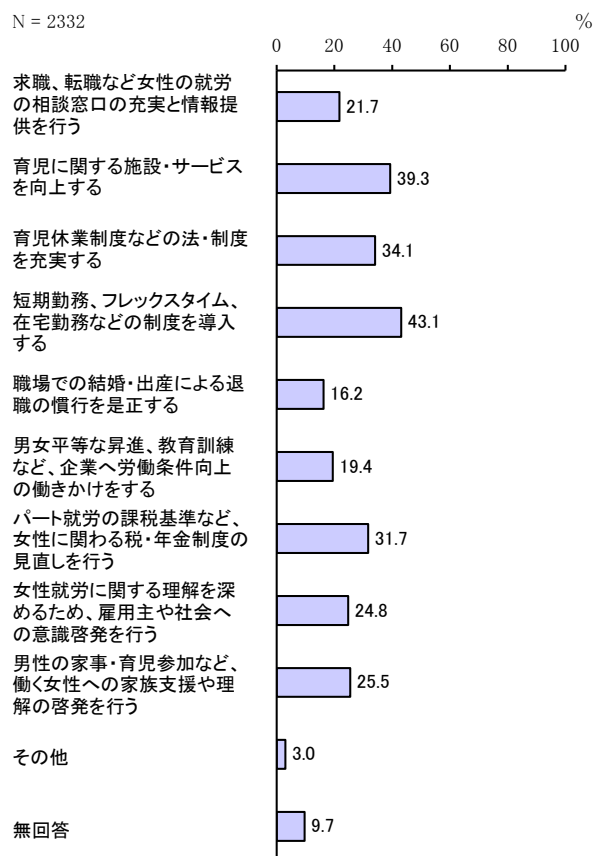
就学前児童では、「育児に関する施設・サービスを向上する」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「短期勤務、フレックスタイム、在宅勤務などの制度を導入する」の割合が 49.7%、「育児休業制度などの法・制度を充実する」の割合が 44.5%となっています。

就学児童では、「短期勤務、フレックスタイム、在宅勤務などの制度を導入する」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「育児に関する施設・サービスを向上する」の割合が 39.3%、「育児休業制度などの法・制度を充実する」の割合が 34.1%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



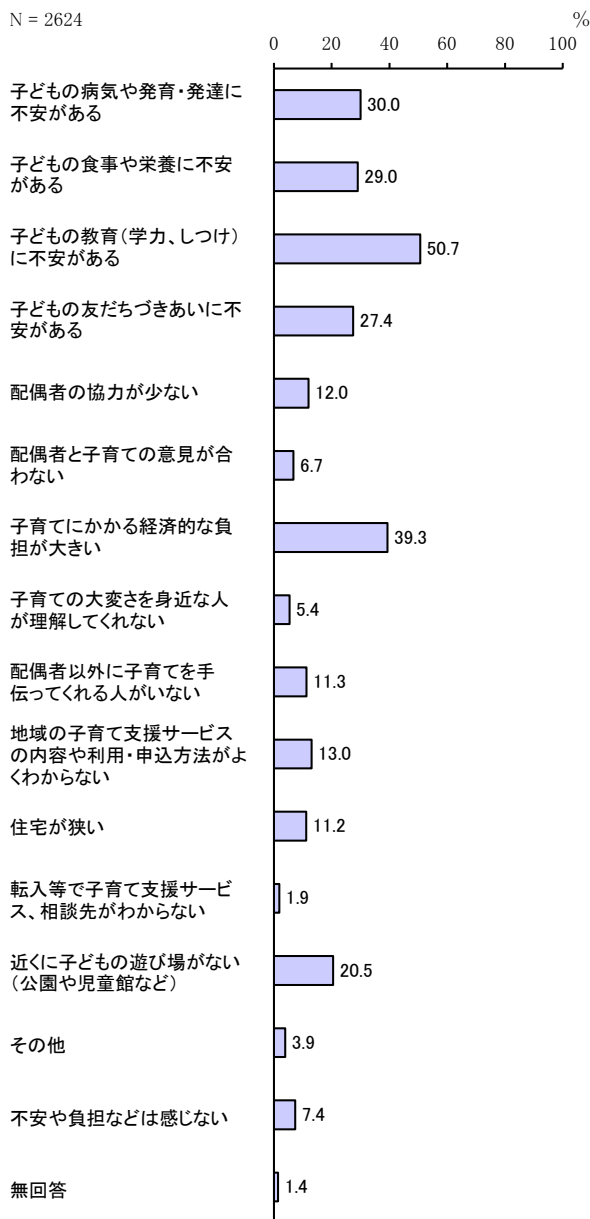
(2) 子育てに関する悩みや不安感

問 子育てに関して、不安などを感じることはありますか。当てはまる番号すべてに○を付けてください。(就学前児童：問 29、就学児童：問 28)

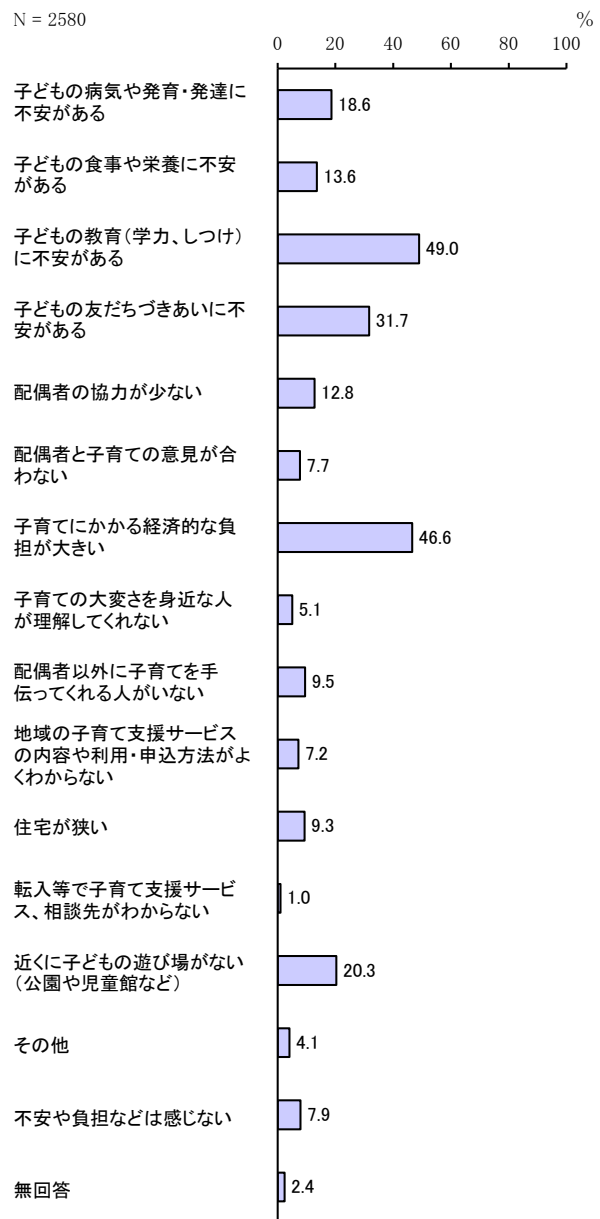
就学前児童では、「子どもの教育（学力、しつけ）に不安がある」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「子育てにかかる経済的な負担が大きい」の割合が 39.3%、「子どもの病気や発育・発達に不安がある」の割合が 30.0%となっています。

就学児童では、「子どもの教育（学力、しつけ）に不安がある」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「子育てにかかる経済的な負担が大きい」の割合が 46.6%、「子どもの友だちづきあいに不安がある」の割合が 31.7%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

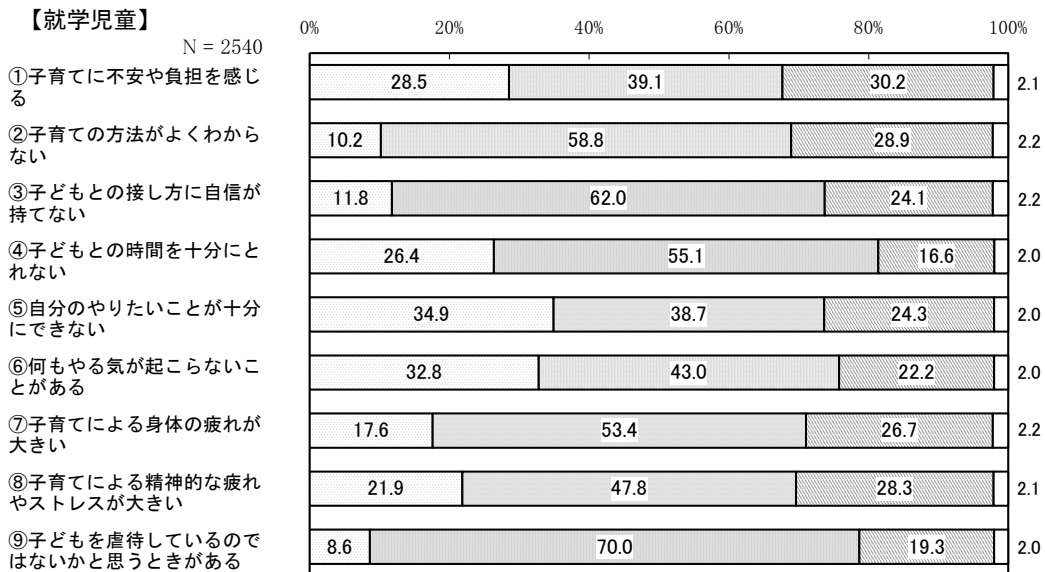
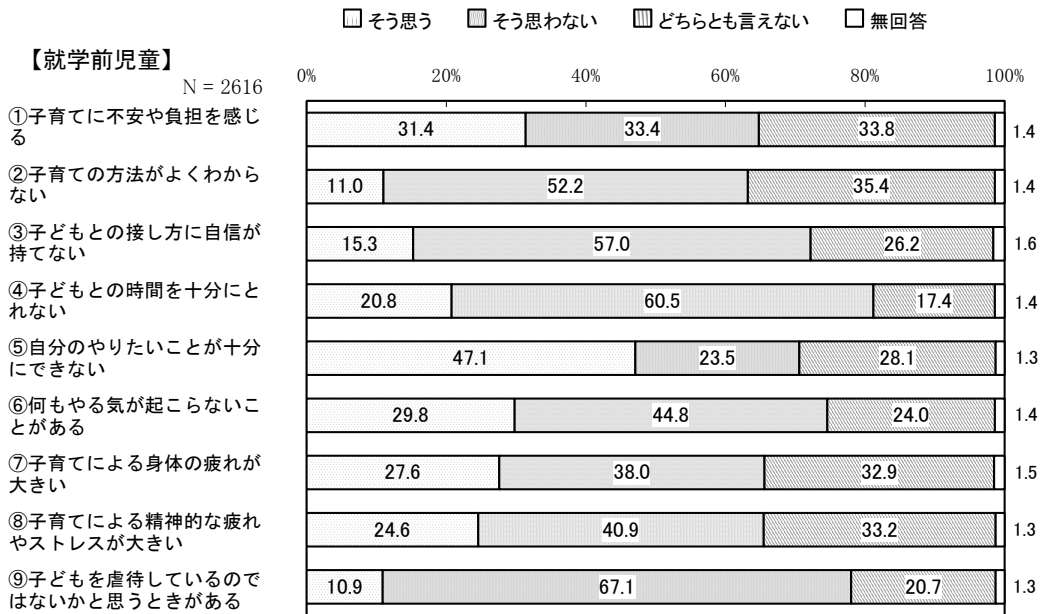


問 子育てをする上で、母親と父親それぞれの体調やお気持ちなどについてお答えください。
 ①～⑨について1つずつ○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。(就学前児童：問 30、就学児童：問 29)

母親

就学前児童では、⑤自分のやりたいことが十分にできないで「そう思う」の割合が高くなっています。

就学児童では、⑤自分のやりたいことが十分にできない、⑥何もやる気が起こらないことがあるで「そう思う」の割合が高くなっています。



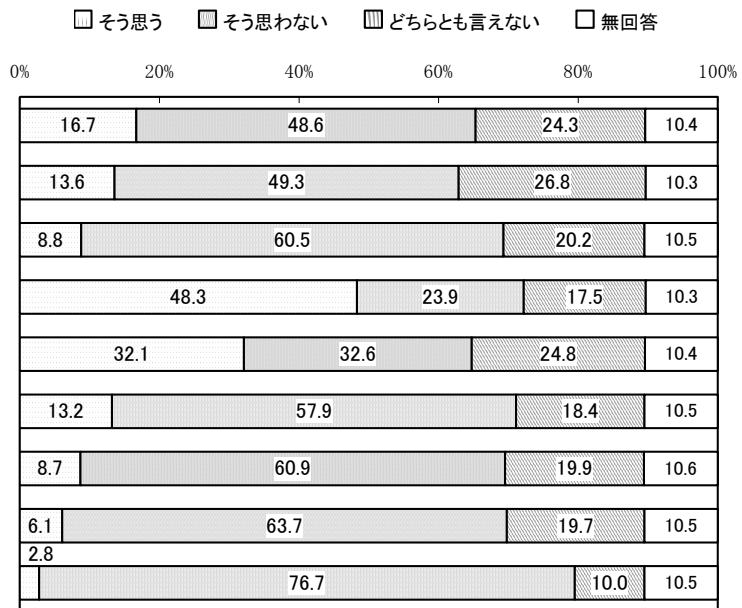
父親

就学前児童では、④子どもとの時間を十分にとれないで「そう思う」の割合が高くなっています。
 就学児童では、④子どもとの時間を十分にとれないで「そう思う」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

N = 2467

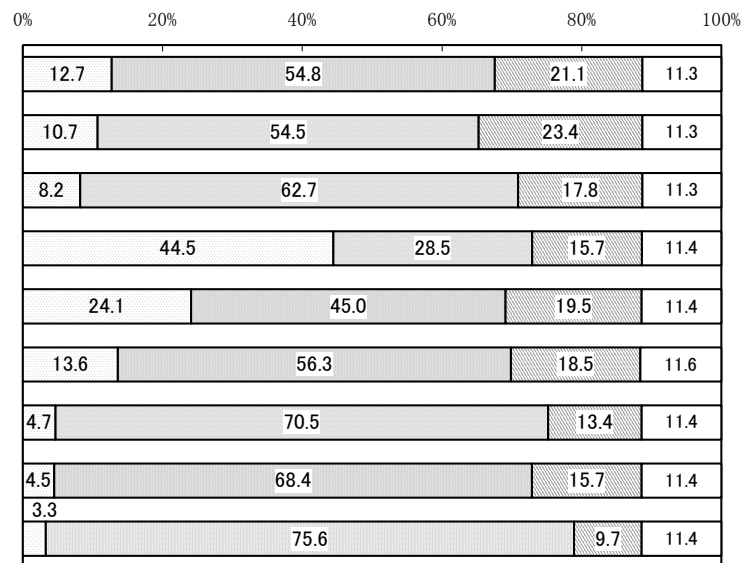
- ①子育てに不安や負担を感じる
- ②子育ての方法がよくわからない
- ③子どもとの接し方に自信が持てない
- ④子どもとの時間を十分にとれない
- ⑤自分のやりたいことが十分にできない
- ⑥何もやる気が起こらないことがある
- ⑦子育てによる身体の疲れが大きい
- ⑧子育てによる精神的な疲れやストレスが大きい
- ⑨子どもを虐待しているのではないかと思うときがある



【就学児童】

N = 2332

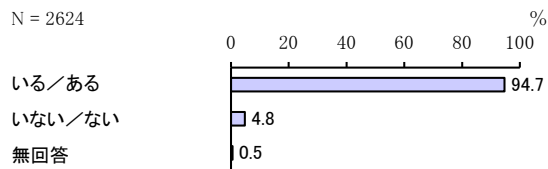
- ①子育てに不安や負担を感じる
- ②子育ての方法がよくわからない
- ③子どもとの接し方に自信が持てない
- ④子どもとの時間を十分にとれない
- ⑤自分のやりたいことが十分にできない
- ⑥何もやる気が起こらないことがある
- ⑦子育てによる身体の疲れが大きい
- ⑧子育てによる精神的な疲れやストレスが大きい
- ⑨子どもを虐待しているのではないかと思うときがある



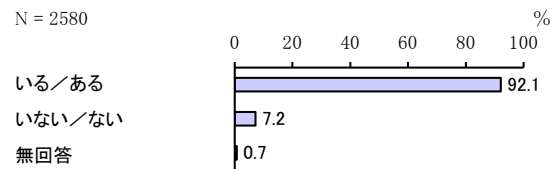
問 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
または、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
（就学前児童：問31、就学児童：問30）

就学前児童では、「いる／ある」の割合が94.7%、「いない／ない」の割合が4.8%となっています。就学児童では「いる／ある」の割合が92.1%、「いない／ない」の割合が7.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

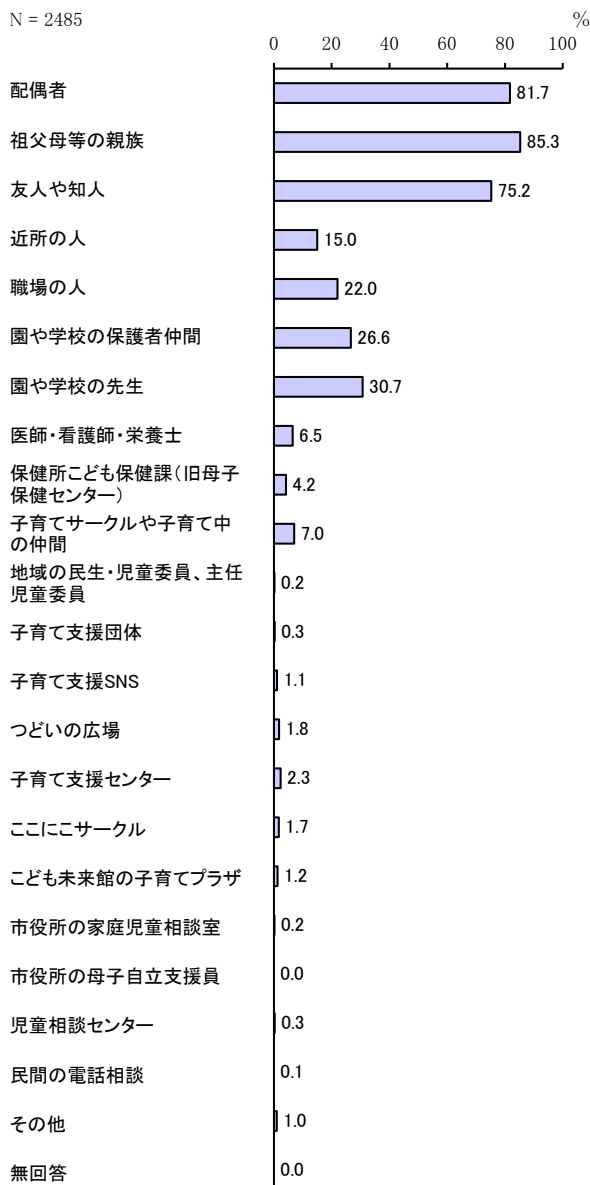


問 P.132(就学前児童：問 31、就学児童：問 30)で「いる／ある」に○をつけた方にかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
(就学前児童：問 31-1、就学児童：問 30-1)

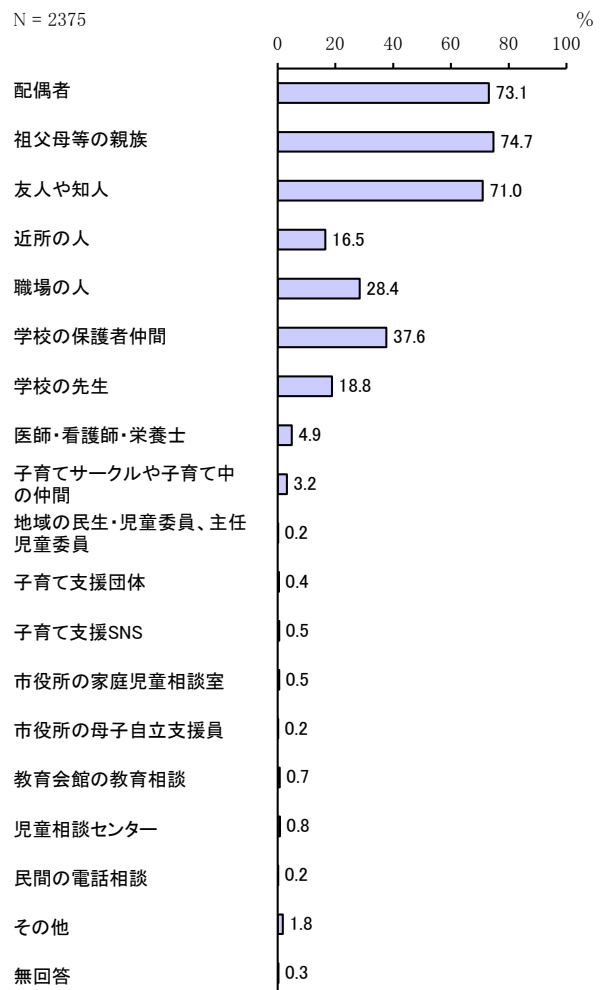
就学前児童では、「祖父母等の親族」の割合が 85.3%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が 81.7%、「友人や知人」の割合が 75.2%となっています。

就学児童では、「祖父母等の親族」の割合が 74.7%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が 73.1%、「友人や知人」の割合が 71.0%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



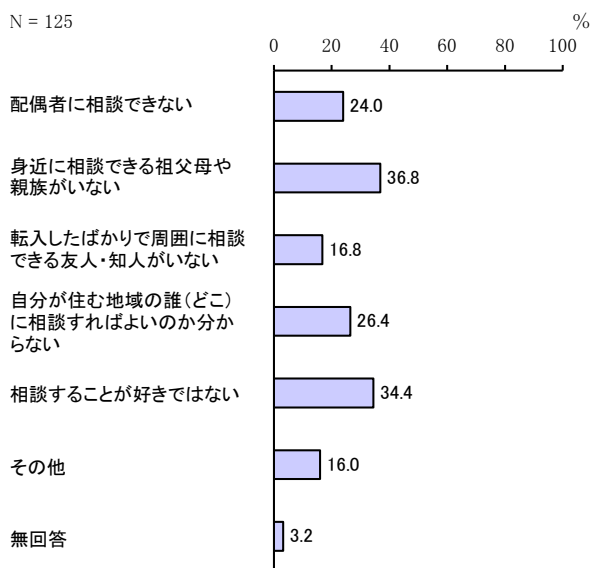
問 P.132(就学前児童：問 31、就学児童：問 30)で「いない／ない」に○をつけた方にうかがいます。気軽に相談できる先(人)がない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 31-2、就学児童：問 30-2)

就学前児童では、「身近に相談できる祖父母や親族がない」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「相談することが好きではない」の割合が 34.4%、「自分が住む地域の誰(どこ)に相談すればよいのか分からない」の割合が 26.4%となっています。

就学児童では、「相談することが好きではない」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「身近に相談できる祖父母や親族がない」の割合が 30.1%、「自分が住む地域の誰(どこ)に相談すればよいのか分からない」の割合が 26.3%となっています。

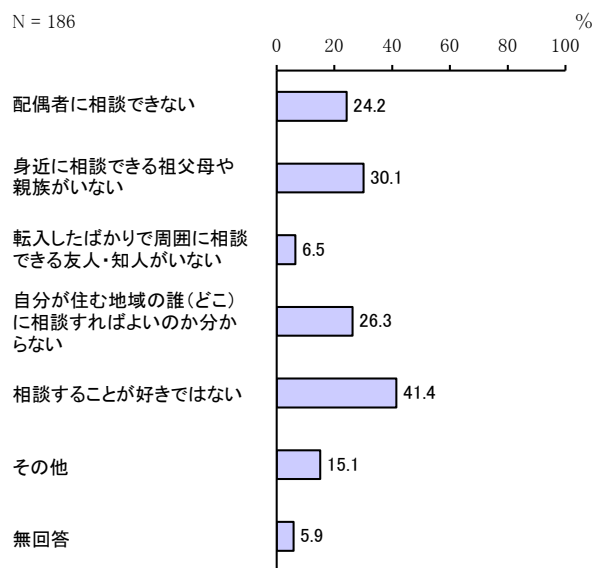
【就学前児童】

N = 125



【就学児童】

N = 186



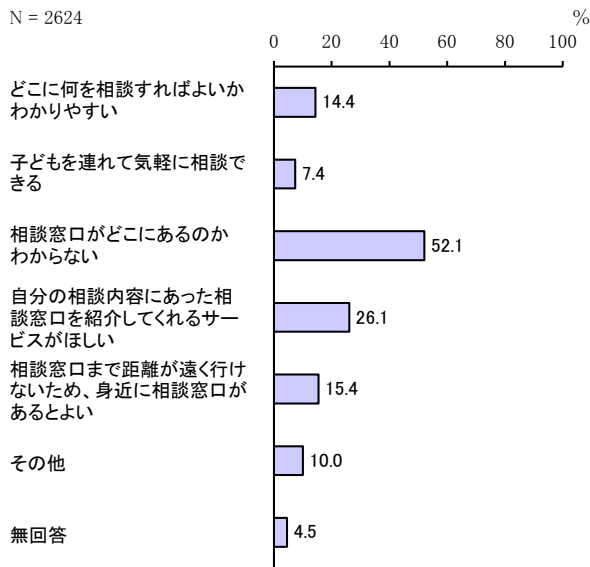
問 市の子育てに関する相談窓口について、当てはまると思う番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 32、就学児童：問 31)

就学前児童では、「相談窓口がどこにあるのかわからない」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「自分の相談内容にあった相談窓口を紹介してくれるサービスがほしい」の割合が 26.1%、「相談窓口まで距離が遠く行けないため、身近に相談窓口があるとよい」の割合が 15.4%となっています。

就学児童では、「相談窓口がどこにあるのかわからない」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「自分の相談内容にあった相談窓口を紹介してくれるサービスがほしい」の割合が 23.4%、「どこに何を相談すればよいかわかりやすい」の割合が 13.7%となっています。

【就学前児童】

N = 2624

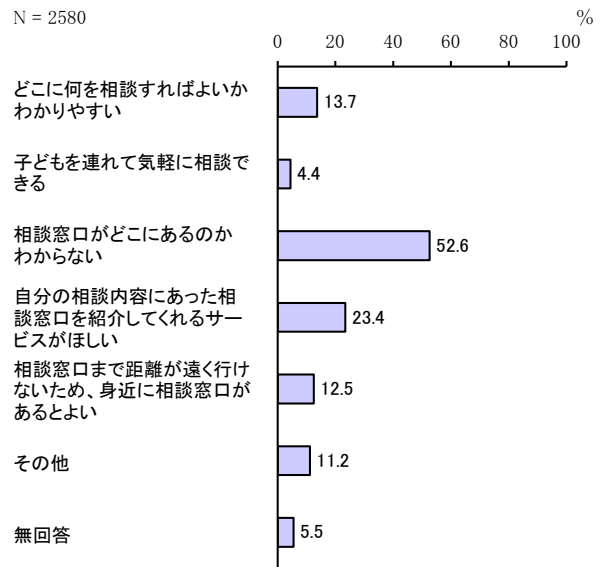


その他の主な回答

- ・利用したことがない、わからない
- ・利用する必要がない
- ・職員の対応や質を改善してほしい

【就学児童】

N = 2580



その他の主な回答

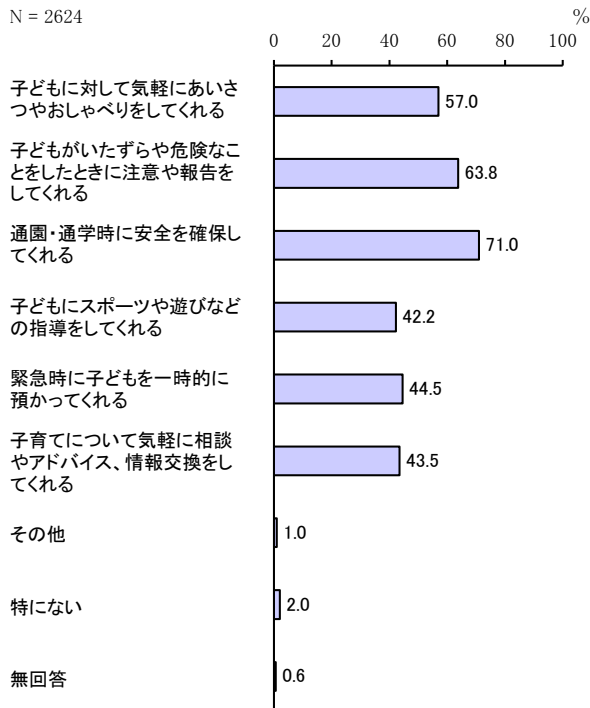
- ・利用したことがない、わからない
- ・利用する必要がない
- ・職員の対応や質を改善してほしい

問 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
 （就学前児童：問 33、就学児童：問 32）

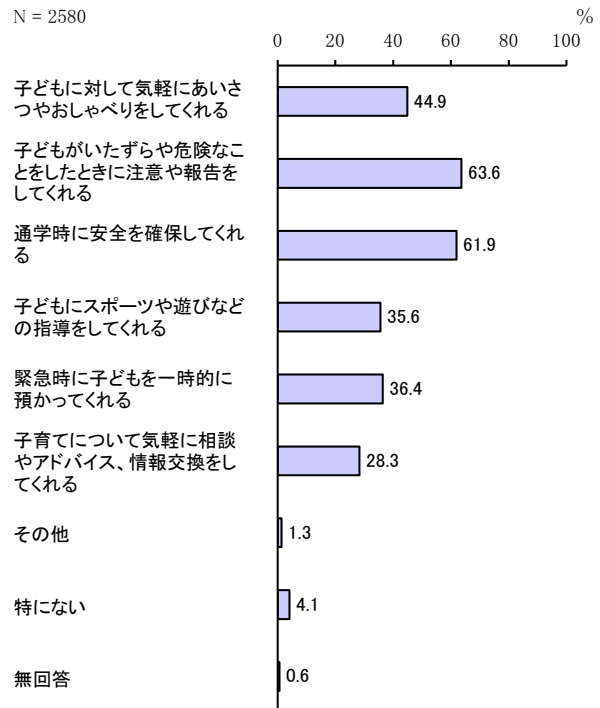
就学前児童では、「通園・通学時に安全を確保してくれる」の割合が 71.0%と最も高く、次いで「子どもがいたずらや危険なことをしたときに注意や報告をしてくれる」の割合が 63.8%、「子どもに対して気軽にあいさつやおしゃべりをしてくれる」の割合が 57.0%となっています。

就学児童では、「子どもがいたずらや危険なことをしたときに注意や報告をしてくれる」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「通学時に安全を確保してくれる」の割合が 61.9%、「子どもに対して気軽にあいさつやおしゃべりをしてくれる」の割合が 44.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



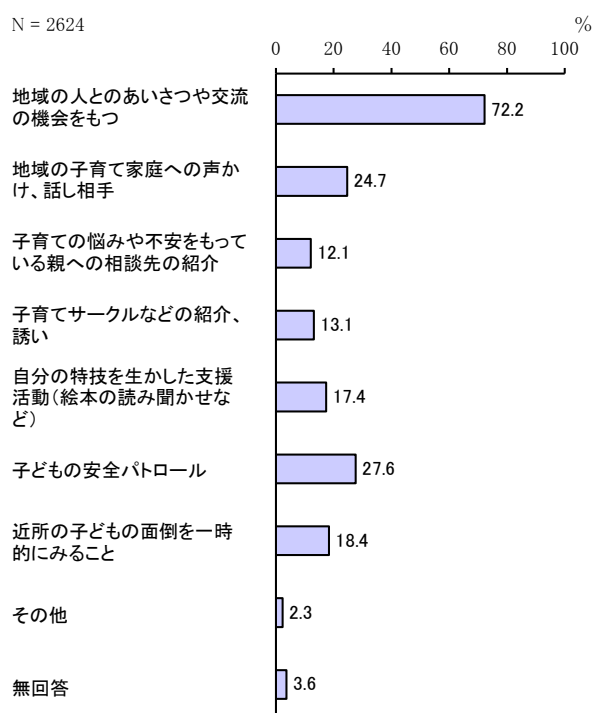
(3) 地域との関わり

問 あなた自身が保護者として、これならできる（してもいい）と考える子育て支援に関する活動は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（就学前児童：問 34、就学児童：問 33）

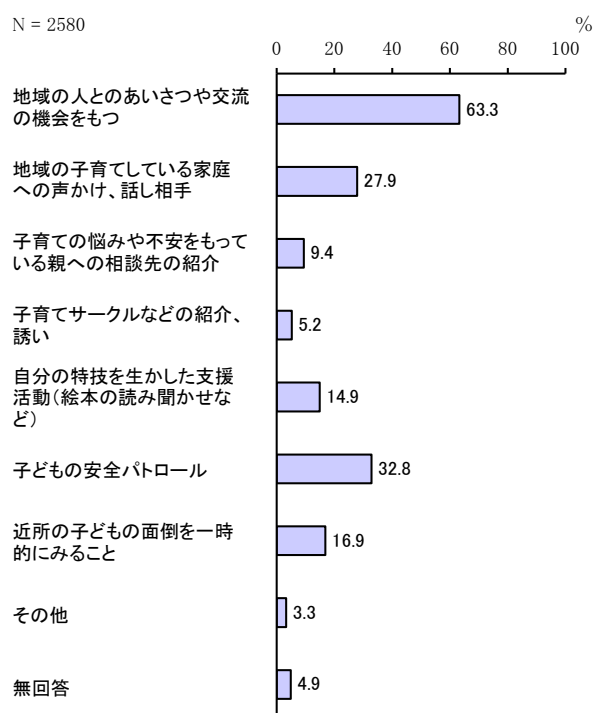
就学前児童では、「地域の人とのあいさつや交流の機会をもつ」の割合が 72.2%と最も高く、次いで「子どもの安全パトロール」の割合が 27.6%、「地域の子育て家庭への声かけ、話し相手」の割合が 24.7%となっています。

就学児童では、「地域の人とのあいさつや交流の機会をもつ」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「子どもの安全パトロール」の割合が 32.8%、「地域の子育てしている家庭への声かけ、話し相手」の割合が 27.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



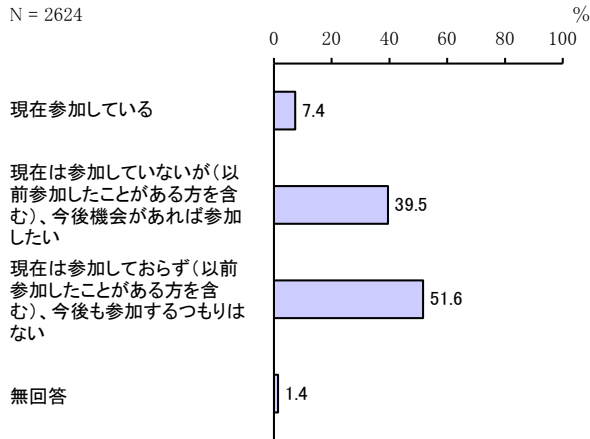
問 あなたを含め、あて名のお子さんの保護者の方は、子育てに関するサークルなど自主的な活動（行政が行うものを除く）に参加していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（就学前児童：問35、就学児童：問34）

就学前児童では、「現在は参加しておらず（以前参加したことがある方を含む）、今後も参加するつもりはない」の割合が51.6%と最も高く、次いで「現在は参加していないが（以前参加したことがある方を含む）、今後機会があれば参加したい」の割合が39.5%となっています。

就学児童では、「現在は参加しておらず（以前参加したことがある方を含む）、今後も参加するつもりはない」の割合が69.5%と最も高く、次いで「現在は参加していないが（以前参加したことがある方を含む）、今後機会があれば参加したい」の割合が23.9%となっています。

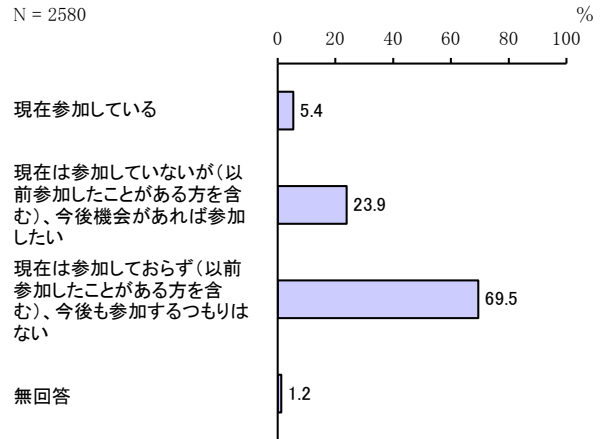
【就学前児童】

N = 2624



【就学児童】

N = 2580

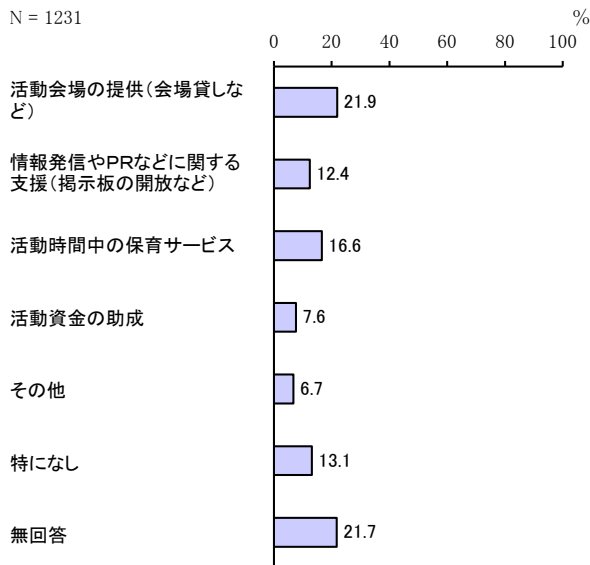


問 「現在参加している」「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」と答えた方にうかがいます。自主活動をしていく上で行政に望む支援は何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(就学前児童：問 35-1、就学児童：問 34-1)

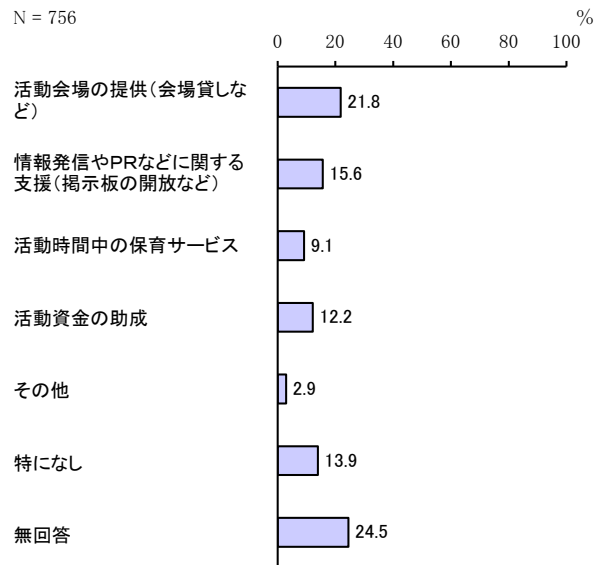
就学前児童では、「活動会場の提供（会場貸しなど）」の割合が 21.9%と最も高く、次いで「活動時間中の保育サービス」の割合が 16.6%、「特になし」の割合が 13.1%となっています。

就学児童では、「活動会場の提供（会場貸しなど）」の割合が 21.8%と最も高く、次いで「情報発信やPRなどに関する支援（掲示板の開放など）」の割合が 15.6%、「特になし」の割合が 13.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



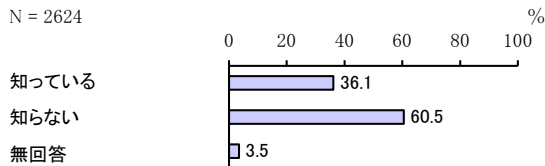
問 豊橋市内には様々な子育て支援団体がありますが、次の（１）～（３）について、当てはまる番号１つに○をつけてください。（就学前児童：問 36、就学児童：問 35）

市内で活動する子育て支援団体の認知度

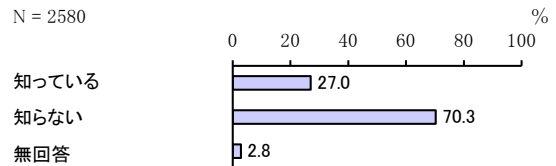
就学前児童では、「知っている」の割合が 36.1%、「知らない」の割合が 60.5%となっています。

就学児童では、「知っている」の割合が 27.0%、「知らない」の割合が 70.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

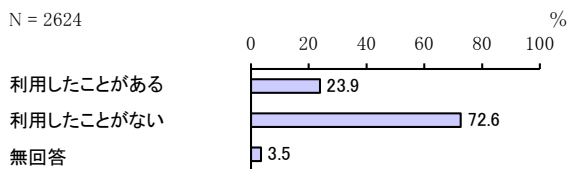


子育て支援団体の行う支援や活動の利用の有無

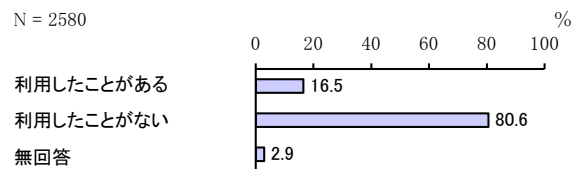
就学前児童では、「利用したことがある」の割合が 23.9%、「利用したことがない」の割合が 72.6%となっています。

就学児童では、「利用したことがある」の割合が 16.5%、「利用したことがない」の割合が 80.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

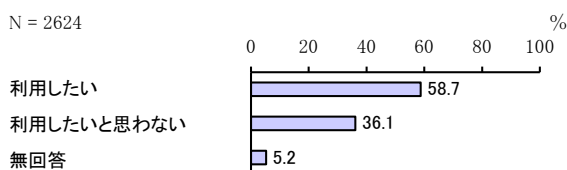


今後の子育て支援団体の行う支援や活動の利用希望

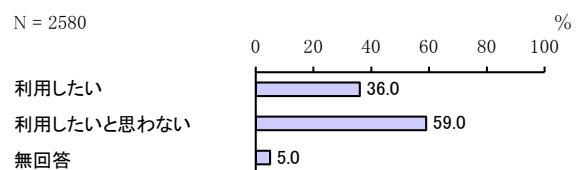
就学前児童では、「利用したい」の割合が 58.7%、「利用したいと思わない」の割合が 36.1%となっています。

就学児童では、「利用したい」の割合が 36.0%、「利用したいと思わない」の割合が 59.0%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



6 豊橋市の子育て環境・子育て支援サービスについて

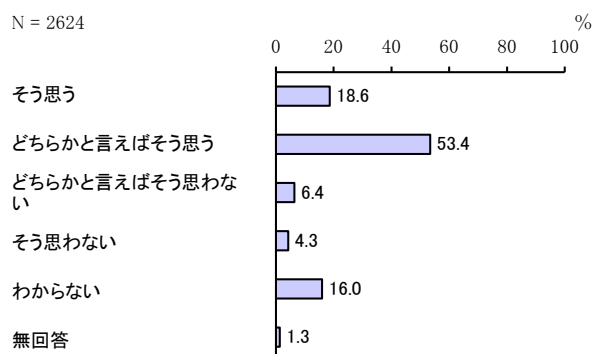
(1) 子育て環境や子育て支援サービス全般について

問 豊橋市は子育てする上で住みよいまちだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。(就学前児童：問37、就学児童：問36)

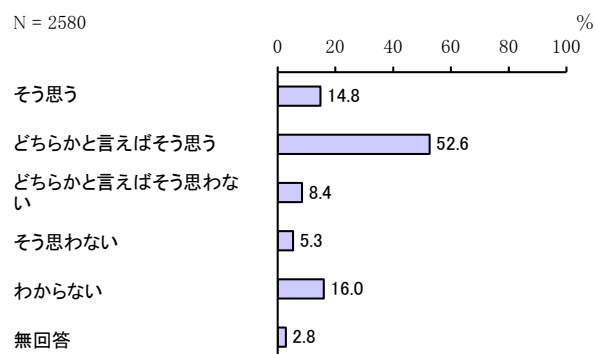
就学前児童では、「どちらかと言えばそう思う」の割合が53.4%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が18.6%、「わからない」の割合が16.0%となっています。

就学児童では、「どちらかと言えばそう思う」の割合が52.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が16.0%、「そう思う」の割合が14.8%となっています。

【就学前児童】



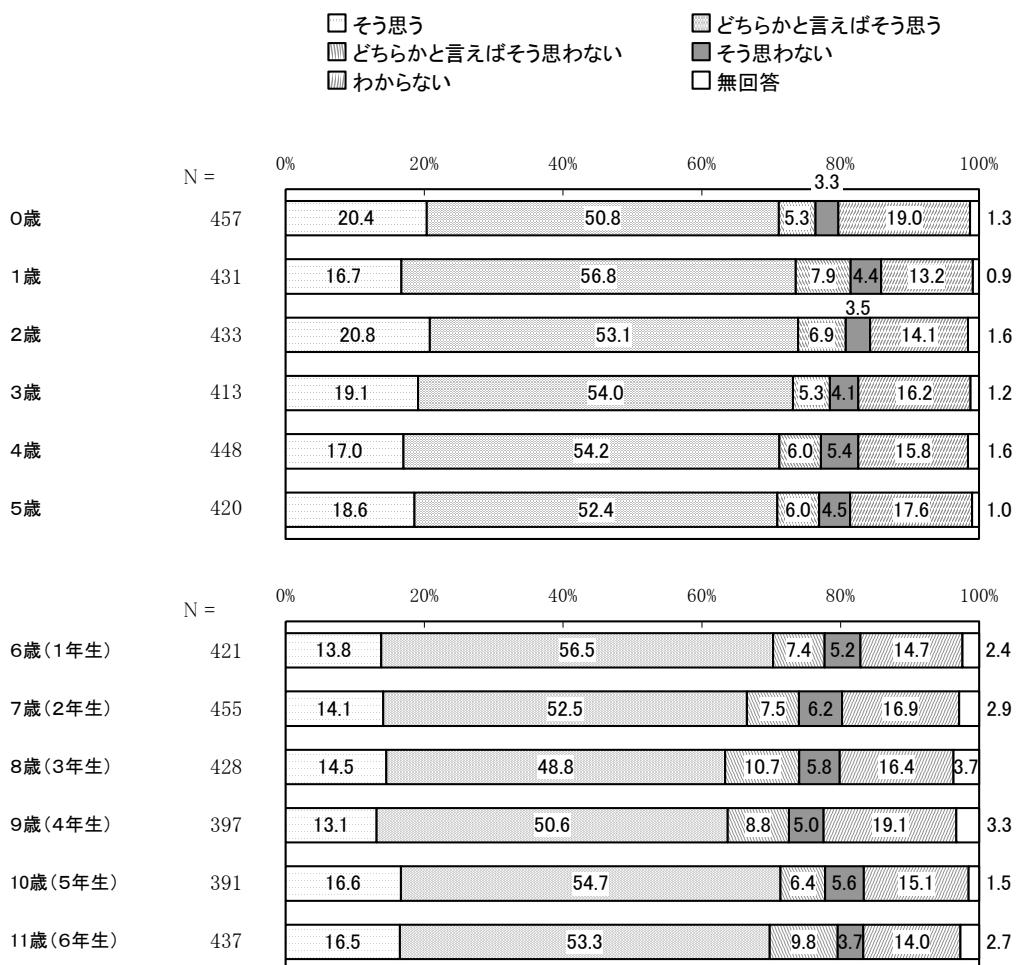
【就学児童】



選択肢	平成20年度調査		平成25年度調査	
	件数	割合	件数	割合
全体	1,089	100.0	2,624	100.0
そう思う	156	14.3	489	18.6
どちらかと言えばそう思う	523	48.0	1,401	53.4
どちらかと言えばそう思わない	121	11.1	168	6.4
そう思わない	75	6.9	112	4.3
わからない	208	19.1	421	16.0
無回答	6	0.6	33	1.3

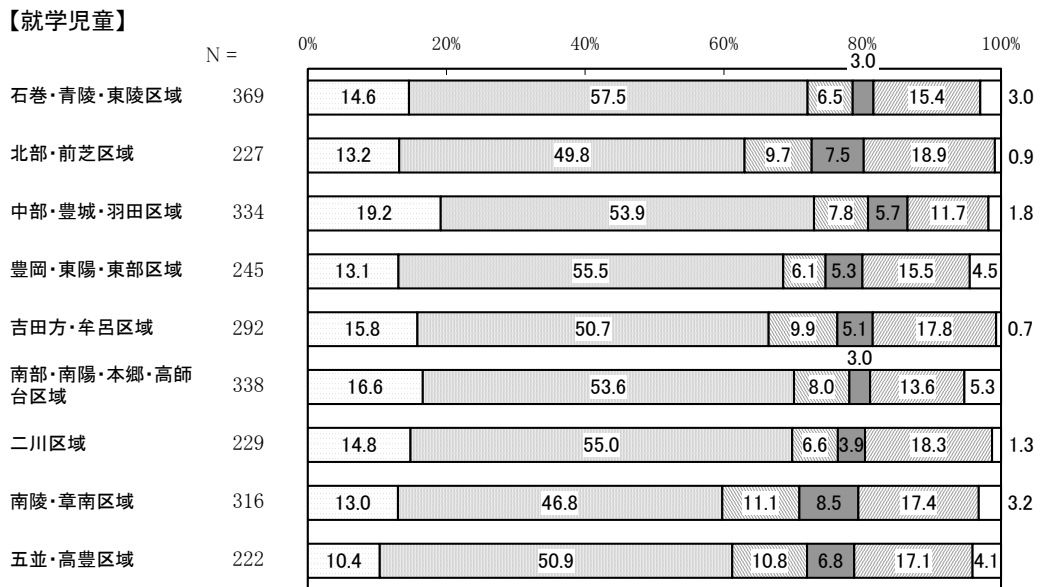
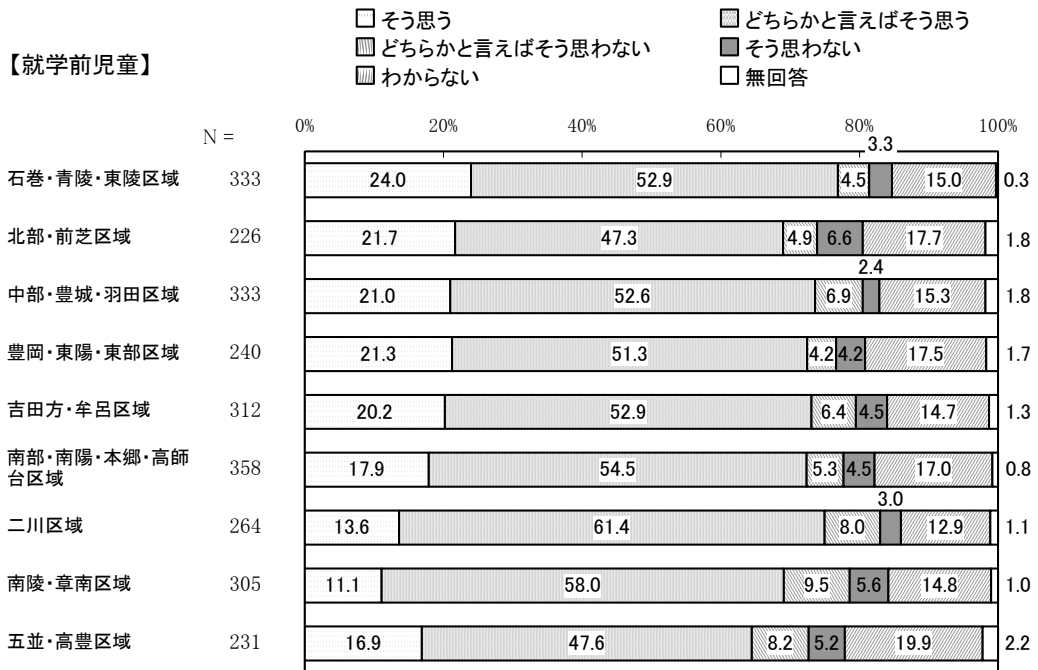
【年齢別】

年齢別でみると、就学前児童では大きな差異はみられません。就学児童では10歳、11歳で「思う」の割合が低くなっています。



【区域別】

校区別でみると、就学前児童では二川、南陵・章南区域で「そう思う」の割合が低くなっています。就学児童では中部・豊城・羽田区域で「そう思う」の割合が高くなっています。



問 豊橋市は子育てをする環境として、現在どのように感じていますか。また、これからの子育て環境を充実させるために何が重要だと思いますか。下記について、「(1) 現在」、「(2) これから」のそれぞれ1つずつに○をつけてください。
(就学前児童：問 38、就学児童：問 37)

現在

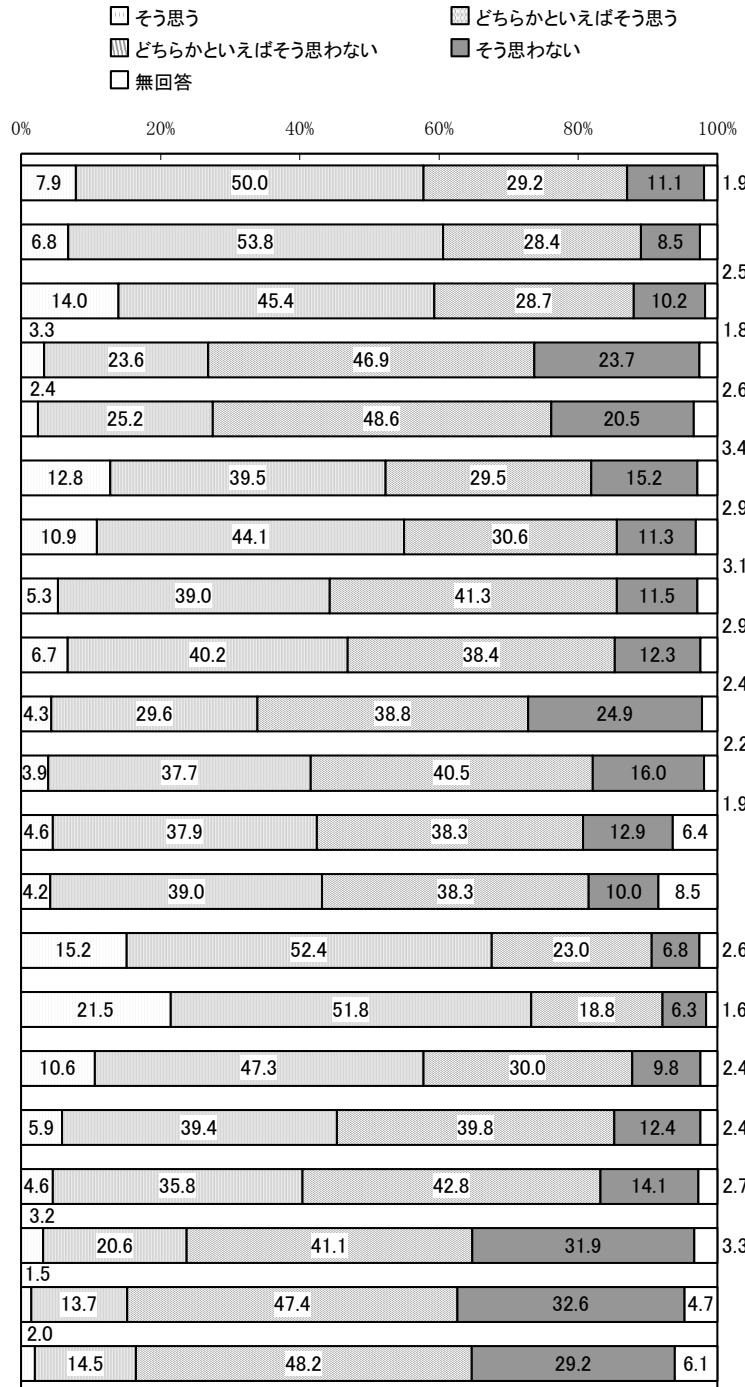
就学前児童では、⑭妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している、⑮子どものための医療施設が充実しているで「そう思う」の割合が高くなっています。

就学児童では、⑳子育て支援に積極的な企業が多いで「そう思わない」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

N = 2624

- ①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している
- ②子どもの教育環境が充実している
- ③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている
- ④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある
- ⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている
- ⑥希望した時期に保育サービスを利用できる
- ⑦保育所での多様な保育サービスが充実している
- ⑧子育ての相談窓口が充実している
- ⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる
- ⑩子育てで家庭への経済的援助が充実している
- ⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている
- ⑫ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している
- ⑬外国籍家庭への子育て支援が充実している
- ⑭妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している
- ⑮子どものための医療施設が充実している
- ⑯子育てが家族や地域の人に支えられている
- ⑰同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている
- ⑱地域で子育てをする環境が整備されている
- ⑲女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる
- ⑳子育て支援に積極的な企業が多い
- ㉑災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している

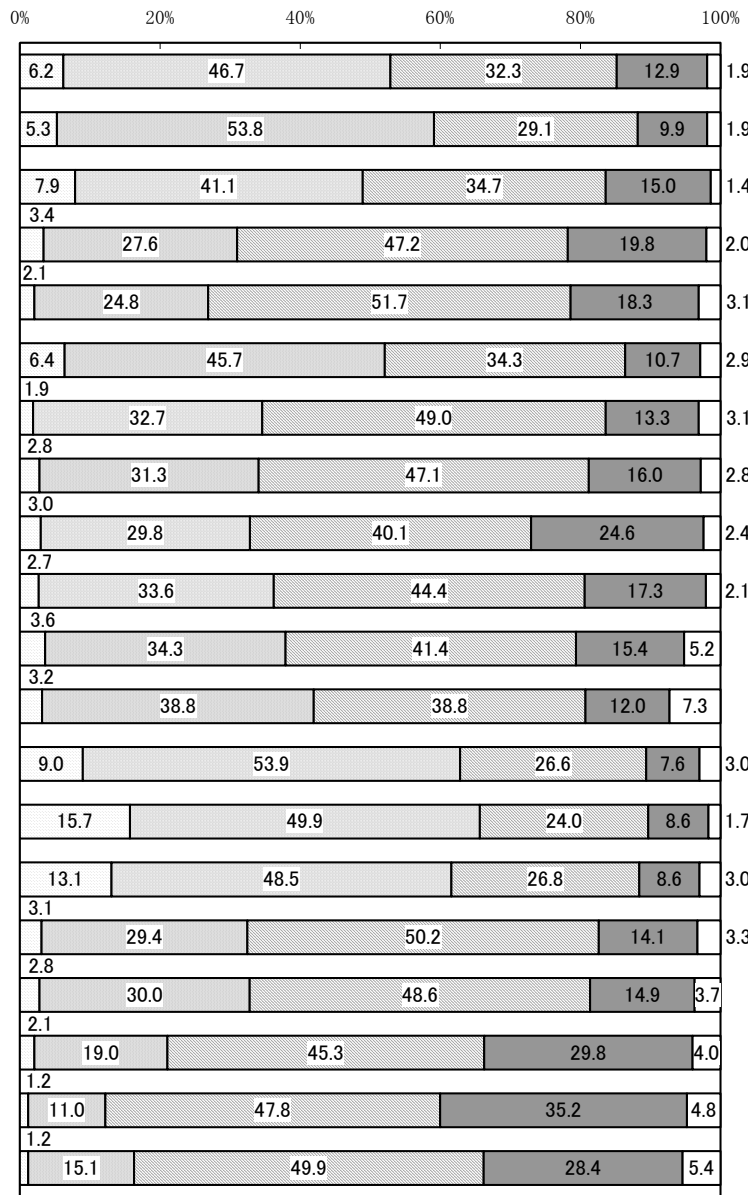


- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- 無回答

【就学児童】

N = 2580

- ①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している
- ②子どもの教育環境が充実している
- ③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている
- ④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある
- ⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている
- ⑥保育所での多様な保育サービスが充実している
- ⑦子育ての相談窓口が充実している
- ⑧子育てに関する情報が簡単に入手できる
- ⑨子育て家庭への経済的援助が充実している
- ⑩子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている
- ⑪ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している
- ⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している
- ⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している
- ⑭子どものための医療施設が充実している
- ⑮子育てが家族や地域の人に支えられている
- ⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている
- ⑰地域で子育てをする環境が整備されている
- ⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる
- ⑲子育て支援に積極的な企業が多い
- ⑳災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している



これから

就学前児童では、⑮子どものための医療施設が充実しているで「そう思う」の割合が高くなっています。

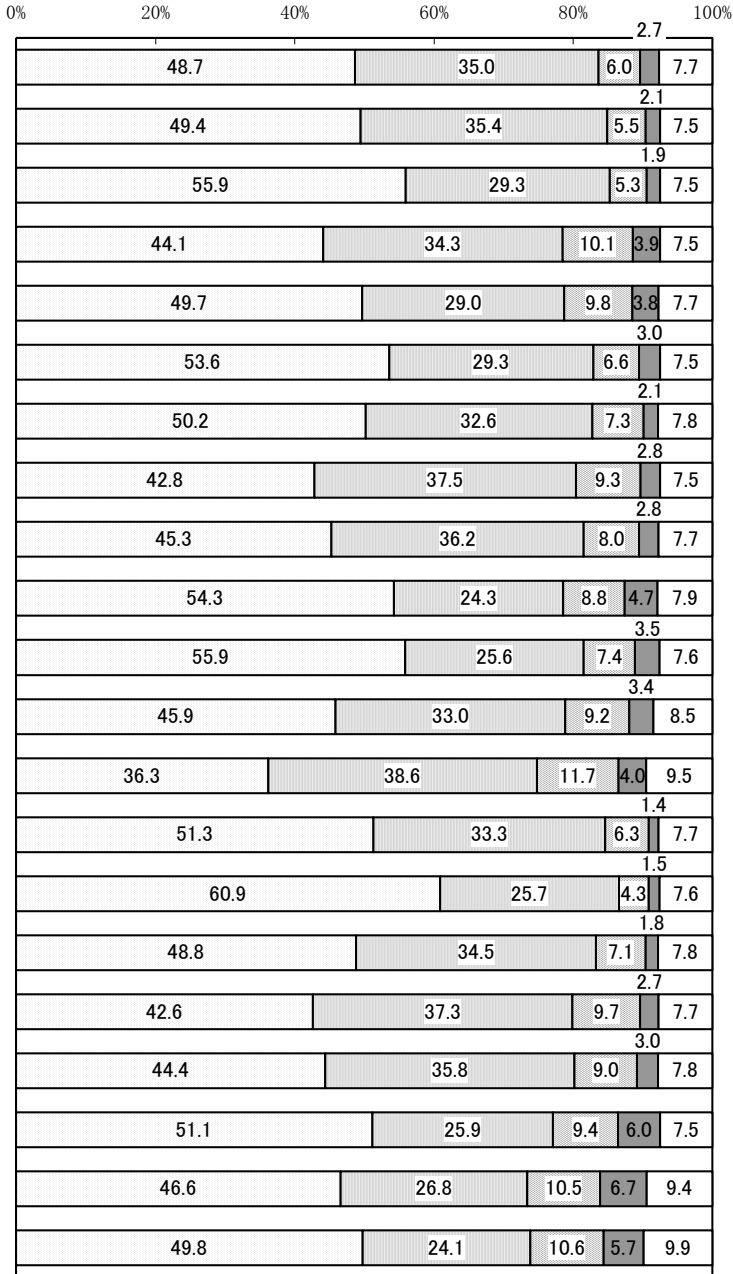
就学児童では、⑭子どものための医療施設が充実しているで「そう思う」の割合が高くなっています。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- 無回答

【就学前児童】

N = 2624

- ①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している
- ②子どもの教育環境が充実している
- ③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている
- ④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある
- ⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている
- ⑥希望した時期に保育サービスを利用できる
- ⑦保育所での多様な保育サービスが充実している
- ⑧子育ての相談窓口が充実している
- ⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる
- ⑩子育て家庭への経済的援助が充実している
- ⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている
- ⑫ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している
- ⑬外国籍家庭への子育て支援が充実している
- ⑭妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している
- ⑮子どものための医療施設が充実している
- ⑯子育てが家族や地域の人に支えられている
- ⑰同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている
- ⑱地域で子育てをする環境が整備されている
- ⑲女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる
- ⑳子育て支援に積極的な企業が多い
- ㉑災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している

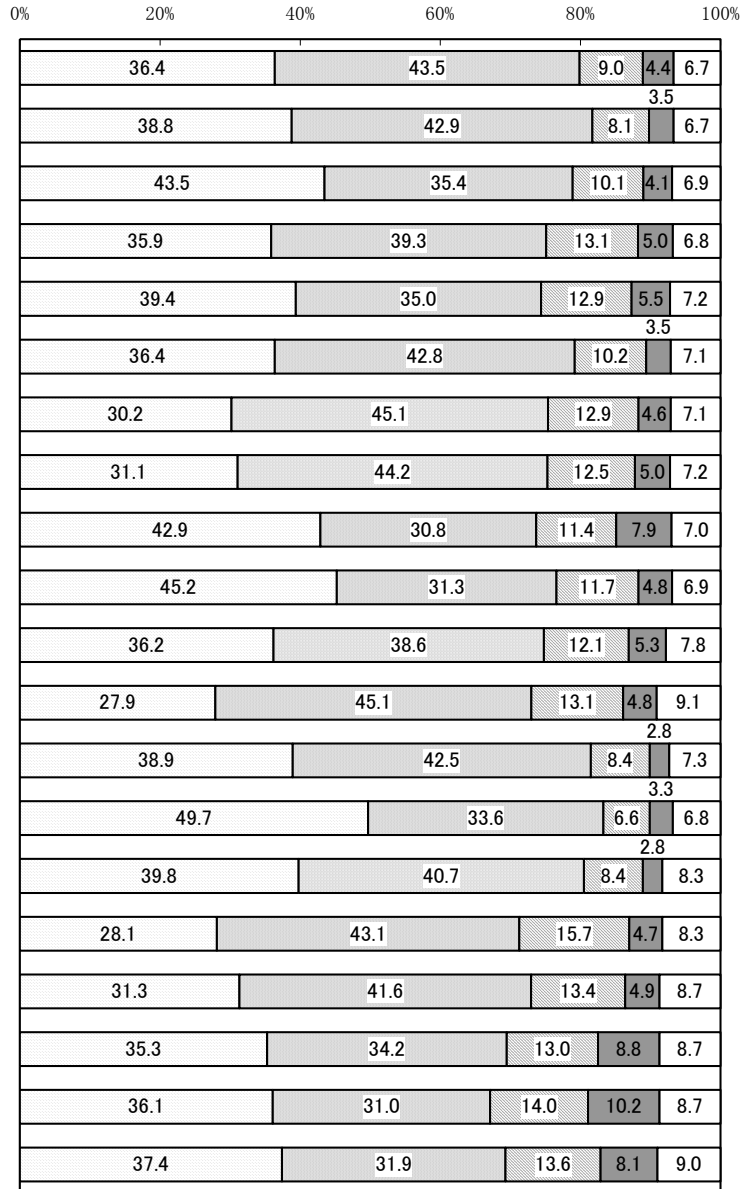


- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- 無回答

【就学児童】

N = 2580

- ①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している
- ②子どもの教育環境が充実している
- ③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている
- ④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある
- ⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている
- ⑥保育所での多様な保育サービスが充実している
- ⑦子育ての相談窓口が充実している
- ⑧子育てに関する情報が簡単に入手できる
- ⑨子育て家庭への経済的援助が充実している
- ⑩子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている
- ⑪ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している
- ⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している
- ⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している
- ⑭子どものための医療施設が充実している
- ⑮子育てが家族や地域の人に支えられている
- ⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている
- ⑰地域で子育てをする環境が整備されている
- ⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる
- ⑲子育て支援に積極的な企業が多い
- ⑳災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している



【就学前児童】

現在

選択肢	平成 25 年度調査 (N=2,624)					平成 20 年度調査 (N=1,089)				
	そう思う	そう思う どちらかといえば	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	そう思う どちらかといえば	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している	7.9	50.0	29.2	11.1	1.9	5.9	45.3	32.7	14.4	1.7
②子どもの教育環境が充実している	6.8	53.8	28.4	8.5	2.5	3.5	44.6	36.9	11.8	3.2
③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている	14	45.4	28.7	10.2	1.8	8.2	41.1	35.6	12.9	2.1
④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある	3.3	23.6	46.9	23.7	2.6	1.4	13.5	50.6	30.2	4.3
⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている	2.4	25.2	48.6	20.5	3.4	1.2	19.1	50.5	24.2	5.1
⑥希望した時期に保育サービスを利用できる	12.8	39.5	29.5	15.2	2.9	—	—	—	—	—
⑦保育所での多様な保育サービスが充実している	10.9	44.1	30.6	11.3	3.1	7.0	45.4	32.9	11.0	3.8
⑧子育ての相談窓口が充実している	5.3	39	41.3	11.5	2.9	7.3	46.5	32.6	11.0	2.7
⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる	6.7	40.2	38.4	12.3	2.4	7.2	40.4	36.0	13.9	2.6
⑩子育て家庭への経済的援助が充実している	4.3	29.6	38.8	24.9	2.2	2.5	23.0	36.8	35.3	2.4
⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている	3.9	37.7	40.5	16.0	1.9	2.1	21.8	41.0	31.7	3.5
⑫ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している	4.6	37.9	38.3	12.9	6.4	3.0	26.4	43.3	19.5	7.8
⑬外国籍家庭への子育て支援が充実している	4.2	39.0	38.3	10.0	8.5	2.9	29.3	40.2	17.6	9.9
⑭妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している	15.2	52.4	23.0	6.8	2.6	6.2	43.1	33.0	14.5	3.2
⑮子どものための医療施設が充実している	21.5	51.8	18.8	6.3	1.6	12.9	47.0	24.6	13.3	2.2
⑯子育てが家族や地域の人に支えられている	10.6	47.3	30.0	9.8	2.4	—	—	—	—	—
⑰同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている	5.9	39.4	39.8	12.4	2.4	7.2	40.8	38.1	11.1	2.8
⑱地域で子育てをする環境が整備されている	4.6	35.8	42.8	14.1	2.7	3.8	29.6	46.3	17.8	2.6
⑲女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる ※平成 20 年度の質問では「子育てをしながら、働き続けられる環境が整っている」となっていました。	3.2	20.6	41.1	31.9	3.3	1.5	15.9	43.9	35.5	3.2
⑳子育て支援に積極的な企業が多い	1.5	13.7	47.4	32.6	4.7	0.7	8.3	39.2	47.9	3.9
㉑災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している	2.0	14.5	48.2	29.2	6.1	—	—	—	—	—

【就学児童】

現在

選択肢	平成 25 年度調査 (N= N=2, 580)					平成 20 年度調査 (N=)1, 122				
	そう思う	そう思う どちらかといえば	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	そう思う どちらかといえば	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している	6.2	46.7	32.3	12.9	1.9	6.1	46.3	32.4	13.9	1.3
②子どもの教育環境が充実している	5.3	53.8	29.1	9.9	1.9	4.3	46.6	34.7	13.0	1.4
③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている	7.9	41.1	34.7	15.0	1.4	6.8	35.9	39.8	16.3	1.2
④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある	3.4	27.6	47.2	19.8	2.0	1.9	19.3	50.6	26.3	2.0
⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている	2.1	24.8	51.7	18.3	3.1	1.9	25.5	48.8	21.2	2.6
⑥希望した時期に保育サービスを利用できる	6.4	45.7	34.3	10.7	2.9	—	—	—	—	—
⑦保育所での多様な保育サービスが充実している	1.9	32.7	49.0	13.3	3.1	5.4	40.6	36.5	15.2	2.1
⑧子育ての相談窓口が充実している	2.8	31.3	47.1	16.0	2.8	4.6	38.5	40.8	14.1	2.0
⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる	3.0	29.8	40.1	24.6	2.4	4.7	35.5	42.2	15.5	2.1
⑩子育て家庭への経済的援助が充実している	2.7	33.6	44.4	17.3	2.1	3.4	27.2	40.6	27.1	1.8
⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている	3.6	34.3	41.4	15.4	5.2	1.9	27.2	47.4	22.0	1.5
⑫ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している	3.2	38.8	38.8	12.0	7.3	3.0	30.0	42.2	19.4	5.3
⑬外国籍家庭への子育て支援が充実している	9.0	53.9	26.6	7.6	3.0	2.8	33.3	41.4	15.2	7.3
⑭妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している	15.7	49.9	24.0	8.6	1.7	4.1	48.1	32.9	12.0	2.9
⑮子どものための医療施設が充実している	13.1	48.5	26.8	8.6	3.0	10.4	45.0	30.7	12.4	1.4
⑯子育てが家族や地域の人に支えられている	3.1	29.4	50.2	14.1	3.3	—	—	—	—	—
⑰同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている	2.8	30.0	48.6	14.9	3.7	4.1	33.3	47.1	13.0	2.5
⑱地域で子育てをする環境が整備されている	2.1	19.0	45.3	29.8	4.0	2.6	31.2	47.1	16.8	2.3
⑲女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる ※平成 20 年度の質問では「子育てをしながら、働き続けられる環境が整っている」となっていました	1.2	11.0	47.8	35.2	4.8	1.9	19.1	48.5	28.0	2.6
⑳子育て支援に積極的な企業が多い	1.2	15.1	49.9	28.4	5.4	1.3	9.6	47.6	38.1	3.4
㉑災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している	6.2	46.7	32.3	12.9	1.9	—	—	—	—	—

【就学前児童】

これから

選択肢	平成 25 年度調査 (N=2, 624)					平成 20 年度調査 (N=)				
	そう思う	そう思う どちらかといえば	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	そう思う どちらかといえば	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している	48.7	35.0	6.0	2.7	7.7	34.0	8.1	4.1	9.2	34.0
②子どもの教育環境が充実している	49.4	35.4	5.5	2.1	7.5	34.2	9.1	3.1	10.4	34.2
③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている	55.9	29.3	5.3	1.9	7.5	31.2	8.0	3.3	10.5	31.2
④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある	44.1	34.3	10.1	3.9	7.5	29.0	13.3	6.0	10.7	29.0
⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている	49.7	29.0	9.8	3.8	7.7	27.2	11.6	5.5	10.8	27.2
⑥希望した時期に保育サービスを利用できる	53.6	29.3	6.6	3.0	7.5	—	—	—	—	—
⑦保育所での多様な保育サービスが充実している	50.2	32.6	7.3	2.1	7.8	33.2	6.4	3.1	10.5	33.2
⑧子育ての相談窓口が充実している	42.8	37.5	9.3	2.8	7.5	36.8	9.1	3.3	10.5	36.8
⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる	45.3	36.2	8.0	2.8	7.7	33.0	8.5	3.9	10.9	33.0
⑩子育て家庭への経済的援助が充実している	54.3	24.3	8.8	4.7	7.9	16.4	8.0	8.8	10.4	16.4
⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている	55.9	25.6	7.4	3.5	7.6	17.4	10.5	6.0	10.2	17.4
⑫ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している	45.9	33.0	9.2	3.4	8.5	29.0	9.6	4.9	12.6	29.0
⑬外国籍家庭への子育て支援が充実している	36.3	38.6	11.7	4.0	9.5	35.7	13.5	6.0	12.9	35.7
⑭妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している	51.3	33.3	6.3	1.4	7.7	30.9	7.6	4.0	10.7	30.9
⑮子どものための医療施設が充実している	60.9	25.7	4.3	1.5	7.6	22.1	6.0	3.9	10.3	22.1
⑯子育てが家族や地域の人に支えられている	48.8	34.5	7.1	1.8	7.8	—	—	—	—	—
⑰同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている	42.6	37.3	9.7	2.7	7.7	35.6	10.8	3.9	10.7	35.6
⑱地域で子育てをする環境が整備されている	44.4	35.8	9.0	3.0	7.8	30.9	10.9	4.7	10.4	30.9
⑲女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる ※平成 20 年度の質問では「子育てをしながら、働き続けられる環境が整っている」となっていました	51.1	25.9	9.4	6.0	7.5	21.1	10.7	7.5	10.1	21.1
⑳子育て支援に積極的な企業が多い	46.6	26.8	10.5	6.7	9.4	17.6	9.8	10.8	10.4	17.6
㉑災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している	49.8	24.1	10.6	5.7	9.9	—	—	—	—	—

【就学児童】

これから

選択肢	平成 25 年度調査 (N=2,580)					平成 20 年度調査 (N=1,122)				
	そう思う	そう思う どちらかといえば	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	そう思う どちらかといえば	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している	36.4	43.5	9.0	4.4	6.7	40.6	38.3	8.2	4.5	8.4
②子どもの教育環境が充実している	38.8	42.9	8.1	3.5	6.7	42.0	36.6	9.2	3.9	8.3
③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている	43.5	35.4	10.1	4.1	6.9	47.6	30.4	9.0	4.4	8.6
④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある	35.9	39.3	13.1	5.0	6.8	39.0	34.8	11.9	5.4	8.8
⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている	39.4	35.0	12.9	5.5	7.2	40.7	34.7	11.3	4.6	8.6
⑥希望した時期に保育サービスを利用できる	36.4	42.8	10.2	3.5	7.1	—	—	—	—	—
⑦保育所での多様な保育サービスが充実している	30.2	45.1	12.9	4.6	7.1	39.9	37.7	9.0	4.5	8.8
⑧子育ての相談窓口が充実している	31.1	44.2	12.5	5.0	7.2	36.7	38.8	10.8	5.0	8.7
⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる	42.9	30.8	11.4	7.9	7.0	38.4	38.5	9.6	4.9	8.6
⑩子育て家庭への経済的援助が充実している	45.2	31.3	11.7	4.8	6.9	50.2	23.6	9.5	7.8	8.9
⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている	36.2	38.6	12.1	5.3	7.8	48.9	25.2	10.0	6.5	9.4
⑫ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している	27.9	45.1	13.1	4.8	9.1	40.3	33.4	10.4	5.6	10.2
⑬外国籍家庭への子育て支援が充実している	38.9	42.5	8.4	2.8	7.3	31.2	38.7	13.5	4.9	11.7
⑭妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している	49.7	33.6	6.6	3.3	6.8	39.9	38.9	8.8	2.6	9.7
⑮子どものための医療施設が充実している	39.8	40.7	8.4	2.8	8.3	50.0	29.9	7.5	3.4	9.2
⑯子育てが家族や地域の人に支えられている	28.1	43.1	15.7	4.7	8.3	—	—	—	—	—
⑰同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている	31.3	41.6	13.4	4.9	8.7	32.0	42.6	11.8	4.2	9.4
⑱地域で子育てをする環境が整備されている	35.3	34.2	13.0	8.8	8.7	34.9	38.4	12.7	4.1	9.9
⑲女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる ※平成 20 年度の質問では「子育てをしながら、働き続けられる環境が整っている」となっていました	36.1	31.0	14.0	10.2	8.7	43.3	28.4	12.2	6.4	9.6
⑳子育て支援に積極的な企業が多い	37.4	31.9	13.6	8.1	9.0	43.1	25.8	11.9	9.4	9.7
㉑災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している	36.4	43.5	9.0	4.4	6.7	—	—	—	—	—

(2) 個別の子育て支援施策に関することについて

問 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。事業ごとに、**認知度** **利用状況** **今後の利用希望**のそれぞれについて、「1. 知っている」か「2. 知らない」のいずれかに○をつけてください。なお、就学前児童①～②は今後お子さんができた場合を想定してお答えください。(就学前児童：問 39、就学児童：問 38)

認知度

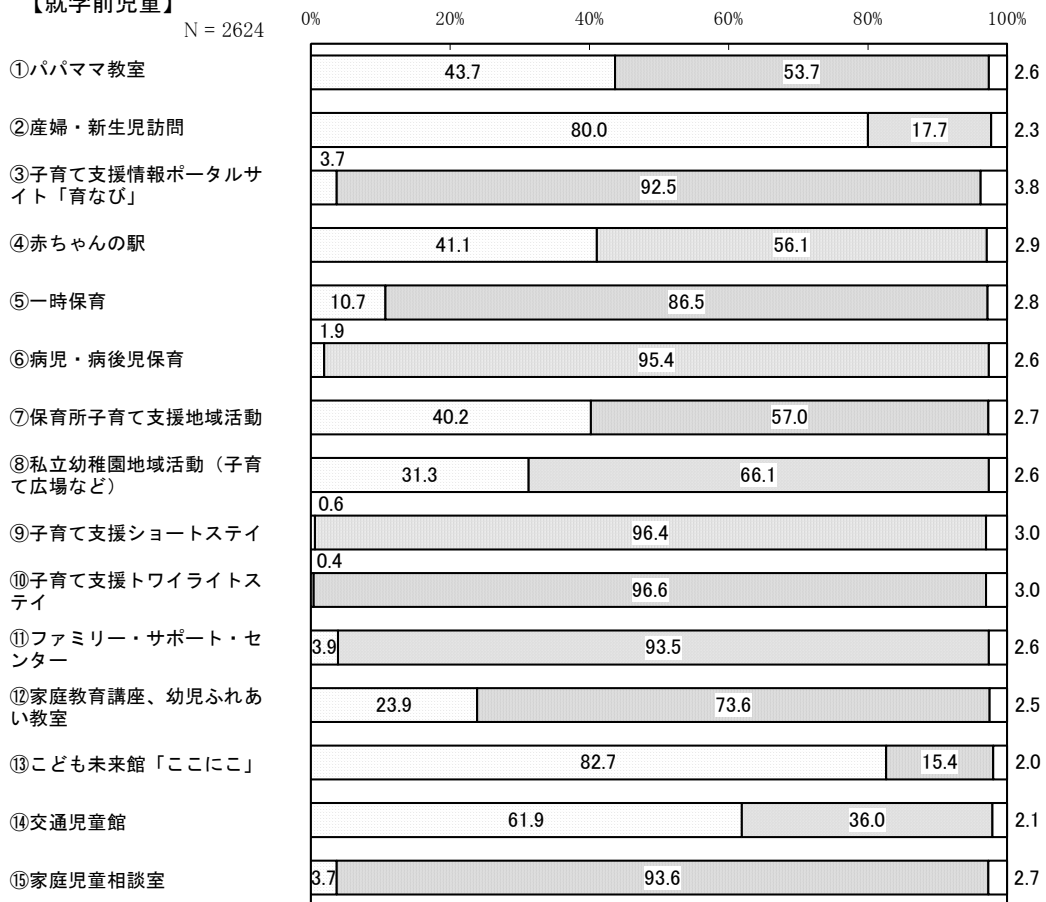
就学前児童では、②産婦・新生児訪問、⑬こども未来館「ここにこ」で「1. 知っている」の割合が高くなっています。

就学児童では、⑦子ども未来館「ここにこ」、⑧交通児童館で「1. 知っている」の割合が高くなっています。

1. 知っている 2. 知らない 無回答

【就学前児童】

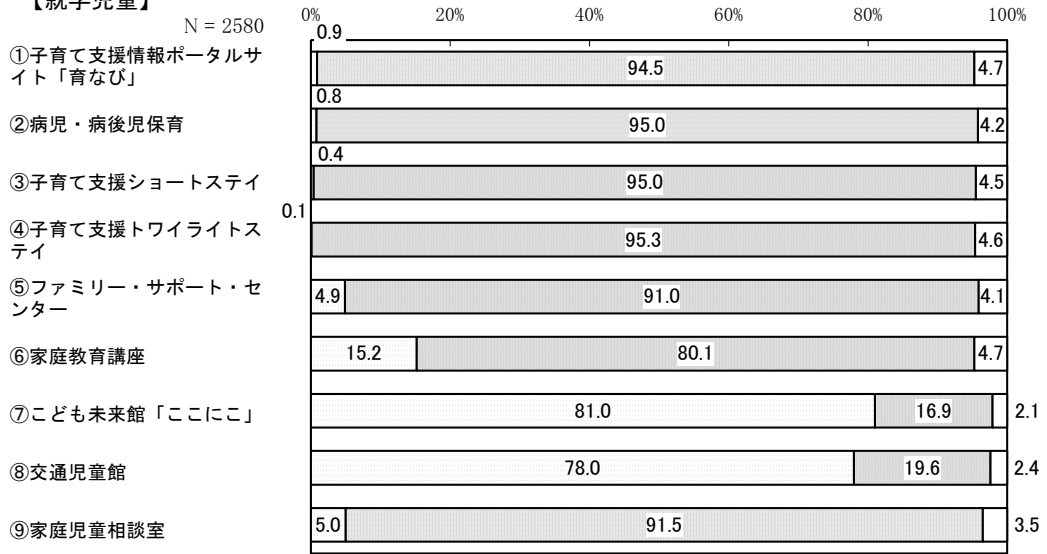
N = 2624



□ 知っている □ 知らない □ 無回答

【就学児童】

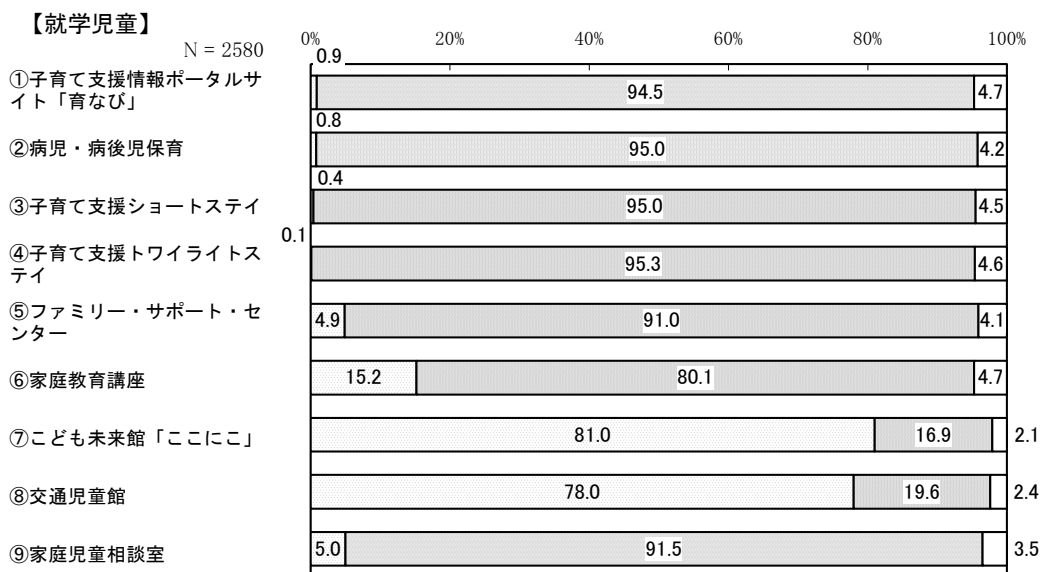
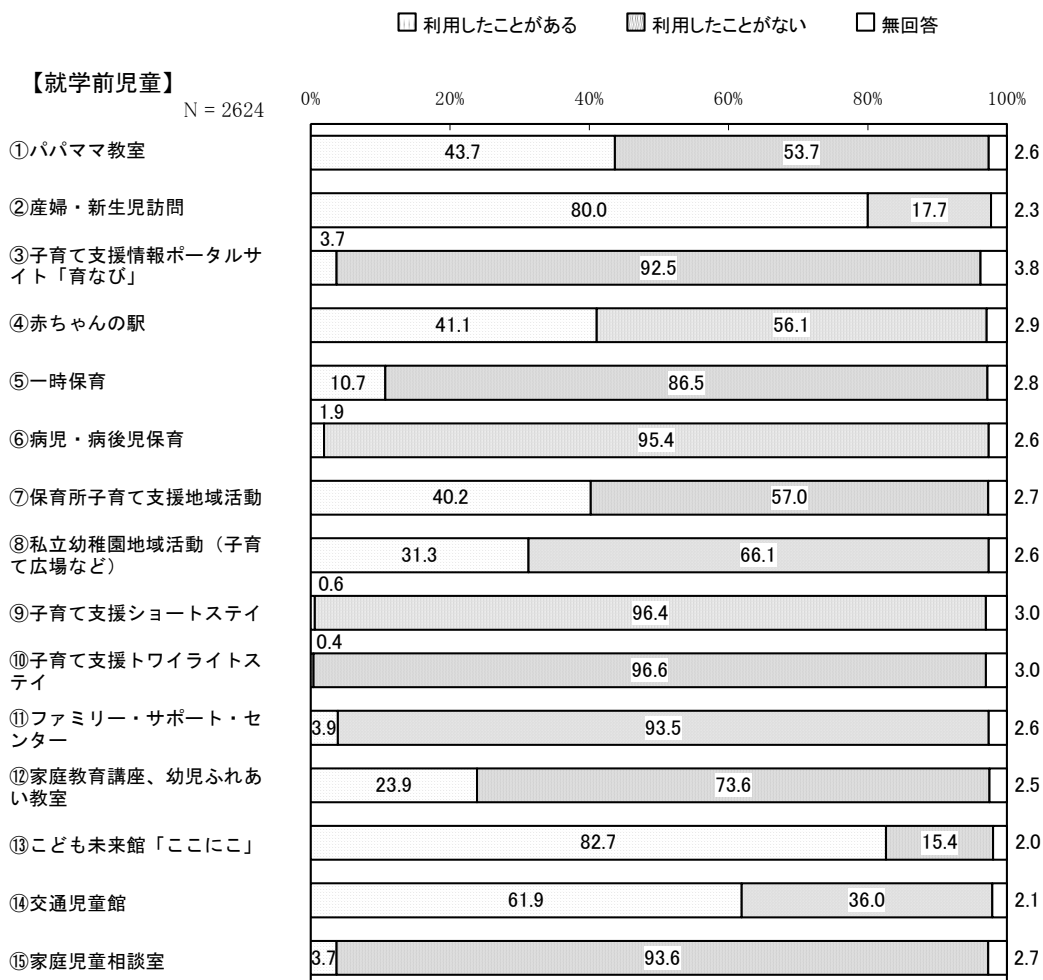
N = 2580



利用状況

就学前児童では、②産婦・新生児訪問、⑬こども未来館「ここにこ」で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

就学児童では、⑦子ども未来館「ここにこ」、⑧交通児童館で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

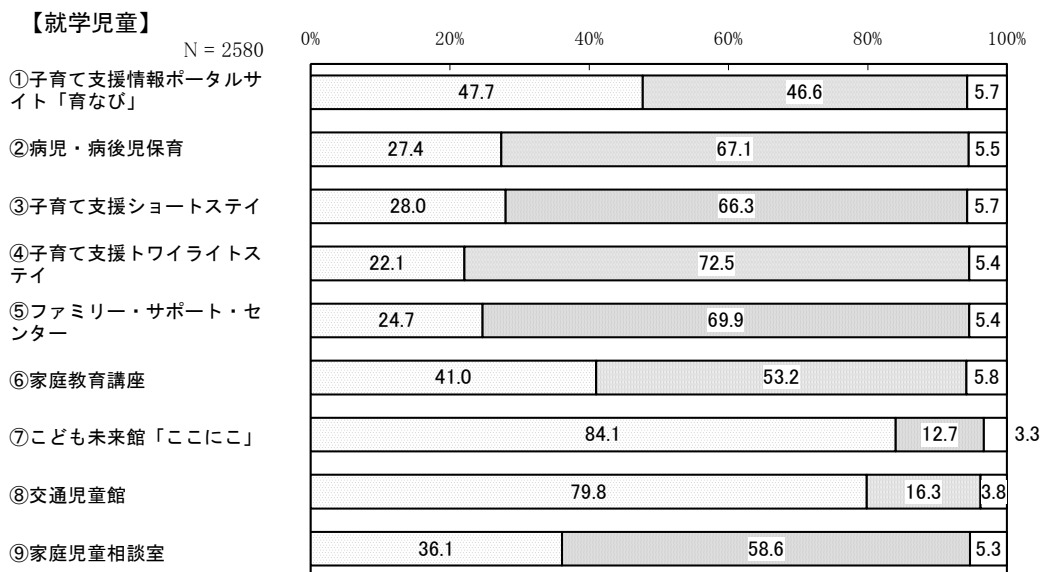
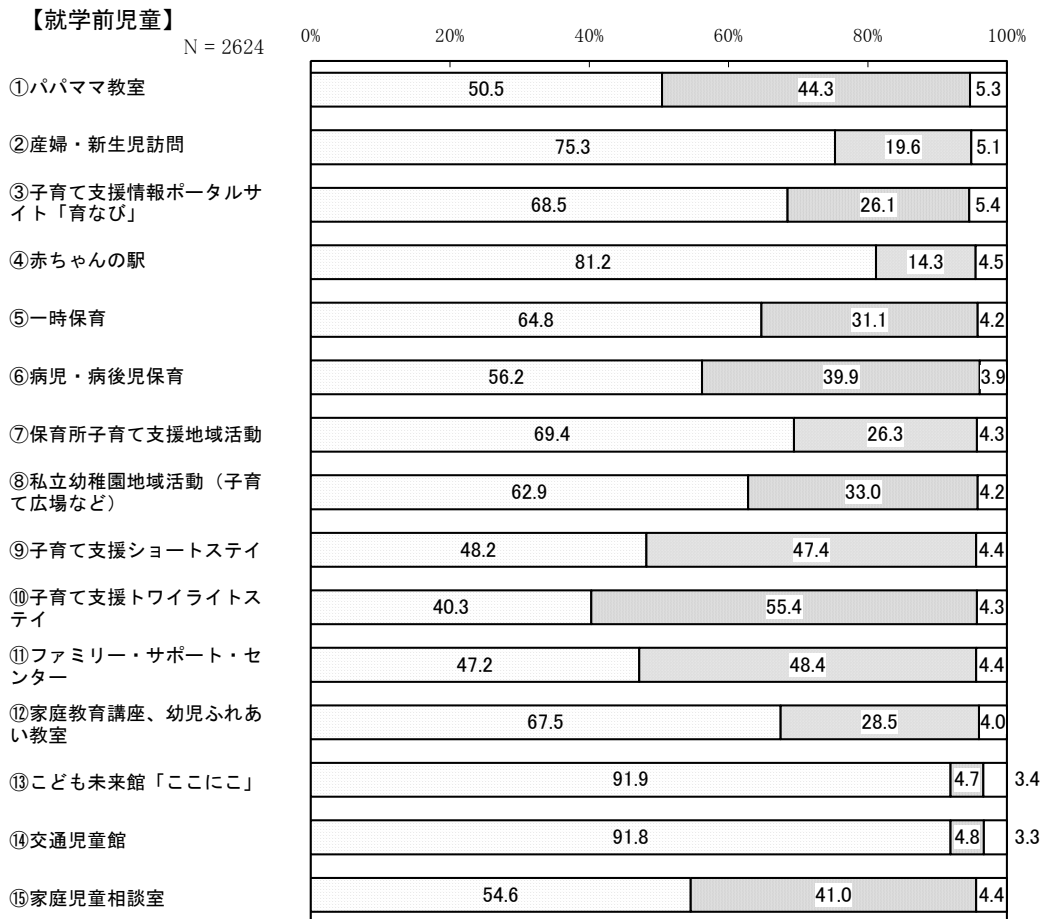


今後の利用希望

就学前児童では、⑬こども未来館「ここにこ」、⑭交通児童館で「利用したい」の割合が高くなっています。

就学児童では、⑦こども未来館「ここにこ」、⑧交通児童館で「利用したい」の割合が高くなっています。

□ 利用したい □ 利用したいと思わない □ 無回答

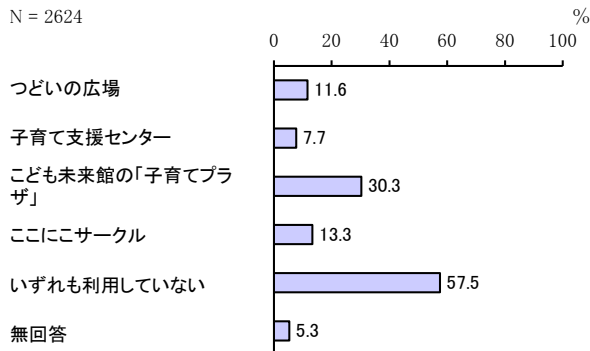


問 あて名のお子さんは、現在、下記にあるような地域子育て支援拠点事業（0～3歳の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。次の中から、利用しているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を〔 〕内に数字で記入してください。（就学前児童：問40）

利用している事業

就学前児童では、「いずれも利用していない」の割合が57.5%と最も高く、次いで「こども未来館の「子育てプラザ」の割合が30.3%、「ここにこサークル」の割合が13.3%となっています。

【就学前児童】



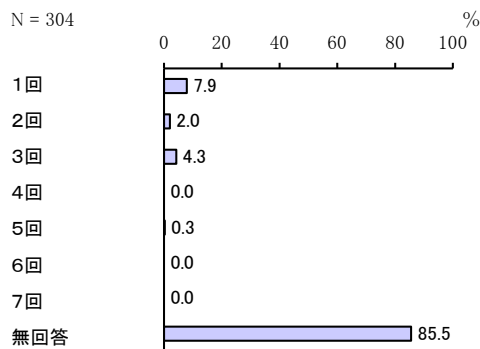
事業別利用回数

① つどいの広場

ア 1週当たり利用回数

就学前児童では、「1回」の割合が7.9%と最も高くなっています。

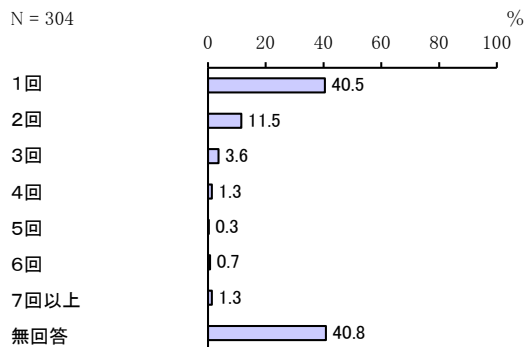
【就学前児童】



イ 1か月当たり利用回数

就学前児童では、「1回」の割合が40.5%と最も高く、次いで「2回」の割合が11.5%となっています。

【就学前児童】

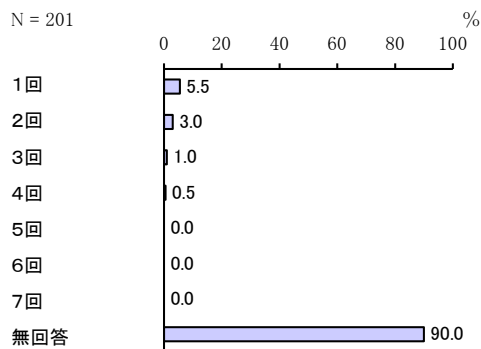


② 子育て支援センター

ア 1週当たり利用回数

就学前児童では、「1回」の割合が5.5%と最も高くなっています。

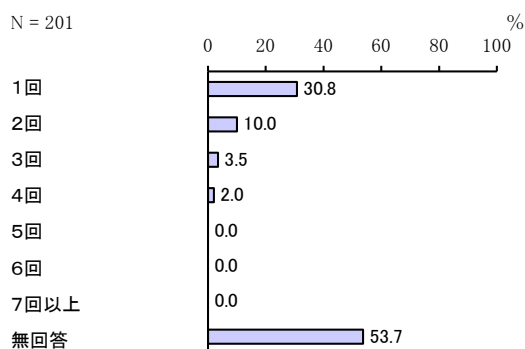
【就学前児童】



イ 1か月当たり利用回数

就学前児童では、「1回」の割合が30.8%と最も高く、次いで「2回」の割合が10.0%となっています。

【就学前児童】

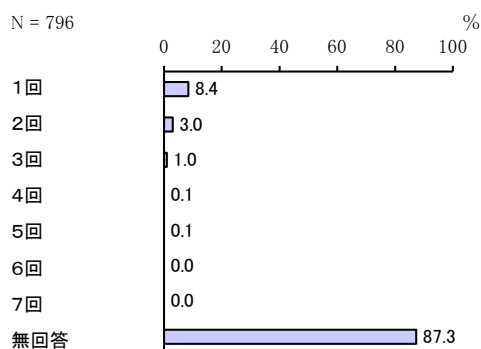


③ こども未来館の「子育てプラザ」

ア 1週当たり利用回数

就学前児童では、「1回」の割合が8.4%と最も高くなっています。

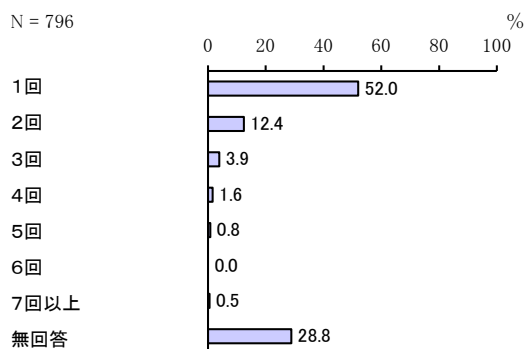
【就学前児童】



イ 1か月当たり利用回数

就学前児童では、「1回」の割合が52.0%と最も高く、次いで「2回」の割合が12.4%となっています。

【就学前児童】

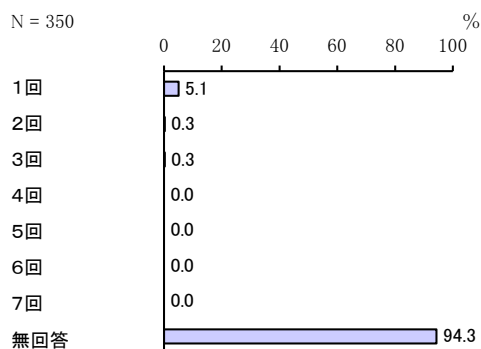


④ ここにこサークル

ア 1週当たり利用回数

就学前児童では、「1回」の割合が5.1%と最も高くなっています。

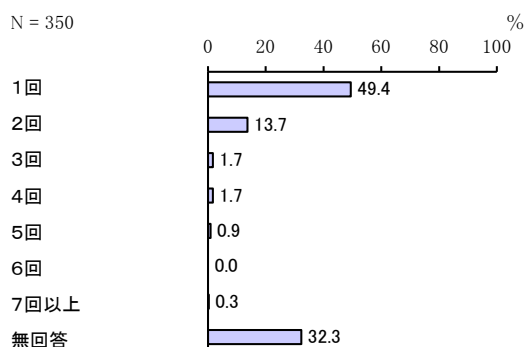
【就学前児童】



イ 1か月当たり利用回数

就学前児童では、「1回」の割合が49.4%と最も高く、次いで「2回」の割合が13.7%となっています。

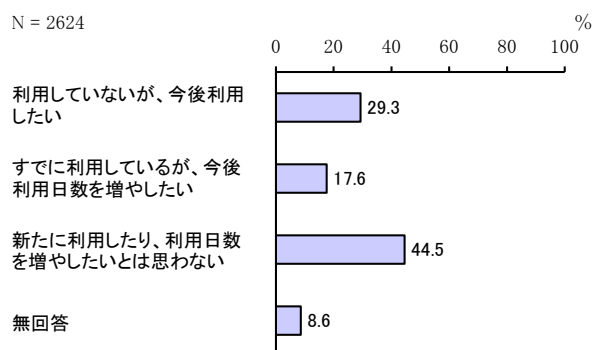
【就学前児童】



問 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を〔 〕内に数字で記入してください。（就学前児童：問41）

就学前児童では、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が44.5%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が29.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が17.6%となっています。

【就学前児童】

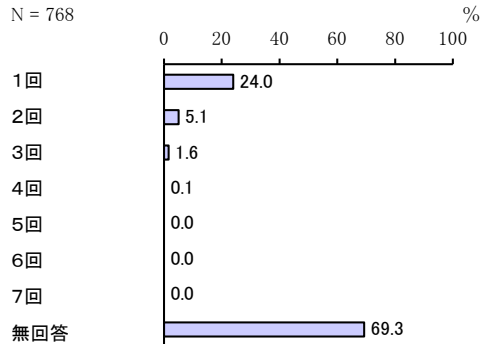


利用していないが、今後利用したい人の利用希望回数

① 1週間当たり利用希望回数

就学前児童では、「1回」の割合が24.0%と最も高くなっています。

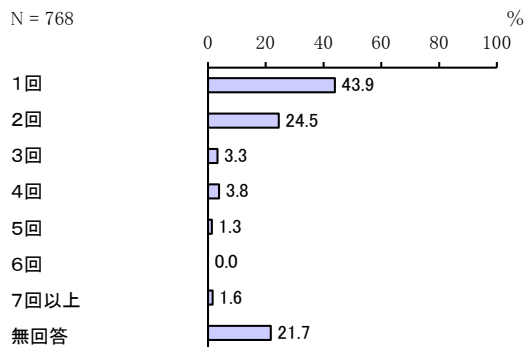
【就学前児童】



② 1か月当たり利用希望回数

就学前児童では、「1回」の割合が43.9%と最も高く、次いで「2回」の割合が24.5%となっています。

【就学前児童】

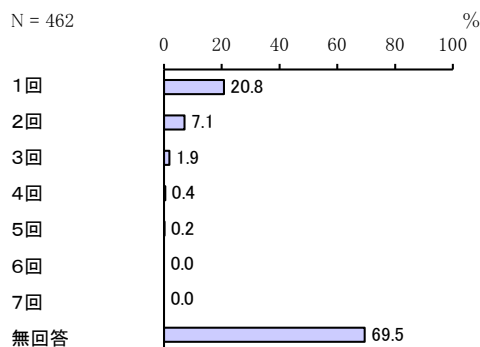


すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人の利用希望回数

① 1週当たりの増やしたい利用回数

就学前児童では、「1回」の割合が20.8%と最も高くなっています。

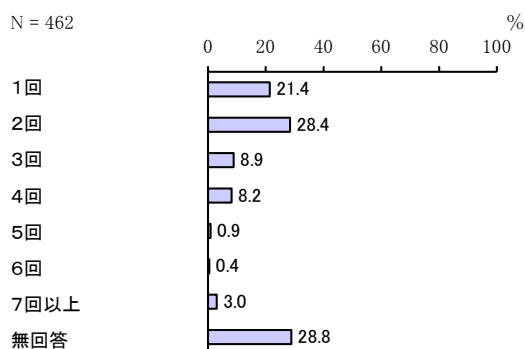
【就学前児童】



② 1か月当たりの増やしたい利用回数

就学前児童では、「2回」の割合が28.4%と最も高く、次いで「1回」の割合が21.4%となっています。

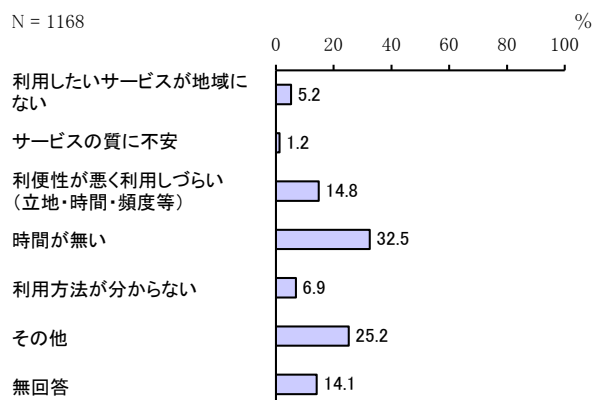
【就学前児童】



利用したいと思わない、利用日数を増やしたいと思わない理由

就学前児童では、「時間が無い」の割合が32.5%と最も高く、次いで「利便性が悪く利用しづらい（立地・時間・頻度等）」の割合が14.8%となっています。

【就学前児童】



その他の主な回答

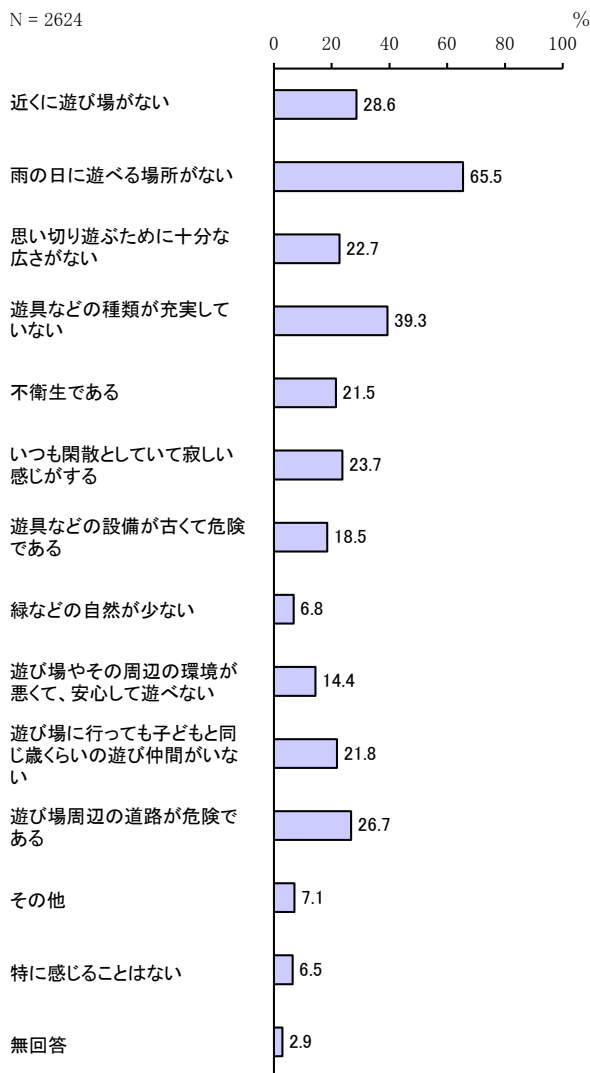
- ・対象年齢ではない、通園している
- ・現状の利用日数で良い
- ・利用する必要がない

問 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 42、就学児童：問 39)

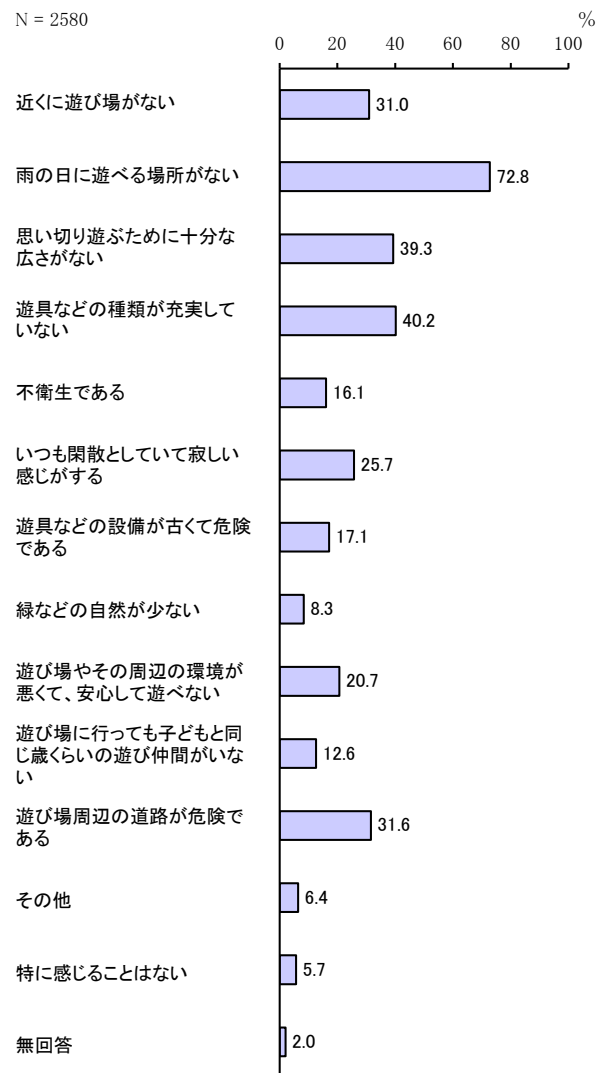
就学前児童では、「雨の日に遊べる場所がない」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」の割合が 39.3%、「近くに遊び場がない」の割合が 28.6%となっています。

就学児童では、「雨の日に遊べる場所がない」の割合が 72.8%と最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」の割合が 40.2%、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」の割合が 39.3%となっています。

【就学前児童】



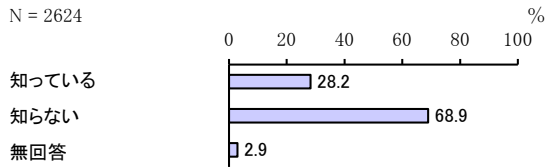
【就学児童】



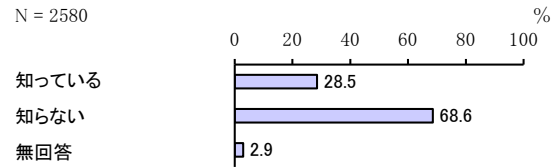
問 あなたは、子どもの権利に関する国際的な条約がある（日本も加わっている）ことを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
(就学前児童：問 43、就学児童：問 40)

就学前児童では、「知っている」の割合が 28.2%、「知らない」の割合が 68.9%となっています。
就学児童では、「知っている」の割合が 28.5%、「知らない」の割合が 68.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

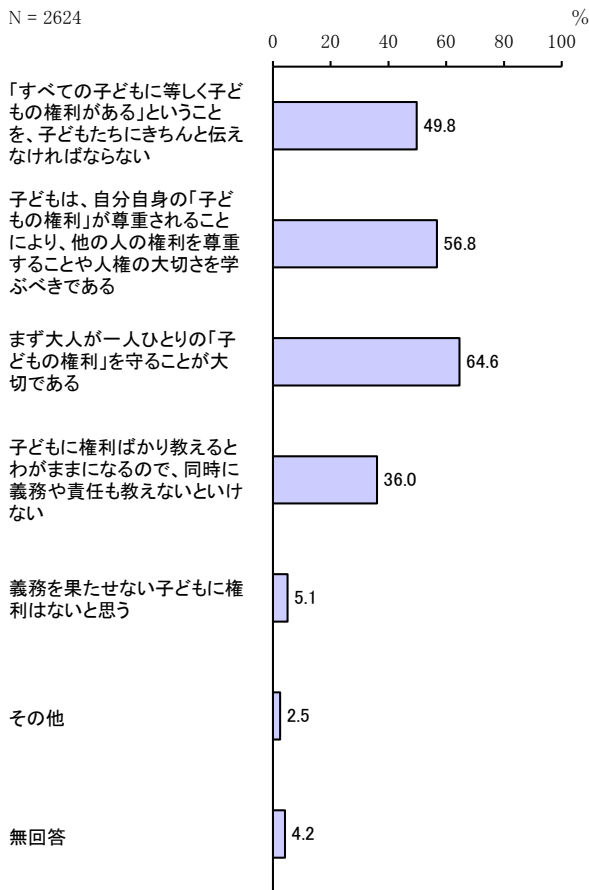


問 あなたは、子どもの権利に関してどう考えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 44、就学児童：問 41)

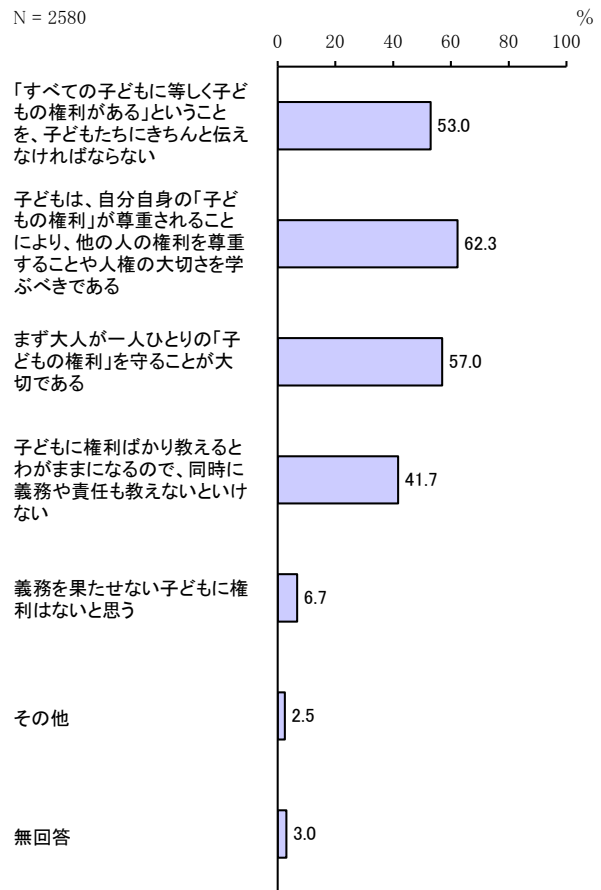
就学前児童では、「まず大人が一人ひとりの「子どもの権利」を守ることが大切である」の割合が 64.6%と最も高く、次いで「子どもは、自分自身の「子どもの権利」が尊重されることにより、他の人の権利を尊重することや人権の大切さを学ぶべきである」の割合が 56.8%、「「すべての子どもに等しく子どもの権利がある」ということを、子どもたちにきちんと伝えなければならない」の割合が 49.8%となっています。

就学児童では、「子どもは、自分自身の「子どもの権利」が尊重されることにより、他の人の権利を尊重することや人権の大切さを学ぶべきである」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「まず大人が一人ひとりの「子どもの権利」を守ることが大切である」の割合が 57.0%、「「すべての子どもに等しく子どもの権利がある」ということを、子どもたちにきちんと伝えなければならない」の割合が 53.0%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

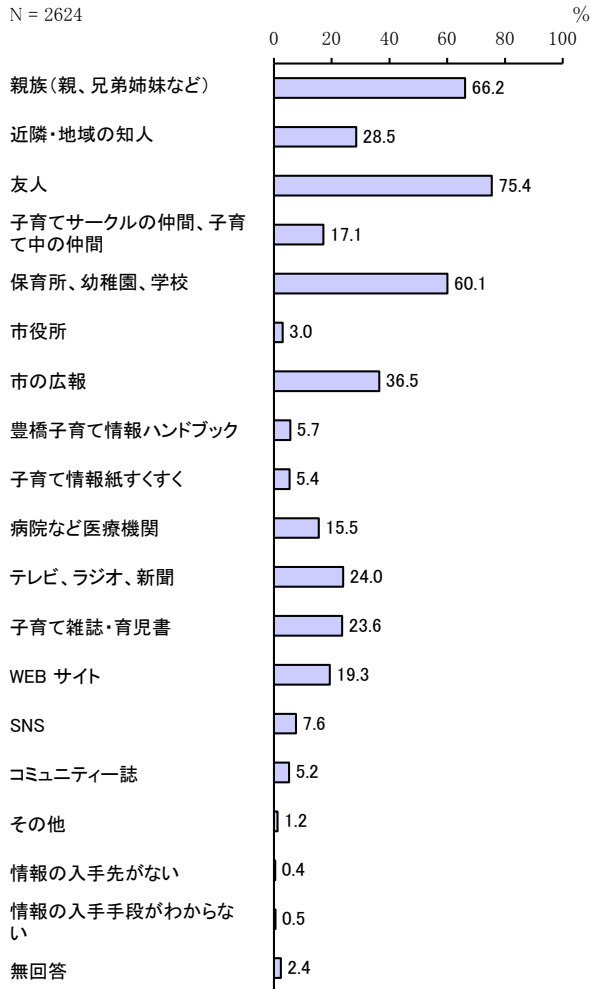


問 あなたは普段、子育てに関する情報はどこから入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 45、就学児童：問 42)

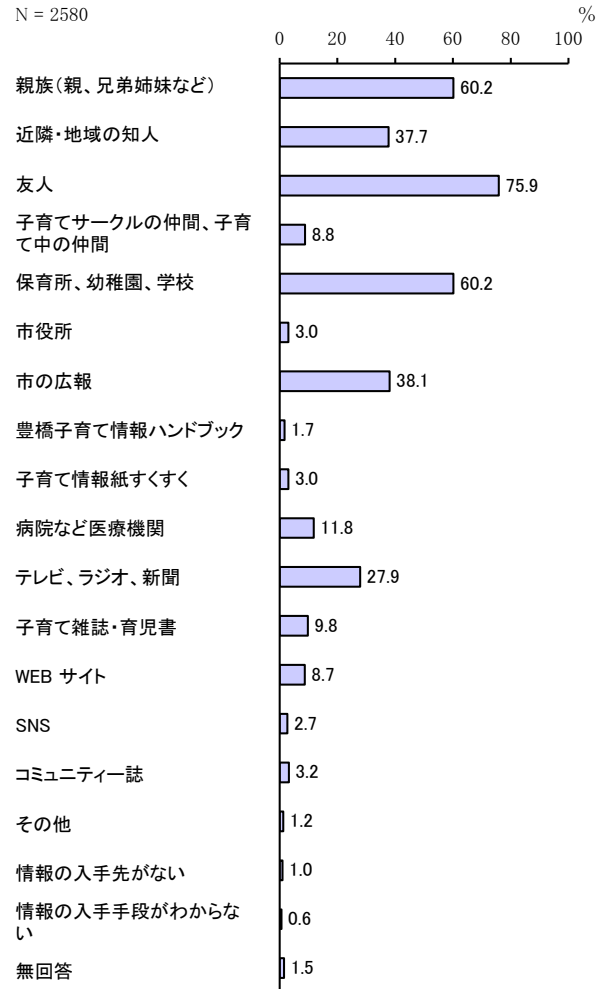
就学前児童では、「友人」の割合が 75.4%と最も高く、次いで「親族（親、兄弟姉妹など）」の割合が 66.2%、「保育所、幼稚園、学校」の割合が 60.1%となっています。

就学児童では、「友人」の割合が 75.9%と最も高く、次いで「親族（親、兄弟姉妹など）」、「保育所、幼稚園、学校」の割合が 60.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

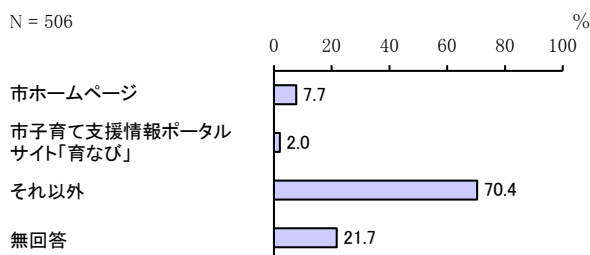


WEB サイトでよく使うもの

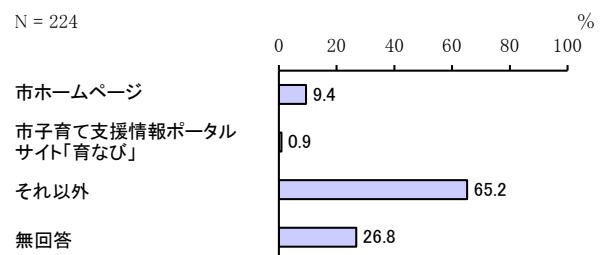
就学前児童では、「それ以外」の割合が 70.4%と最も高くなっています。

就学児童では、「それ以外」の割合が 65.2%と最も高くなっています。

【就学前児童】



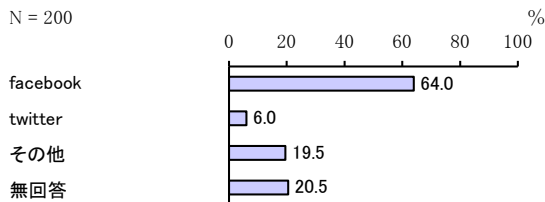
【就学児童】



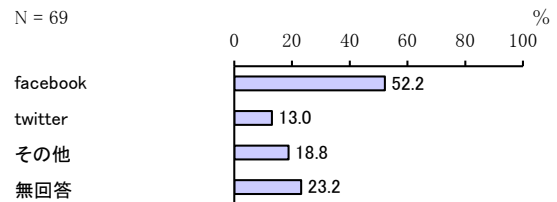
SNS でよく使うものは

就学前児童では、「facebook」の割合が64.0%、「twitter」の割合が6.0%となっています。
 就学児童では、「facebook」の割合が52.2%、「twitter」の割合が13.0%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



その他の主な回答

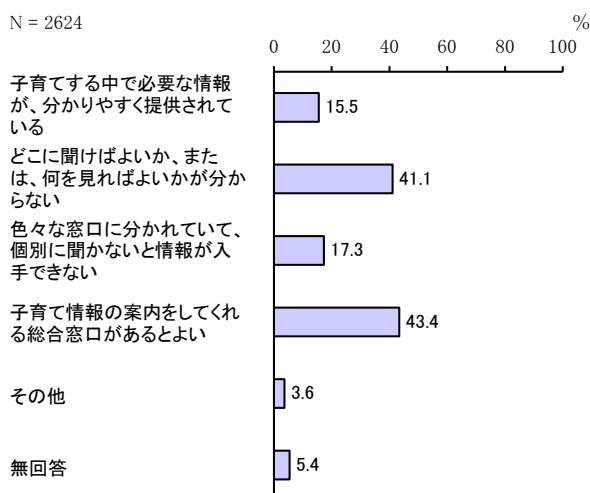
- ・mixi
- ・ウィメンズパーク
- ・ブログ、LINE

問 市が提供する子育て情報について、当てはまると思う番号すべてに○をつけてください。
 (就学前児童：問 46、就学児童：問 43)

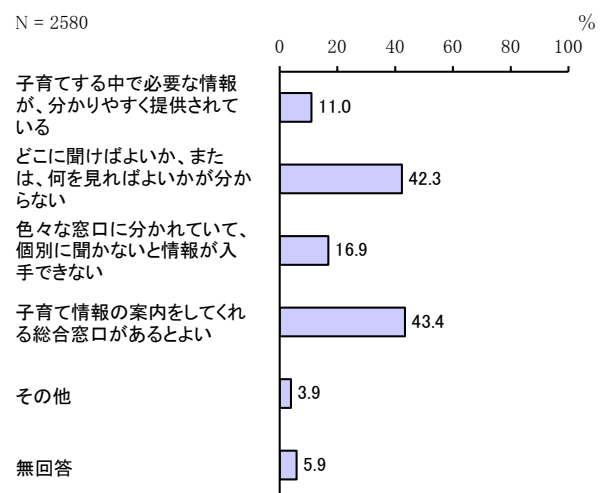
就学前児童では、「子育て情報の案内をしてくれる総合窓口があるとよい」の割合が43.4%と最も高く、次いで「どこに聞けばよいか、または、何を見ればよいか分からない」の割合が41.1%、「色々な窓口に分かれていて、個別に聞かないと情報が入手できない」の割合が17.3%となっています。

就学児童では、「子育て情報の案内をしてくれる総合窓口があるとよい」の割合が43.4%と最も高く、次いで「どこに聞けばよいか、または、何を見ればよいか分からない」の割合が42.3%、「色々な窓口に分かれていて、個別に聞かないと情報が入手できない」の割合が16.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



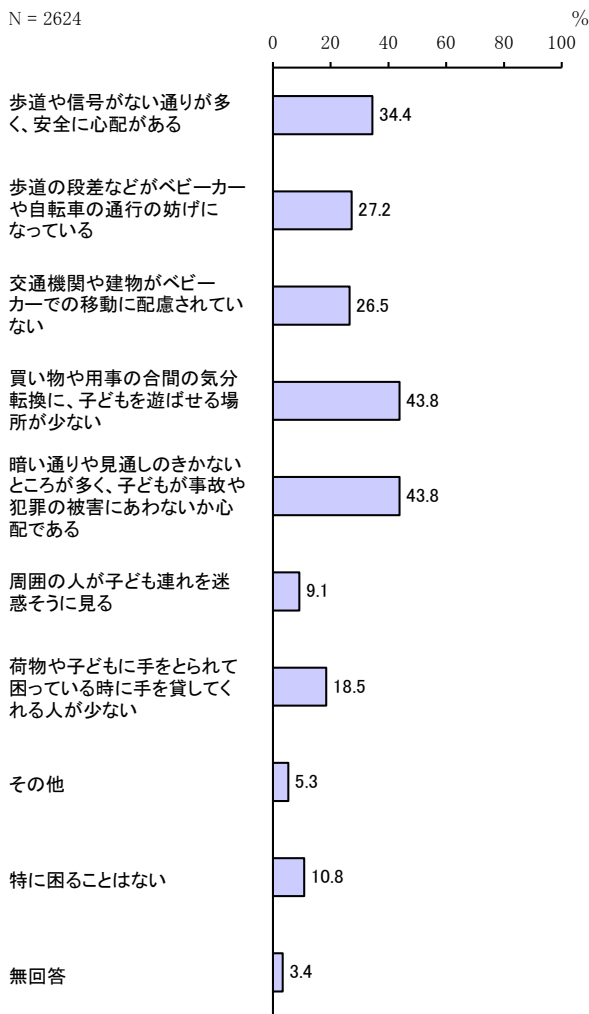
問 子育てを取巻く環境について、困ることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 47、就学児童：問 44)

就学前児童では、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ない」、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配である」の割合が 43.8%と最も高く、次いで、「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配がある」の割合が 34.4%となっています。

就学児童では、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配である」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配がある」の割合が 37.6%、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ない」の割合が 25.4%となっています。

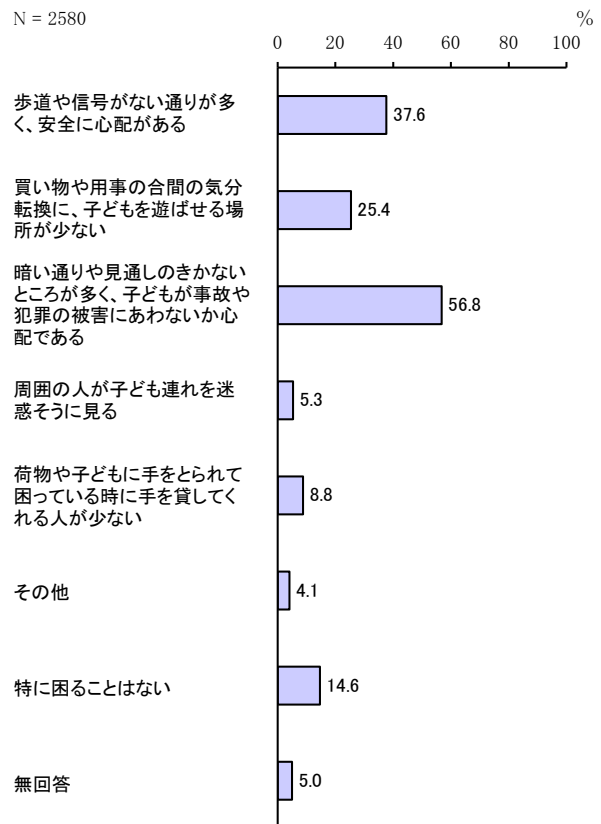
【就学前児童】

N = 2624



【就学児童】

N = 2580



【年齢別】

年齢別でみると、就学前児童では0歳で「歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている」、「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」の割合が高くなっています。また、3歳以上で「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配である」の割合が高くなっています。就学児童では9歳、10歳で「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配である」の割合が高くなっています。また、6歳、7歳で「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配がある」、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	歩道や信号がない通りが多く、安全に心配がある	歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている	交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない	買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ない	暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配である	周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見る	荷物や子どもに手をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ない	その他	特に困ることはない	無回答
0歳	457	28.2	38.7	34.4	39.8	42.0	6.6	21.4	6.8	10.1	3.7
1歳	431	31.3	27.8	29.7	48.7	37.6	10.9	20.9	5.6	10.9	3.9
2歳	433	33.5	27.9	29.6	46.2	37.4	10.4	18.5	5.3	11.5	3.2
3歳	413	36.8	26.9	27.6	45.3	45.5	7.5	17.4	4.6	9.7	4.4
4歳	448	35.7	21.7	20.5	47.5	49.3	11.8	17.4	4.9	10.0	2.5
5歳	420	40.7	20.2	17.1	36.4	51.2	7.4	15.0	4.0	12.4	3.1

単位：％

区分	有効回答数(件)	歩道や信号がない通りが多く、安全に心配がある	子どもを遊ばせる場所が少ない	買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ない	暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配である	周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見る	荷物や子どもに手をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ない	その他	特に困ることはない	無回答
6歳(1年生)	421	41.6	34.7	57.0	7.4	10.9	4.0	10.2	3.6	
7歳(2年生)	455	43.3	30.5	55.8	5.5	8.4	5.7	13.0	4.4	
8歳(3年生)	428	37.1	26.4	50.5	4.7	9.3	4.7	15.2	7.2	
9歳(4年生)	397	37.8	25.9	60.7	4.8	8.3	2.8	14.1	4.5	
10歳(5年生)	391	31.7	17.4	62.1	4.1	5.9	4.1	17.1	5.4	
11歳(6年生)	437	32.7	17.4	56.5	4.8	9.2	3.2	18.3	5.0	

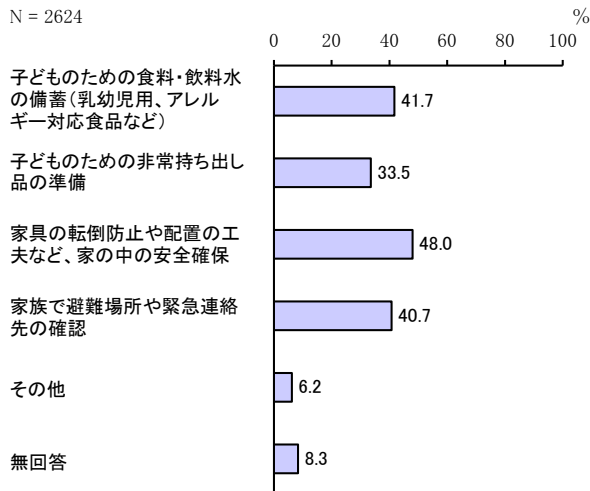
問 2011年に東日本大震災がおき、この地域でも南海トラフ巨大地震が来ると言われていますが、子どものいる家庭として、どのような防災対策を行っていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問48、就学児童：問45)

就学前児童では、「家具の転倒防止や配置の工夫など、家の中の安全確保」の割合が48.0%と最も高く、次いで「子どものための食料・飲料水の備蓄（乳幼児用、アレルギー対応食品など）」の割合が41.7%、「家族で避難場所や緊急連絡先の確認」の割合が40.7%となっています。

就学児童では、「家族で避難場所や緊急連絡先の確認」の割合が62.5%と最も高く、次いで「家具の転倒防止や配置の工夫など、家の中の安全確保」の割合が46.7%、「子どものための食料・飲料水の備蓄（アレルギー対応食品など）」の割合が44.1%となっています。

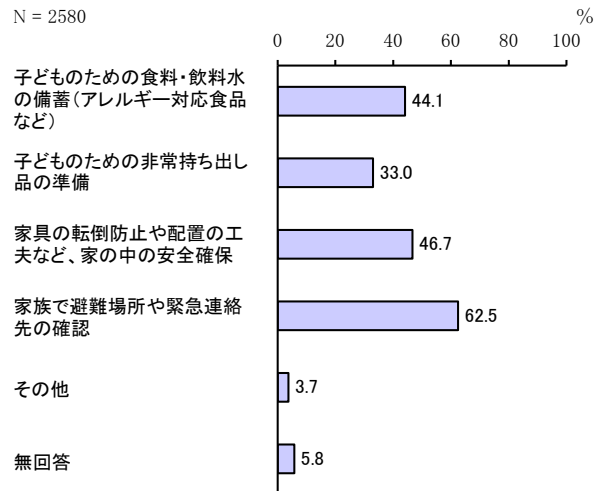
【就学前児童】

N = 2624



【就学児童】

N = 2580

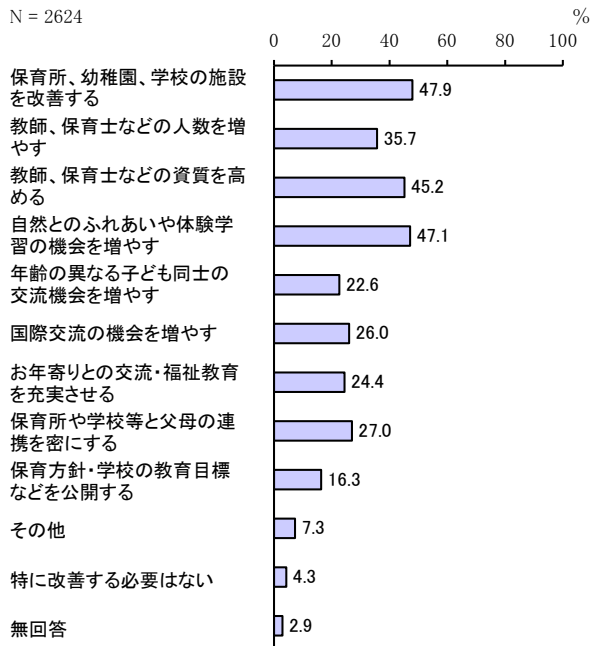


問 豊橋市の教育・保育環境をさらに充実させる上で、何を期待しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 49、就学児童：問 46)

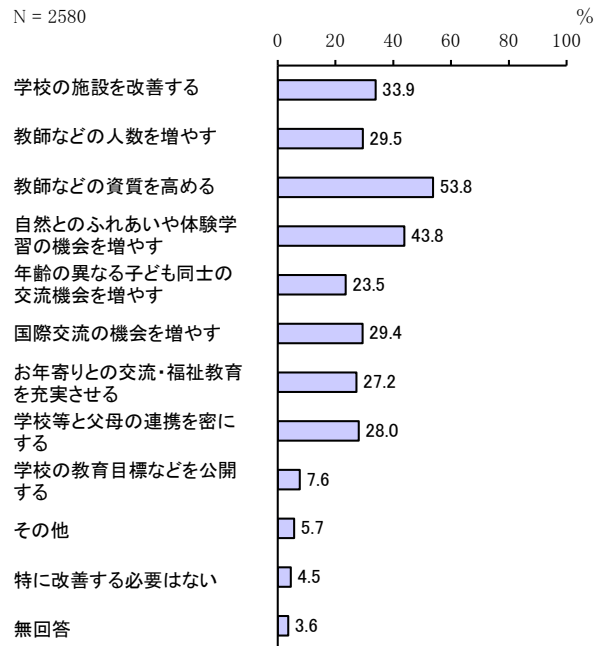
就学前児童では、「保育所、幼稚園、学校の施設を改善する」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「自然とのふれあいや体験学習の機会を増やす」の割合が 47.1%、「教師、保育士などの資質を高める」の割合が 45.2%となっています。

就学児童では、「教師などの資質を高める」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「自然とのふれあいや体験学習の機会を増やす」の割合が 43.8%、「学校の施設を改善する」の割合が 33.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



Ⅲ 自由意見

※ 複数意見を掲載
【 】内は意見数

1 就学前児童

子どもの育ちをめぐる環境

- ・ 自然に触れられる、自然の中で遊べる環境をつくってほしい。【7】
- ・ 食育を充実させてほしい。【4】
- ・ 母親が家にいたほうがよい。【3】
- ・ 子どもがのびのびと成長できる環境をつくってほしい。【3】
- ・ 親の資質の向上が必要である。【2】

保護者の労働環境

- ・ 子どもが病気のとときに仕事を休めない。【5】
- ・ 職場が子育てに理解がない。【5】

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

- ・ 保育料が高すぎるので安くしてほしい。【24】
- ・ 3人目以降の子どもは全世帯で無料にしてほしい。【6】
- ・ 保育園の定員を増やしてほしい。【6】
- ・ 仕事をしていないと保育園に入れませんが、保育園に入っていないと仕事を探せない。【4】
- ・ 保育士の質を向上させてほしい。【4】
- ・ 保育料の決め方を公平にしてほしい。【4】
- ・ 幼稚園を増やしてほしい。【3】
- ・ 保育園の入園の際に就労状況をきちんと確認してほしい。【3】
- ・ 事業所内保育所を増やしてほしい。【3】
- ・ 習い事教室をつくってほしい。【2】
- ・ 保育園ごとの保育内容を統一してほしい。【2】
- ・ 保育園を増やしてほしい。【2】

土曜・休日保育

- ・ 長期休暇中に預かってくれる施設がほしい。【17】
- ・ 土曜保育を一日にしてほしい。【3】
- ・ 休日保育の施設が少ない。【3】

病気の際の対応

- ・ 病児・病後児保育の施設を増やしてほしい。【9】
- ・ 医療費の無料を延長してほしい。【8】
- ・ 小児科が少ない。【3】
- ・ 医療費の無料は助かっている。【3】
- ・ 病児・病後児保育をもっと利用しやすくしてほしい。【2】

不定期の教育・保育事業

- ・ 一時預かりを気軽に利用できるようにしてほしい。【9】
- ・ 一時預かりの定員を増やしてほしい。【2】

小学校就学後の放課後の過ごし方

- ・ 学童保育の時間を延長してほしい。【7】
- ・ 学童保育の場所を変えてほしい。【2】
- ・ 学童保育の定員を増やしてほしい。【2】

出産や子育ての考え方

- ・ 産前・産後の保育園を利用しやすくしてほしい。【4】
- ・ 出産にかかる費用を助成してほしい。【2】
- ・ 男性も育児に積極的にかかわってほしい。【2】
- ・ 子どもは宝だと思っている。【2】

地域との関わり

- ・ 高齢者との交流の機会をふやしてほしい。【10】
- ・ 子育てサークルを増やしてほしい。【7】
- ・ 地域全体で子育てをできる環境がほしい。【5】
- ・ 地域で見守り、安全確保をしてほしい。【2】

子育て環境や子育て支援サービス全般

- ・ 子育て支援の情報をわかりやすく提供してほしい。【46】
- ・ 犯罪や不審者への対策をしてほしい。【6】
- ・ イベントを増やしてほしい。【6】
- ・ 子育て支援に満足している。【5】
- ・ 子育てしやすい市にしてほしい。【4】
- ・ 子育て情報誌を発行してほしい。【4】
- ・ 災害時の対応、マニュアルを決めてほしい。【4】
- ・ 期待していない。【2】
- ・ 支援サービスが今後さらに充実するように期待している。【2】
- ・ インターネットやメールを活用してほしい。【2】

個別の子育て支援制度

- ・ 相談窓口を充実してほしい。【18】
- ・ 相談にあたる職員の質を向上させてほしい。【14】
- ・ 夜間休日診療を充実してほしい。【10】
- ・ 各種予防接種の助成を手厚くしてほしい。【6】
- ・ 子育て教室を増やしてほしい。【5】
- ・ 健診の時間が長い。待ち時間も長い。【4】

- ・ 健診の時間を午前にしてほしい。【3】
- ・ 不妊治療への助成を手厚くしてほしい。【3】
- ・ 新生児訪問はやめてほしい。【3】
- ・ 市外でも予防接種ができると嬉しい。【2】
- ・ 新生児訪問を増やしてほしい。【2】

アンケートについて

- ・ アンケートが長すぎる。質問が多すぎる。【26】
- ・ アンケートの質問が妥当性を欠いている。【6】
- ・ アンケートの結果を開示してほしい。【3】
- ・ アンケートがわかりにくい。【2】
- ・ アンケート今後を活かしてほしい。【2】

子育てに関する経済的状況

- ・ 経済的な支援を増やしてほしい。【15】
- ・ 経済的に不安なため、子どもをこれ以上産めない。【7】
- ・ ひとり親家庭への経済的援助をしてほしい。【5】
- ・ 収入が少なく、生活が苦しい。【2】

公共施設・道路

- ・ 近くに公園など遊べる場所をつくってほしい。【43】
- ・ 公園をきれいに保ってほしい（草、ゴミなど）【15】
- ・ 職員、スタッフの質を向上してほしい。【15】
- ・ 公園の遊具を整備してほしい。【14】
- ・ 歩道を整備してほしい。【14】
- ・ 気軽に子どもと一緒に出掛けられる場所がほしい。【14】
- ・ 施設をバランスよく配置してほしい。【12】
- ・ 各種施設の駐車場を増やしてほしい。【11】
- ・ 児童館を増やしてほしい。【10】
- ・ 雨の日に遊べる場所・施設がほしい。【8】
- ・ 道路の安全確保をしてほしい。【7】
- ・ 街灯を増やしてほしい。【7】
- ・ ここにこの駐車場を増やしてほしい。【7】
- ・ 交通が不便である。【6】
- ・ 公園に駐車場をつくってほしい【6】
- ・ 大型の公園をつくってほしい。【5】
- ・ ベビーカーでも外出しやすくしてほしい。【4】
- ・ 乳幼児の遊べる場所がほしい。【3】
- ・ ここにこで4歳以上の遊ぶ場所がない。【3】
- ・ ここにこがあつてとても助かっている。【3】
- ・ 歩道の草を刈ってほしい。【2】

障がいのある子ども

- ・ 障がい児への支援サービスを充実してほしい。(デイサービス、一時預かりなど)【9】
- ・ 障がいのある子どもの受け入れを積極的にしてほしい。【9】
- ・ 障がいのある子どもを保育園に入れるよう言われたが、働いていないので困っている。【3】

教育・保育施設の要望

- ・ 校区を見直してほしい。【4】
- ・ 施設ごとの連携を密にしてほしい。【2】
- ・ 英語教育の早期導入をしてほしい。【2】

女性と子育てと就労

- ・ 仕事と子育ての両立ができる環境の整備をしてほしい。【4】
- ・ 結婚や出産をすると仕事を続けられない。【3】
- ・ 就労場所がない。【2】

虐待

- ・ 虐待への対処を充実してほしい。【3】

小学校生活

- ・ 教師の質を向上させてほしい。【4】
- ・ 小学校が遠いのでスクールバスを導入してほしい。【2】
- ・ 土曜日も授業をしてほしい。【2】
- ・ 同じ学年の児童が少なすぎて今後の不安。【2】

その他

- ・ 市が本当に支援をしたいという風に見えない。【2】
- ・ 高校生などが夜遅くに散歩のを見ると心配になる。【2】

2 就学児童

お子さんと家族の状況

- ・ 子育てする親の教育も必要。【2】
- ・ 母親が子どものそばにいることが大切。【2】
- ・ イベントに託児所をつけてほしい。【2】
- ・ 優しくて強い、一人前の大人に育ててほしい。【2】

子どもの育ちをめぐる環境

- ・ 安心、安全に生活できる町にしてほしい。【3】
- ・ 学校の整備をしてほしい。【3】

保護者の就労状況

- ・ 長期休暇も子どもを預けられる場がほしい。学童の時間を延長してほしい。母子家庭に対する助成を充実してほしい。【4】
- ・ 子どもがいても働ける環境が充実してほしい。【4】
- ・ 父親の育児参加に対する企業への理解がほしい。【2】

小学校生活について

- ・ 教育を改革する必要があると思う。(教師、学校、親の質の向上)【13】
- ・ 学校に、もっと子どもの安全を考えてほしい。【9】
- ・ 学校教師の質をあげてほしい。【4】
- ・ トイレを洋式にしてほしい。【3】
- ・ 学校の設備を整えてほしい。【3】
- ・ 英語教育を充実させてほしい。【2】
- ・ 台風などの緊急時の対応に困る。【2】
- ・ 制服や体操服の価格を安くしてほしい。【2】
- ・ 現状に満足しており、これからも地域との関わりを大切にするスタイルを維持して欲しい。【2】
- ・ 学校設備の整備をしっかりしてほしい。【2】
- ・ 2学期制となったことによる、メリットが感じられない。2学期制を廃止し、3学期制にしてほしい。【2】

土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望

- ・ 長期休暇だけ、子どもを預けられる場がほしい。【5】
- ・ 長期休暇も子どもを預けられる場を充実してほしい。【4】
- ・ 放課後や土曜日に、子どもたちだけで遊びにいける安全な場所がほしい。【2】
- ・ 土日、祝日の子どもの預かりを増やしてほしい。【2】
- ・ 学童に、1日だけでも預かってもらえるようなシステムがほしい。【2】
- ・ 学童利用の対象年齢を上げてほしい。【2】

病気の際の対応

- ・ 緊急時の子どもの預け先を充実してほしい。【2】

放課後児童クラブについて

- ・ 放課後児童クラブの定員・利用時間の拡充【16】
- ・ 学童の利用料を減らしてほしい。(支援の充実)【6】
- ・ 学童保育を充実させてほしい。【6】

地域とのかかわり

- ・ 地域との交流を充実してほしい。【8】

子育て環境や子育て支援サービス全般について

- ・ サービス利用に関する告知【7】
- ・ 中心街と郊外の格差【5】
- ・ ガードレール設置や不審者対策など通学路の安全を確保してほしい【3】
- ・ 支援の所得制限をなくしてほしい【2】
- ・ 障がい児を持つ親の支援施策を考えてほしい【2】
- ・ 子どもと母親が集える場を充実させてほしい【2】
- ・ 子育て支援が充実していると思う【2】
- ・ 子育て支援に関する情報をもっと教えてほしい【2】
- ・ 民間学童への補助金を充実してほしい。【2】
- ・ 市の中心部と郊外で、子育て環境の格差が大きい。【2】

個別の子育て支援施策について

- ・ 市から施策の情報発信をもっとしてほしい。【2】
- ・ 子ども手当の充実【2】

アンケートについて

- ・ アンケートの質問事項が多すぎる。【4】
- ・ アンケートを施策に活かしてほしい。【4】
- ・ 子どもが大きいため、あてはまることなくアンケートにうまく答えられなかった。【4】
- ・ このアンケートが改善につながるとは思えない。アンケートはやらないほうがよい。【3】
- ・ 問 37 の子どもの権利など、用語や内容がわからない設問があった【3】
- ・ アンケート結果が反映された事業内容のわかりやすい公開を求めます。【2】
- ・ 子育てに関する情報を、このアンケートのようにパンフレットなどで配布してほしい。【2】

子育てに関する経済的状況

- ・ 中学生の医療費を無料にしてほしい。【26】
- ・ 住民税を減税してほしい。【5】
- ・ 経済的支援について【4】
- ・ 子育てに関する経済的負担を減らしてほしい。【4】

- ・ 中学生の医療費助成を申請を窓口でもできるようにしてほしい。【2】
- ・ 医療センターの受け入れを復活させてほしい。【2】
- ・ もっと子育てに関する支援をしてほしい。【2】
- ・ 3番目以降の子どもに対しての保育費を無料にしてほしい。【2】

公共施設・道路について

- ・ 市施設を充実、拡充してほしい。【30】
- ・ 広くて安全な公園をつくってほしい。遊具を充実させてほしい。【22】
- ・ ガードレールの設置、歩道の確保など道路の整備をしてほしい。【9】
- ・ 児童館の数を増やしてほしい。【8】
- ・ 子どもだけで利用できる遊び場をつくってほしい。【7】
- ・ ここにこの駐車料金を安くしてほしい。【7】
- ・ 地区児童館、図書館の設置、充実【6】
- ・ 雨の日でも利用できる施設を増やしてほしい。【6】
- ・ 相談窓口を拡充してほしい。【4】
- ・ 通学路の安全について【3】
- ・ 外灯を増やしてほしい。【3】
- ・ 公共施設の月曜休みを変えてほしい。【3】
- ・ のんほいパーク、自然史博物館、地下資源館（プラネタリウム）を、もっと魅力あるものにしてほしい。【2】
- ・ 遊具がたくさんある公園があるとよい。【2】
- ・ バスの路線を増やすなど、交通の便をよくしてほしい。【2】
- ・ 危険・事故になりそうな場所に信号を設置してほしい。【2】
- ・ スポーツ（クラブ活動）ができる施設（体育館）を増やしてほしい。【2】

その他

- ・ 豊橋市は子育てに関する支援が充実していると感じる。【3】

IV 総括

1 家庭環境

子育てを主に行っている人については、就学前児童、就学児童ともに「父母ともに」の割合が約5割と最も高くなっていますが、「主に母親」についても就学前児童では約5割、就学児童では4割半ばと高くなっています。

日ごろ子どもをみてもらえる人の有無（就学前児童：問7、就学児童：問7）については、就学前児童、就学児童ともに「緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が約6割と最も高くなっており、日常的、緊急時に子どもをみてもらえる人の多くは親族となっています。また、日常的、緊急時に子どもをみてもらえる割合は約9割となっている一方で、子どもをみてもらえる人がいない割合は就学前児童、就学児童ともに約1割となっています。

母親の現在の就労状況について（就学前児童：問8、就学児童：問8）は、就学前児童では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が約4割と最も高く、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が約3割となっておりいます。就学児童では、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が約5割、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が約2割、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が約2割となっています。就学前児童では、フルタイムの割合が約2割、パート・アルバイト等の割合が約3割、就労していない割合が4割半、就学児童では、フルタイムの割合が2割半ば、パート・アルバイト等の割合が約5割、就労していない割合が2割半ばとなっていることから、就学前児童の子どもがいる母親は子育てを機に就労をやめ、就学児童になったころからパート・アルバイト等として働きはじめていることがうかがえます。

2 乳幼児期の教育・保育

① 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

平日利用している教育・保育事業（就学前児童：問11-1）については、「保育所」の割合が約6割と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が約3割となっています。また、約1割が認定こども園、事業所内保育施設等の保育施設を利用しています。平成20年度調査と比較すると、保育所、幼稚園を利用している割合に大きな変化はみられません。

年齢別でみると、3歳以上については「保育所」の割合が低く、「幼稚園（通常の就園時間）」の割合が高くなっています。

② 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業（就学前児童：問10）は、0歳、1歳、2歳で「保育所」を希望する割合が最も高くなっています。また、3歳、4歳、5歳でも「保育所」が最も高く、5歳では半数が希望しており、次いで「幼稚園」の割合が4割以上、「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」の割合が高くなっています。

母親の就労形態別にみると、他の就労形態に比べ、フルタイムで特に「保育所」が高く、次いで、「幼稚園」、「認定こども園」が高くなっており、子育て家庭の就労状況により、ニーズが大

大きく異なることがうかがえます。

未就労の母親の就労希望（就学前児童：問9、就学児童：問9）については、約半数が1年より先に就労したいと希望しており、フルタイムへの転換希望をみると、フルタイムへの転換希望があると回答している人は、0歳で約2割となっており、1歳以上では8割の母親がパートタイムによる就労を希望しています。

3 学校以外の子どもの居場所

子どもがよく利用する公共施設（就学児童：問19）については、「公園」の割合が約6割、「図書館」「体育施設（プールも含む）」の割合が約2割となっています。

4 仕事と子育ての両立

お子さんが生まれた時、育児休業を取得したか（就学前児童：問23）については、母親で「取得した（取得中である）」の割合が2割半ばとなっており、取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が4割半ばと突出しています。

一方で、父親は、「取得していない」の割合が約9割と最も高くなっており、取得していない理由については、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が最も高くなっていますが、「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」などの就労環境の内容も高くなっていることから、企業も含めた仕事と子育ての両立支援の環境が必要であることがわかります。

5 出産や子育てについて

実際の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない人の割合は、就学前児童で約5割（2624人中1379人）、就学児童で約4割（2580人中1110人）となっており、その理由（就学前児童：問24、就学児童：問24）については、就学前児童、就学児童ともに「子育てや教育にかかる費用が大きい」の割合が6割以上と最も高く、経済的な不安から理想より少ない子どもの数になっていることが分かります。

6 豊橋市の子育て環境・子育て支援サービス

豊橋市は子育てをする環境として、現在どのように感じているか（就学前児童：問38、就学児童：問37）については、就学前児童では、妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している、子どものための医療施設が充実しているで「そう思う」の割合が高くなっています。また、就学児童では、子育て支援に積極的な企業が多いで「そう思わない」の割合が高くなっています。

また、これからの子育て環境を充実させるために重要だと思うものについては、就学前児童、就学児童ともに子どものための医療施設が充実しているで「そう思う」の割合が高くなっています。

平成20年度調査と比較すると、就学前児童では、現在、これからの両方で子どものための医療施設が充実しているの割合が増加しています。また、就学児童では、現在、これからの両方で妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している割合が増加しています。

1. ご家庭の環境について

封筒のあて名のお子さんご家庭の状況についてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区を記入してください。分からない場合は、お住まいの町名を記入してください。

() 小学校区 → 校区が分からない場合は町名 ()

問2 あて名のお子さんの生年月日を記入してください。() 内に数字で記入してください。

年 月 日 () 年 () 月 日 () 日

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。() 内に数字で記入ください。お二人以上のお子さんいらっしゃる場合は、あて名のお子さんが何番目のお子さんか、また、最も年下の子の生年月日も記入してください。

お子さんの数 () 人
 2人以上の場合
 ⇒ あて名のお子さんは () 番目
 最も年下の子は 年 月 日 () 年 () 月 日

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の職業について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。おさんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 日頃、あて名のお子さんを含めもらえる親族・知人はいいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
 2. 緊急時もしくは用事の場には祖父母等の親族にみてもらえる
 3. 日常的に子どもを含めもらえる友人・知人がいる
 4. 緊急時もしくは用事の場には子どもを含めもらえる友人・知人がいる
 5. いずれもない ⇒ 問8へ

問7-1 問7で「1」「2」「3」に○をつけている方がいます。祖父母等の親族や友人・知人にお子さんを含めもらう時の心配や不安について、それぞれ当てはまる番号すべてに○を記入してください。

(1) 祖父母等の親族にみてもらうと答えた方	(2) 友人・知人にみてもらうと答えた方
1. 特に心配や不安はない	1. 特に心配や不安はない
2. 懐ける方の身体的負担が大きく心配である	2. 懐ける方の身体的負担が大きく心配である
3. 懐ける方の時間的制約や精神的負担が大きく心配である	3. 懐ける方の時間的制約や精神的負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが悔しい	4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが悔しい
5. 子どもの教育や発達にとって心配な点があるが、少し不安がある	5. 子どもの教育や発達にとって心配な点があるが、少し不安がある
6. その他 ()	6. その他 ()

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問8 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてうかがいます。「1」～「6」のうち当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、⇒の箇所がある場合には、それについてもお答えください。内には、平均的な労働日数や時間を数字で記入してください。
 ※短時間労働制度を利用されている方は、制度取組前の労働時間をお答えください。

(1) 母親 【父子兼業の場合は記入不要です】

1. フルタイム(1日8時間労働・1日8時間労働)で就労しており、専休・育児・介護休業中ではない	⇒フルタイム(フルタイム)で就労しており、専休・育児・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しており、専休・育児・介護休業中である	⇒フルタイム(フルタイム)で就労しており、専休・育児・介護休業中ではない
3. パート・アルバイト等(フルタイム未満)で就労しており、専休・育児・介護休業中ではない	⇒パート・アルバイト等(フルタイム未満)で就労しており、専休・育児・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(フルタイム未満)で就労しており、専休・育児・介護休業中である	⇒パート・アルバイト等(フルタイム未満)で就労しており、専休・育児・介護休業中である

(2) 父親

1. フルタイム(1日8時間労働・1日8時間労働)で就労しており、専休・育児・介護休業中ではない	⇒フルタイム(フルタイム)で就労しており、専休・育児・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しており、専休・育児・介護休業中である	⇒フルタイム(フルタイム)で就労しており、専休・育児・介護休業中ではない
3. パート・アルバイト等(フルタイム未満)で就労しており、専休・育児・介護休業中ではない	⇒パート・アルバイト等(フルタイム未満)で就労しており、専休・育児・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(フルタイム未満)で就労しており、専休・育児・介護休業中である	⇒パート・アルバイト等(フルタイム未満)で就労しており、専休・育児・介護休業中である

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない

6. これまで就労したことがない

(2) 文種 【母子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイム (1週5日勤務・1日8時間勤務) で就労しており、専休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しており、専休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) で就労しており、専休・介護休業中ではない ⇒1週あたり () 日 1日あたり () 時間 ⇒フルタイムへの希望はありますが、当てはまる番号1つに○をつけてください。 1. フルタイムへの希望があり、そのなる見込みがある 2. フルタイムへの希望はあるが、そのなる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けたい 4. パート・アルバイト専任やゆめ子育てで専事に専らしたい
4. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) で就労しており、専休・介護休業中である ⇒専休・介護休業に入る前の状況についてお答えください。 1週あたり () 日 1日あたり () 時間 ⇒フルタイムへの希望はありますが、当てはまる番号1つに○をつけてください。 1. フルタイムへの希望があり、そのなる見込みがある 2. フルタイムへの希望はあるが、そのなる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けたい 4. パート・アルバイト専任やゆめ子育てで専事に専らしたい
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問8で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」と回答した方にかかっています。⇒**専断しがい労働、p.6 問19へ**

問9 就労したいという希望はありますか、母親、父親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。【 () 内には数字を記入してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 就労せず、子育てや家事などに専らしたい	1. 就労せず、子育てや家事などに専らしたい
2. 1年より先、1年下の子どもが () 歳になっ たころに就労したい	2. 1年より先、1年下の子どもが () 歳になっ たころに就労したい
3. すぐにも就労したい	3. すぐにも就労したい
4. 1年以内に就労したい	4. 1年以内に就労したい
3. 4. の番号、希望する就労形態について 当てはまるものを○をつけてください。 ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等 (ア・イ以外) ⇒ 1週あたり () 日 ⇒ 1日あたり () 時間	3. 4. の番号、希望する就労形態について 当てはまるものを○をつけてください。 ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等 (ア・イ以外) ⇒ 1週あたり () 日 ⇒ 1日あたり () 時間

問9-1 問9で「3. すぐにも就労したい」と回答した方にかかっています。就労希望がなくなりながら働いていない理由は何ですか、母親、父親それぞれについて当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 保育サービスが利用できない	1. 保育サービスが利用できない
2. 育児と就労と両立できない事がない	2. 育児と就労と両立できない事がない
3. 就労への意欲が強い	3. 就労への意欲が強い
4. やりたい仕事が見つからない	4. やりたい仕事が見つからない
5. 健康上の理由	5. 健康上の理由
6. 現在専任中である	6. その他 ()
7. その他 ()	

11. 乳幼児期の教育や保育について

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ 「定期的な教育・保育事業」：一月間定額利用料が利用している事業。具体的には、幼稚園や保育園など。下の【A群：希望する教育・保育事業】に示した事業がまれます。

問10 現在、利用している、していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的」に利用したいと考える事業について、お子さんの成長にあわせて年齢ごとに希望する事業を下の【A群：希望する教育・保育事業】から選んで特記に番号を記入してください。(現在のお子さんの年齢から5歳までについてお答えください。)

また、その事業を希望する上で前記の条件について、当てはまる条件を右ページの【B群：事業を希望する上で重視する事項】から3つまで選んで特記に番号を記入してください。

あわせて、1週あたりの利用希望日数、1日あたりの希望時間も記入してください。なお、事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

	A群：希望する教育・保育事業 (希望するすべて)	日数：事業を希望する上で重視する 必要(1-3まで)	1日あたりの 希望日数
0歳			日
1歳			日
2歳			日
3歳			日
4歳			日
5歳			日

【A群：希望する教育・保育事業】 (希望する事業すべての番号を上から順番に記入)

- 幼稚園 (通常の幼稚園の幼児 希望し以上の付加)
- 幼稚園の預かり保育 (通常の幼稚園時間を超えて預かる事業のうち定期的な利用のみ。半信ら以上の付加)
- 保育所 (通か定か不定か基本事業に適合した施設で経過指導等の提供を受けたもの)
- 認定こども園 (幼稚園と保育所との機能を併せ持つ施設)
- 家庭訪問型 (保育者の家庭等々子どもを預かる事業)
- 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
- その他の認可外の保育施設
- 施設訪問型保育 (パピーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
- ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
- 児童発達支援事業所 (障害児発達支援)
- その他 ()

【B群：事業を希望する上で重視する条件】(3つまで選んで左ページの日群欄に番号を記入)

1. 教育・保育の内容や方針が希望にあう
2. 教員・保育士・保護者の質が高い
3. 施設や設備が充実している
4. 費用がある
5. 利用可能時間帯が希望にあう
6. 認可されている施設である
7. 利用料が適正である
8. 親の負担の程度が軽い
9. 親が運営・行事などに関わる機会が多い
10. 自宅からの距離が近い
11. 利用する経や業者からの距離が近い
12. その他()

問11 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問11-1へ

2. 利用していない ⇒ p.8 問11-4へ

問11で、「1. 利用している」と答えた方にかがります。

問11-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか、年額を渡して「定期的」に利用している事業について、当てはまる番号2つまで○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の幼稚園の利用）
2. 幼稚園の預かり保育
3. 保育園
4. 認定こども園
5. 児童館
6. 事業特別児童福祉施設
7. その他の認可保育所の保育施設
8. 認可外型保育
9. ファミリー・サポート・センター
10. 児童発達支援事業所（障害児通所施設）
11. その他()

問11-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか、また、希望としてはどのくらい利用したいですか、1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを()内に具体的な数字で記入してください。

(1) 現在	1週当たり()日
	1日当たり()時間 ⇒ ()時 ~ ()時 ※24時間制で記入
(2) 希望	1週当たり()日
	1日当たり()時間 ⇒ ()時 ~ ()時 ※24時間制で記入

問11-3 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている項目についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの都合や発達のため
2. 子育て（親育を含む）をしている方が現在就いている
3. 子育て（親育を含む）をしている方が希望予定がある／準備中である
4. 子育て（親育を含む）をしている方が家族・親戚などが介護している
5. 子育て（親育を含む）をしている方が就業の機会がある
6. 子育て（親育を含む）をしている方が学生である
7. その他()

問11で、「2. 利用していない」と答えた方にかがります。

問11-4 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない項目は何ですか、理由として当てはまる番号2つまで○をつけてください。()内には数字を記入してください。

1. 利用する必要がない（子どもの年齢や発達のため、子どもの周囲の父親が担当していないなどの理由で）
2. 子どもの祖父母や親戚の人が担当している
3. 近所の人や父母の友人、知人が担当している
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・認可等の待機枠の空枠がない
7. 利用したいが、事業の費や通学など、経済的な理由がある
8. 子どもがまだ小さいため ⇒ ()歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他()

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

※「教育・保育事業」：幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業、開放・個人による預かり保育を含みます。

問12 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を()内に数字で記入してください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない

2. 希望時間帯利用したい } ⇒ ()時から ()時 利用したい時間帯

3. 月に1〜2回は利用したい } ⇒ ()時まで ※24時間制で記入

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎日利用したい } ⇒ ()時から ()時 利用したい時間帯

3. 月に1〜2回は利用したい } ⇒ ()時まで ※24時間制で記入

問13 「幼稚園」を利用されている方にかがります。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇中の教育・保育事業の利用を希望しますか、当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を()内に数字で記入してください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい } ⇒ ()時から ()時 利用したい時間帯

3. 休みの期間中、週に数日利用したい } ⇒ ()時から ()時まで ※24時間制で記入

あて名のお子さんの平日の教育・保育を利用する方のみ。

→平日の定期的な教育・保育事業を利用していない方（問11で2に○をつけただけ）は p.8 問15へ

問14 平日の定期的な教育・保育事業を利用しているお答えの方（問11で1に○をつけただけの方）にかがります。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ⇒ 問14-1へ

2. なかった ⇒ p.10 問15へ

図 14-1 「1. あった」に〇をつけた方にうかがいます。

図 14-1 ある名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間で利用方法として当てはまる番号まで〇を塗り、それぞれの日数も()内に数字で記入してください。(平日程度の場合は1日とカウントしてください)。

1年間の利用方法		日数	
ア. 父親が休んだ	年間 () 日	年間 () 日	⇒問 14-2へ
イ. 母親が休んだ	年間 () 日	年間 () 日	
ウ. (両親者を志す) 親族・友人に子どもを預けてもらった	年間 () 日	年間 () 日	⇒問 10 ⇒問 15へ
エ. 父親又は母親のどちらが休んでいる方が子どもを預けた	年間 () 日	年間 () 日	
オ. 病院・療養院の休養室を利用した	年間 () 日	年間 () 日	
カ. ベビーシッターを利用した	年間 () 日	年間 () 日	
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	年間 () 日	年間 () 日	
ク. 仕方なく子どもだけで留守番させた	年間 () 日	年間 () 日	
ク. その他 ()	年間 () 日	年間 () 日	

図 14-1で、「ア.」または「イ.」と答えられた方にうかがいます。

図 14-2 その際、「できれば病院・病児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに〇をつけてください。次に、その説明についてもお答えください。()内には数字を記入してください。なお、病児・病児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかります。利用料にかかりつけ医の診察が必要となります。

1. 病児・病児のための保育施設等を利用したいと書いたら ⇒利用したい日数 年間 () 日 ⇒利用する場合、いずれの事業所も望ましいですが、当てはまる番号まで〇をつけてください。	1. 幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 3. 地域住民等が子育て支援等の趣向を備えて提供する事業(例:ファミリー・サポート・センター等) 4. 等に当てはまらない他の事業 5. その他 ()
2. 利用したいとは思わなかった ⇒その理由として、当てはまる番号まで〇をつけてください。	1. 病児・病児を他人にみてもらうのは不安 2. 施設の事業の質に不安がある 3. 利用可能時間、日数などが利用しにくい 4. 近くにいらないため利用しにくい(⇒休診まで()分くらいは利用したい) 5. 利用料がかかる・高い 6. 利用料がわからない 7. 親が仕事を休んで対応する 8. その他 ()

ある名のお子さんの不定期の教育・保育事業等の利用についてうかがいます。

問 15 ある名のお子さんについて、日中の不定期な保育や病児のため以外に、私用、親の滞院、不定期の滞院等の目的で定期と併用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号まで〇をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も()内に数字で記入してください。

利用している事業・日数(年間)		年間 () 日
1. 一時保育 (任意の理由を問わずに保育所で一時的に子どもを保育する事業)		年間 () 日
2. 幼稚園の休みの利用 (通常の就業時間を短縮して預かる事業のうち不定期に利用する場合はのみ)		年間 () 日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)		年間 () 日
4. 子育て支援トワイライトステイ (就業時間外等で休日・滞院に子どもを預かる事業)		年間 () 日
5. 認可外保育施設・託児所		年間 () 日
6. ベビーシッター		年間 () 日
7. その他 ()		年間 () 日
8. 利用していない ⇒必ず利用していない理由(理由)は何か。当てはまる番号まで〇をつけてください。	1. 特に利用する必要がない 2. 利用したい事業が定員にない 3. 利用料がかかる・高い 4. 利用料がわからない 5. 事業の質に不安がある 6. 事業の利用日(立地や利用可能時間・日数など)がよくない 7. ほかの事業の対応になるのかわからない 8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない 9. その他 ()	

問 16 ある名のお子さんについて、私用、親の滞院、不定期の滞院等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると認めますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号まで〇をつけ、必要日数を()内に数字で記入してください。(利用したい日数の合計と、目的別の日数を()内に数字で記入してください)。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	年間 計 () 日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹をきむ)や親の買い物等)、 リフレッシュ目的	年間 () 日
イ. 滞院期間、学校行事、子ども(兄弟姉妹をきむ)や親の滞院等	年間 () 日
ウ. 不定期の滞院	年間 () 日
エ. その他 ()	年間 () 日
2. 利用する必要はない	

問17 この1年間に、保護者の用事（印刷物送達、読書・家族の病気など）により、あて名のお子さんを招き出す機会以外にのみしてしまわれかねないことではありませんか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対応方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字で記入してください。

1年間の対応方法		日数
ア. 〈保護者を含む〉祖父母・知人にかつてもらった		年間（ ）日
イ. 子供で文房具・スマートフォンなどを利用した （別紙「保護者用紙」で一回印刷。子どもを呼ぶ必要）		年間（ ）日
ウ. 「イ」以外の伝言事業（印刷物送達、ペーパーリッター 等）を利用した		年間（ ）日
エ. 仕向なく子どもを交行させた		年間（ ）日
オ. 仕向なく子どもだけで留守番させた		年間（ ）日
カ. その他（ ）		年間（ ）日
2. なかった		

**あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についてうかがいます。**

問18 あて名のお子さんについて、小学校就学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間などどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する日数たり日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合は、利用を希望する期間も（ ）内に数字で記入してください。なお、印刷物の利用にあたっては、一定の利用回数があります。

⇒ 5歳未満の方は、p.13 問1へ

1. 自宅	週（ ）日くらいい
2. 祖父祖母や友人・知人宅	週（ ）日くらいい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらいい
4. 放課後児童クラブ（学習印刷）※ ※1 ⇒下校時から（ ）時まで ※24時間制で記入	週（ ）日くらいい
5. 放課後子ども教室 ※2	週（ ）日くらいい
6. ファミリー・サポート・センター ※	週（ ）日くらいい
7. 放課後デイサービス ※ ※3	週（ ）日くらいい
8. その他（印刷物、公園など）	週（ ）日くらいい

※1 「放課後児童クラブ」一地域によって運営内容などと年々変わっています。放課後や土曜日、長期休暇日など、保護者が担当により運営内容に違いがあります。担当員のうち、子どもを呼び及び生活の場を提供するものです。

※2 「放課後子ども教室」…市橋市では、①放課後児童クラブが利用できない状況、②放課後児童の多い状況で、地域の空き施設を活用し、放課後の時間を過ごす場を提供しています（又は自ら運営する者）。③は印刷物送達を併用した学習印刷以外、いずれも保護者の同意は問いませんが、土曜日は児童が希望する長期休暇中は利用できません。

※3 「放課後デイサービス」…学級通学中の児童に対して、放課後活動上のために必要な訓練、療養との交差の促進等の支援を行います。

問19 あて名のお子さんについて、小学校就学年（4～6年生）になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの選定より日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合は利用を希望する期間も（ ）内に数字で記入してください。かみり集のことになりますが、現在お持ちのメールアドレスをお答えください。なお、印刷物の利用にあたっては、一定の利用回数があります。

1. 自宅	週（ ）日くらいい
2. 祖父祖母や友人・知人宅	週（ ）日くらいい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらいい
4. 放課後児童クラブ（学習印刷）※ ※1 ⇒下校時から（ ）時まで ※24時間制で記入	週（ ）日くらいい
5. 放課後子ども教室 ※2	週（ ）日くらいい
6. ファミリー・サポート・センター ※	週（ ）日くらいい
7. 放課後デイサービス ※ ※3	週（ ）日くらいい
8. その他（印刷物、公園など）	週（ ）日くらいい

※1 「放課後児童クラブ」…市橋市では、①放課後児童クラブが利用できない状況、②放課後児童の多い状況で、地域の空き施設を活用し、放課後の時間を過ごす場を提供しています（又は自ら運営する者）。③は印刷物送達を併用した学習印刷以外、いずれも保護者の同意は問いませんが、土曜日は児童が希望する長期休暇中は利用できません。

問18 または問19で「4. 放課後児童クラブ（学習印刷）」に○をつけたい方がいらっしゃいます。

問20 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用回数はありませんか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また利用したい期間帯を（ ）内に数字で記入してください。なお、事業の利用には、一定の利用回数があります。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の頃は利用したい	⇒	利用したい期間帯 ※24時間制で記入
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		〔 〕時から〔 〕時まで
3. 利用する必要はない		

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の頃は利用したい	⇒	利用したい期間帯 ※24時間制で記入
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		〔 〕時から〔 〕時まで
3. 利用する必要はない		

問21 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望はありませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また利用したい期間帯を（ ）内に数字で記入してください。なお、事業の利用には、一定の利用回数があります。

1. 低学年（1～3年生）の頃は利用したい	⇒	利用したい期間帯 ※24時間制で記入
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		〔 〕時から〔 〕時まで
3. 利用する必要はない		

すべての方にうかがいます。

問22 身近な地域で、子ども同士が交流を行うことのできる場がある場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子ども遊び場を広げたい。遊具たり、ソフト遊具を揃えたい。
2. 子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場
3. 子どもが土日に活動したり、遊んだりできる場
4. 子ども同士が打ちあけあえる場
5. その他（ ）

III 育児休業制度について

育児休業の取得状況についてうかがいます。

問 23 あてのお子さんが生まれた時、文面がいずれもしくは双方が育児休業を取得しましたが、母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 「育児休業取得」→育児休業法（平成22年9月1日施行（一部平成24年7月1日施行））では、従業員は、事業主に申し出ることにより、子の1歳の誕生日の前日まで、原則1回限り、育児休業を取得することができます。既婚かつ子1歳の誕生日の前日まで、原則1回限り、育児休業を取得することができます。また、子が1歳以降、事業所にいないと一定の要件を満たす場合は、子が1歳の誕生日の前日まで、育児休業を取得することができます。なお、公認員の場合は原則として子が3歳の誕生日の前日まで育児休業を取得できます。

(1) 母親	(2) 父親
1. 働いていなかった ⇒ 15 問24へ	1. 働いていなかった ⇒ 15 問24へ
2. 取得した（取得中である） ⇒ 問23 1へ	2. 取得した（取得中である） ⇒ 問23 1へ
3. 取得していない ⇒ 問14 問23 5へ	3. 取得していない ⇒ 問14 問23 5へ

母親と父親のそれぞれについて、指示された空欄に番号を記入してください。

問 23 で「2. 取得した（取得中である）」と答えた方についてうかがいます。

問 23-1 育児休業取得後、義理に察知しましたが、母親、父親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得した方は、希望している復帰期と実際の復帰時期を（ ）内に数字で記入してください。現在予定している復帰への復帰時期を記入してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 育児休業取得後、義理に察知した ⇒ 希望：子が（ ）歳（ ）か月以降 ⇒ 実際：子が（ ）歳（ ）か月以降 2. 現在も育児休業中である ⇒ 子が（ ）歳（ ）か月以降予定 ⇒ 14 問23 3へ	1. 育児休業取得後、義理に察知した ⇒ 希望：子が（ ）歳（ ）か月以降 ⇒ 実際：子が（ ）歳（ ）か月以降 2. 現在も育児休業中である ⇒ 子が（ ）歳（ ）か月以降予定 ⇒ 14 問23 3へ
3. 育児休業中に復帰した ⇒ 14 問23 4へ	3. 育児休業中に復帰した ⇒ 14 問23 4へ

問 23-2 問 23-1 で「1. 育児休業取得後、義理に察知した」と答えた方のうち、育児休業の復帰期が義理と実際で異なる方についてうかがいます。義理復帰の時期と異なる理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ① 母親	② 父親
1. 希望する復帰期に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の担当の時期に合わせるため 5. その他（ ）	1. 希望する復帰期に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の担当の時期に合わせるため 5. その他（ ）
(2) 「希望」より遅く復帰した方 ① 母親	② 父親
1. 希望する復帰期に入らなかったため 2. 自分や子どもが復帰が難しくなったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 復帰の受け入れ態勢が整っていないため 5. 子どもを育てる人がいなかったため 6. その他（ ）	1. 希望する復帰期に入らなかったため 2. 自分や子どもが復帰が難しくなったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 復帰の受け入れ態勢が整っていないため 5. 子どもを育てる人がいなかったため 6. その他（ ）

問 23-3 問 23-1 で「2. 現在も育児休業中である」と答えた方についてうかがいます。義理への復帰時期を決める理由として、母親、父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 希望する復帰期に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の担当の時期に合わせるため 5. その他（ ）	1. 希望する復帰期に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の担当の時期に合わせるため 5. その他（ ）

問 23-4 問 23-1 で「3. 育児休業中に復帰した」と答えた方についてうかがいます。育児休業中に復帰した理由について、母親、父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 預けられる保育園が見つからず、育児休業中延長できなかった 2. 復帰後の職場環境が、仕事と子育ての両立ができておらずであった 3. 復帰に子どもがまわらず、仕事より子育てに専念しようと思った 4. 復帰前または子どもの健康上の理由 5. その他（ ）	1. 預けられる保育園が見つからず、育児休業中延長できなかった 2. 復帰後の職場環境が、仕事と子育ての両立ができておらずであった 3. 復帰に子どもがまわらず、仕事より子育てに専念しようと思った 4. 復帰前または子どもの健康上の理由 5. その他（ ）

問 23 で「3. 復帰していない」と答えた方についてうかがいます。

問 23-5 育児休業を取得していない理由として、母親、父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (専業主婦に) 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に復帰するのが遅く感じた 5. 育児・育児などが重なりすぎた 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育園などが見つかることができなかった 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が復帰、祖父母等の関係によりもたらされるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため復帰しなかった 11. 異業種に育児休業の制度がなかった 12. 復帰期に合わせた復帰できなかった 13. 育児休業を返還できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇（産前産後、産後8週間）を返還することを選択せず、退職した 15. 自営業 16. その他（ ）	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 仕事に復帰するのが遅く感じた 4. 育児・育児などが重なりすぎた 5. 収入減となり、経済的に苦しくなる 6. 保育園などが見つかることができなかった 7. 配偶者が育児休業制度を利用した 8. 配偶者が復帰、祖父母等の関係によりもたらされるなど、制度を利用する必要がなかった 9. 子育てや家事に専念するため復帰しなかった 10. 異業種に育児休業の制度がなかった 11. 復帰期に合わせた復帰できなかった 12. 育児休業を返還できることを知らなかった 13. 自営業 14. その他（ ）

IV 出産や子育てについて

出産や子育ての考え方についてうかがいます。

問24 理想とする子どもの数と、実際にいる（予定している）子どもの数は何人ですか。

1. 理想とする子どもの数	人
2. 実際（予定）の子どもの数 （予定の子どもの数と異なる場合は予定の子どもの数を書き込む）	人

問24で実際に（予定）の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない方は、下記の理由を記入してください。

理由を記入する際は、理由を記入する欄に記入してください。

1. 子育てや育児にかかる費用が大きい	2. 仕事と育児の両立が難しい
3. 住宅が狭い	4. 子どもを育てるには生活環境が悪い
5. 教育・保育サービスが十分ではない	6. 育児の身体的、精神的負担が大きい
7. 子育てよりも自分たちの生活が優先したい	8. 結婚前や結婚が子どもを希望する予定ではない
9. 子育てを希望してはいるが、実現が難しい	10. 育児や子育てに関する情報が少ない
11. 子どもの将来の環境に不安がある	12. その他（ ）

すべての方にうかがいます。

問25 お子さんが増える前に子育てに関して知っておきたいことについて、母親と父親それぞれが1-5のレベルで回答をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方から回答をつけてください。

区分	(1) 母親					(2) 父親				
	とても多い	多い	やや多い	やや少ない	とても少ない	とても多い	多い	やや多い	やや少ない	とても少ない
子どもの心と体の健康	1	2	3	1	2	3	1	2	3	3
子どもの知識・力	1	2	3	1	2	3	1	2	3	3
育児・モラルの教育方針	1	2	3	1	2	3	1	2	3	3
子育て支援などの政策的なこと	1	2	3	1	2	3	1	2	3	3
母親としての働き	1	2	3	1	2	3	1	2	3	3
会社内の待遇	1	2	3	1	2	3	1	2	3	3

問26 仕事と子育てに関する男女の生き方について、母親と父親それぞれにとっての現状と理想について、当てる番号1-5をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方から回答をつけてください。

	(1) 母親	(2) 父親
現状	1. 子育てより仕事優先している 2. 仕事と子育ての両立を優先しようとしている 3. 仕事より子育てを優先している 4. その他（ ）	1. 子育てより仕事優先している 2. 仕事と子育ての両立を優先しようとしている 3. 仕事より子育てを優先している 4. その他（ ）
理想	1. 子育てより仕事優先したい 2. 仕事と子育ての両立を優先しようとしている 3. 仕事より子育てを優先したい 4. その他（ ）	1. 子育てより仕事優先したい 2. 仕事と子育ての両立を優先しようとしている 3. 仕事より子育てを優先したい 4. その他（ ）

問27 男性が女性とともに家事や子育て、教育に積極的に参加するために何が重要だと思いますか。母親と父親それぞれについて、当てる番号1-5をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方から回答してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 仕事と育児の両立などの課題について相談できる窓口を設ける	1. 仕事と育児の両立などの課題について相談できる窓口を設ける
2. 労働時間の短縮や休暇制度を充実させる	2. 労働時間の短縮や休暇制度を充実させる
3. 夫側の育児や家事などの負担を減らすように十分に話し合う	3. 夫側の育児や家事などの負担を減らすように十分に話し合う
4. 家事などを女性で担うよう奨励する	4. 家事などを女性で担うよう奨励する
5. 男女平等に対する意識を高める教育をする	5. 男女平等に対する意識を高める教育をする
6. 男性の仕事優先の生き方、考え方を改める	6. 男性の仕事優先の生き方、考え方を改める
7. 家事や子育てへの参加などに対する意識を高める	7. 家事や子育てへの参加などに対する意識を高める
8. その他（ ）	8. その他（ ）

問28 女性が育児をしながら働き続けるために、今の社会に何が重要だと思いますか。母親と父親それぞれについて、当てる番号1-5をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方から回答してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 求職、転職など女性の就労の相談窓口の充実と情報提供を行う	1. 求職、転職など女性の就労の相談窓口の充実と情報提供を行う
2. 育児に関する施設・サービスを向上させる	2. 育児に関する施設・サービスを向上させる
3. 育児休業制度などの法・制度を充実させる	3. 育児休業制度などの法・制度を充実させる
4. 短時間勤務、フレックスタイム、在宅勤務などの制度を導入する	4. 短時間勤務、フレックスタイム、在宅勤務などの制度を導入する
5. 職場での休暇・出張による退勤の遅延を防止する	5. 職場での休暇・出張による退勤の遅延を防止する
6. 男女平等意識、教育訓練など、企業へ労働条件向上の働きかけをする	6. 男女平等意識、教育訓練など、企業へ労働条件向上の働きかけをする
7. ハートフルな職場環境など、女性に関わる仕事・社会制度の向上を行う	7. ハートフルな職場環境など、女性に関わる仕事・社会制度の向上を行う
8. 女性就労に関する意識を高めるため、雇用主や社会への意識啓発を行う	8. 女性就労に関する意識を高めるため、雇用主や社会への意識啓発を行う
9. 男性の家事・育児参加など、働く女性への支援や理解の啓発を行う	9. 男性の家事・育児参加など、働く女性への支援や理解の啓発を行う
10. その他（ ）	10. その他（ ）

子育てに関する悩みや不安感についてうかがいます。

問29 子育てに関して、不安などを感ずることはありますか。当てる番号1-5をつけてください。

1. 子どもの病気やケガ・発達に不安がある	2. 子どもの健康や発達に不安がある
3. 子どもの勉強（学力、しつけ）に不安がある	4. 子どもの友だちとの付き合いに不安がある
5. 配偶者の協力が少ない	6. 配偶者や子育てに関する情報が少ない
7. 子育てにかかる経済的負担が大きい	8. 子育ての大変さを身近な人が理解してくれない
9. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	10. 地域の子育て支援サービスの利用・申込がうまくいかない
11. 仕事がない	12. 収入で子育てや教育サービス、相談費が足りない
13. 働く子どもの働きが悪い（労働や児童労働など）	14. その他（ ）
15. 子育て負担は感じない	15. 子育て負担は感じない

問30 子育てをする上で、母親と父親それぞれの体調やお気持ちなどについてお答えください。①～⑥について1つずつ○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に目まなから回答してください。

区分	(1) 母親		(2) 父親			
	よくある	よくない	よくある	よくない		
①子育てに不安や負担を感じる	1	2	3	1	2	3
②子育てでの悩みがよくわからない	1	2	3	1	2	3
③子どもの様子から自信が持てない	1	2	3	1	2	3
④子どもの時間を十分にとれない	1	2	3	1	2	3
⑤自分のやりたいことが十分にできない	1	2	3	1	2	3
⑥何もやる気が起こらないことがある	1	2	3	1	2	3
⑦子育てによる身体の疲れが大変	1	2	3	1	2	3
⑧子育てによる精神的疲れやストレスが大変	1	2	3	1	2	3
⑨子どもを育てているのではないかと感じる	1	2	3	1	2	3

問31 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を、母親に相談できる人はいいますか、または、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある ⇒ 問31-1へ 2. いない/ない ⇒ 問31-2へ

問31-1 「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。

問31-2 父親に相談できる人（人）がいない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	2. 祖父祖母の相談	3. 知人や知人	4. 近所の人
5. 職場の人	6. 専業主婦の保護者仲間	7. 医や学校の先生	8. 産休・育休後・家賃工
9. 保健所（子ども保健課（母子保健センター））	10. 子育てサークルや子育て中の仲間	11. 地域の先生・児童委員、主任児童委員	12. 子育て支援センター
13. 子育て支援 SNS*	14. 子どもの医師	15. 子育て支援センター	16. こどもにサークル
17. こども未来館の子育てプラザ	18. 保健所の運営児童相談所	19. 民間の電話相談	20. 児童相談センター
21. 民間の電話相談	22. その他（ ）		

*子育て支援センターの子育て支援に特化した、インターネット上でソーシャルネットワークサービス

問31-2 「2. いない/ない」に○をつけた方にうかがいます。

問31-2 父親に相談できる人（人）がいない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者に相談できない
2. 専業主婦で子育て支援センターや相談所がない
3. 専業主婦ばかりで子育て支援センターや相談所がない
4. 自分以外の地域の誰（どこ）に相談すればよいか分からない
5. 相談することが好きではない
6. その他（ ）

すべての方にうかがいます。

問32 市の子育てに関する相談窓口について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. どこにも電話すればよいか分からない
2. 子どもを連れて気軽に相談できる
3. 相談窓口がどこにあるのかわからない
4. 自分の相談内容にあった相談窓口を紹介してくれるサービスがほしい
5. 相談窓口まで距離が遠く行くのが大変、毎日相談窓口があるとうよい
6. その他（ ）

地域との関わりについてうかがいます。

問33 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもに対して気軽に遊びたい場所や遊び場を提供してくれる
2. 子どもが自由に遊ぶことや危険なことをしたときに注意や指導をしてくれる
3. 通園・通学時に安全を確保してくれる
4. 子どもにスポーツや遊びなどの指導をしてくれる
5. 緊急時に子どもを一時預かってくれる
6. 子育てについて気軽に相談やアドバイス、情報交換をしてくれる
7. その他（ ）
8. 他にない

問34 あなた自身が保護者として、これならできる（してもいい）と考える子育て支援に関する活動は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 地域のひととのあいさつや交流の機会をつつ	2. 地域の子育て支援への声かけ、話し相手
3. 子育ての悩みや不安をもちている親への相談先の紹介	4. 子育てサークルなどの開催、誘い
5. 自分の体験を生かした活動の企画（ママの集まりやイベント）	6. 子どもの安全イベント
7. 近所の子どもの保護者と一緒にみるこ	8. その他（ ）

問35 あなたを含め、あて名のお子さんの保護者の方は、子育てに関するサークルなど自主的な活動（行政が行うものを除く）に参加していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 現在参加している	2. 現在は参加していません（以前参加したことがある方を含む）、今後参加がめれば参加したい	3. 現在は参加していません（以前参加したことがありません）、今後参加がめれば参加したい
-------------	---	--

問35-1 問35で「1. 現在参加している」「2. 現在は参加していません（以前参加したことがありません）、今後参加がめれば参加したい」とお答えの方は、自主活動をしていく上で行政に要望や支援は何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 河合会連の提供（会費なしなど）	2. 育児休暇やPRなどに要する支援（産後の見守りなど）
3. 産前産後の体験サービス	4. 産前産後の相談
5. その他（ ）	6. 他にない

問36 産後の内には様々な子育て支援団体がありますが、次の（1）～（3）について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

	(1)	(2)	(3)
市内で活動する子育て支援団体を知っていますか	これまで子育て支援団体の存在を知っていますか	これまで子育て支援団体の存在を知っていますか	今後、子育て支援団体の存在を知りたいですか
1. 知っている	1. 利用したことがある	1. 利用したい	1. 利用したい
2. 知らない	2. 利用したことがない	2. 利用したいと思わない	2. 利用したいと思わない

V 豊橋市の子育て支援サービスについて

子育て相談や子育て支援サービス全般についてうかがえます。

問37 豊橋市は子育て上で何かよい点はありますか、当ではまる番号1つ広Oをつけてください。

1. そう思う 2. どちらかと思えそう思う
 3. どちらかと思えそう思わない 4. そう思わない
 5. わからない

問38 豊橋市は子育てをとする環境として、現在どのように感じていますか、また、これからの子育て環境を充実させるために何が重要だと感じますか、下記の①～④について、①(1) 現在の、②(2) これからのそれぞれ1つずつ広Oをつけてください。

区 分	(1) 現在					(2) これから						
	ま ま ま ま ま	い え ら ら ら	い え ら ら ら	い え ら ら ら	い え ら ら ら	ま ま ま ま ま	い え ら ら ら	い え ら ら ら	い え ら ら ら	い え ら ら ら		
①親子・子ども同士の間での関わりや自然の中で の多様な体験の場が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
②子どもたちの教育環境が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
③子どもが気軽に利用できる施設や機関が整 っている	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
④子どもが生命の大切さや性についての正し い知識や学ぶ機会がある	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤保護者間の仲間作りや親子子どもの人権 教育の体制が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥希望した時期に保育サービスが利用できる が保育所での多様な保育サービスが充実して いる	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦子育ての相談窓口が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧子育てに関する情報が簡単に入手できる	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨子育て支援への経済的援助が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩子どもが安心・安全で出掛けられる環境が 整っている	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪ひとりの親や祖父母より保育がある児童への支 援が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑬妊産婦から出産、育児まで親子への健康管理 が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑭子どもたちのための医療施設が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑮子育てが家族や地域の人が支えられている	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑯近世代の子を育つ親に働きがちな環境が整 っている	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑰地域で子育てをする環境が整備されている	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
⑱女性が希望通りに出産後も仕事を続けやす く働き続けることができる	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4

区 分	(1) 現在の					(2) これから						
	ま ま ま ま ま	い え ら ら ら	い え ら ら ら	い え ら ら ら	い え ら ら ら	ま ま ま ま ま	い え ら ら ら	い え ら ら ら	い え ら ら ら	い え ら ら ら		
①子育て支援に関する法的な整備が整 っている	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
②児童福祉の充実に関する取り組みが整 っている	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4

個別の子育て支援サービスについてうかがえます。

問39 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをおまろ
 ください。①～④の事業ごとに、(1)～(3)のそれぞれについて、「1」か「2」のいずれか広
 Oをつけてください。①～④は先後が子どもが得意に選べるように選定してあげてください。

サービスや施設の種類	知っているですか		これまでに利用した ことがありますか		今後、利用 したいですか	
	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)
①ママママ教室 妊娠期から産後まで参加者が集まる場として、 ママ同士の交流や子育ての悩みを共有する場 を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
②産後・新生児訪問 産後1か月までの産後ケアとして、産後ケア センターから訪問してサポートを行います。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
③子育て支援施設ネットワーク「育なび」 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
④おしゃべり隊 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
⑤一時保育 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
⑥病児・病後児保育 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
⑦保育園子育て支援施設 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
⑧0歳児保育施設 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
⑨子育て支援センター 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
⑩子育て支援センター 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
⑪子育て支援センター 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
⑫子育て支援センター 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
⑬子育て支援センター 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
⑭子育て支援センター 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
⑮子育て支援センター 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
⑯子育て支援センター 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
⑰子育て支援センター 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
⑱子育て支援センター 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
⑲子育て支援センター 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない
⑳子育て支援センター 子育てに関する様々な施設、団体の連携を 図り、子育て支援の場を提供しています。	1. 知っている	2. 知らない	1. 利用したことある	2. 利用したことない	1. 利用したい	2. 利用したことない

サービスや機能の種類	(1) 知っていますか	(2) これまでに利用したことがありますか	(3) 今後、利用したいですか
子ども未来館「ここに」 乳幼児とその保護者を主な対象とした子育てアプリ、幼児や小学生を主な対象とした体験・見学アプリなどがあります。	1. 知っています 2. 知らない	1. 利用したことある 2. 利用したことない	1. 利用したい 2. 使わないでほしい
体験型学習型 幼児や小学生の学習や体験の場や学習場などを提供しています。タブレットや学習機もありません。	1. 知っています 2. 知らない	1. 利用したことある 2. 利用したことない	1. 利用したい 2. 使わないでほしい
保護者関係情報 子育てに関する情報があり、検索における検索の精度が向上しています。	1. 知っています 2. 知らない	1. 利用したことある 2. 利用したことない	1. 利用したい 2. 使わないでほしい

※①②③④及び⑤の一部は利用料が不要

地域における子育て支援についてうかがいます。

問40 あて名のお子さんは、現在、下記にあるような地域子育て支援拠点事業（0～3歳の親子が集まって過ごす場）を利用しています。情報提供を受けたいですが、次の中から、利用しているものを3つほどに○をつけてください。また、おおよその利用回数（例数）を（ ）内に数字で記入してください。

	利用している事業・回数
1. つばいのはな 親子が自由に遊び、情報交換ができるのが大きな特徴です。あいどろ、市民活動センター、児童館等の3つが、週3日間開催しています。	⇒1週当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度
2. 子育て支援センター 児童館や児童センター、児童センターのほかに、活動の場が、児童センターのほかに設けられています。児童センターや児童センター、児童センターなどがあります。週3日間開催しています。	⇒1週当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度
3. こども未来館の「子育てクラブ」 親子が自由に遊び、情報交換、交流できる場です。子育ての相談や情報提供を行っています。こども未来館の1階にあります。	⇒1週当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度
4. ここにこーぐる 親子が集い、遊びや情報交換の場や、情報づくりに活用できる場。児童センターや児童センターや児童センターや児童センターが、児童センターや児童センターで月1～2回開催しています。	⇒1週当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度
5. いずれも利用していません	

問41 問40のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いますが、当てはまる番号上3つに○をつけて、おおよその利用回数（例数）を（ ）内に数字で記入してください。

1. 利用していないが、今後利用したい ⇒1週間当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度
2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい ⇒1週間当たり 例に（ ）回 もしくは 1か月当たり 例に（ ）回程度
3. 新たに利用したいと思わない、利用回数を増やしたいと思わない ⇒利用したいと思わない、利用回数を増やしたいと思わない理由 1. 利用したいサービスが地域にない 2. サービスの質が不安 3. 利用回数が多く利用しづらい（立地・時間・料金等） 4. 情報が無い 5. 利用方法がわからない 6. その他（ ）

子どもの遊び場や居場所についてうかがいます。

問42 集の近くの子ども遊び場について、日頃感じていることはいくつかあります。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 近くに遊び場がない	2. 開の日に遊べる場所がない
3. 思い切り遊ぶのに十分な広さがない	4. 器具などの種類が充実していない
5. 季節ごとの設備がない	6. いつも開放されていて遊ばない感じがする
7. 遊具などの設備が古くて危険である	8. 緑などの自然が少ない
9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない	
10. 遊び場に行っても子どもと向き合えない感じがする	11. 遊び場が狭い
13. 時に遊ぶことは少ない	12. その他（ ）

子どもの権利に関する番号についてうかがいます。

問43 あなたは、子どもの権利に関する国際的な条約がある（日本も加盟している）ことを知っていますか、当てはまる番号上3つに○をつけてください。

1. 知っている	2. 知らない
問44 あなたは、子どもの権利に関してどう考えますか、当てはまる番号すべてに○をつけてください。	
1. 「すべての子供に与えようとする権利がある」ということを、子どもたちにきちんと伝えなければならぬ	
2. 子どもは、自分自身の「子どもの権利」が尊重されることにより、他の人の権利を尊重することや、人権の大切さを学ぶべきである	
3. 子どもの一人ひとりの「子どもの権利」を守るべきである	
4. 子どもに権利ばかり教えるだけではダメで、同時に義務や責任も教えるべきではない	
5. 義務を重くしない子どもにも権利はないと思う	
6. その他（ ）	

子育てに関する情報提供についてうかがいます。

問45 あなたは普段、子育てに関する情報はどこから入手していますか、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 相談（親、兄弟姉妹など）	2. 動画・知識の習得
3. 友人	4. 子育てアプリの仲間、子育て中の仲間
5. 医師、保健師、助産師、学童	6. 相談所
7. 市の広域	8. 子育て情報提供プラットフォーム
9. 子育て情報誌やウェブサイト	10. 新聞や雑誌、書籍
11. テレビ、ラジオ、新聞	12. 子育て支援・育児講座
13. WEBサイト（よく使うものは？）	14. SNS（よく使うものは？）
15. SNS（よく使うものは？）	16. SNS（よく使うものは？）
17. 情報誌やウェブサイト	18. その他（ ）
19. 情報誌やウェブサイト	20. その他（ ）

※例：情報誌やウェブサイト、インターネット上のソーシャルネットワークサービス

問 46 市が提供する子育て情報について、当てはまると思う番号またはOをつけてください。

1. 子育て中の必要な情報が、分かりやすく提供されている
2. どこに聞けばよいかわからない、または、回答がよいかわからない
3. 色んな窓口に分かれていて、聞きたい情報が入りやすい
4. 子育て情報の案内をしてくれる窓口がある
5. その他 ()

安心して子育てできる環境についてうかがいます。

問 47 子育てを数多く経験について、困ることはありますか、当てはまる番号またはOをつけてください。

1. 歩道や道幅が広い道が多く、安全な道がある
2. 歩道の両側などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている
3. 交通規制や運送物がベビーカーでの移動に邪魔されていない
4. 買い物や用事の多い時間帯に、子どもを遊ばせる場所が少ない
5. 買い物や用事の多い時間帯に、子どもを遊ばせる場所が少ない
6. 同団体の子どもを遊ばせる場所が少ない
7. 同僚や子どもを遊ばせる場所が少ない
8. その他 ()
9. 他に困ることはない

防災に対する意識についてうかがいます。

問 48 2011年に東日本大震災がおき、この地域でも南海トラフ巨大地震が来ると言われていますが、子どものいる家として、どのような防災対策を行っていますか、当てはまる番号またはOをつけてください。

1. 子どものための食料・飲料水の備蓄（缶詰・缶詰、アレルギーマッチなど）
2. 子どものための非常持ち出し品の準備
3. 家具の転倒防止や配線の工夫など、家の中の安全確保
4. 防災避難場所や緊急連絡先の確認
5. その他 ()

最後に、豊橋市に期待することについてうかがいます。

問 49 豊橋市の教育・子育て環境をさらに充実させる上で、何を期待しますが、当てはまる番号またはOをつけてください。

1. 図書館、美術館、学校の施設を改善する
2. 病院、保育園などの入園を減らす
3. 病院、保育園などの入園を増やす
4. 田舎との交流や体験学習の機会を増やす
5. 子供の貧困を子ども福祉の観点から減らす
6. 国際交流の機会を増やす
7. 田舎との交流・福祉教育を推進させる
8. 保育園や学校等と父母の連携を密にする
9. 保育園・学校の教育目標などを公開する
10. その他 ()
11. 特に改善する必要はない



問 50 その際、豊橋市の子育て支援施策に関するご意見・ご要望（子育てで大切なことや問題点など）がありましたら、自由に記入してください。

大変お疲れ様でした。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご返願ください。



豊橋市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

～よりよい子育て支援施策の推進のため、あなたの声を聴かせてください～

豊橋市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づき新たに女子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、保育・保母・子育て支援の充実を図るため、5年計画として子ども・子育て支援事業計画を作成いたします（平成27年度から実施予定）。

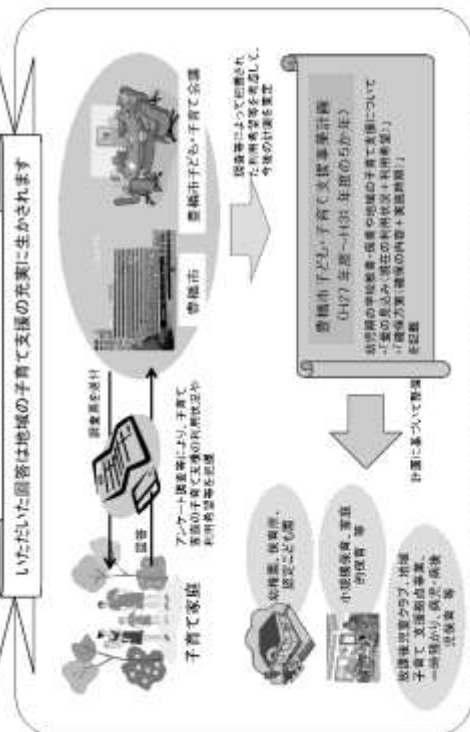
この新たな計画で必要な施策や、保育・子育て支援の提供体制を確保するための「量の増減」を算出し、また、子育てに関する生活実情やご要望・ご意見などを把握するため、「豊橋市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施することにいたしました。

なお、この調査は、平成25年8月1日現在の住民基本台帳から0歳～小学6年生までのお子さんのいるご家庭のうち、甲種が12,000世帯を超過し、ご意見を聴き取りたいと判断いたしました。調査対象は、市や国・県の子育て支援施策の検討にのみ活用させていただきます。

よりよい計画を作成するために多くの皆さまから回答をいただくことが何より重要です。ご参加のことをご希望の方は、調査の進捗を定期的に確認いただき、調査にご協力ください。よろしくお願いいたします。

平成25年10月

豊橋市長 佐原 光一



11月7日（木）までに同封の返信用封筒に入れて返函してください。

<この調査に関する問合せ先>

豊橋市福祉部子育て支援課 電話 51-2325（直通） 月～金曜日（祝日も除く） 8：30～17：15

子ども・子育て支援新制度の考え方

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の激化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもや保護者においては、乳幼児期におけるしっかきとした愛情を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学習期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己責任感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者に子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に寄り添い生きがいを感じることができるよう支援を目標としています。

～ご記入にあたってのお願い～

1. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
2. ご回答は、選んだ項目をつけてお返しいただく場合と、数字などを記入いただく場合があります。
3. 選択肢の場合、お返しいただく数が段階によって異なり得る場合があります。また、1つの項目をお返しいただいた場合は、その値にある（ ）内に具体的な内容を記入してください。
4. 就学で始業（始業）をご記入いただく場合は、24時間制（前：午後6時～18時）でご記入ください。
5. ご記入が高まりましたら、お手紙ですが、同封の返信用封筒に入れて11月7日（木）までにご返函ください。（切手は不要です）
6. 返函によってご回答いただいた方が認められる場合がありますので、ごわがちな書き方や内容にご注意ください。特にごわがちな書き方や内容には、返函にお返しいただき、返函の旨をお知らせください。
7. ご回答いただくことで不明な点、調査に関するお問い合わせは、事務局の問合せ先までお問い合わせください。

1. ご家族の環境について

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区を記入してください。分らない場合は、お住まいの町名を記入してください。

() 小学校区 → 学区が分からない場合は町名 ()

問2 あて名のお子さんの生年月日を記入してください。() 内に番号で記入してください。

平成 () 年 () 月 () 日

問3 あて名のお子さんを含め、お父さんお母さんはいらっしゃいますか。() 内に番号で記入してください。お父さんお母さんがいらない場合は、あて名のお子さんご家族のお子さんか、また、最も年下の生年月日も記入してください。

お子さんの数 () 人
2人以上のお子さんは、あて名のお子さんは () 番目
 の子
 うち () 人は () 年 () 月 () 日生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の所属関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。おさんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主母親 3. 主父親 4. 主祖父母 5. その他 ()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

あて名のお子さんの小学校1～3年生までの約1週間についてうかがいます。 () にお子さん4～6年生の方は、問8へ

問7 日曜、あて名のお子さんを含めもえる家族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
 2. 緊急時もしくは用事の時には祖父母等の親族にみてもらえる
 3. 日常的に子どもを含めてもえる知人・知人がいる
 4. 緊急時もしくは用事の時には子どもを含めてもえる知人・知人がいる
 5. いずれもない → 問8へ

問7-1 問7で「1」「4」「5」に○を2つ以上つけた方がいらっしゃいます。祖父母等の家族や友人・知人にお子さんを含めもえる心のケアや不安について、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 祖父母等の親族にみてもらって答えたい方	(2) 友人・知人にみてもらって答えたい方
1. 特に心配や不安はない	1. 特に心配や不安はない
2. 預ける方の身体的負担が大きく心配である	2. 預ける方の身体的負担が大きく心配である
3. 預ける方の精神的・精神的な負担が大きく心配である	3. 預ける方の精神的・精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心配しい	4. 自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心配しい
5. 子どもの教育や発達によって心配しい課題があるか、少し不安がある	5. 子どもの教育や発達によって心配しい課題があるか、少し不安がある
6. その他 ()	6. その他 ()

あて名のお子さんの保護者の勤務状況についてうかがいます。

問8 あて名のお子さんの保護者の現在の勤務状況(自営業、家族経営を含む)についてうかがいます。1.～4.のうち当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、①の適用がある場合には、それについてもお答えください。() 内には、平時的な労働日数や時間を要して記入してください。※長時間労働を伴っている方は、就業前質問の質問時間でお答えください。

(1) 種類 【父子関係の場合は記入不要です】

1. フルタイム (1週5日勤務、1日8時間勤務) で勤務しており、専休・専休・介護休業中ではない	1. フルタイム (1週5日勤務、1日8時間勤務) で勤務しており、専休・専休・介護休業中ではない
2. フルタイムで勤務しており、専休・専休・介護休業中である	2. フルタイムで勤務しており、専休・専休・介護休業中である
3. ハート・アルバイト等 (フルタイム以外) で勤務しており、専休・専休・介護休業中ではない	3. ハート・アルバイト等 (フルタイム以外) で勤務しており、専休・専休・介護休業中ではない
→ 就業あり () 日 () 時間 → フルタイムの希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。	→ 就業あり () 日 () 時間 → フルタイムの希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
1. フルタイムへの希望がある。そのなる思い込みがある	1. フルタイムへの希望がある。そのなる思い込みがある
2. フルタイムへの希望はあるが、そのなる思い込みはない	2. フルタイムへの希望はあるが、そのなる思い込みはない
3. ハート・アルバイト等の状況を探りたい	3. ハート・アルバイト等の状況を探りたい
4. ハート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4. ハート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
4. ハート・アルバイト等 (フルタイム以外) で勤務しており、専休・専休・介護休業中である	4. ハート・アルバイト等 (フルタイム以外) で勤務しており、専休・専休・介護休業中である
→ 専休・専休・介護休業に入る前の状況についてお答えください。 1週間あたり () 日 () 時間 → フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。	→ 専休・専休・介護休業に入る前の状況についてお答えください。 1週間あたり () 日 () 時間 → フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
1. フルタイムへの希望があるが、そのなる思い込みがある	1. フルタイムへの希望があるが、そのなる思い込みがある
2. フルタイムへの希望はあるが、そのなる思い込みはない	2. フルタイムへの希望はあるが、そのなる思い込みはない
3. ハート・アルバイト等の状況を探りたい	3. ハート・アルバイト等の状況を探りたい
4. ハート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4. ハート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
5. 以前の勤務していたが、現在が勤務していない	5. 以前の勤務していたが、現在が勤務していない
6. これまで勤務したことがない	6. これまで勤務したことがない

問12 問10で「4. 放課後児童クラブ」にOをつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、4～6年生の間も「放課後児童クラブ」を利用したいですか。当てはまる番号1つにOをつけてください。また、利用したい場合は、利用を希望する学年と、該当年の子供の希望日数及び希望する時間も〔 〕内に書き添えてください。

1. 利用したい ⇒〔 〕年生まで 週〔 〕日くらい（下校時から〔 〕時まで）
2. 利用したいと思わない

問12-1 問12で「2. 利用したいと思わない」と答えられた方にうかがいます。その理由は何か。当てはまる番号1つにOをつけてください。

1. 子どもだけで通らせてもらえない
2. 利用したいが、経済的負担が大きい
3. 型や線に書く日があやふやになる
4. その他〔 〕

あて名のお子さんが小学校4～6年生の間にうかがいます。⇒お子さんが1つ「希望する学年」問15へ

問13 あて名のお子さんは、放課後（平日の小学教員終了後）の時間などのような場所を過ごしていますか。当てはまる番号すべてにOをつけ、それぞれの該当日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合は、利用時間も〔 〕内に数字で記入してください。

1. 自宅	週〔 〕日くらい
2. 祖父祖母や友人・知人宅	週〔 〕日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週〔 〕日くらい
4. 放課後児童クラブ（学習利用）※1	週〔 〕日くらい ⇒下校時から〔 〕時まで ※24時間制で記入
5. 放課後子ども教室 ※2	週〔 〕日くらい
6. ファミリー・サポート・センター	週〔 〕日くらい
7. 放課後等アクトビズ ※3	週〔 〕日くらい
8. その他（市民館、公園など）	週〔 〕日くらい

※1 「放課後児童クラブ」、※2 「放課後子ども教室」、※3 「放課後等アクトビズ」については、p.6参照

問14 問13で「4. 放課後児童クラブ」にOをつけた方にうかがいます。放課後児童クラブを利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてにOをつけてください。また、原状返却の2、3にOをつけた方は、該当年の子供の希望日数及び希望する時間も〔 〕内に数字で記入してください。

1. 利用の必要性がない（下校時刻に保護者や他の大人が子どもをみることで済む）
2. 利用したいが、放課後児童クラブの延長にまで必要がなかった 【利用希望】
3. 利用したいが、住んでいる地域に放課後児童クラブがない 週〔 〕日くらい
⇒下校時から〔 〕時まで
4. 利用したいが、経済的負担が大きい 週〔 〕日くらい
5. 利用したいが、時間が短く、子どもの迎えに間に合わない ※24時間制で記入
6. 放課後児童クラブを知らなかった
7. 受け取りに行っていない
8. 子どもだけで通らせてもらえない
9. その他〔 〕



問15 問10または問13で「4. 放課後児童クラブ（学習利用）」にOをつけた方にうかがいます。

問15 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）
（2）それぞれについて、当てはまる番号1つにOをつけてください。また利用したい時間帯も〔 〕内に数字で記入してください。なお、希望の期間にあたっては、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日
1. 学年（1～3年生）の間は利用したい } ⇒ 利用したい時間帯 ※24時間制で記入
2. 学年（4～6年生）の間も利用したい } [〕時から [〕時まで
3. 利用する必要はない

(2) 日曜日・祝日
1. 学年（1～3年生）の間は利用したい } ⇒ 利用したい時間帯 ※24時間制で記入
2. 学年（4～6年生）の間も利用したい } [〕時から [〕時まで
3. 利用する必要はない

問16 あて名のお子さんについて、お子さんの習い事・冬休みなどの長期の休校期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つにOをつけてください。また利用したい時間帯も〔 〕内に数字で記入してください。なお、希望の期間にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 学年（1～3年生）の間は利用したい } ⇒ 利用したい時間帯 ※24時間制で記入
2. 学年（4～6年生）の間も利用したい } [〕時から [〕時まで
3. 利用する必要はない

すべてのかたにうかがいます。

問17 放課後児童クラブについて、今後利用することはありますか。当てはまる番号すべてにOをつけてください。

1. 興味を感じずしてほしい
2. 終了時間を延ばしてほしい
3. 学年の受け入れ
4. 学習の受け入れ
5. 利用料の減額（日割り・減額）
6. ほかのクラブ室のスペース確保
7. クラブ室の設備の充実（エアジョーン等）
8. その他〔 〕
9. 特にない

問18 身近な地域で、子ども同士が交遊等を行うことのできる場がある場合、どのようなものがほしいとお考えですか。当てはまる番号すべてにOをつけてください。

1. 子ども遊び場（公園、児童館、公民館など）
2. 子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場
3. 子どもが土日・祝日に活動したり、遊んだりできる場
4. 子ども自身が能動的に活動できる場
5. その他〔 〕

問19 あて名のお子さんがよく利用する公共施設は何ですか。当てはまる番号すべてにOをつけてください。

1. 地区・市区市民館（公民館またはコミュニティセンター）
2. 交通センター
3. 公民館
4. 図書館
5. 公園
6. 体育館（プールを含む）
7. いずれも利用しない
8. その他〔 〕

あて名のお子さんの病気の歴の対応についてうかがいます。

あて名のお子さんが小学校1～3年生の方には、あて名のお子さんの病気の歴、p19問21へ

問20 この1年間に、あて名のお子さんが病気をやがで学校へ行けなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ⇒ 問21へ 2. なかった ⇒ p10 問21へ

問20で、「1. あった」に○をつけた方にはうかがいます。

問20-1 あて名のお子さんが病気をやがで学校へ行けなかった場合は、この1年間に付いた病名方法を当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を()内に数字で記入してください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

1年間の対応方法		日数	
ア	父親が休んだ	年間 () 日	⇒問20-2へ
イ	母親が休んだ	年間 () 日	
ウ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもを預けてもらった	年間 () 日	p10 ⇒問21へ
エ	父親又は母親のうち休労していない方が子どもを預けた	年間 () 日	
オ	療育・療育所の療育(個別10歳まで利用可)を利用した	年間 () 日	
カ	ファミリー・サポート・センターを利用した	年間 () 日	
キ	休むことなく子どもだけで留守番させた	年間 () 日	
ク	その他()	年間 () 日	

問20-1c、「ア」、「イ」または「イ」と答えた方にはうかがいます。

問20-2 その際、「できれば病名・病種別のための療育施設等を利用したい」と思われたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。次に、その期間についても添えください。()内には数字を記入してください。なお、療育・療育所のための療育施設等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. 療育・療育所のための療育施設等を利用したいと思った
⇒利用したい日数 年間 () 日
⇒利用する理由、いずかの事業形態が望ましいかどうか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 必須型・療育所等に併設した増設で子どもを保育する事業	年間 () 日
2. 個別に併設した施設で子どもを保育する事業	年間 () 日
3. 超短時間型が子育て支援等の身近な場所で開催する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)	年間 () 日
4. 家に来てもらって預かる事業	年間 () 日
5. その他()	年間 () 日

2. 利用したいとは思わなかった
⇒その理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1年間の対応方法		日数	
1. 療育・療育所を他人にみてもらった不安がある	年間 () 日	⇒問20-2へ	
2. 地域の事業の質に不安がある	年間 () 日		
3. 利用可能期間、日数などが利用しにくい	年間 () 日		
4. 近くないため利用しにくい(⇒施設まで()分くらいなら利用したい)	年間 () 日		
5. 利用料がかかる・高い	年間 () 日		
6. 利用料がかからない	年間 () 日		
7. 親が仕事休んで対応する	年間 () 日		
8. その他()	年間 () 日		

あて名のお子さんを不定期に預ける事業等の利用についてうかがいます。

すべての方にかかいます。

問21 あて名のお子さんについて、私用、親の運転、不定時の送迎等の目的で不定時に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数を(おおよそ)も()内に数字で記入してください。

利用している事業・日数(年間)		年間 () 日	
1. ファミリー・サポート・センター (居宅型が子どもを預かる事業)		年間 () 日	⇒現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
2. 子育て支援センター・プレイステイ (児童発達支援等で休日・夜間に子どもを預かる事業)		年間 () 日	
3. その他()		年間 () 日	
4. 利用していない		年間 () 日	

1. 特に利用する理由がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 利用料がかかる・高い
4. 利用料がかからない
5. 事業の質に不安がある
6. 事業の利用可能期間・日数などがよくない
7. 目的が事業の対応にならないから
8. 事業の利用方法(手帳等)がわからない
9. その他()

問22 あて名のお子さんについて、私用、親の運転、不定時の送迎、不定時の送迎等の目的で、年間何回くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・日数すべてに○をつけ、必要日数を()内に数字で記入してください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を()内に数字で記入してください)。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい

ア. 私用(車、子ども(居宅型は含む)や個別型等、リフレックス等)	年間 () 日
イ. 両親運転、家族行事、子ども(居宅型は含む)や親の運転等	年間 () 日
ウ. 不定期の送迎	年間 () 日
エ. その他()	年間 () 日

2. 利用する必要はない

問23 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを預けなければならない方がいらっしゃるか(送迎先が現つかからない場合はあて名のお子さんを預けたい場合はあて名のお子さんを預けたい)はありますか。この1年間の利用方法を当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を()内に数字で記入してください。

1年間の対応方法

1年間の対応方法		日数	
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	年間 () 日	
	イ. 子育て支援センター・プレイステイを利用した (児童発達支援等で休日・夜間に子どもを預かる事業)	年間 () 日	
	ウ. 休むことなく子どもを預けてもらった	年間 () 日	
	エ. 休むことなく子どもだけで留守番させた	年間 () 日	
	オ. その他()	年間 () 日	
2. なかった		年間 () 日	

III 出産や子育てについて

出産や子育ての考え方について

問 24 理想とする子どもの数と、実際にいる(予定している)子どもの数は何人ですか。

1. 理想とする子どもの数	人
2. 実際(予定)の子どもの数 <small>(※今後子どもを養育する予定している子どもの数を含む)</small>	人

問 24 で実際(予定)の子どもの数が理想と異なる子どもの数は何人ですか。

問 24-1 子どもの数が理想より少ない主な理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
→複数しついで方時間 25 へ

1. 子育てや教育にかかる費用が高い
2. 仕事と育児の両立が難しい
3. 住居の狭い
4. 子どもを育てるに十分な知識が足りない
5. 教育・保育サービスが十分ではない
6. 育児の身体的・精神的負担が大きい
7. 子育てにより自分の生活が支離れすぎた
8. 配偶者や家族が子どもをあまり好まない
9. 子育てを支援してくれる人がいない
10. 育児時間や環境などの問題で出席が難しい
11. 子どもの将来の選択に不安がある
12. その他()

すべての方に向かいます。

問 25 仕事と子育てに関する男女の生き方について、母親と父親それぞれについての現状と理想について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方から回答してください。

	(1) 母親	(2) 父親
現状	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てより仕事優先している 2. 仕事と子育ての両立を図るよう努力している 3. 仕事より子育てを優先している 4. その他() 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てより仕事を優先している 2. 仕事と子育ての両立を図るよう努力している 3. 仕事より子育てを優先している 4. その他()
理想	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てより仕事を優先したい 2. 仕事と子育ての両立を図るよう努力したい 3. 仕事より子育てを優先したい 4. その他() 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てより仕事を優先したい 2. 仕事と子育ての両立を図るよう努力したい 3. 仕事より子育てを優先したい 4. その他()

問 26 男性が女性とともに家事や子育て、教育に積極的に参画するために何が重要だと思いますか。母親と父親それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方から回答してください。

	(1) 母親	(2) 父親
1. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける	1. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける	1. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける
2. 労働時間の短縮や休暇取得を奨励させる	2. 労働時間の短縮や休暇取得を奨励させる	2. 労働時間の短縮や休暇取得を奨励させる
3. 夫婦の間で家事などの役割を分担するよう工夫に話し合う	3. 夫婦の間で家事などの役割を分担するよう工夫に話し合う	3. 夫婦の間で家事などの役割を分担するよう工夫に話し合う
4. 家事などを男性で協力するよう働きかけや働きかけを促す	4. 家事などを男性で協力するよう働きかけや働きかけを促す	4. 家事などを男性で協力するよう働きかけや働きかけを促す
5. 育児平等に対する意識を高める教育を行う	5. 育児平等に対する意識を高める教育を行う	5. 育児平等に対する意識を高める教育を行う
6. 男性の仕事優先の生き方、働きかたを促す	6. 男性の仕事優先の生き方、働きかたを促す	6. 男性の仕事優先の生き方、働きかたを促す
7. 家事や子育てへの参画などに対する期待感を高める	7. 家事や子育てへの参画などに対する期待感を高める	7. 家事や子育てへの参画などに対する期待感を高める
8. その他()	8. その他()	8. その他()

問 27 女性が育児をしながら働き続けるために、今の仕事に何が重要だと思いますか。母親・父親それぞれの考えについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方から回答してください。

	(1) 母親	(2) 父親
1. 休暇、転職など女性の就業の選択肢の充実と情報提供を行う	1. 休暇、転職など女性の就業の選択肢の充実と情報提供を行う	1. 休暇、転職など女性の就業の選択肢の充実と情報提供を行う
2. 育児に関する施設・サービスを向上させる	2. 育児に関する施設・サービスを向上させる	2. 育児に関する施設・サービスを向上させる
3. 育児休業制度などの法・制度を充実させる	3. 育児休業制度などの法・制度を充実させる	3. 育児休業制度などの法・制度を充実させる
4. 短時間勤務、フレックスタイム、在宅勤務などの制度を導入する	4. 短時間勤務、フレックスタイム、在宅勤務などの制度を導入する	4. 短時間勤務、フレックスタイム、在宅勤務などの制度を導入する
5. 制度などの整備・促進による意識の向上を促す	5. 制度などの整備・促進による意識の向上を促す	5. 制度などの整備・促進による意識の向上を促す
6. 男女平等な昇進、教育訓練など、企業へ労働条件向上の働きかけをする	6. 男女平等な昇進、教育訓練など、企業へ労働条件向上の働きかけをする	6. 男女平等な昇進、教育訓練など、企業へ労働条件向上の働きかけをする
7. ハートフルな職場環境など、女性に関する研修・教育訓練の推進を行う	7. ハートフルな職場環境など、女性に関する研修・教育訓練の推進を行う	7. ハートフルな職場環境など、女性に関する研修・教育訓練の推進を行う
8. 女性就業に関する理解を深めるため、雇用主や社会への啓蒙啓発を行う	8. 女性就業に関する理解を深めるため、雇用主や社会への啓蒙啓発を行う	8. 女性就業に関する理解を深めるため、雇用主や社会への啓蒙啓発を行う
9. 男性の家事・育児参加など、働く女性への家庭支援や理解の啓発を行う	9. 男性の家事・育児参加など、働く女性への家庭支援や理解の啓発を行う	9. 男性の家事・育児参加など、働く女性への家庭支援や理解の啓発を行う
10. その他()	10. その他()	10. その他()

子育てに関する悩みや不安感についてうかがいます。

問 28 子育てに関して、不安などを覚えることはありませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの成長や発達	2. 子どもの健康や発達に不安がある
3. 子どもの教育(学名、シコリ)に不安がある	4. 子どもの発達や生活リズムに不安がある
5. 配偶者の協力がない	6. 配偶者と子育ての役割が合わない
7. 子育てにかかる経済的負担が大変	8. 子育ての本音や悩みが理解してくれない
9. 配偶者が共に子育てを手伝ってくれない	10. 地域の子育て支援サービスの活用・申込みがうまくいかない
11. 住居が狭い	12. 毎日まで子育てで通勤サービス、通園がわがらぬ
13. 近くに子どもの遊び場がない(公園や児童館など)	14. その他()
15. 不安や身だしなみに悩んでいる	



問 29 子育てをする上で、母親と父親それぞれがそれぞれの体調やお持ちななどについてお答えください。①～④について1つずつ○をつけてください。関係者の方の欄については、できるだけ関係者の方に関する回答をお願いします。

区 分	(1) 母親				(2) 父親				
	素晴らしい	普通	悪くはない	悪くはない	素晴らしい	普通	悪くはない	悪くはない	
子育てで不安や負担を感じる	1	2	3	1	2	3	1	2	3
子育てでの満足がよくなる	1	2	3	1	2	3	1	2	3
お子さんとの親しみに自信が持てない	1	2	3	1	2	3	1	2	3
お子さんとの関係が十分にとれない	1	2	3	1	2	3	1	2	3
母親のやりがいを感じていない	1	2	3	1	2	3	1	2	3
母親もやる気が起こらないことがある	1	2	3	1	2	3	1	2	3
子育てによる身体の疲れが大きい	1	2	3	1	2	3	1	2	3
子育てによる精神的な疲れやストレスが大きい	1	2	3	1	2	3	1	2	3
お子さんをお預かりしているのではないかと感じる	1	2	3	1	2	3	1	2	3

問 30 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。または、相談できる関係者はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある ⇒ 問 31へ 2. いない/ない ⇒ 問 32へ

問 30で「1. いる/ある」に○をつけた方にのみが有効です。

問 30-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	2. 祖父祖母等の親族	3. 友人や知人	4. 近所の人
5. 隣近所の人	6. 学校の保護者仲間	7. 学校の先生	8. 医師・看護師・薬剤師・保健士
9. 子育てサークルや子育て中の仲間	10. 地域の民生・児童委員、主任児童委員	11. 子育て支援団体	12. 子育て支援SNS*
13. 市役所の家庭児童相談室	14. 市役所の母子自立支援員	15. 教育委員会の教育相談	16. 児童相談センター
17. 民間の育児相談	18. その他（ ）		

*子育て支援SNS：子育てに関する情報交換を目的とした、インターネット上のソーシャルネットワークサービス

問 30で「2. いない/ない」に○をつけた方にのみが有効です。

問 30-2 気軽に相談できる人（人）がいない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者に相談できない	2. 身近に相談できる祖父母や親族がいない
3. 転入しばかりで簡単に相談できる人・人がいない	4. 自分が住む地域の誰（どこ）に相談すればよいかわからない
5. 相談することが好きではない	6. その他（ ）

問 31 車の子育てに関する相談窓口について、当てはまると思う番号すべてに○をつけてください。

1. どこに何を相談すればよいかわかりやすい	2. 子どもを連れて気軽に相談できる
3. 相談窓口がどこにあるのかわからない	4. 自分の相談内容にあった相談窓口を紹介してくれるサービスがほしい
5. 相談窓口まで距離が遠く行けないため、身近に相談窓口があるように	6. その他（ ）

地域との関わりについてうかがいます。

問 32 子育て（教育を含む）をする上で、関係（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもに対して気軽に話しかけようとおしやめをしてくれる	2. 子どもがいきなりや怖がることをしたときに注意や指導をしてくれる
3. 通学時に安全を確保してくれる	4. 子どもにもスポーツや遊びなどの誘いをしてくれる
5. 緊急時に子どもを一緒に預かってくれる	6. 子育てについて気軽に相談やアドバイスを、情報交換をしてくれる
7. その他（ ）	8. 特にない

問 33 あなたの自身が保護者として、これならできる（してもいい）と考える子育て支援に関する活動は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 近所の人とのあいさつや交流の機会をもつ	2. 近所の子育てしている家庭への声かけ、話し相手
3. 子育ての悩みや不安をもちている親への相談先の紹介	4. 子育てサークルなどの紹介、誘い
5. 自分の特徴を活かした交流活動（絵本の読み聞かせなど）	6. 子どもの安全ハトロー*
7. 近所の子どもを定期的に一緒にみる	8. その他（ ）

問 34 あなたを含め、あて名のお子さんの保護者の方は、子育てに関するサークルなど自主的な活動（行政が行うものを除く）に参加していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 現在参加している	2. 現在は参加していないが（以前参加したことがある含む）、今後参加ができれば参加したい
3. 現在は参加してはららず（以前参加したことがある含む）、今後も参加するつもりはない	4. その他（ ）

問 34-1 問 34で「1. 現在参加している」「2. 現在は参加していないが、今後参加ができれば参加したい」と答えた方にのみ有効です。自主活動をしていく上で行政に要望や相談はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 活動内容の提供（企画出しなど）	2. 情報共有やP日などに参加する回数（表示等の開示など）
3. 活動時間外の保育サービス	4. 活動資金の助成
5. その他（ ）	6. 特になし

子どもの遊び場や遊樂所についてうかがいます。

問 39 あなたの子どもが遊び場について、目撃していることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 1. 近くに遊び場がない | 2. 遊び場に遊ぶべき遊具がない |
| 3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない | 4. 遊具などの種類が充実していない |
| 5. 木陰などがある | 6. いづれも遊具としていて欲しい遊具がある |
| 7. 遊具などの設備が古くて危険である | 8. 緑などの自然が少ない |
| 9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない | 10. 遊び場に行っても子どもと同じくらい遊び仲間がない |
| 11. 遊び場周辺の道路が危い | 12. その他 () |
| 13. 特に感じることはない | |

子どもの権利に関する啓蒙についてうかがいます。

問 40 あなたは、子どもの権利に関する国際的な条約がある（日本も批准している）ことを知っていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 知っている 2. 知らない

問 41 あなたは、子どもの権利に関してどう考えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 「すべての子どもに等しく子どもの権利がある」ということを、子どもたちにきちんと伝えなければならぬ
2. 子どもは、自分自身の「子どもの権利」が尊重されることにより、他の人の権利を尊重することや人権の大切さを学ぶべきである
3. まま大人が一人ひとりの「子どもの権利」を守るべきことである
4. 子どもに権利はわかり難いので、同時に義務や責任も教えなければならぬ
5. 義務を覚えなければ子どもに権利はないと思う
6. その他 ()

子育てに関する情報提供についてうかがいます。

問 42 あなたは育児、子育てに関する情報はどこから入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| 1. 親戚（叔、兄弟姉妹など） | 2. 近頃・地域の知人 |
| 3. 友人 | 4. 子育てワークブックが中心、子育て中の仲間 |
| 5. 児童所、幼稚園、学校 | 6. 地域所 |
| 7. 市の広報 | 8. 子育てに関する情報ハンドブック |
| 9. 子育て情報誌やウェブサイト | 10. 新聞などの啓蒙機関 |
| 11. テレビ、ラジオ、新聞 | 12. 子育て雑誌・育児書 |
| 13. WEBサイト（よく使うものは？）ホームページ・子育て支援情報ホームページ（育児）、育児が | 14. SNS*（よく使うものは？）facebook・twitter・その他 () |
| 15. コミュニティー誌 | 16. その他 () |
| 17. 産婦人科の先生がいない | 18. 産婦人科の先生がわからない |
- ※SNS：メール交換や交換を目的とした、インターネット上でのソーシャルネットワークサービス

問 43 市が提供する子育て情報について、当てはまると思う番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 子育ての中で必要な情報が、分かりやすく提供されている |
| 2. どこに聞けばよいが、または、何を聞けばよいかわからない |
| 3. 色や文字で分けられていて、視覚に頼らないで情報が入手できない |
| 4. 子育て情報の提供をしてくれる総合窓口がある |
| 5. その他 () |

安心して子育てできる環境についてうかがいます。

問 44 子育てを安心して暮らす環境について、困ることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 経済や雇用がない限り多く、安全な心配がある |
| 2. 買い物や仕事などの移動手段が不便、子どもを遊ばせる場所が少ない |
| 3. 買い物や移動手段が不便なことが多い、子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配である |
| 4. 周囲の人が子どもと遊ばせる機会が少ない |
| 5. 親戚や子どもと遊ばせる機会が少ない |
| 6. その他 () |
| 7. 特に困ることはない |

防災に対する意識についてうかがいます。

問 45 2011年に東日本大震災がおき、この地域でも南海トラフ巨大地震が来ると言われていますが、子どものいる家庭として、どのような防災訓練を行っていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 子ども向けの資料・教材の備蓄（アレキサー知知品など） |
| 2. 子どものための非常持ち出し品の準備 |
| 3. 家族の転居前上や災害の工場など、家の中の安全確保 |
| 4. 家族で避難場所や緊急連絡先の確認 |
| 5. その他 () |

最後に、貴市に期待することについてうかがいます。

問 46 貴市の教育環境をさらに充実させる上で、何を期待しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 学校の施設を改善する | 2. 教員などの人数を増やす |
| 3. 教員などの待遇を改善する | 4. 自然などの自然あふれる体験学習の機会を増やす |
| 5. 年齢の異なる子ども同士での交流機会を増やす | 6. 国際交流の機会を増やす |
| 7. 自然あふれる交流・施設整備を促進させる | 8. 学校など父兄の連携を促す |
| 9. 学校の教育目標を公表する | 10. その他 () |
| 11. 特に改善する必要はない | |



図 47 その他、愛知県の子育て支援施策に関するご意見・ご要望（子育てで大きなことや問題点など）があまり
ありません、自由にご記入ください。

大変お疲れ様でした。
調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
切符は必ず同封の封筒に入れ、ご返願ください。

